

令和2年度 老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業）

介護老人保健施設等における業務改善に関する
調査研究事業 報告書

令和3年3月
公益社団法人 全国老人保健施設協会

はじめに

介護老人保健施設は、創設当初から包括的ケアサービスとリハビリテーションにより利用者の自立を支援し、在宅復帰・在宅生活を支える、地域に根差した施設との理念を掲げ、多職種協働で実践してきました。私たち介護老人保健施設には、地域の介護・医療・福祉関係者や行政機関と協働し、地域住民の協力も仰ぎながら、障がいや認知症があっても住み慣れた場所で暮らし続けることが出来る共生社会を目指して、地域の高齢者を支えていく使命があります。

当協会では、老人保健健康増進等事業(令和2年度 老人保健事業推進費等補助金)として、介護老人保健施設における薬剤の採用や処方等について調査した「介護老人保健施設における薬物治療の考え方に関する調査研究事業」、介護の周辺業務を支える介護助手の実態や効果等を調査した「介護老人保健施設等における業務改善に関する調査研究事業」と、施設入所者における新型コロナウイルス感染状況を情報共有するシステムの試行事業である「介護老人保健施設と医療機関等との情報共有に関する調査研究事業」の3事業を実施しました。新型コロナウイルス感染症蔓延下にもかかわらず、これらの調査にご協力いただいた会員施設各位に、この場をお借りして御礼申し上げます。

当協会が取り組むこれらの調査研究事業が目指すのは、地域包括ケアシステムで必要とされる介護老人保健施設の機能と役割の検証と、未来に向けた提言です。本調査研究事業の成果が広く活用され、わが国の介護サービスの発展に寄与することを祈念いたします。

令和3年3月
公益社団法人全国老人保健施設協会
会長 東 憲太郎

目次

1章. 研究要旨	1
1-1. 調査研究事業の背景と目的	1
1-2. 研究事業班員一覧	1
1-3. 「介護助手」「高年齢介護助手」の定義	2
1-4. 事前調査	2
1-5. 調査の実施要項・調査方法	4
2章. 調査結果	5
2-1. 調査対象数と調査票の回収状況	5
(1) 施設調査（施設票）の回収状況	5
(2) 個別調査（介護職員票・介護助手票）の回収件数・回収施設数	5
2-2. 施設票の結果（n=1,261）	6
(1) 回答施設の基本情報	7
(2) 高年齢介護助手の雇用状況別の比較	15
(3) 高年齢介護助手を現在雇用している施設 調査結果	18
(4) 高年齢介護助手を現在雇用していないが、過去に雇用していた施設 調査結果	32
(5) 高年齢介護助手を現在雇用していないが、今後雇用を検討している施設 調査結果	42
(6) 高年齢介護助手という存在は知っているが、雇用の検討等はしていない施設 調査結果	48
(7) 高年齢介護助手という存在を知らない施設 調査結果	53
2-3. 介護職員票の結果（n=11,374） 1246 施設から回答	59
(1) 回答者属性	60
(2) 健康状態・意識・環境・満足度	64
(3) 高年齢介護助手との関わり	70
2-4. 介護助手票の結果（n=1,606） 599 施設から回答	73
(1) 回答者属性	74
(2) 健康状態・意識・環境	79
(3) 従事している業務	85
(4) はじめた理由・影響・満足度	86
(5) 介護職員との関わり	89
3章. クロス集計結果	90
3-1 施設票クロス集計	91
3-2 介護職員票クロス集計	138
3-3 介護助手票クロス集計	150
4章. 本事業のまとめ	162

資料 1. 「その他」回答の自由記述.....	167
資料 2. 調査実施要綱・調査票等	171

※本報告書の略語と用語定義に関して:本報告書においては、以下の通り略記を用いる場合がある。

- ・ 公益社団法人全国老人保健施設協会:全老健
- ・ 介護老人保健施設:老健施設ないし老健
- ・ 基本サービス費の在宅強化型を算定する介護老人保健施設:在宅強化型ないし強化型
- ・ 強化型のうち、在宅復帰・在宅療養支援機能加算(Ⅱ)を算定する介護老人保健施設:超強化型
- ・ 基本サービス費の基本型を算定する介護老人保健施設:基本型
- ・ 基本型のうち、在宅復帰・在宅療養支援機能加算(Ⅰ)を算定する介護老人保健施設:加算型
- ・ 基本サービス費のその他型を算定する介護老人保健施設:その他型
- ・ 介護療養型老人保健施設:療養型
- ・ 超強化型・在宅強化型・加算型・基本型・その他型の類型:施設類型ないし類型
- ・ 短期入所療養介護:短期入所
- ・ リハビリテーション:リハビリないしリハ
- ・ 介護支援専門員:ケアマネジャーないしケアマネ
- ・ 老健施設と直接の雇用関係(有償ボランティアや委託業者の職員は除く)にあり、介護職員との役割分担により、利用者の身体に接することのない周辺業務のみを担っている者:介護助手
- ・ 60歳以上の介護助手:高年齢介護助手

1章. 研究要旨

1-1. 調査研究事業の背景と目的

第7期介護保険事業計画によれば2025年度末に必要な介護人材数は約245万人と推計されるが、生産年齢人口が減少するなかで推計通りに人材を確保することは難しい。

このような状況下で、三重県介護老人保健施設協会が平成27年から取り組んでいる「元気高齢者による介護助手モデル事業」は、介護職員の周辺業務を担う具体的な人材対策・業務改善の取組等として離職防止に寄与する等の効果を挙げ、介護老人保健施設（以下、老健施設）以外の介護保険サービスにも展開しつつある。

そこで、本事業では、三重県での調査実績を踏まえ、介護助手の中でも特に60歳以上の介護助手（以下、高年齢介護助手）に着目し、老健施設における高年齢介護助手の導入状況や実施業務等の実態把握を行い、多職種連携・業務分担等による業務改善に資する取り組みの提案を目指して調査を実施した。

なお、そのための調査として具体的には、施設調査票で高年齢介護助手の雇用状況や業務の役割分担等を把握するとともに、個別調査で業務の負担感や職場環境等を調査し、以下を明らかにすることを計画した。

- ・高年齢介護助手の導入状況及び導入による影響
- ・施設サービス関連業務及び周辺業務の切り分け状況
- ・高年齢介護助手の実施業務の実態

1-2. 研究事業班員一覧

種別	氏名	所 属	役 職
班長	藤原 佳典	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム	研究部長 (チームリーダー)
班員	江澤 和彦	公益社団法人 日本医師会	常任理事
	小川 勝	介護老人保健施設やすらぎ	理事長
	奥田 隆利	介護老人保健施設第二嘉祥苑「アコラス」	施設長
	土井 勝幸	介護老人保健施設せんだんの丘	施設長
	長谷川 賢	介護老人保健施設アメニティ帯広	理事長
	村山 洋史	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所	専門副部長

オブザーバー：厚生労働省老健局老人保健課

1-3. 「介護助手」「高年齢介護助手」の定義

本調査における「介護助手」「高年齢介護助手」の定義は、以下の事項を満たす者とした。

介護助手の定義（以下のいずれも満たす者）

1. 貴施設と直接の雇用関係にある（有償ボランティアや委託業者の職員は除く）
2. 介護職員との役割分担により、利用者の身体に接することのない周辺業務のみを担っている

高年齢介護助手の定義

介護助手（上述の1・2を満たす者）のうち年齢が60歳以上の者

※周辺業務は、ベッドメイキングや食事の配膳などの他、施設サービスでは清掃、通所サービスでは送迎などの業務も含む

注1: 清掃のみに従事する方は介護助手に含むが、調理従事者やリハビリ助手は介護職員の補助でないため、介護助手に含めない

注2: 介護福祉士等の資格を有していても、周辺業務のみを行っている場合には、介護助手に含む

1-4. 事前調査

本事業を実施するにあたり、介護助手の導入および年齢別の雇用状況を把握するために事前調査を行った。調査票は、FAXにより配布・回収した。事前調査の結果の概要は以下のとおり。

なお、事前調査の結果については、次ページに詳細を記載する。

調査対象：3,591施設（令和2年9月24日時点の全国老人保健施設協会の全会員施設）

調査期間：令和2年9月～10月

回収数：2,170施設（回収率60.4%）

(1) 介護助手の導入（雇用）の有無（n=2,170）

導入（雇用）している	導入（雇用）していない	無効回答
1,369施設（63.1%）	762施設（35.1%）	39施設（1.8%）

介護助手を「導入（雇用）している」と回答した1,369施設のうち、高年齢（60歳以上）介護助手・59歳以下の介護助手の雇用状況は、以下のとおりであった。

(2) 高年齢介護助手・59歳以下の介護助手の雇用状況（n=1,369）

高年齢介護助手のみを雇用	482施設
高年齢介護助手と59歳以下の介護助手を両方雇用	656施設
59歳以下の介護助手のみを雇用	231施設

介護老人保健施設等における業務改善に関する調査研究事業 事前調査 集計結果

(本調査実施時に報告した結果において、無効票(1票)が介護助手導入施設としてカウントされていたため本頁では修正している)

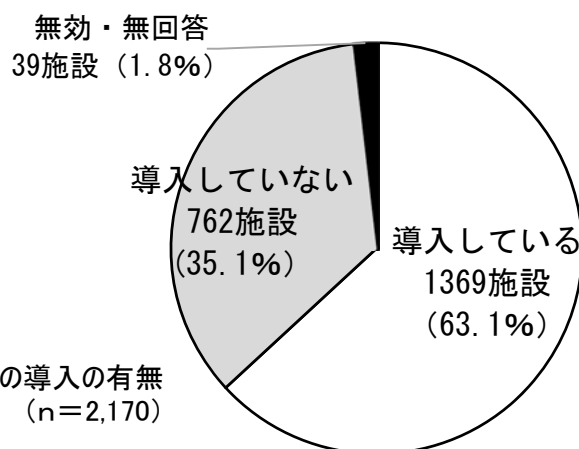
【対象】3,591 施設 (2020 年 9 月 24 日時点の全老健の全正会員施設)

【回収数】2,170 施設 (回収率 60.4%)

【結果】

回答のあった 2,170 施設のうち、
介護助手を「導入している」と回答した施設は
1,369 施設 (63.1%) と過半数を占めていた。
(図表 A)

【図表 A】介護助手の導入の有無
(n=2,170)

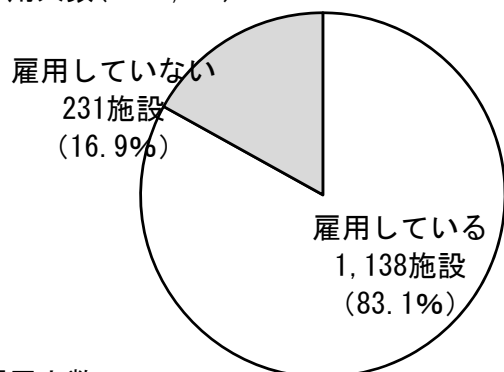


介護助手を導入している 1,369 施設において、60 歳以上・59 歳以下の介護助手の雇用状況を見ると、「60 歳以上の介護助手」を雇用している施設は、1,138 施設 (83.1%)、雇用人数は平均 3.7 名、中央値は 3 名であった。(図表 B)

一方、「59 歳以下の介護助手」を雇用している施設は 887 施設 (64.8%)、平均 2.3 名、中央値 2 名であった。(図表 C)

【図表 B】

介護助手を導入している施設における
「60 歳以上の介護助手」の雇用の有無と雇
用人数 (n=1,369)



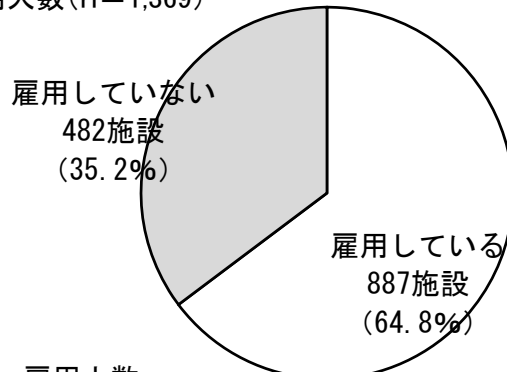
雇用人数

平均	3.7 名
中央値	3 名

60 歳以上の介護助手を雇用している
1,138 施設を集計

【図表 C】

介護助手を導入している施設における
「59 歳以下の介護助手」の雇用の有無と雇
用人数 (n=1,369)



雇用人数

平均	2.3 名
中央値	2 名

59 歳以下の介護助手を雇用している
887 施設を集計

注 1: 導入・雇用状況等は 2020 年 9 月 1 日時点の状況

注 2: この調査における「介護助手」の定義については、以下①・②の事項を満たす者とした

- ① 貴施設と直接の雇用関係にある (有償ボランティアや委託業者の職員は除く)
- ② 介護職員との役割分担により、利用者の身体に接することのない周辺業務のみを担っている
 - ※ 周辺業務は、ベッドメイキングや食事の配膳などの他、施設サービスでは清掃、通所サービスでは送迎などの業務も含む
 - ※ 清掃のみに従事する方は介護助手に含むが、調理従事者やリハビリ助手は介護職員の補助でないため、介護助手に含めない
 - ※ 介護福祉士等の資格を有していても、周辺業務のみを行っている場合には、介護助手に含む

1-5. 調査の実施要項・調査方法

(1) 調査対象・調査方法

本事業では、3種類の調査票（施設票・介護職員票・介護助手票）を用いて調査を実施した。施設票・介護職員票については、令和2年11月10日時点の全国老人保健施設協会の全会員施設3,591施設を調査対象とし、介護助手票については、事前調査の結果を踏まえ、一部の施設^{※1}を除外した2,571施設を調査対象とした。調査票は、郵送により配布・回収した。

※1 事前調査の結果から除外した施設は以下のとおり。

- ・介護助手を導入（雇用）していない：762施設
- ・介護助手は雇用しているが高年齢介護助手は雇用していない：231施設
- ・無効回答（調査票の記載内容に誤りがあった）：39施設

ただし、上記の計1,032施設のうち、12施設から介護助手票の回答があったため、最終的には1,020施設が除外。

(2) 調査票について

各調査票の主な調査内容は以下のとおり（調査票は巻末「資料2. 調査実施要綱・調査票等」に掲載）

- ①施設票：高年齢介護助手の雇用状況や業務の役割分担等に関する調査
- ②介護職員票：業務の負担感や職場環境等に関する調査
- ③介護助手票：業務の負担感や従事している業務内容等に関する調査

(3) 調査対象者・対象人数・抽出方法

【施設調査（施設票）の回答者】

施設としての意向について、適切に回答できる方（必要に応じて施設長や多職種で回答）

【個別調査（介護職員票・介護助手票）の調査対象者・対象人数^{※2}・抽出方法】

介護職員票	調査対象者	現場で介護業務を担っている介護職 (主な業務が管理業務の方は除く。入所・通所問わず。)
	対象人数	調査対象者のうち、同意を得られた方、最大10名 ^{※3} 。
介護助手票	調査対象者	本調査に定める高年齢介護助手 (59歳以下の介護助手は除く。入所・通所問わず。)
	対象人数	調査対象者のうち、同意を得られた方、最大5名。

※2 介護職員票・介護助手票ともに、対象人数が最大人数を上回った場合は、無作為抽出（抽出方法は問わない）とした。

※3 介護職員票については、対象人数の最大10名を超える11名の回答があった3施設を集計に含む。

(4) 調査期間

令和2年11月～令和2年12月

2章. 調査結果

2-1. 調査対象数と調査票の回収状況

(1) 施設調査（施設票）の回収状況

調査対象	回収数	回収率
3,591 施設	1,261 施設	35.1%

(2) 個別調査（介護職員票・介護助手票）の回収件数・回収施設数

個別調査の回収件数・回収施設数

調査票の種類	調査対象	回収件数	調査対象のうち、 回答があった施設の割合
介護職員票	3,591 施設	11,374 件 (1,246 施設より回答)	34.7%
介護助手票	2,571 施設	1,606 件 (599 施設より回答)	23.3%

介護職員票の1施設あたりの回答数

1施設あたりの 回収数	件数 (施設数)	回答施設に 対する割合
1票	17	1.4%
2票	12	1.0%
3票	17	1.4%
4票	9	0.7%
5票	22	1.8%
6票	26	2.1%
7票	46	3.7%
8票	73	5.9%
9票	169	13.6%
10票	852	68.4%
11票	3	0.2%
全体(施設数)	1,246	100%

介護助手票の1施設あたりの回答数

1施設あたり の回収数	件数 (施設数)	回答施設に 対する割合
1票	171	28.5%
2票	147	24.5%
3票	97	16.2%
4票	70	11.7%
5票	114	19.0%
全体(施設数)	599	100.0%

介護職員票・介護助手票の1施設あたりの平均回収数

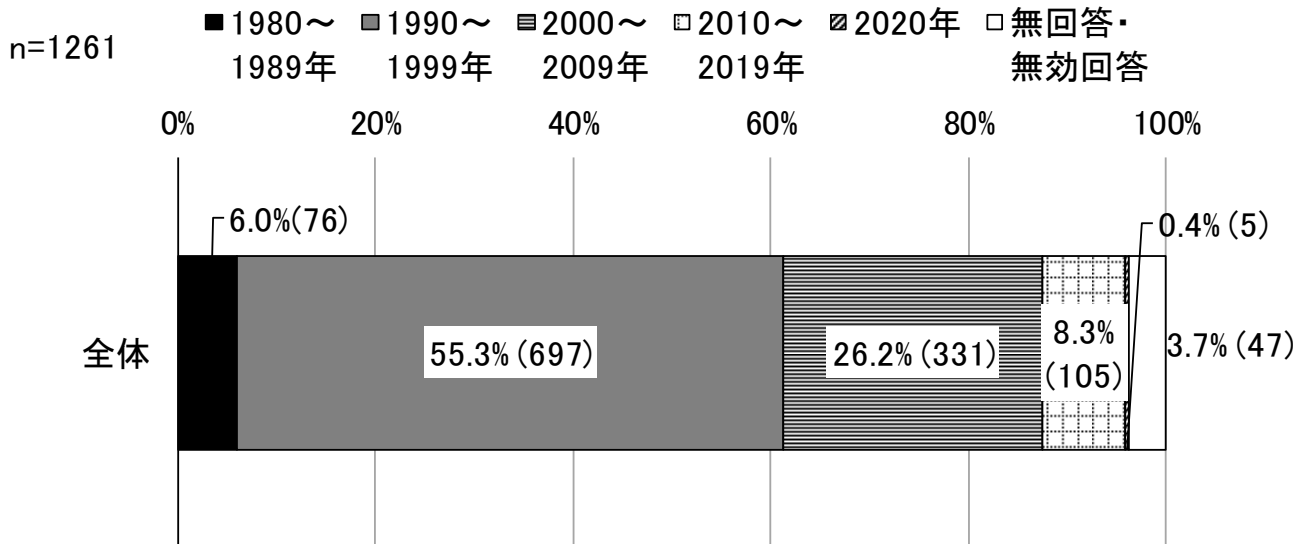
調査票の種類	平均回収数
介護職員票	9.1票
介護助手票	2.7票

2-2. 施設票の結果 (n=1,261)

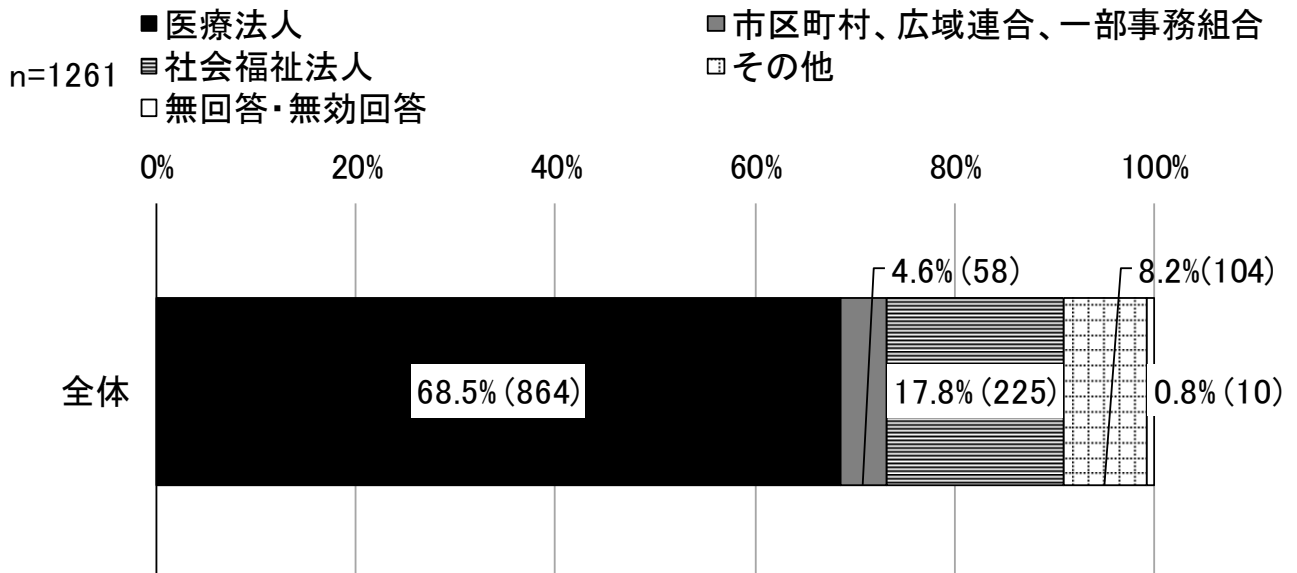
(1) 回答施設の基本情報

開設年は「1990～1999年」、開設主体が「医療法人」が最多で、どちらも過半数を占めていた。入所定員は平均92.7床であり、施設構造は「従来型」が86.1%を占めた。

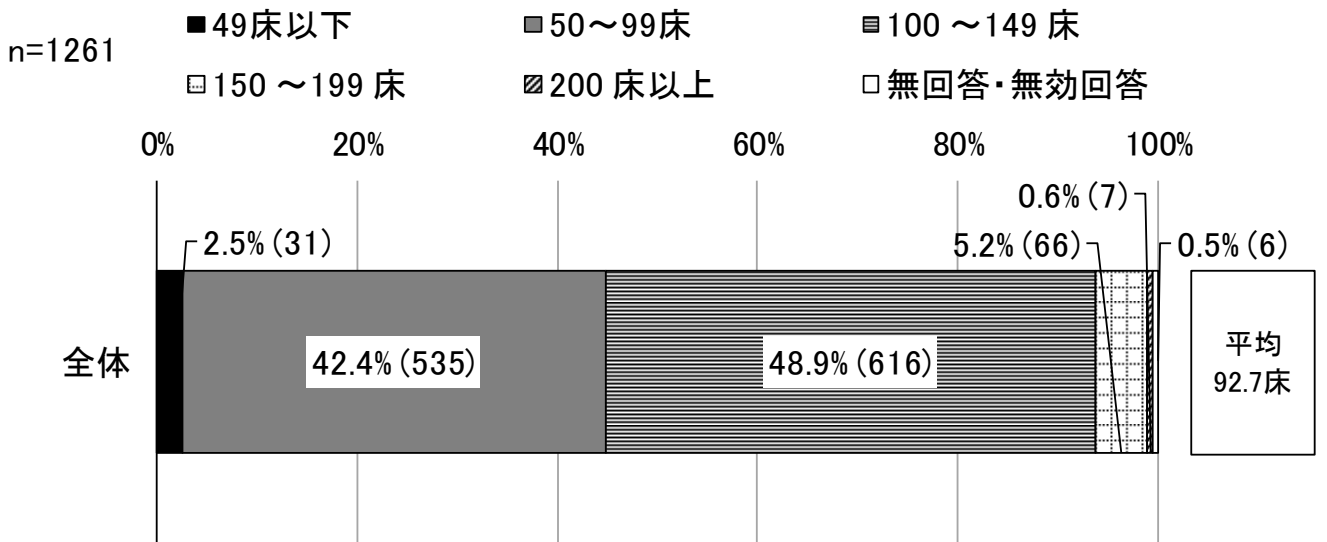
図表 1 問 1 (1) 開設年 単一回答



図表 2 問 1 (2) 開設主体 単一回答

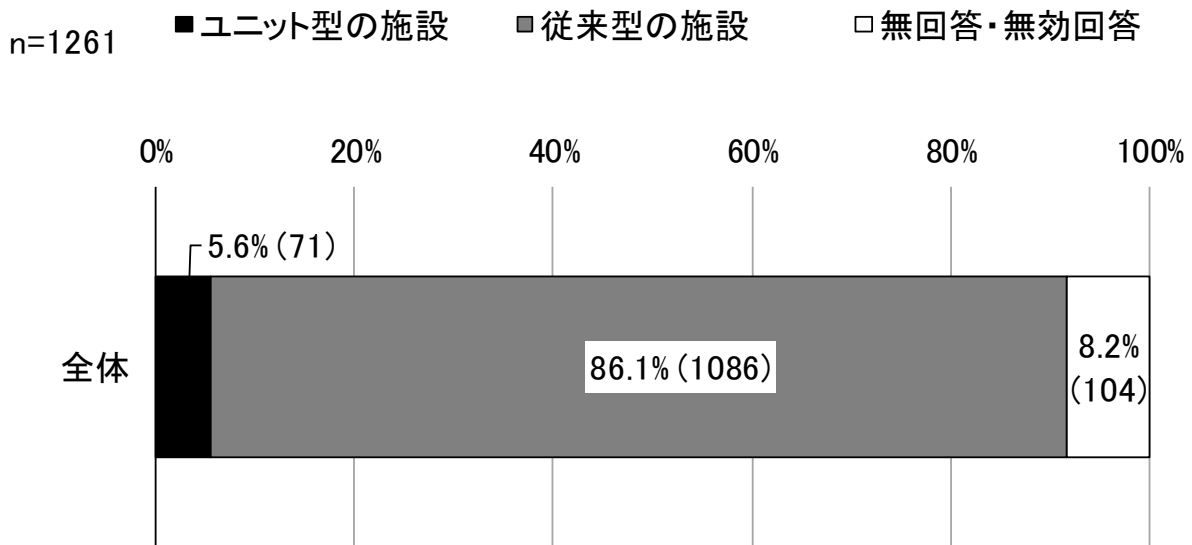


図表 3 問 1 (3) 入所定員



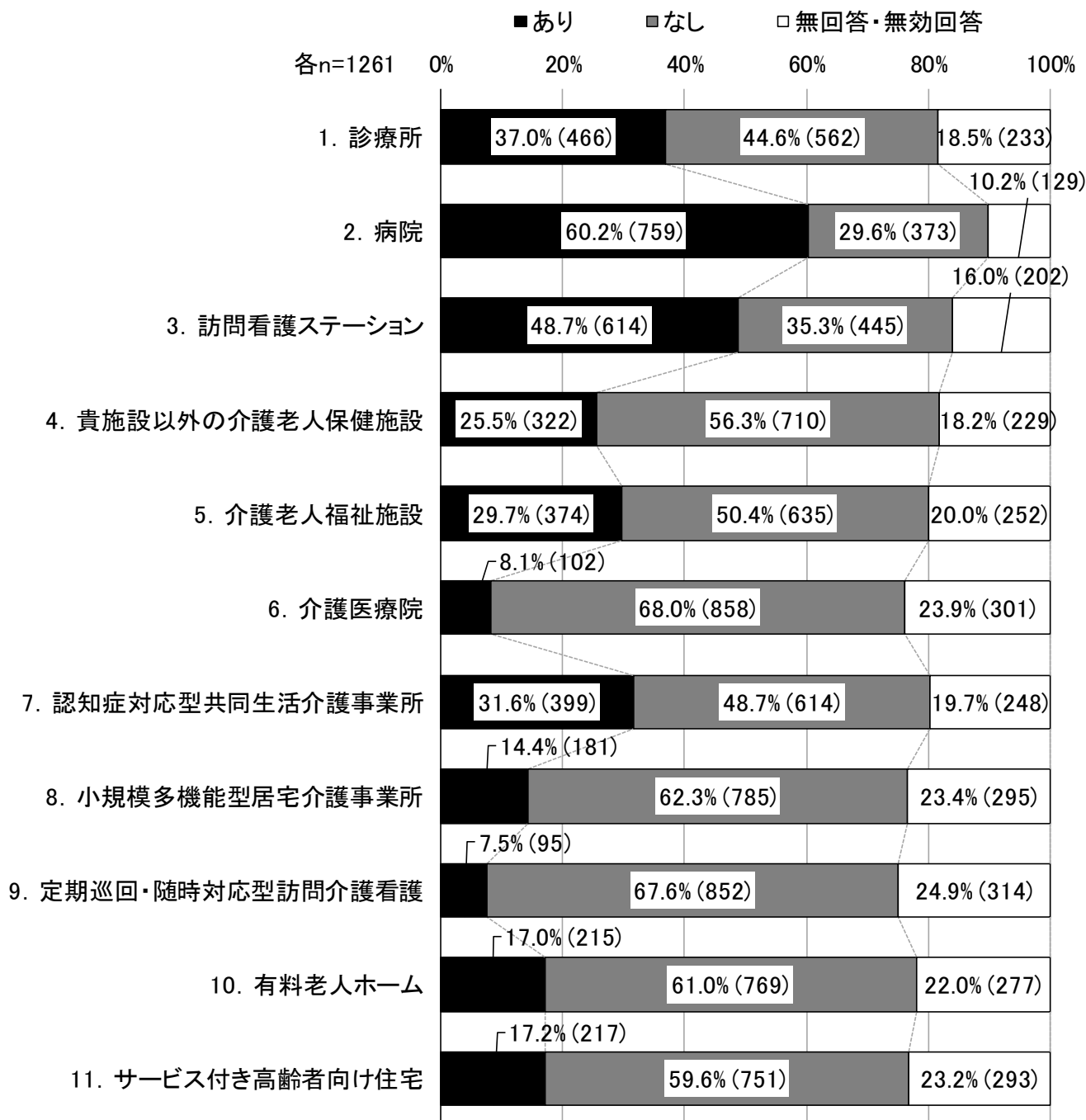
※平均は無回答・無効回答を除いた 1255 件を集計

図表 4 問 1 (4) 施設構造 単一回答



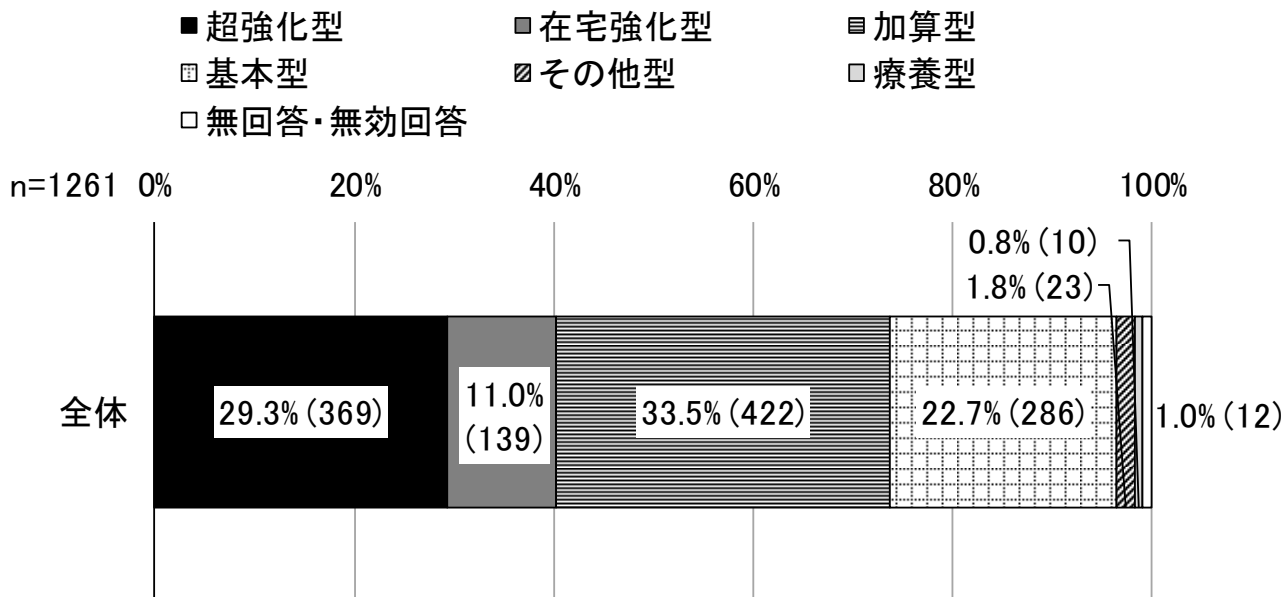
開設主体／関連法人が経営している施設は、「病院」が最も多く 60.2%で次いで多かったのが「訪問看護ステーション」で 48.7%。

図表 5 問 1 (5) 関連主体／関連法人で経営している施設 単一回答

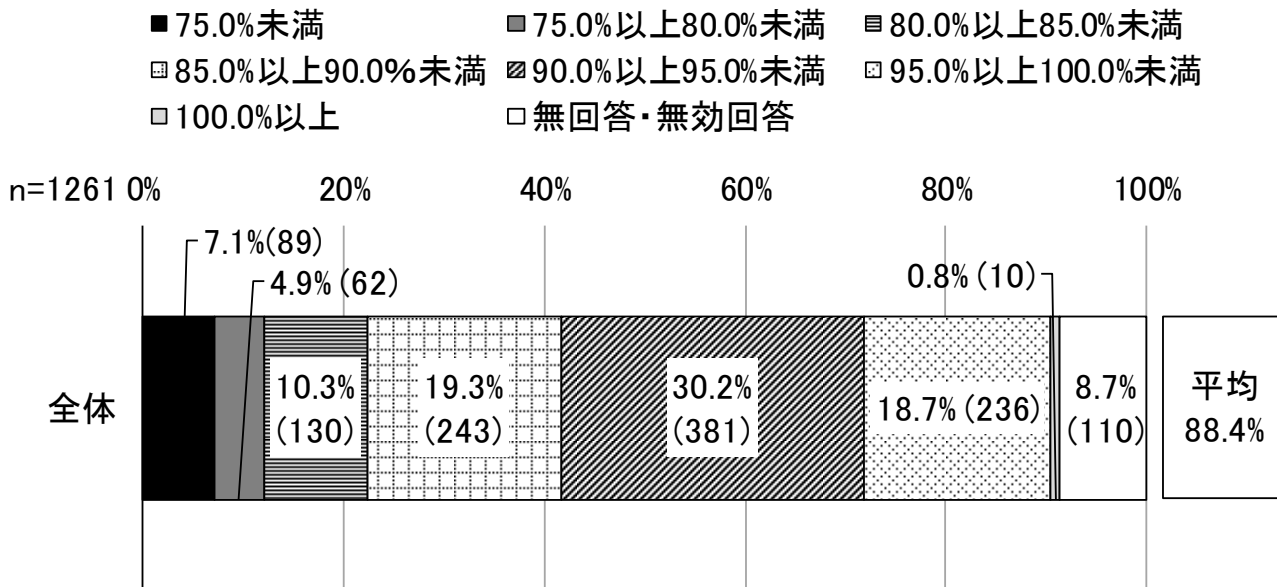


2020年9月時点の施設類型は「加算型」が33.5%と最多、次いで「超強化型」が29.3%、「基本型」が22.7%で、ベッド稼働率は平均88.4%であった。

図表 6 問 2 2020年9月1日時点の施設類型 単一回答



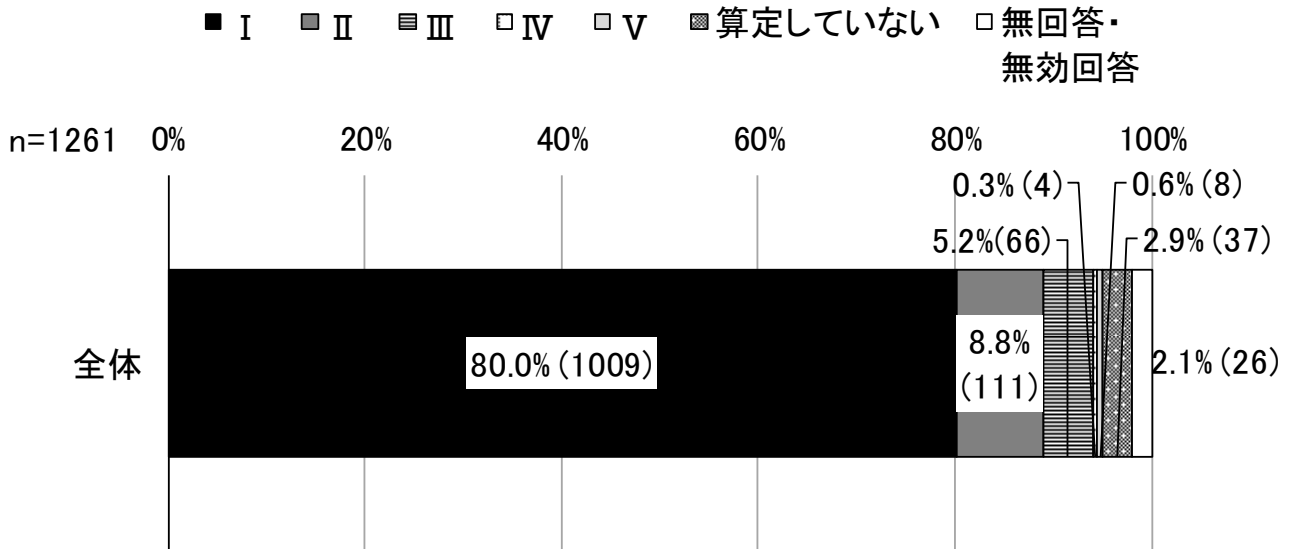
図表 7 問 3 2020年9月のベッド稼働率 (※) 単一回答



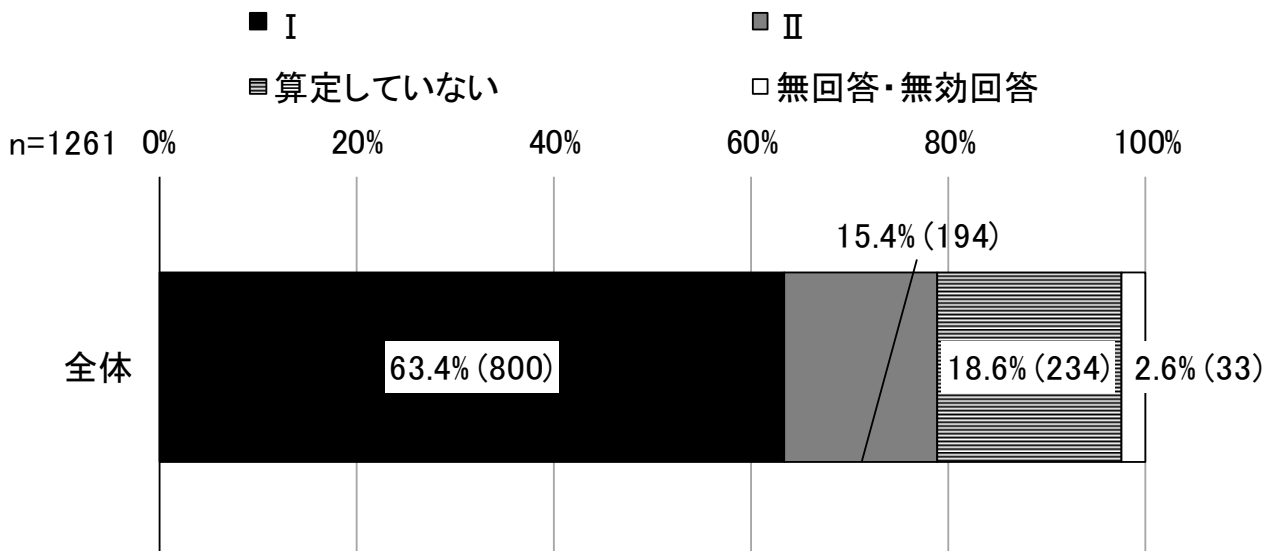
※ベッド稼働率は (「2020年9月の延べ入所者数」÷30日) ÷ 入所定員 で算出。平均は無回答・無効回答を除いた1151件を集計

「介護職員処遇改善加算」は「Ⅰ」を算定している施設が 80.0%、「介護職員等特定処遇改善加算」は「Ⅰ」を算定している施設が 63.4%、「Ⅱ」を算定している施設が 15.4%であった。

図表 8 問 4 (1) 介護職員処遇改善加算の算定実績 単一回答



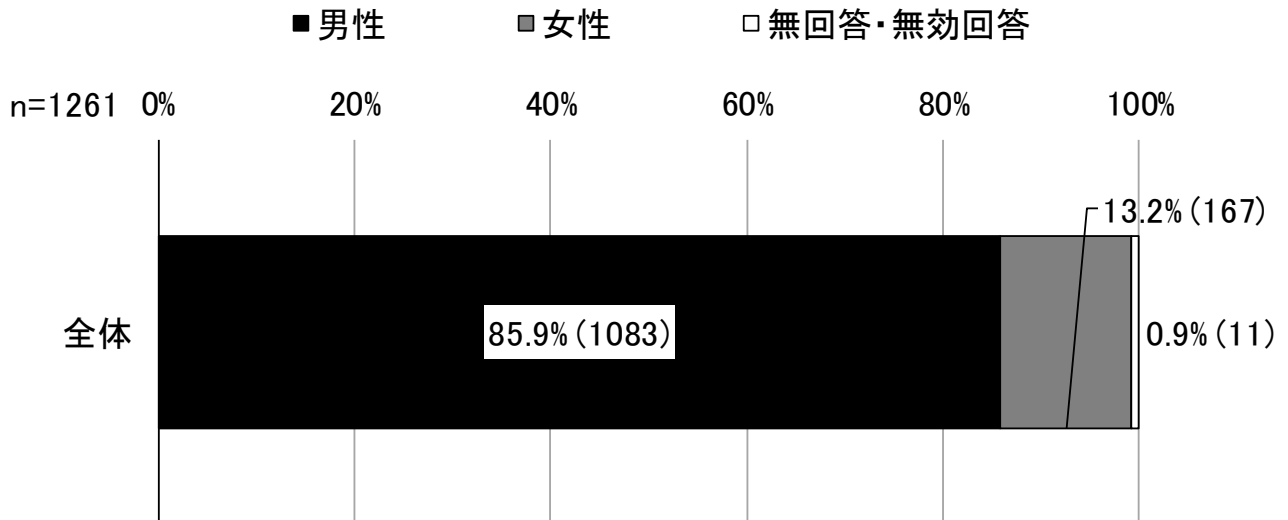
図表 9 問 4 (2) 介護職員等特定処遇改善加算の算定実績 単一回答



代表者性別は「男性」が 85.9%、現在の役職の在職年数は平均 7.9 年。

代表者職種は「医師」が 89.1%と約 9 割を占めており、代表者年齢は、「70 歳以上」が 44.0%、「60 歳代」が 31.3%。

図表 10 問 5 (1) 施設の代表者 性別 単一回答

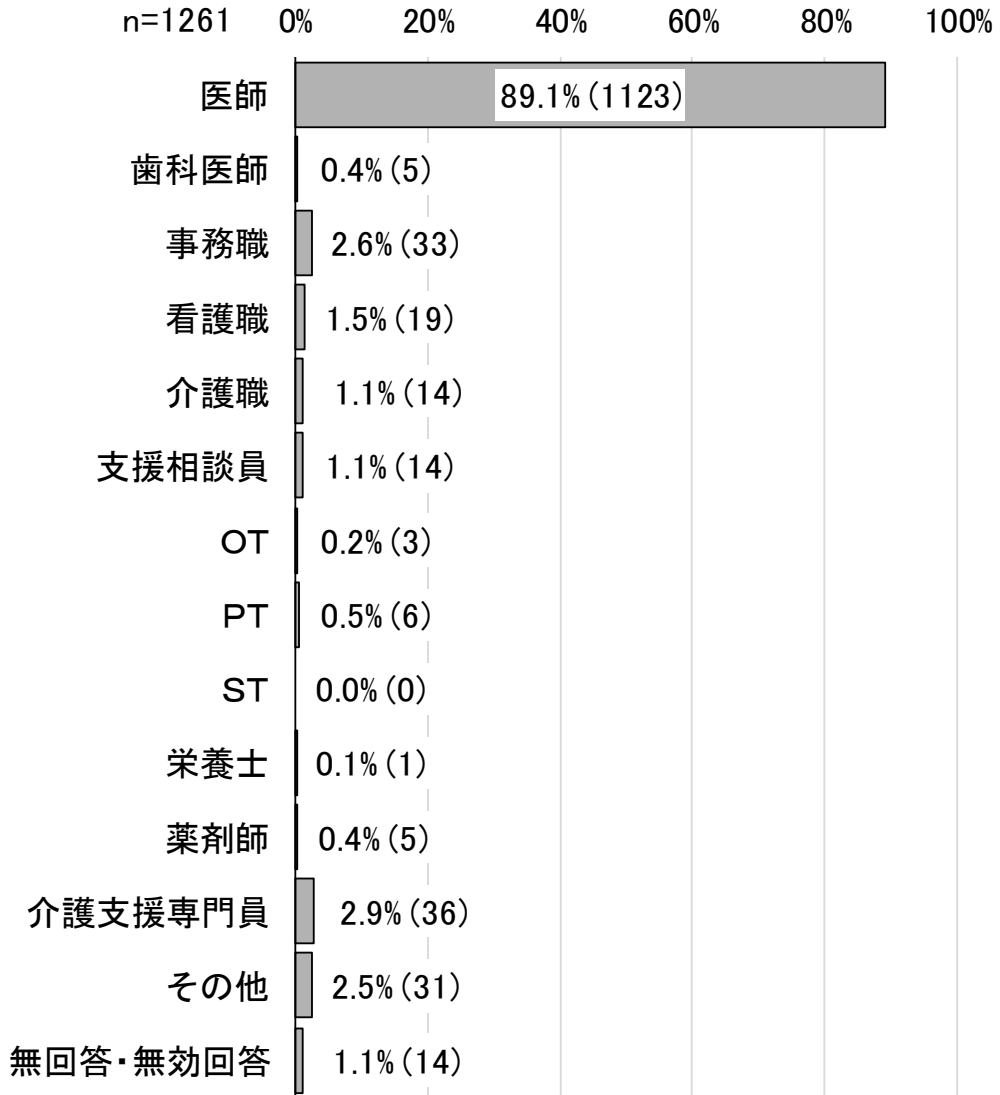


図表 11 問 5 (2) 施設の代表者 在職年数

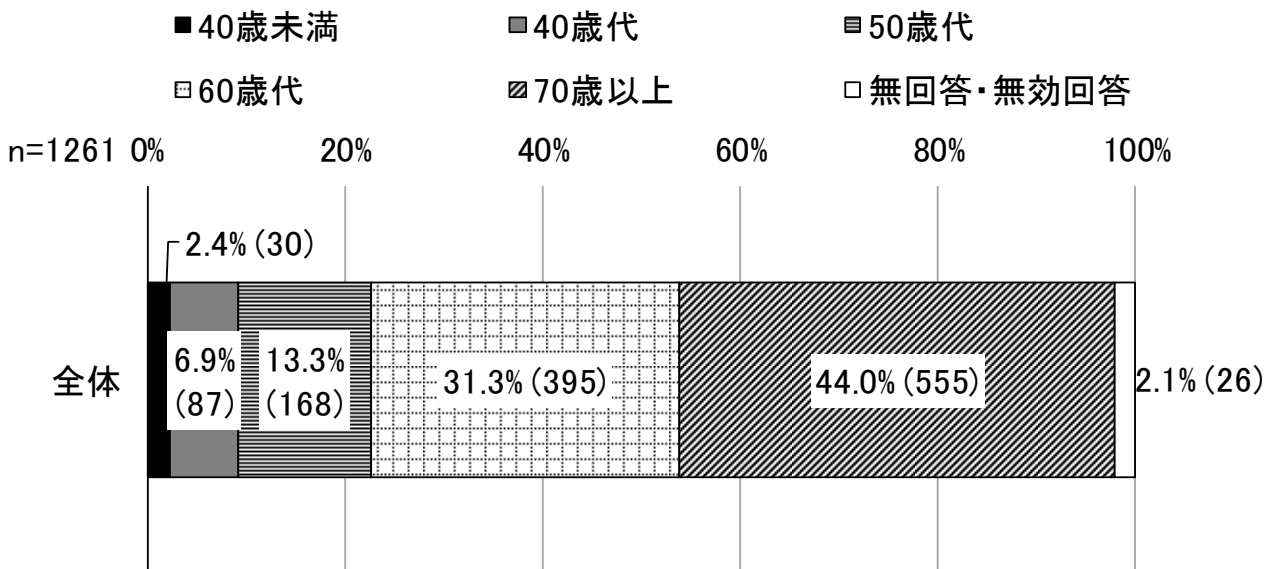
n=1110	平均	最小値	最大値	中央値
現在の役職の在職年数	7.9 年	0 年	32 年	5 年

※無回答・無効回答を除いて集計

図表 12 問 5 (3) 施設の代表者 職種 複数回答



図表 13 問 5 (4) 施設の代表者 年齢 単一回答



2020年9月1日時点の介護職員の人数は平均38.1人、そのうち介護福祉士は平均26.5人。

高年齢介護助手の雇用状況については、「現在雇用している」54.5%、「現在雇用していないが、過去に雇用していた」3.2%、「現在雇用していないが、今後雇用を検討している」11.8%、「この調査で定義するような高年齢介護助手という存在は知っているが、雇用の検討等はしていない」23.2%、「この調査で定義するような高年齢介護助手という存在を知らない」5.5%であった。

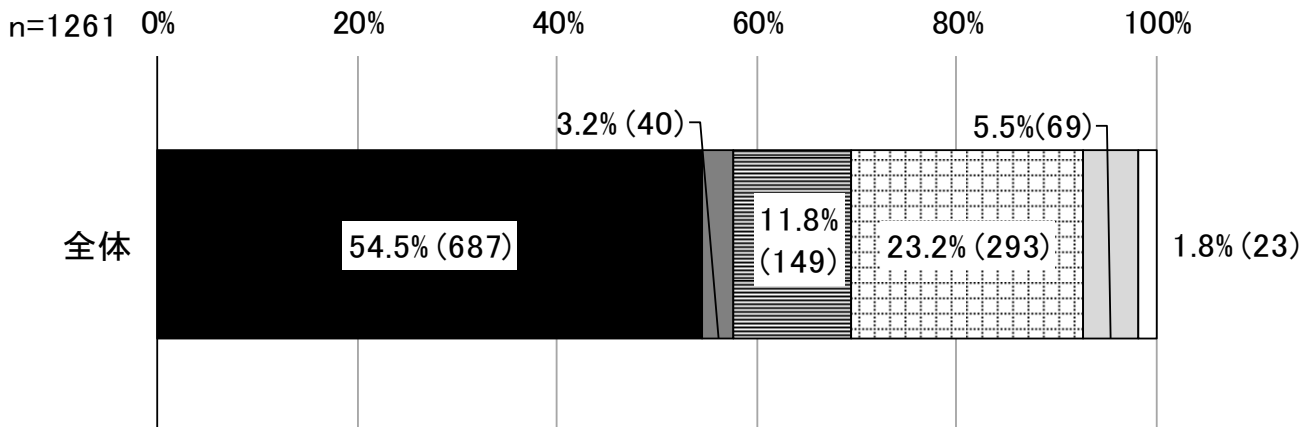
図表 14 問6 2020年9月1日時点の介護職員の人数

n=1201	平均	最小値	最大値	中央値
(1)介護職員	38.1人	5人	166人	37人
(2)うち、介護福祉士	26.5人	3人	86人	26人

※常勤・非常勤、入所・通所の区別問わず。産休・育休は除く
 ※介護職員・介護福祉士の人数を両方回答した票を集計

図表 15 問7 高年齢介護助手の雇用状況 単一回答

- 現在雇用している
- 現在雇用していないが、過去に雇用していた
- ▨ 現在雇用していないが、今後雇用を検討している
- この調査で定義するような高年齢介護助手という存在は知っているが、雇用の検討等はしていない
- この調査で定義するような高年齢介護助手という存在を知らない
- 無回答・無効回答

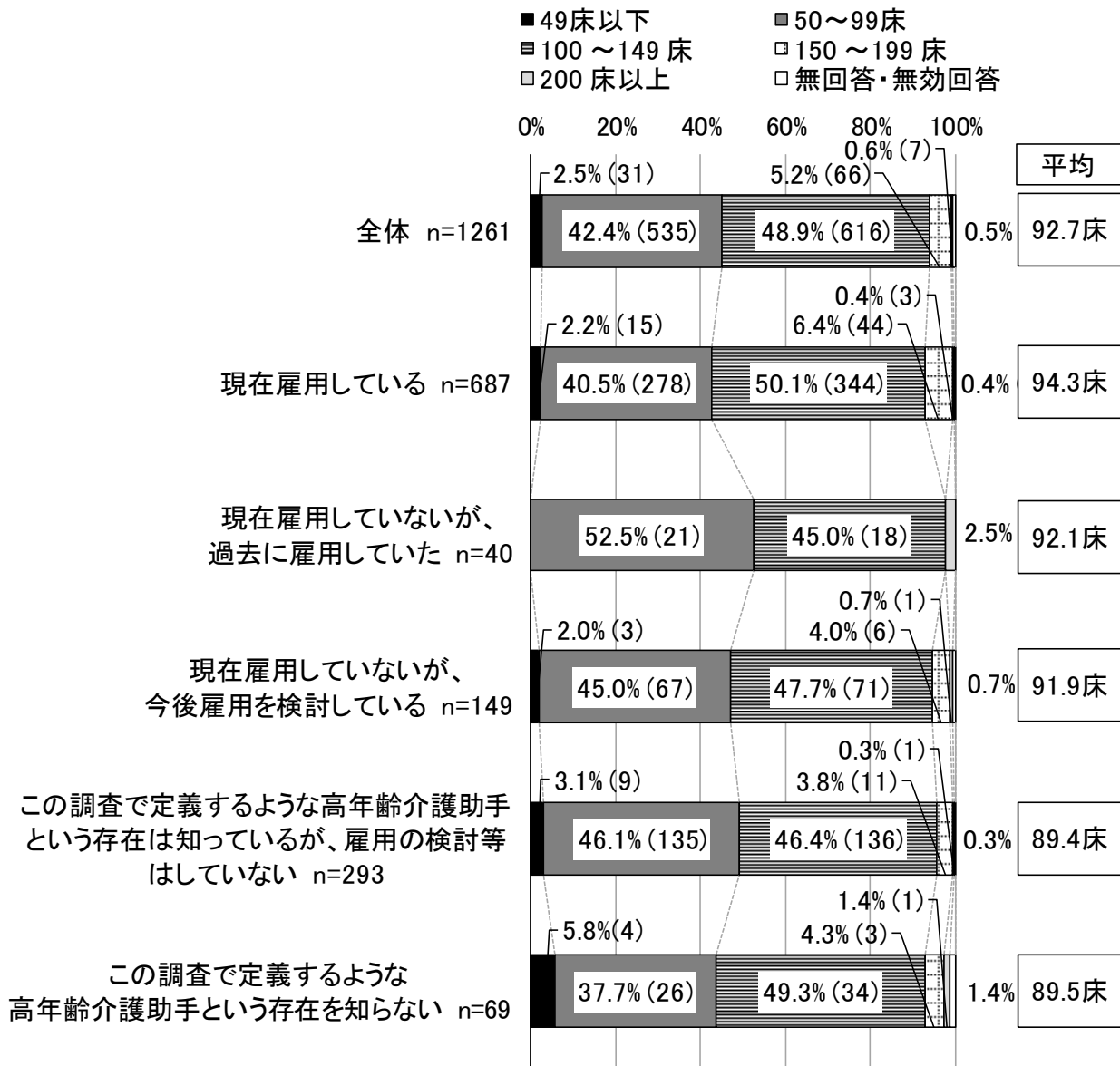


(2) 高年齢介護助手の雇用状況別の比較

※高年齢介護助手雇用状況の比較については、件数が非常に少ないものもあるため留意が必要

高年齢介護助手雇用状況と入所定員の関係を見ると、「現在雇用している」施設は定員数が多い施設の割合がやや高いが、大きな違いはなかった。

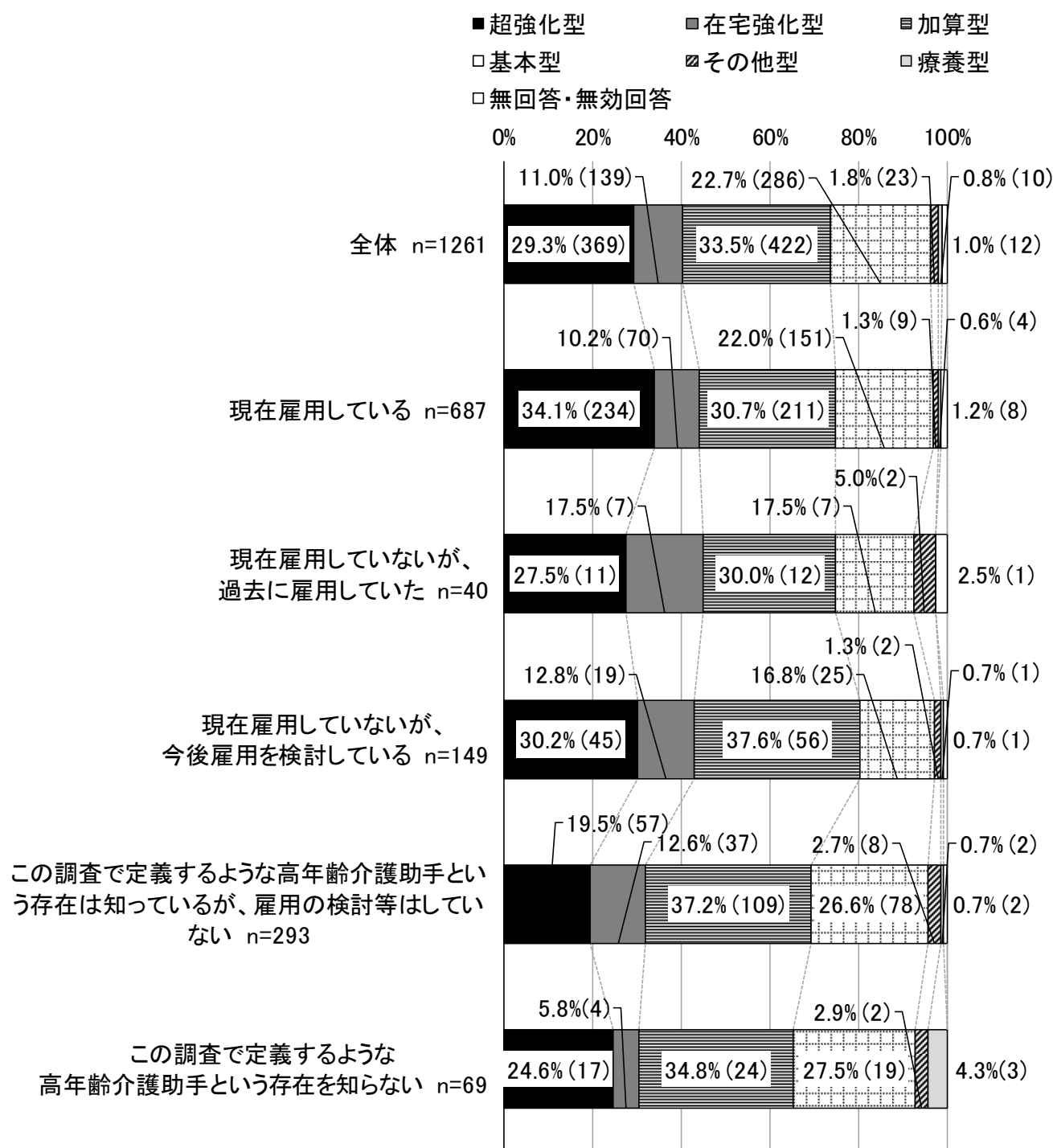
図表 16 高年齢介護助手雇用状況別 問1 (3) 入所定員



※平均は無回答・無効回答を除いて集計

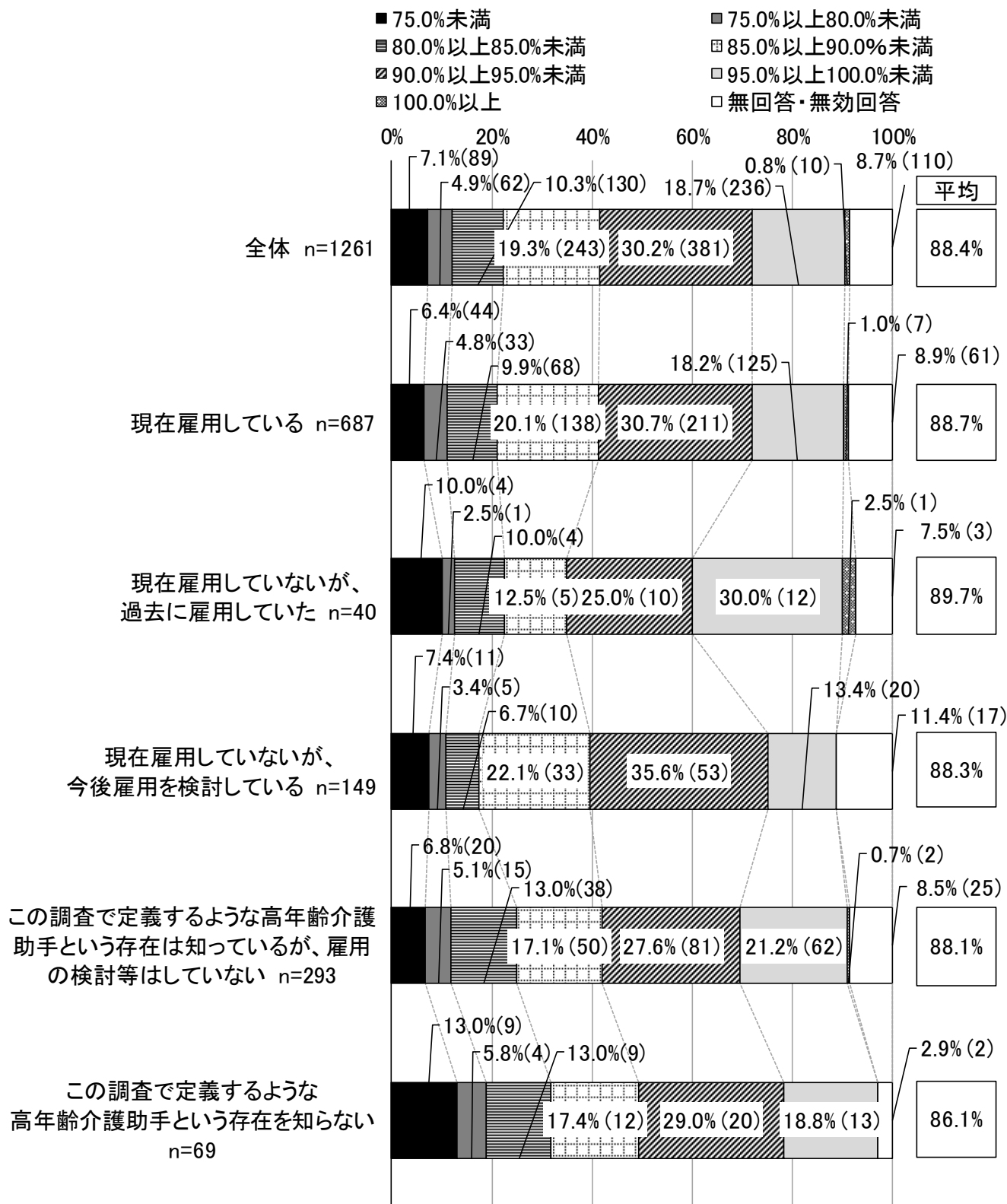
施設類型について、高年齢介護助手雇用状況別でみると、「現在雇用している」施設は「超強化型」の割合が34.1%と相対的に高かった。

図表 17 高年齢介護助手雇用状況別 問2 施設類型 単一回答



ベッド稼働率について、高年齢介護助手雇用状況別でみると、雇用状況による大きな差はみられなかった。

図表 18 高年齢介護助手雇用状況別 ベッド稼働率（※）



※ベッド稼働率は（「2020年9月の延べ入所者数」÷30日）÷入所定員 で算出。平均は無回答・無効回答を除いて集計

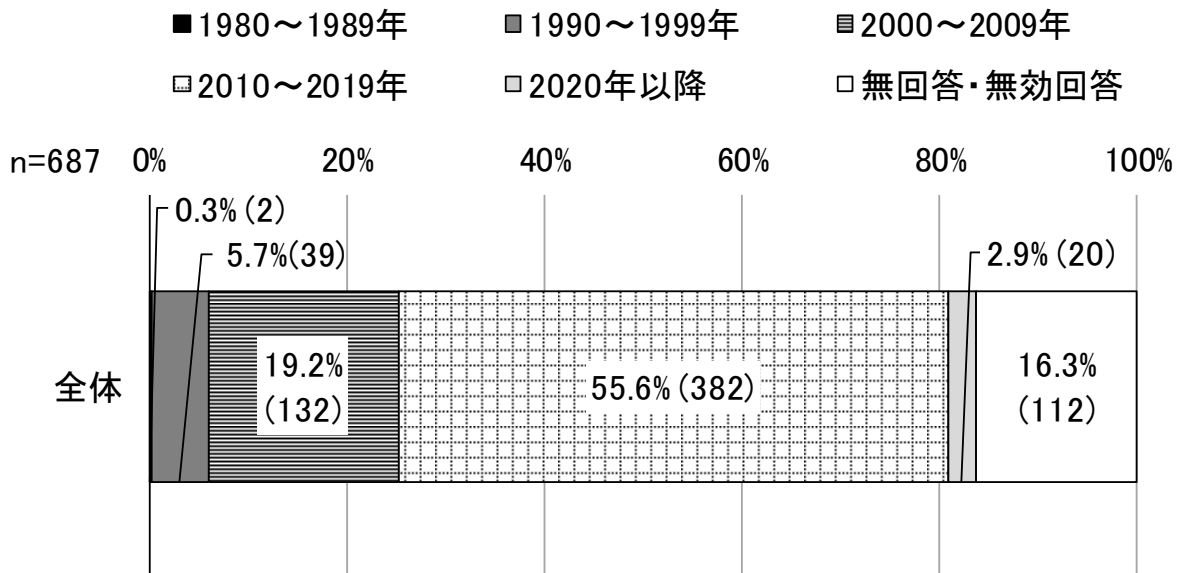
(3) 高年齢介護助手を現在雇用している施設 調査結果

P19～31 は問 7 において高年齢介護助手を「現在雇用している」と回答した n=687 を集計

高年齢介護助手の雇用時期は「2010年～2019年」が55.6%と最多であった。

2020年9月1日時点の「高年齢介護助手」の雇用は平均3.8人、「59歳以下の介護助手」は平均1.8人で、2017年から各年9月1日時点の人数を比較すると、極僅かではあるが雇用人数は増えていた。

図表 19 問 9 高年齢介護助手を雇用しはじめた時期



図表 20 問 8・問 11 各年 9 月 1 日時点の介護助手の人数

		2017年	2018年	2019年	2020年
(1) 高年齢介護助手	n	593	604	614	662
	平均	2.7人	3.0人	3.4人	3.8人
	最小値	0人	0人	0人	0人※
	最大値	28人	32人	30人	32人
	中央値	2人	2人	2人	3人
(2) 59歳以下の介護助手	n	598	605	615	633
	平均	1.3人	1.5人	1.7人	1.8人
	最小値	0人	0人	0人	0人
	最大値	41人	41人	41人	43人
	中央値	0人	1人	1人	1人

※無回答・無効回答を除いて集計

※2020年9月1日時点の高年齢介護助手の雇用0人は、2020年9月1日～調査回答までの間に雇用を開始したというケースが考えられる

図表 21 問 10 2020年9月1日時点の高年齢介護助手の賃金（時給換算）

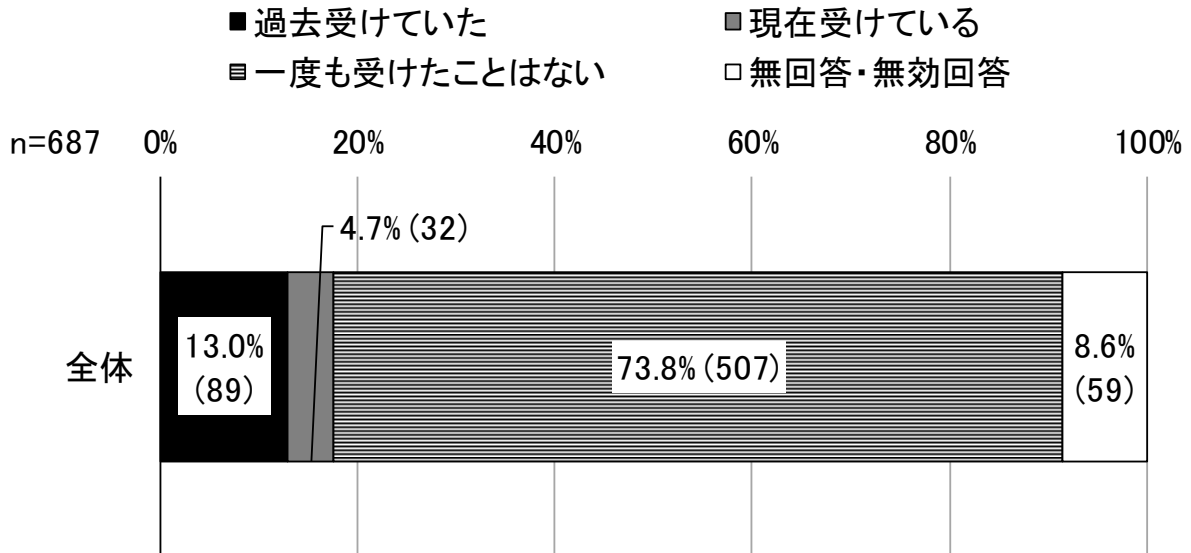
n=610	平均	最小値	最大値	中央値
賃金（時給換算）	923.5円	790円	1,666円	900円

※無回答・無効回答を除いて集計

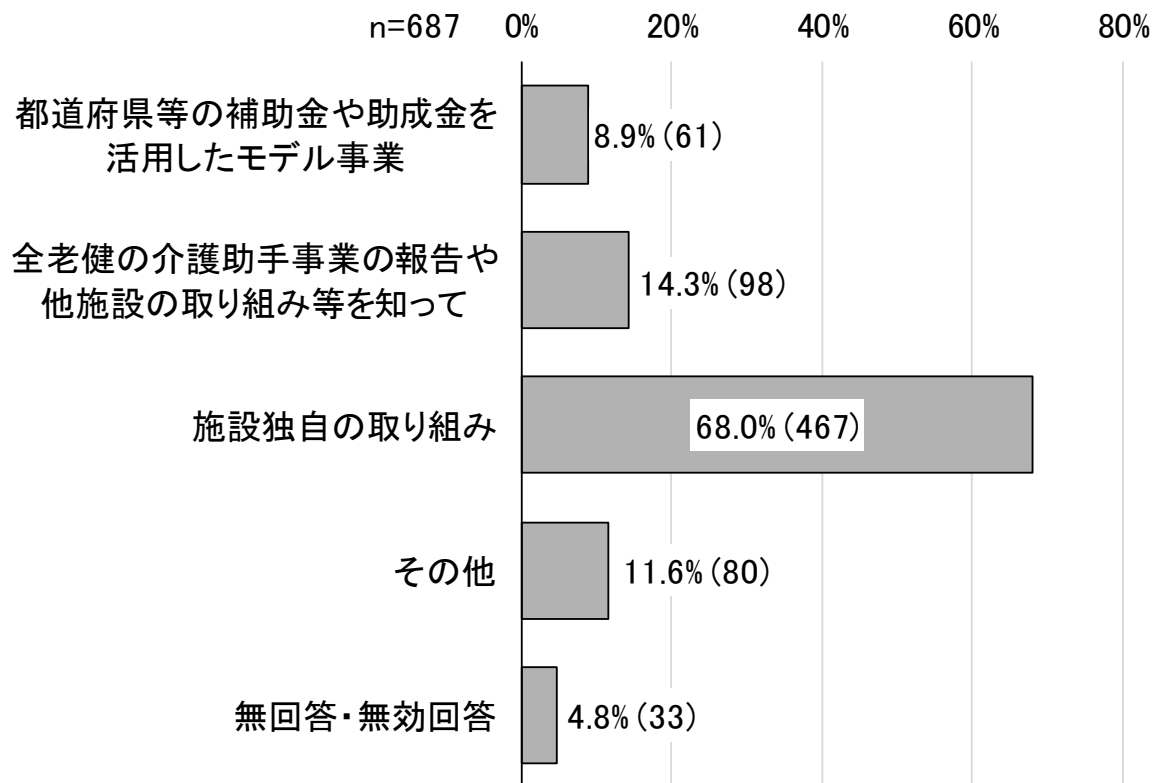
※賃金は地域差が非常に大きい点に留意が必要

高年齢介護助手雇用のための補助金／助成金等は「一度も受けたことはない」が73.8%と7割強を占めた。
 高年齢介護助手導入のきっかけは「施設独自の取り組み」が68.0%と最多であった。

図表 22 問 12 高年齢介護助手雇用のための補助金/助成金等の利用有無 単一回答



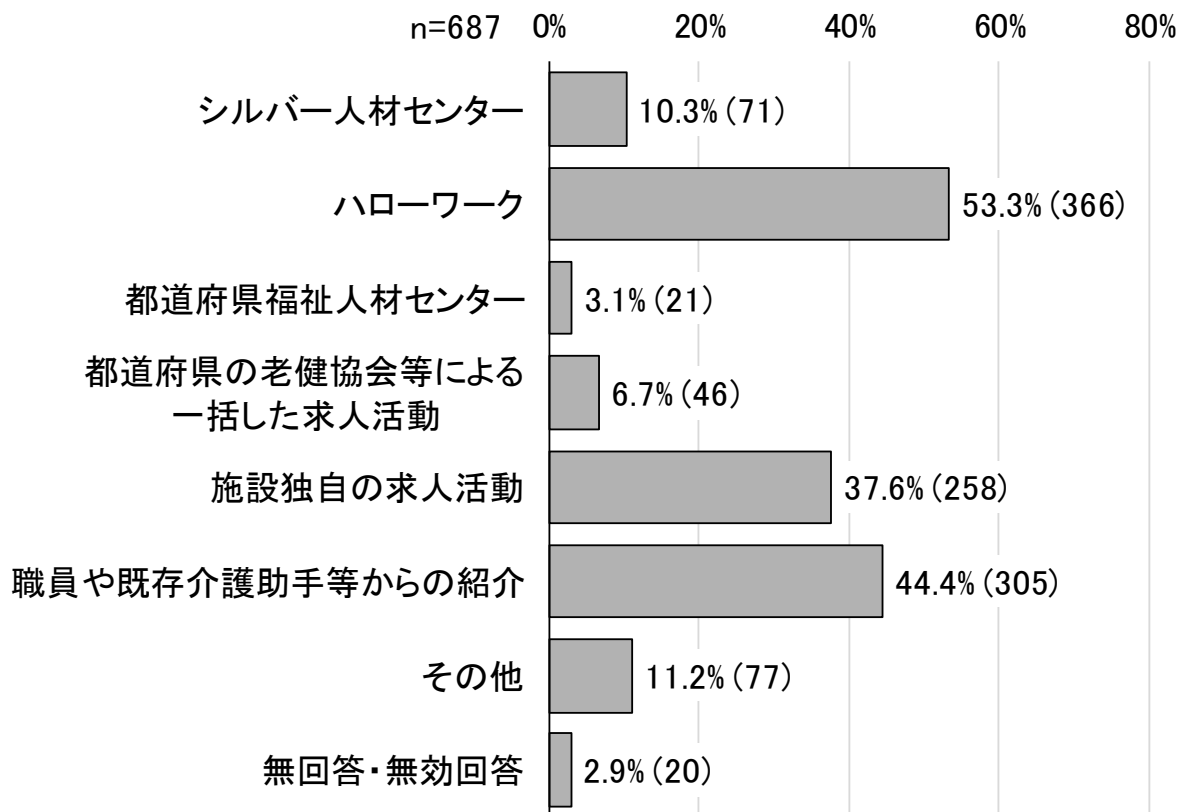
図表 23 問 13 高年齢介護助手導入のきっかけ 複数回答



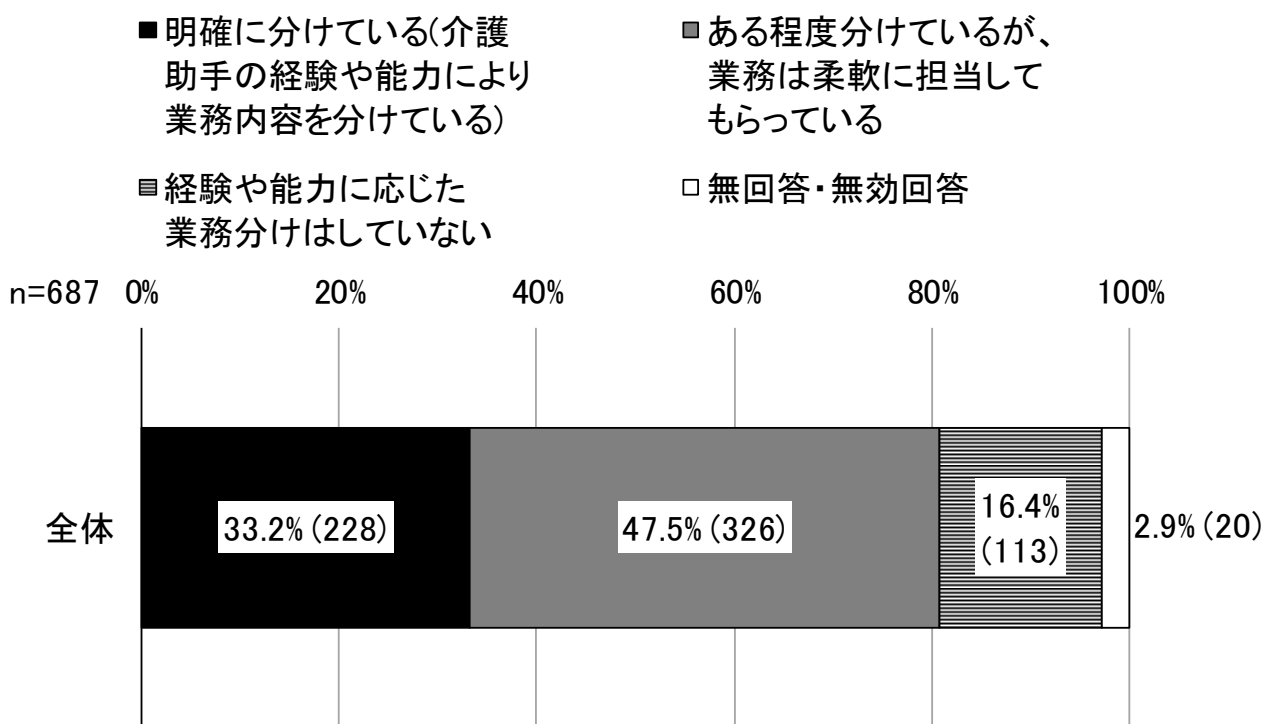
高年齢介護助手の募集方法は「ハローワーク」が 53.3%で最も多く、次いで「職員や既存介護助手等からの紹介」が 44.4%、「施設独自の求人活動」が 37.6%であった。

経験や能力に応じて、高年齢介護助手の業務内容を分けているかでは、「ある程度分けているが、業務は柔軟に担当してもらっている」が 47.5%、「明確に分けている（介護助手の経験や能力により業務内容を分けている）」が 33.2%となっていた。他方、「経験や能力に応じた業務分けはしていない」は 16.4%。

図表 24 問 14 高年齢介護助手の募集方法 複数回答

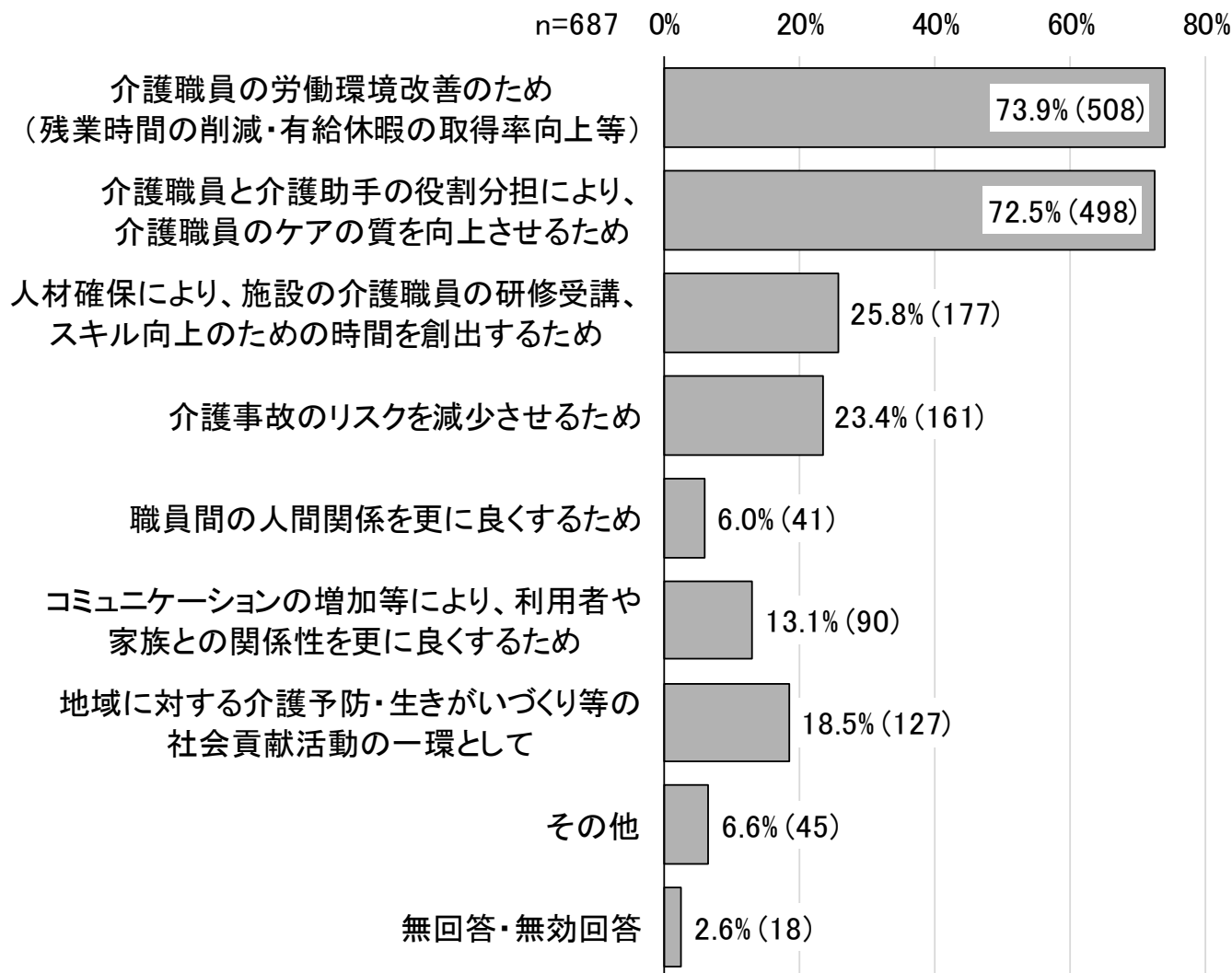


図表 25 問 15 経験・能力に応じて高年齢介護助手の業務内容を分けているか 単一回答



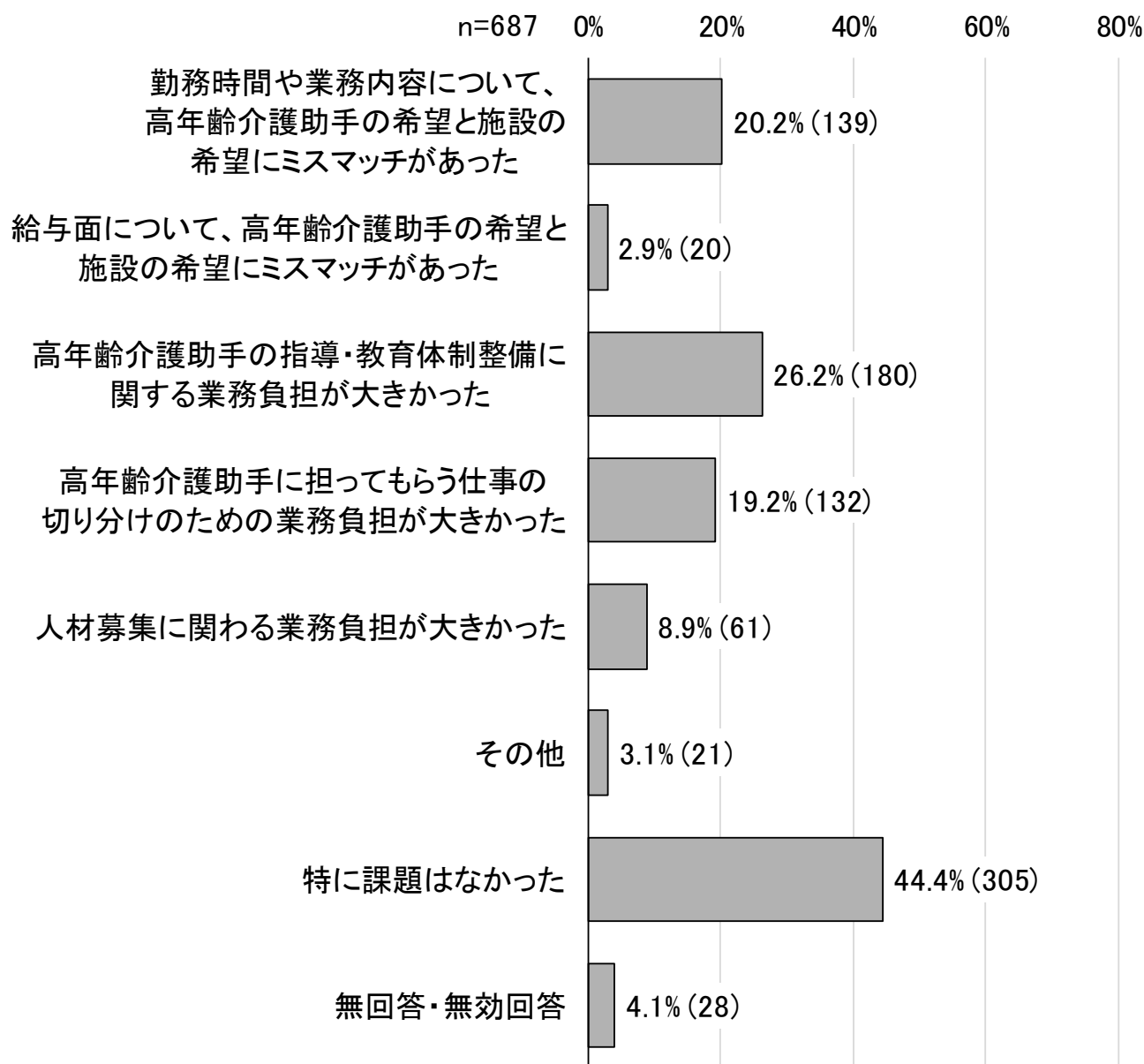
高年齢介護助手導入の理由は「介護職員の労働環境改善のため（残業時間の削減・有給休暇の取得率向上等）」「介護職員と介護助手の役割分担により、介護職員のケアの質を向上させるため」がそれぞれ73.9%、72.5%と7割を超えていた。

図表 26 問 16 高年齢介護助手導入の理由 複数回答



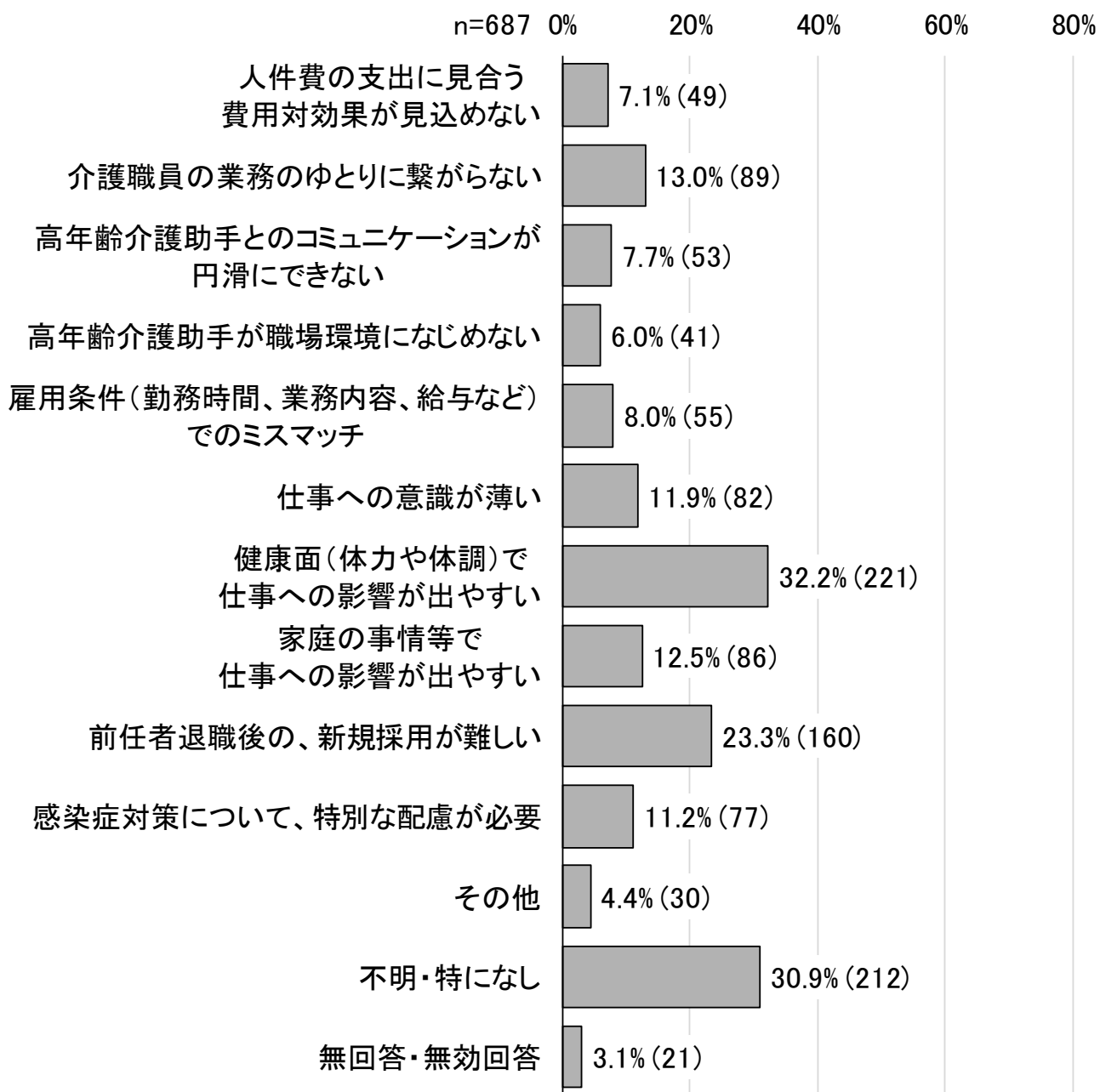
高年齢介護助手導入当初の課題について、「特に課題はなかった」が最も多く 44.4%、次いで多かったのが、「高年齢介護助手の指導・教育体制整備に関する業務負担が大きかった」26.2%、「勤務時間や業務内容について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチがあった」20.2%の順であった。

図表 27 問 17 高年齢介護助手導入当初の課題 複数回答



高年齢介護助手雇用後の課題は「健康面（体力や体調）で仕事への影響が出やすい」32.2%、「前任者退職後の、新規採用が難しい」23.3%が挙げられているものの、「不明・特になし」が30.9%となっていた。

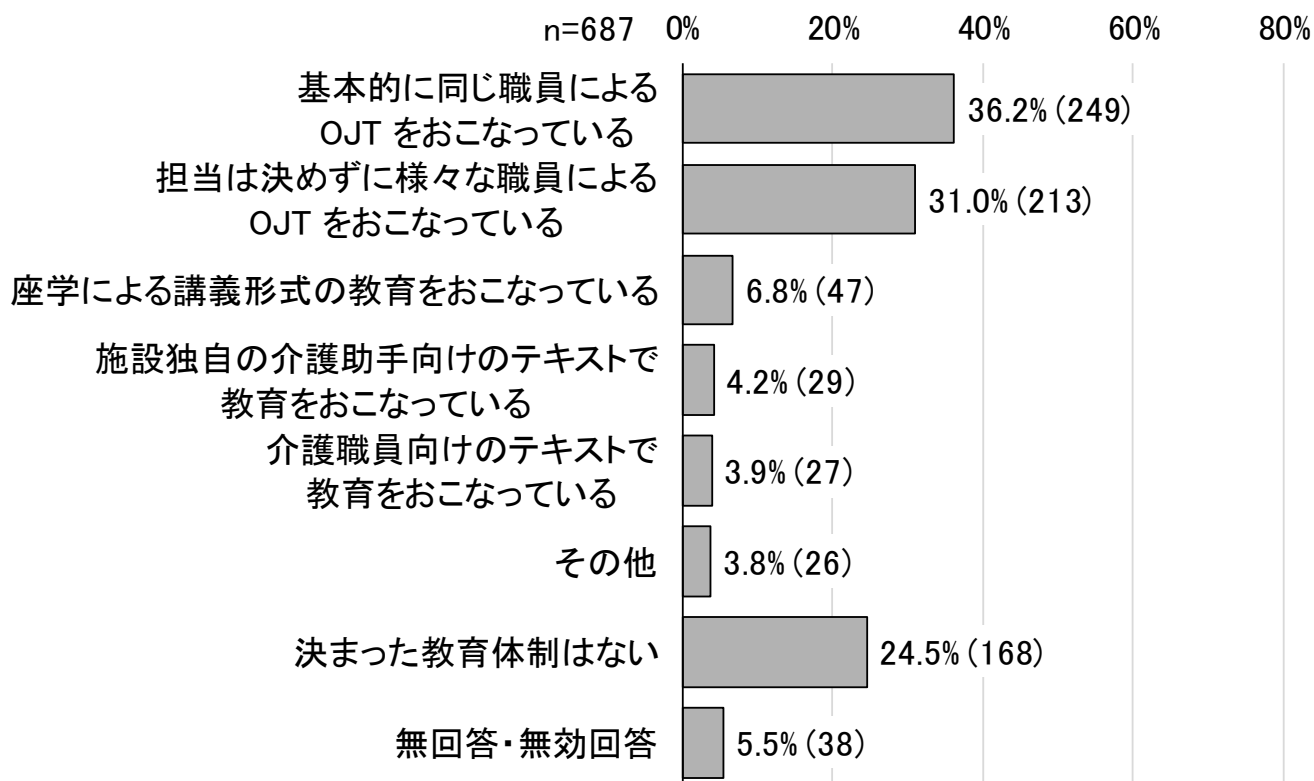
図表 28 問 18 高年齢介護助手雇用後の課題 複数回答



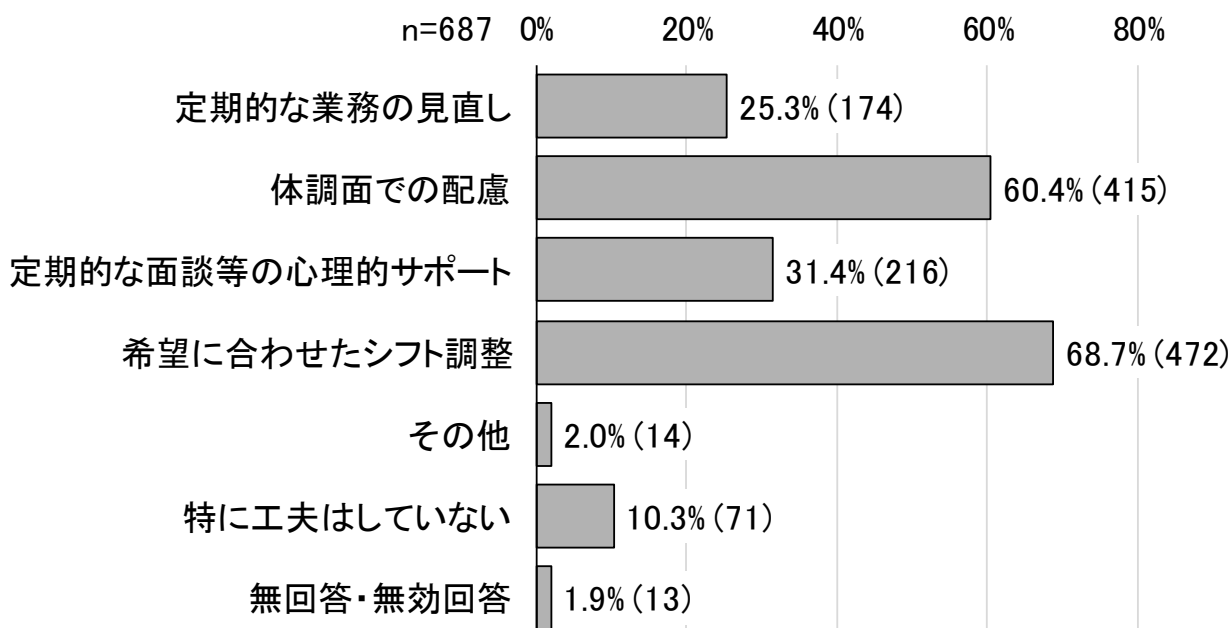
高年齢介護助手に対する教育体制は「基本的に同じ職員による OJT をおこなっている」36.2%、「担当は決めずに様々な職員による OJT をおこなっている」31.0%、「決まった教育体制はない」24.5%であった。

高年齢介護助手を継続して雇用するための工夫は「希望に合わせたシフト調整」が68.7%と最多、次いで「体調面での配慮」が60.4%、「定期的な面談等の心理的サポート」が31.4%と続き、「特に工夫はしていない」は10.3%であった。

図表 29 問 19 高年齢介護助手に対する教育体制 複数回答

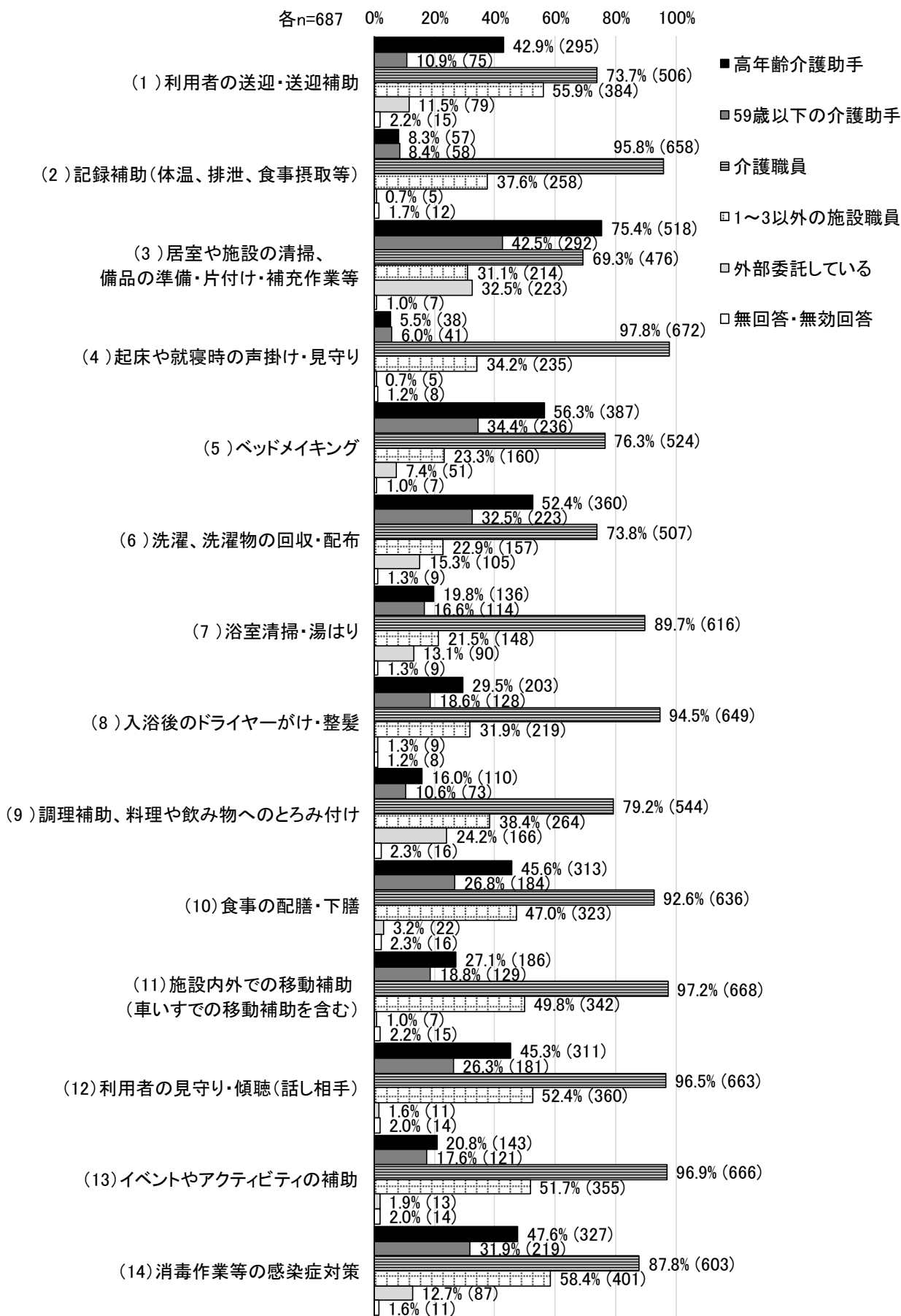


図表 30 問 20 高年齢介護助手継続雇用のための工夫 複数回答



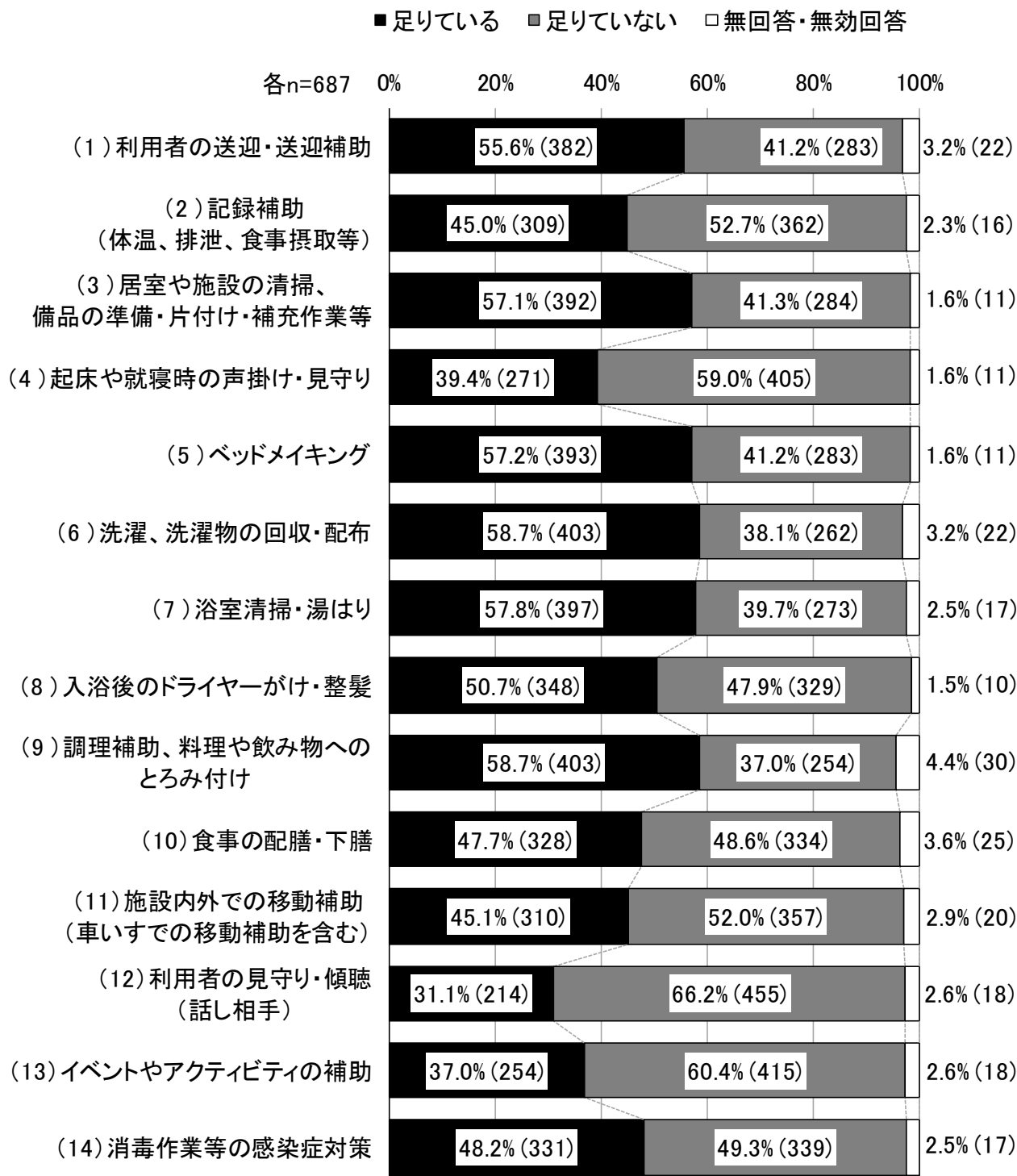
業務別担当者について、「高年齢介護助手」が担当している割合が最も高かったのは「居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等」で 75.4%、次いで多かったのは「ベッドメイキング」56.3%、「洗濯、洗濯物の回収・配布」52.4%であった。

図表 31 問 21① 業務担当者 複数回答



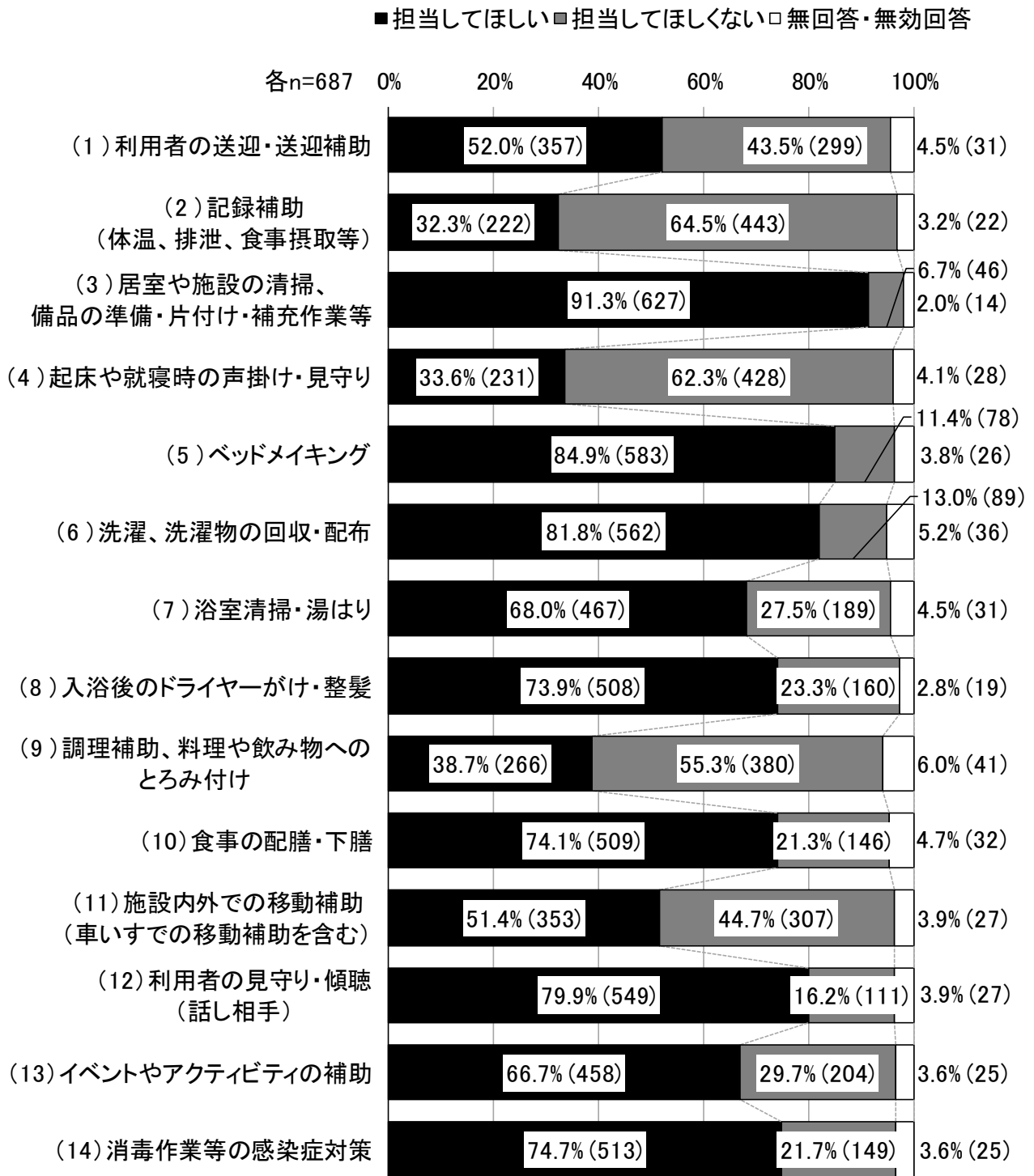
業務別 人手の状況について、「記録補助（体温、排泄、食事摂取等）」「起床や就寝時の声掛け・見守り」「施設内外での移動補助（車いすでの移動補助を含む）」「利用者の見守り・傾聴（話し相手）」「イベントやアクティビティの補助」では「足りていない」が半数以上を占めた。

図表 32 問 21② 業務別 人手の状況 単一回答



業務別高年齢介護助手への担当意向について、14業務中11業務で「担当してほしい」が半数以上を占めており、特に「居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等」は90%以上、「ベッドメイキング」「洗濯、洗濯物の回収・配布」は80%以上が「担当してほしい」と回答していた。

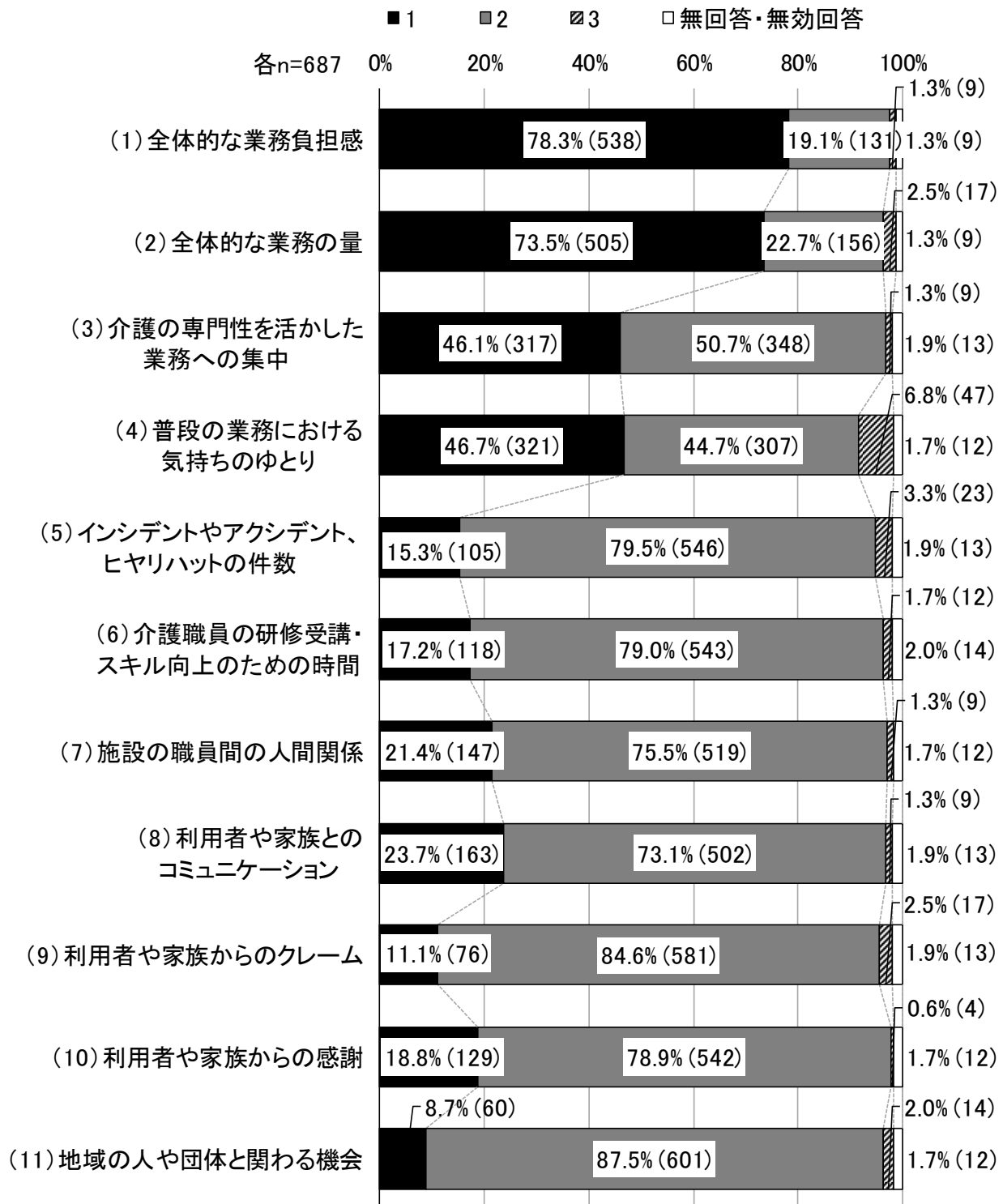
図表 33 問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 単一回答



高年齢介護助手の存在による影響について、プラスに働く影響を「1」、影響なしを「2」、マイナスに働く影響を「3」として、図表 34 に示す。選択肢は下部の注記を参照されたい。

「全体的な業務負担感」「全体的な業務の量」はプラスの影響（減少していると思う）と回答した割合が、それぞれ 78.3%、73.5%と多かった。また、マイナスに働く影響があったと回答した割合は総じて少ない。

図表 34 問 22 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答

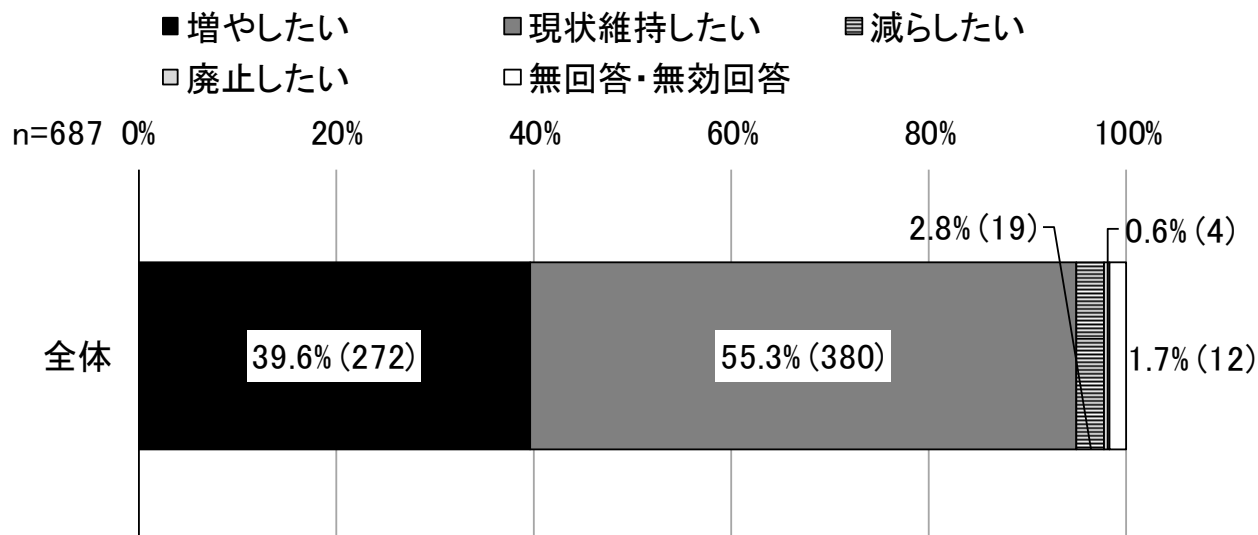


※選択肢

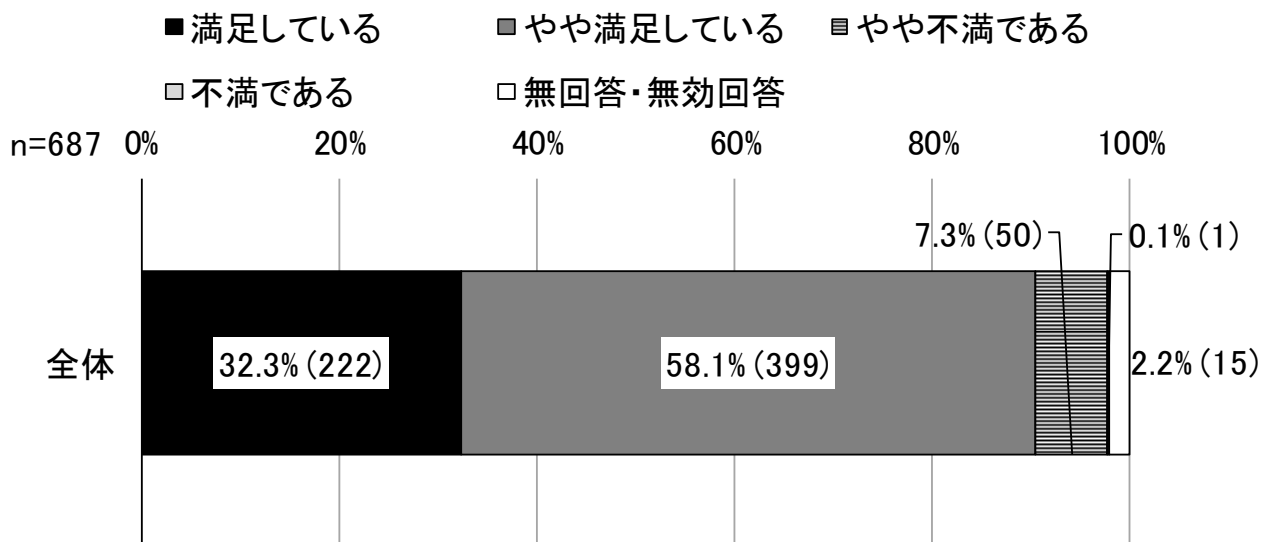
- (1) (2) (5) (9)・・・1:減少していると思う 2:変わらないと思う 3:増加していると思う
- (3)・・・1:高まっていると思う 2:変わらないと思う 3:低まっていると思う
- (4) (6) (8) (10) (11)・・・1:増加していると思う 2:変わらないと思う 3:減少していると思う
- (7)・・・1:良好になっていると思う 2:変わらないと思う 3:悪化していると思う

高年齢介護助手雇用に対する今後の意向について、「現状維持したい」が55.3%、「増やしたい」が39.6%であった。また、高年齢介護助手雇用に対する満足度は「満足している」が32.3%、「やや満足している」が58.1%で、合わせると満足しているという回答が9割を超えた。

図表 35 問 23 高年齢介護助手の雇用人数に対する今後の意向 単一回答



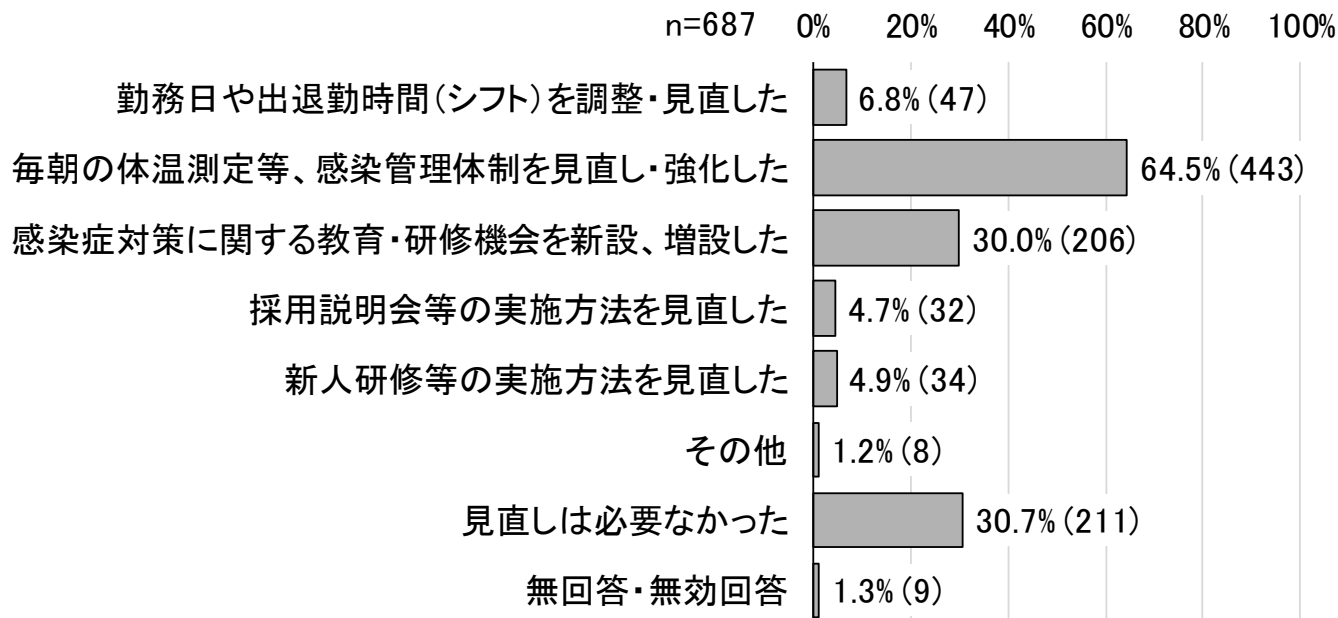
図表 36 問 24 高年齢介護助手雇用に対する満足度 単一回答



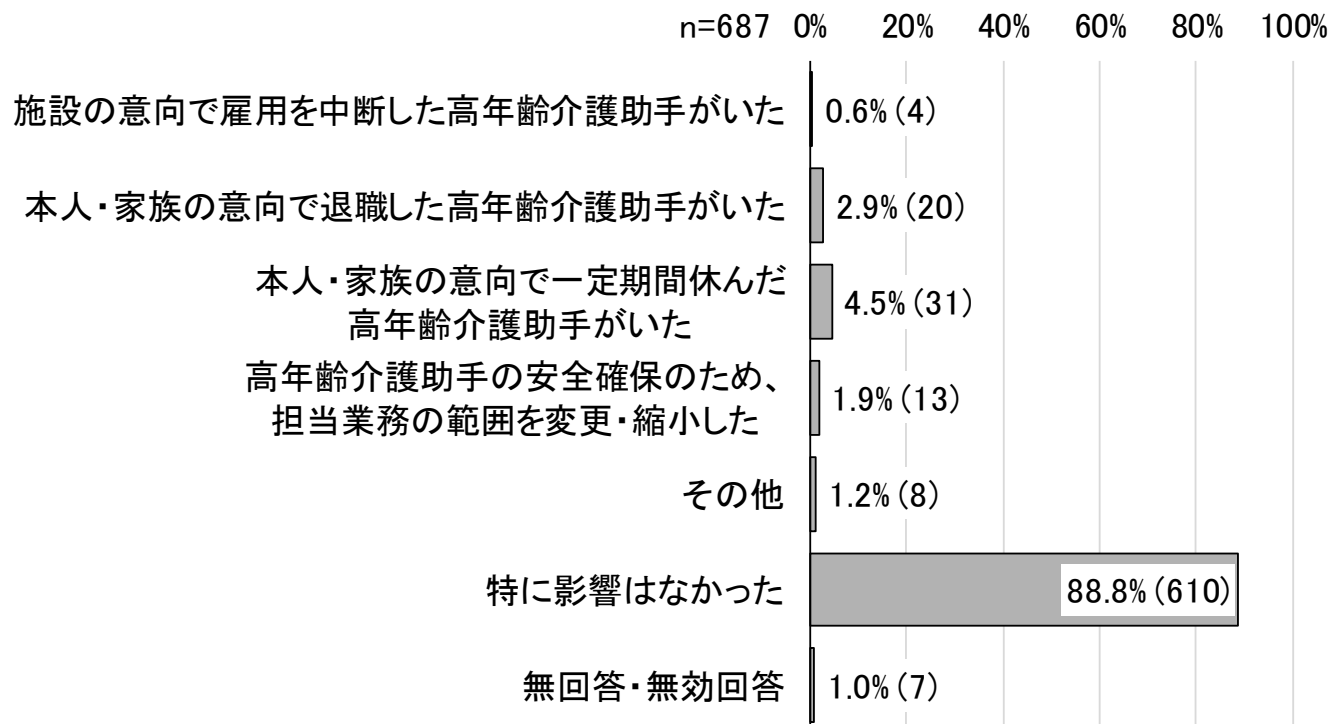
COVID-19 対策としての高年齢介護助手勤務体制等の見直しについて、「毎朝の体温測定等、感染管理体制を見直し・強化した」が 64.5%と最多、「感染症対策に関する教育・研修機会を新設、増設した」が 30.0%であった。他方、「見直しは必要なかった」が 30.7%であった。

COVID-19 感染拡大による高年齢介護助手雇用への影響について、「特に影響はなかった」が 88.8%であった。

図表 37 問 25 COVID-19 対策としての高年齢介護助手の勤務体制等の見直し 複数回答



図表 38 問 26 COVID-19 感染拡大による高年齢介護助手雇用への影響 複数回答



(4) 高年齢介護助手を現在雇用していないが、過去に雇用していた施設 調査結果

P33～41 は問 7 において高年齢介護助手を「現在雇用していないが、過去に雇用していた」と回答した n=40 を集計

※サンプル数僅少の為、参考値として留意されたい

高年齢介護助手の雇用期間は平均 3.9 年、最大で 17 年であった。

2017 年～2019 年の各年 9 月 1 日時点の高年齢介護助手は平均 0.7 人であった。

高年齢介護助手雇用のための補助金／助成金等の利用有無は「受けたことはない」が 82.5%を占めた。

図表 39 問 27 高年齢介護助手の雇用期間

n=33	平均	最小値	最大値	中央値
雇用年数	3.9 年	0 年	17 年	3.3 年

※無回答・無効回答を除いて集計

図表 40 問 29 各年 9 月 1 日時点の介護助手の雇用人数

		2017 年	2018 年	2019 年
(1)高年齢介護助手	n	34	35	33
	平均	0.7 人	0.7 人	0.7 人
	最小値	0 人	0 人	0 人
	最大値	4 人	3 人	5 人
	中央値	0 人	0 人	0 人
(2)59 歳以下の介護助手	n	37	37	36
	平均	0.6 人	0.7 人	0.8 人
	最小値	0 人	0 人	0 人
	最大値	6 人	6 人	7 人
	中央値	0 人	0 人	0 人

※無回答・無効回答を除いて集計

図表 41 問 28 最後に雇用していた年度の高年齢介護助手の賃金（時給換算）

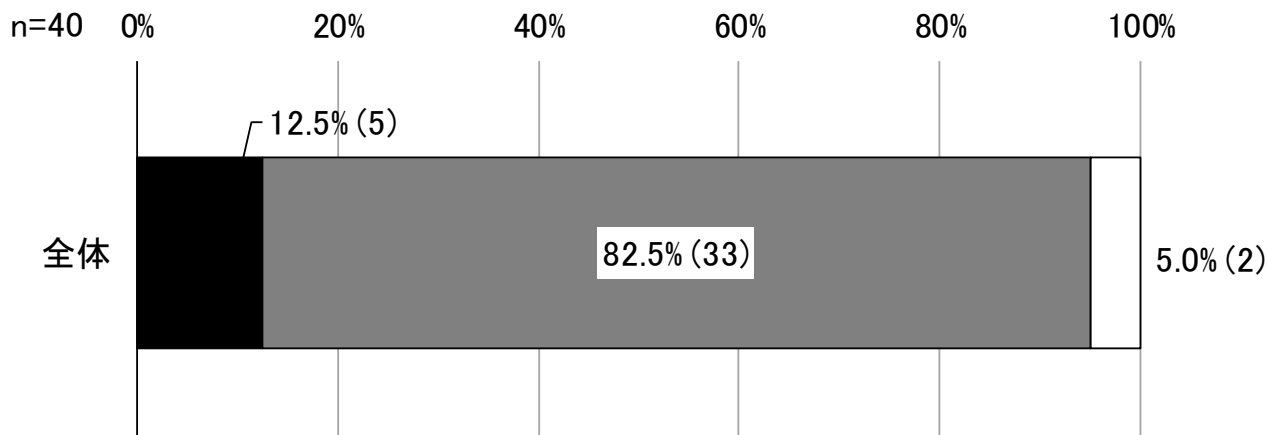
n=37	平均	最小値	最大値	中央値
賃金（時給換算）	906.6 円	750 円	1,333 円	893 円

※無回答・無効回答を除いて集計

※賃金は地域差が非常に大きい点に留意が必要

図表 42 問 30 高年齢介護助手雇用のための補助金／助成金の利用有無 単一回答

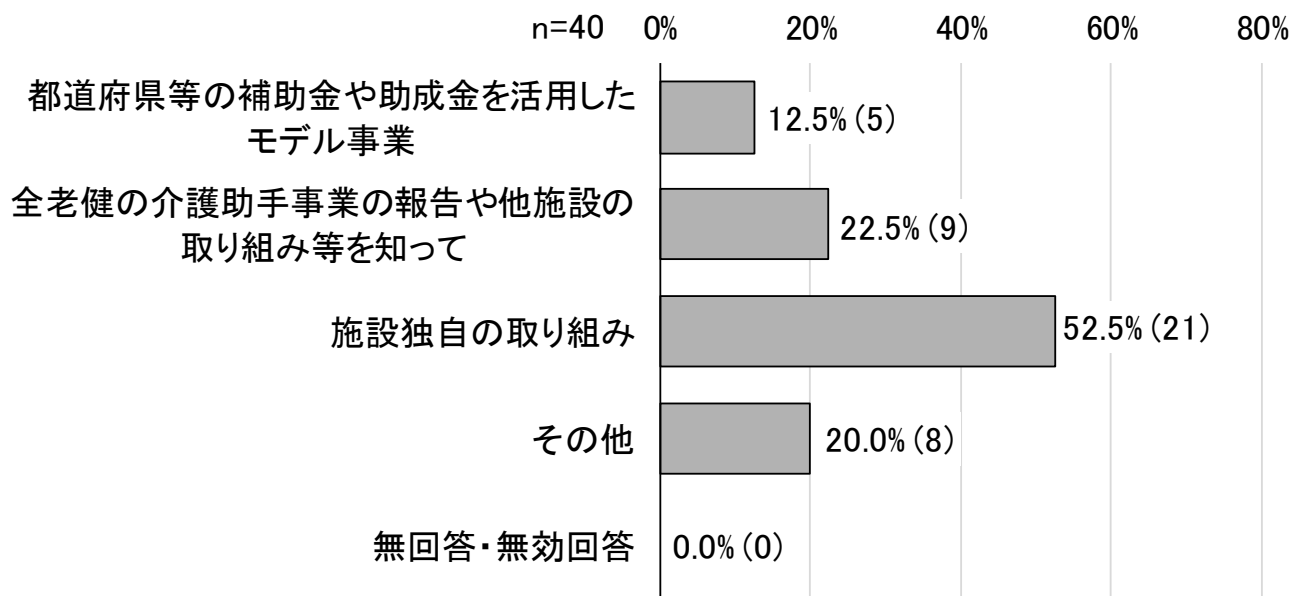
■受けていた ■受けたことはない □無回答・無効回答



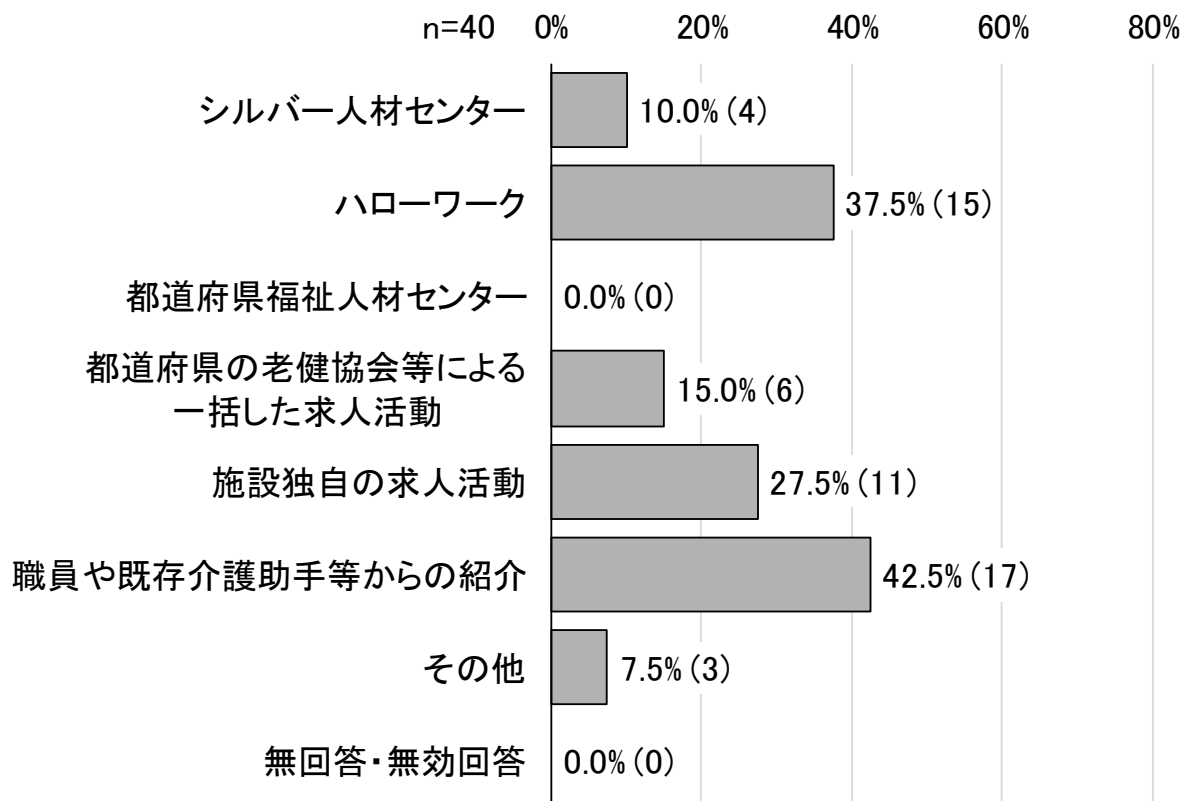
高齢介護助手導入のきっかけは「施設独自の取り組み」が 52.5%と最多、次いで「全老健の介護助手事業の報告や他施設の取り組み等を知って」が 22.5%であった。

高齢介護助手の募集方法は「職員や既存介護助手等からの紹介」が最も多く 42.5%、次いで「ハローワーク」37.5%、「施設独自の求人活動」27.5%であった。

図表 43 問 31 高齢介護助手導入のきっかけ 複数回答

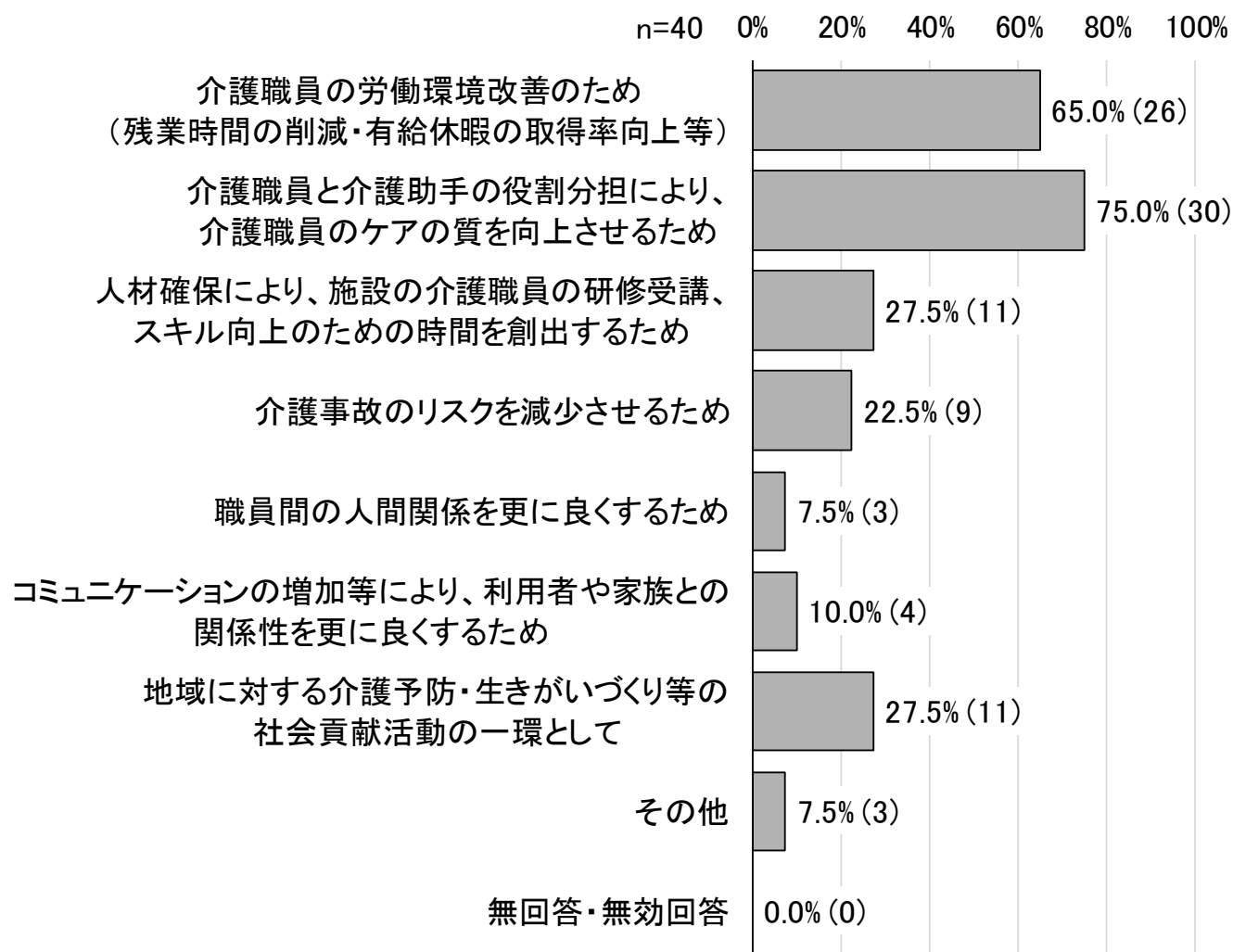


図表 44 問 32 高齢介護助手の募集方法 複数回答



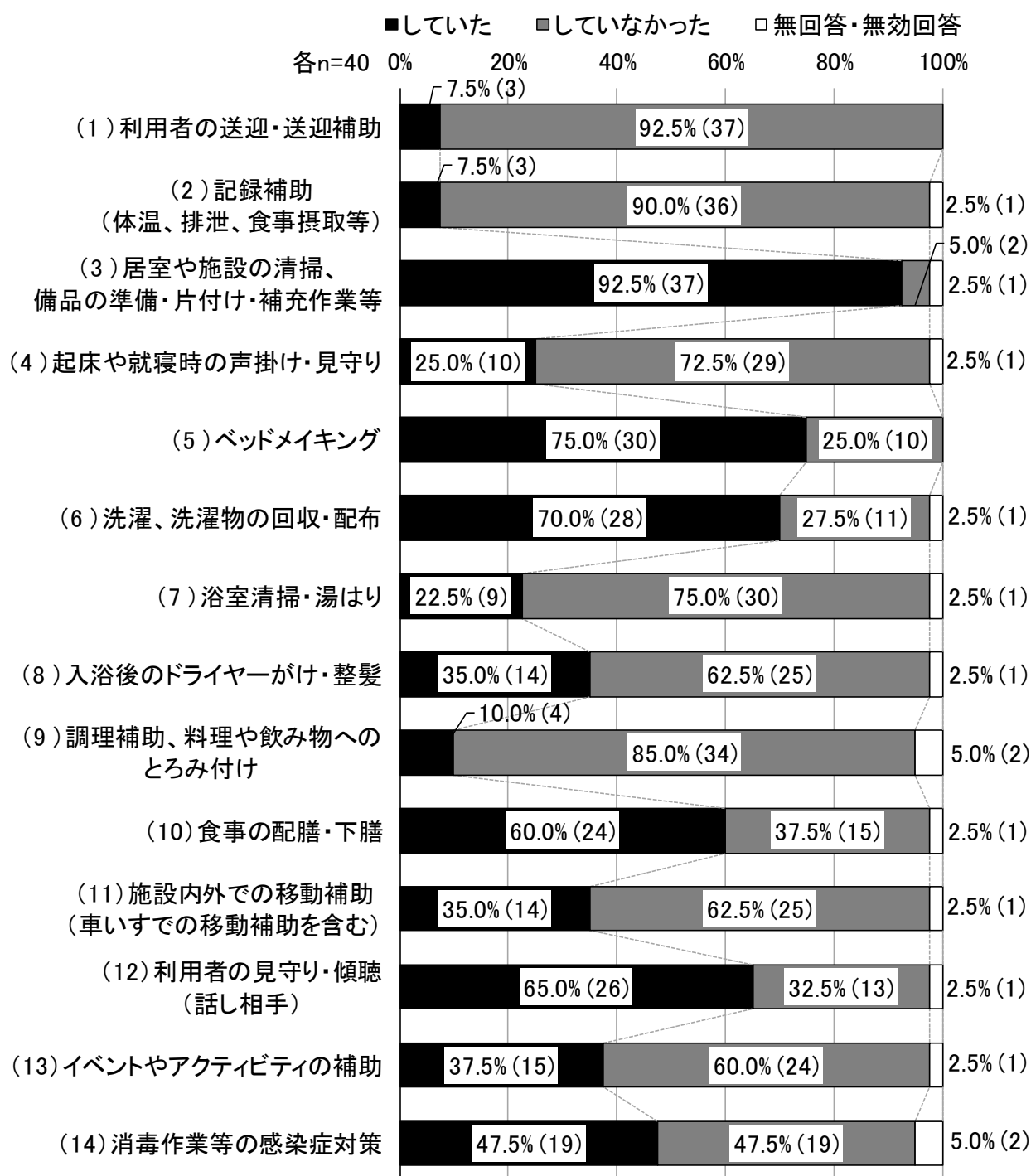
高年齢介護助手導入の理由は「介護職員と介護助手の役割分担により、介護職員のケアの質を向上させるため」が最も多く 75.0%、次いで「介護職員の労働環境改善のため（残業時間の削減・有給休暇の取得率向上等）」が 65.0%であった。

図表 45 問 33 高年齢介護助手導入の理由 複数回答



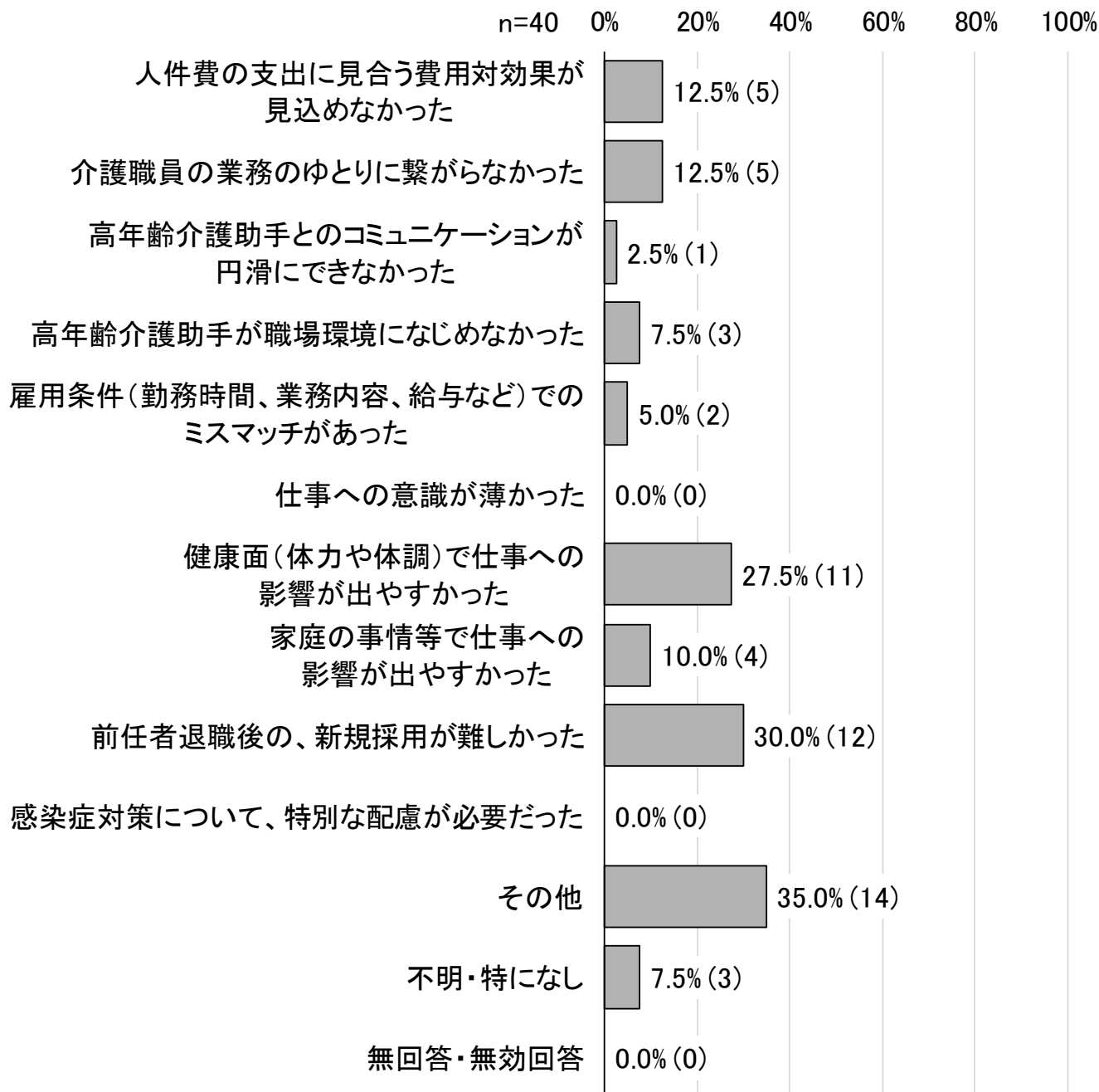
雇用当時の高年齢介護助手の従事業務は「居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等」が92.5%と最多、次いで「ベッドメイキング」が75.0%、「洗濯、洗濯物の回収・配布」が70.0%であった。

図表 46 問 34 雇用当時の高年齢介護助手の従事業務 単一回答



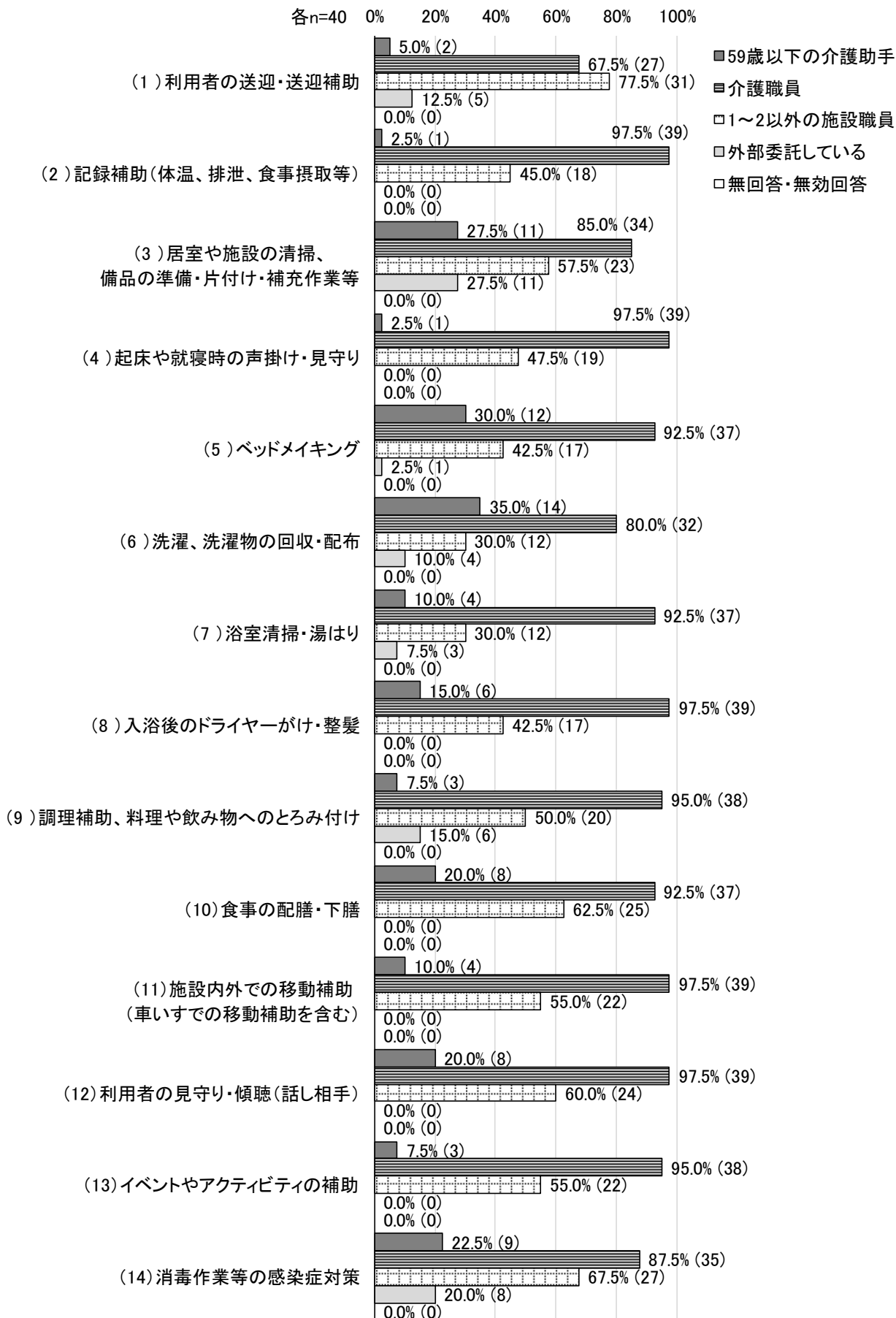
高年齢介護助手の雇用を止めた理由は「前任者退職後の、新規採用が難しかった」が30.0%、「健康面（体力や体調）で仕事への影響が出やすかった」が27.5%と比較的多かった。

図表 47 問 35 高年齢介護助手の雇用を止めた理由 複数回答



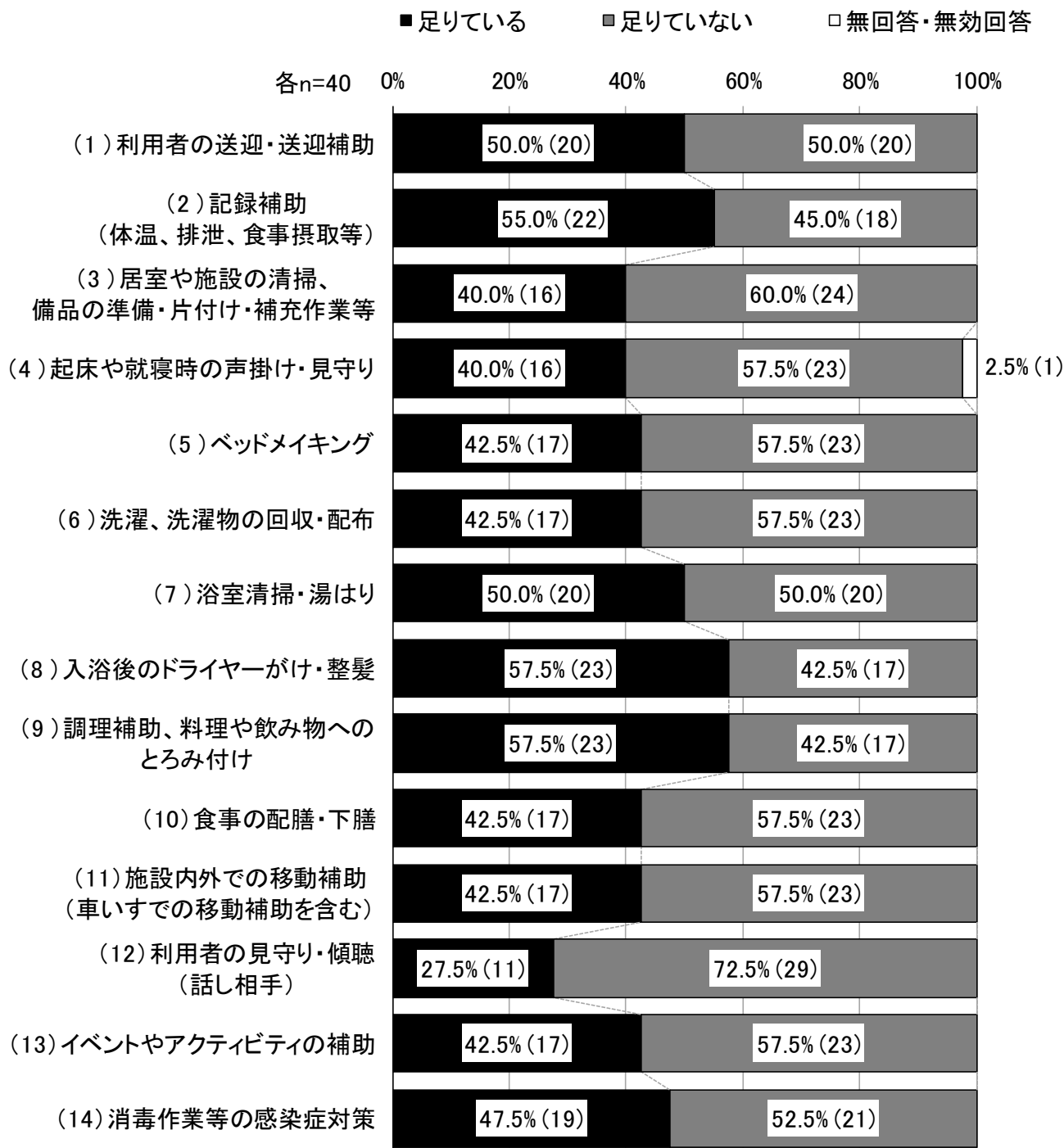
各業務の現在の担当者は、全体的に「介護職員」が担当している割合が高く「利用者の送迎・送迎補助」以外は80%以上であった。「59歳以下の介護助手」が担当している割合が比較的高かったのは「ベッドメイキング」「洗濯、洗濯物の回収・配布」でそれぞれ30.0%、35.0%であった。

図表 48 問 36① 現在の業務担当者 複数回答



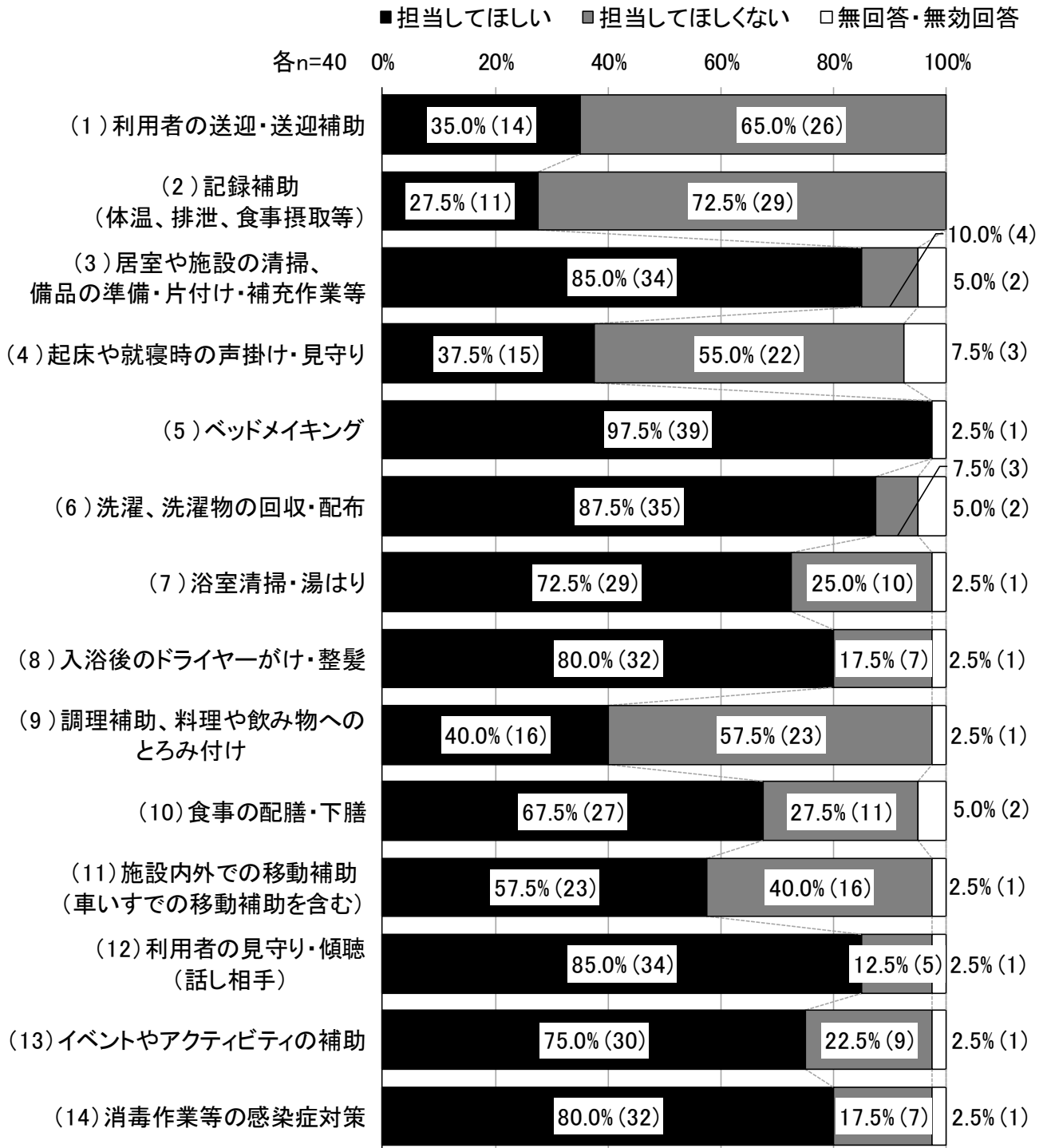
業務別の人手の状況について、「足りていない」が半数を超えたのは14業務のうち、「居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等」「起床や就寝時の声掛け・見守り」「ベッドメイキング」「洗濯、洗濯物の回収・配布」「食事の配膳・下膳」「施設内外での移動補助（車いすでの移動補助を含む）」「利用者の見守り・傾聴（話し相手）」「イベントやアクティビティの補助」「消毒作業等の感染症対策」の9業務。

図表 49 問 36② 業務別 人手の状況 単一回答



(再び雇用した場合)業務別の高年齢介護助手への担当意向について、14業務中10業務で過半数が「担当してほしい」と回答し、最も多い「ベッドメイキング」では「担当してほしい」が97.5%を占めた。

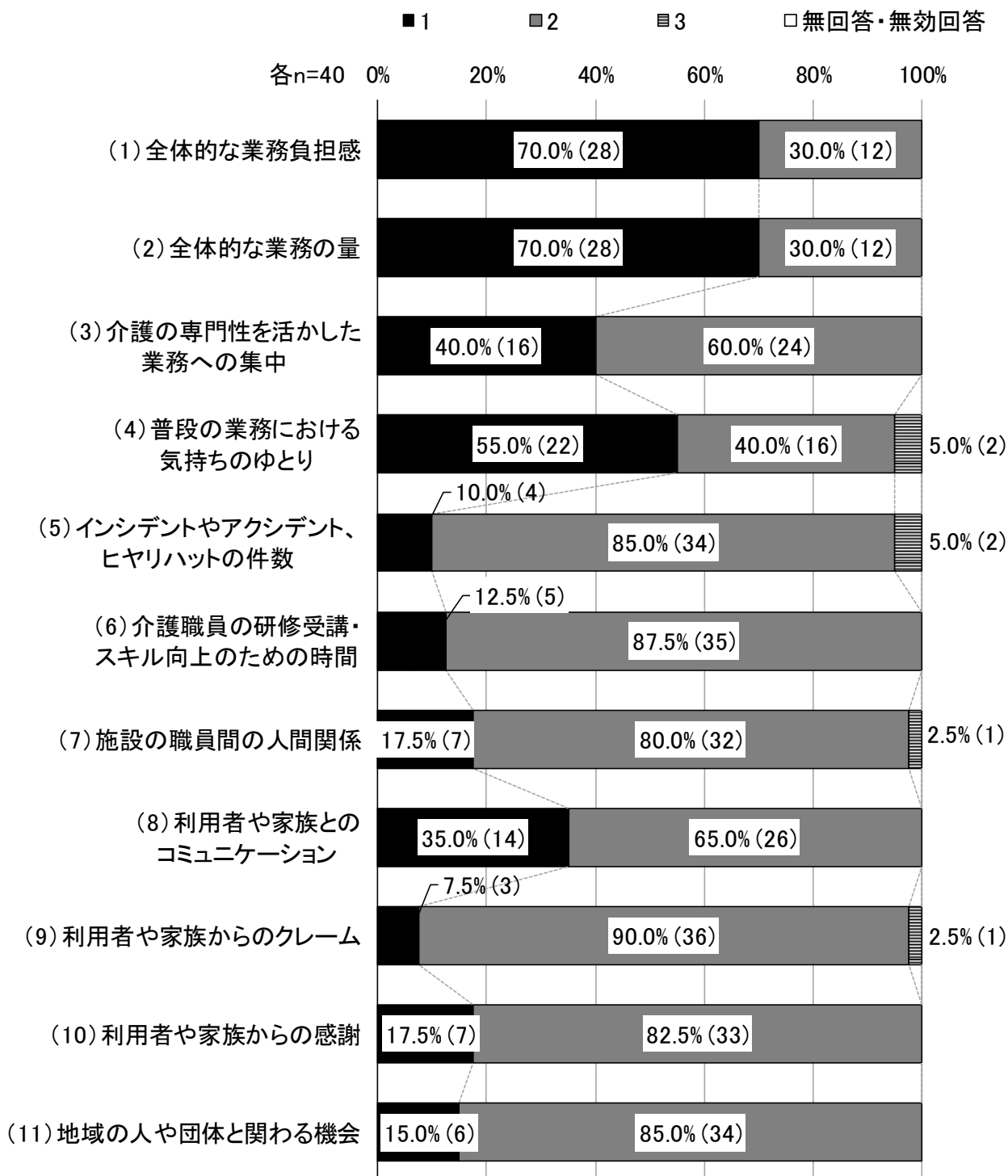
図表 50 問 36③ (再び雇用した場合)業務別 高年齢介護助手 担当意向 単一回答



高齢介護助手雇用当時の影響について、プラスに働く影響を「1」、影響なしを「2」、マイナスに働く影響を「3」として、図表 51 に示す。選択肢は下部の注記を参照されたい。

「全体的な業務負担感」「全体的な業務の量」はプラスに働く影響があった（減少していたと思う）と回答した割合が、ともに 70.0%と多かった。また、マイナスに働く影響があったと回答した割合は総じて少なかった。

図表 51 問 37 高齢介護助手雇用当時 高齢介護助手による影響 単一回答



※選択肢

(1) (2) (5) (9)・・・1:減少していたと思う 2:変わらなかったと思う 3:増加していたと思う

(3)・・・1:高まっていたと思う 2:変わらなかったと思う 3:低まっていたと思う

(4) (6) (8) (10) (11)・・・1:増加していたと思う 2:変わらなかったと思う 3:減少していたと思う

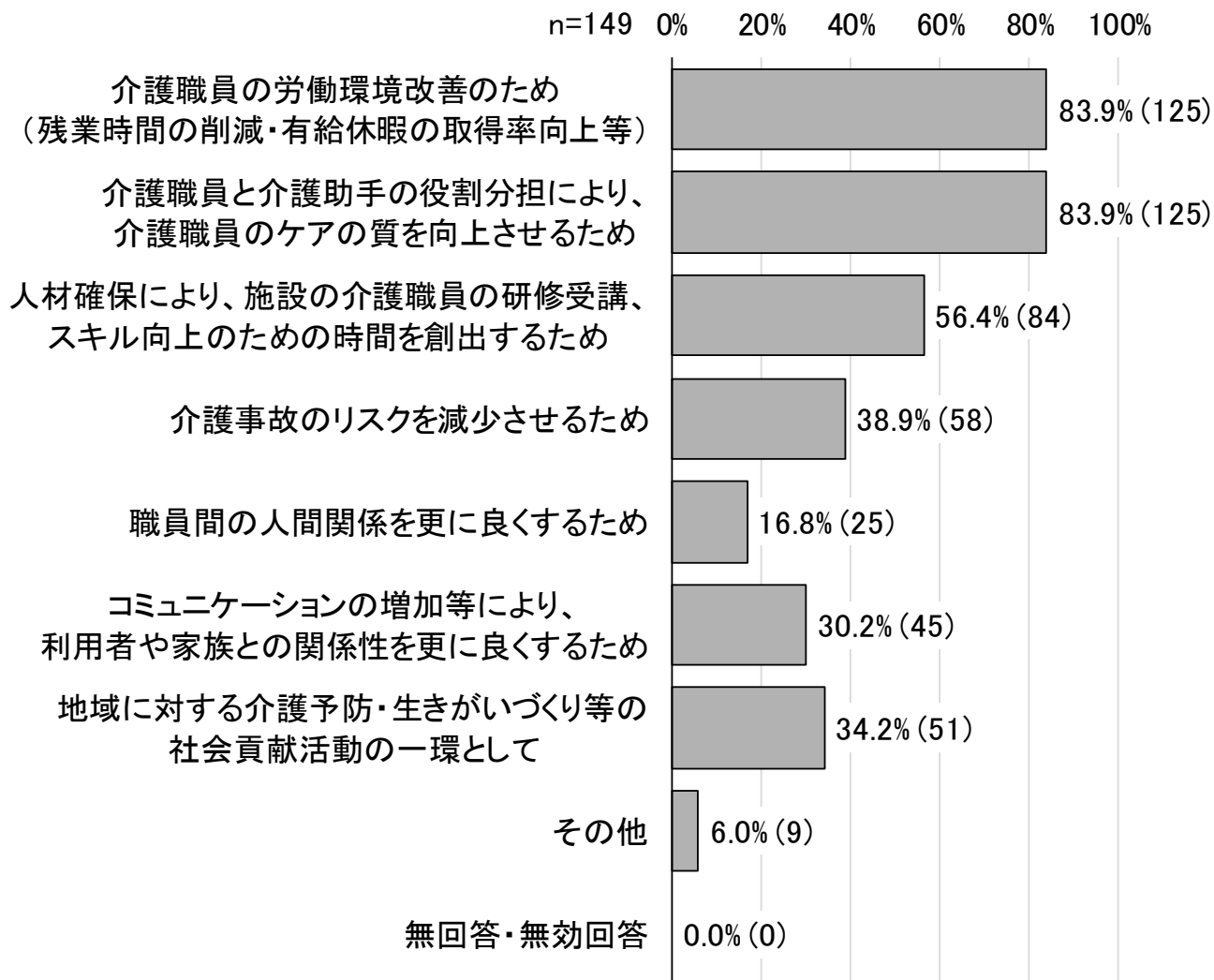
(7)・・・1:良好になっていたと思う 2:変わらなかったと思う 3:悪化していたと思う

(5) 高年齢介護助手を現在雇用していないが、今後雇用を検討している施設 調査結果

P43～47 は問 7 において高年齢介護助手を「現在雇用していないが、今後雇用を検討している」と回答した
n=149 を集計

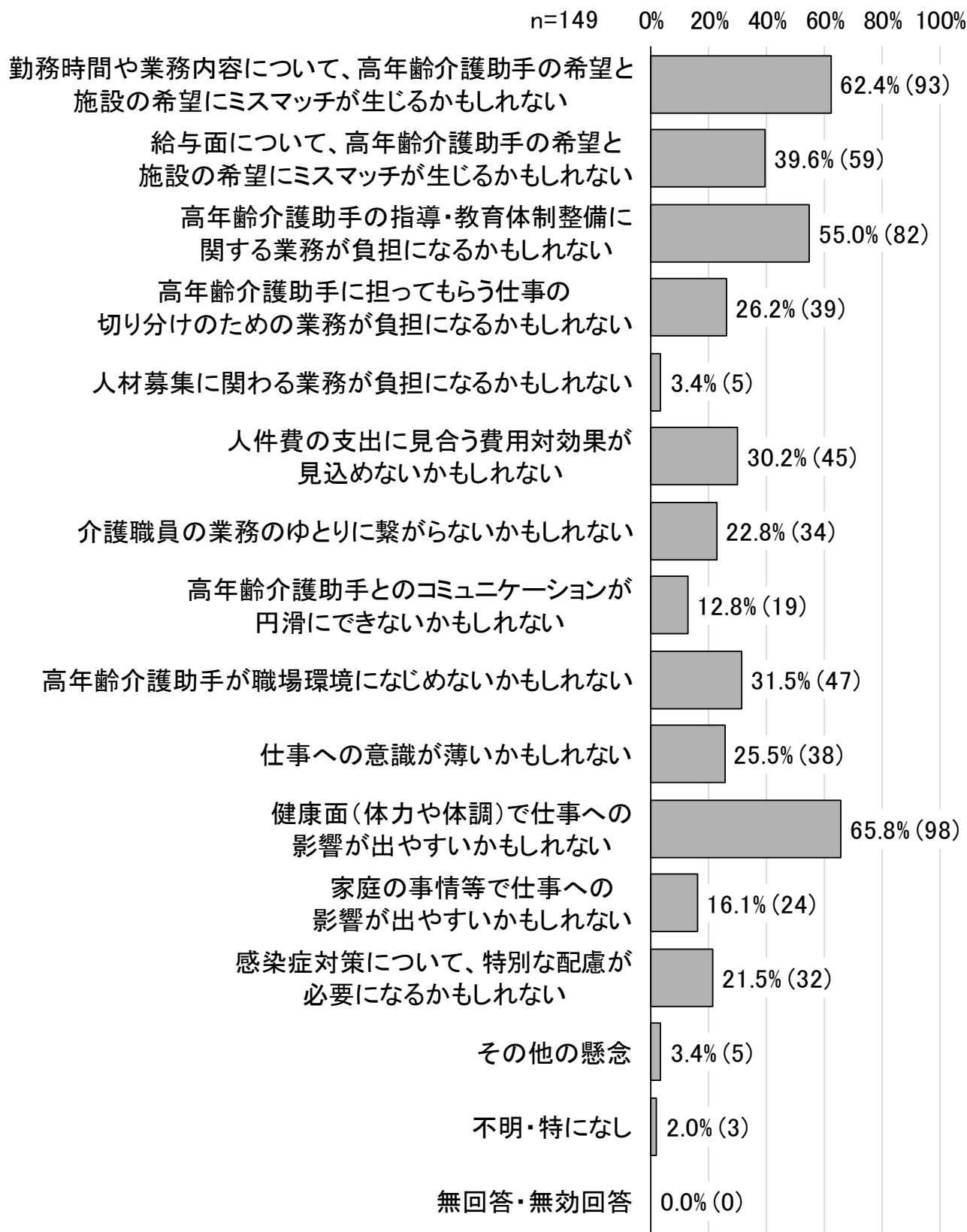
高年齢介護助手雇用の検討理由は、「介護職員の労働環境改善のため（残業時間の削減・有給休暇の取得率向上等）」「介護職員と介護助手の役割分担により、介護職員のケアの質を向上させるため」が、ともに83.9%と最多、次いで「人材確保により、施設の介護職員の研修受講、スキル向上のための時間を創出するため」が56.4%であった

図表 52 問 38 高年齢介護助手雇用の検討理由 複数回答



高年齢介護助手雇用に対する懸念点は、多いものから順に「健康面（体力や体調）で仕事への影響が出やすいかもしれない」65.8%、「勤務時間や業務内容について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチが生じるかもしれない」62.4%、「高年齢介護助手の指導・教育体制整備に関する業務が負担になるかもしれない」55.0%であった。

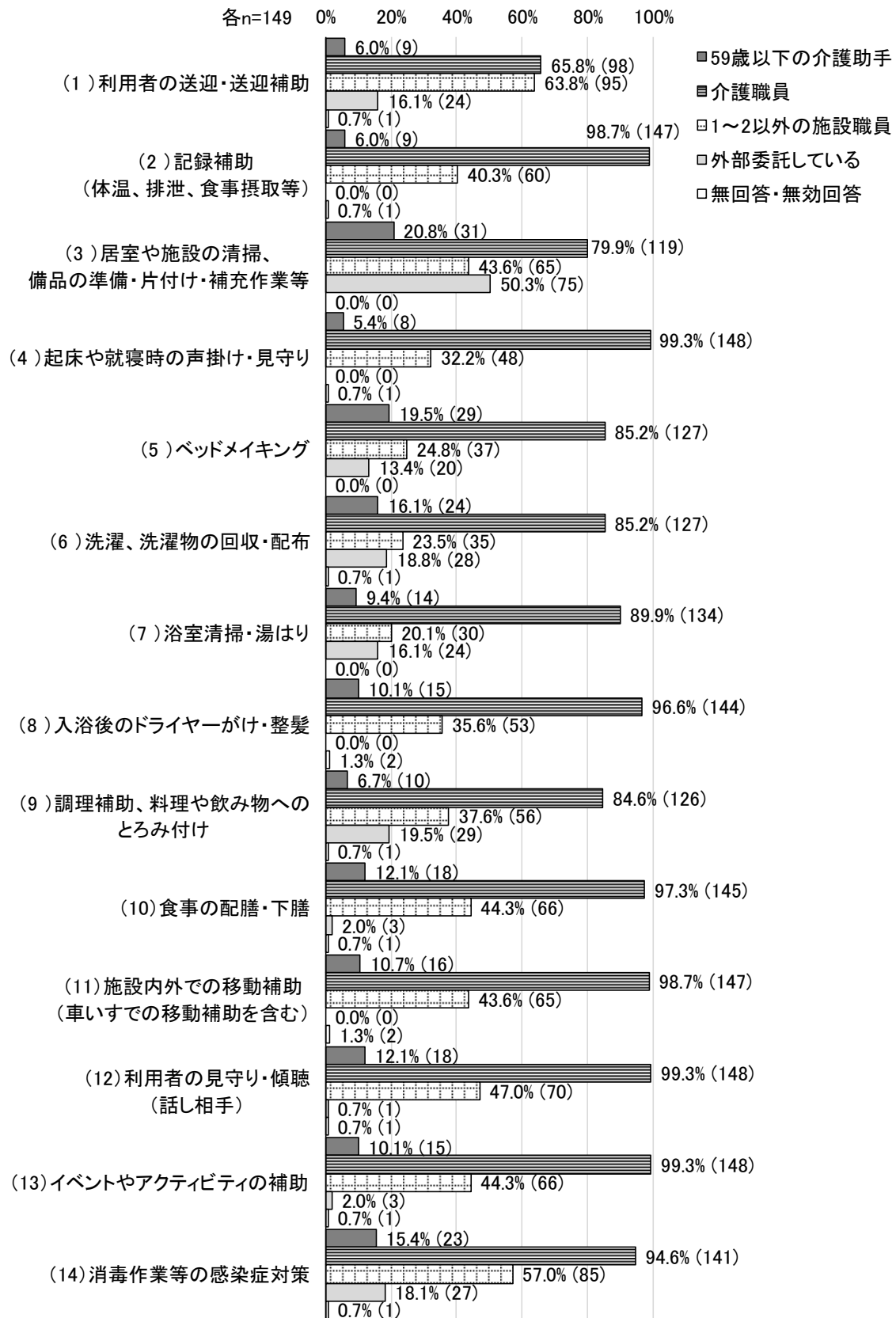
図表 53 問 39 高年齢介護助手雇用に対する懸念点 複数回答



業務別の担当者については、全体的に「介護職員」が担当している割合が高く「利用者の送迎・送迎補助」「居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等」以外は80%超であった。

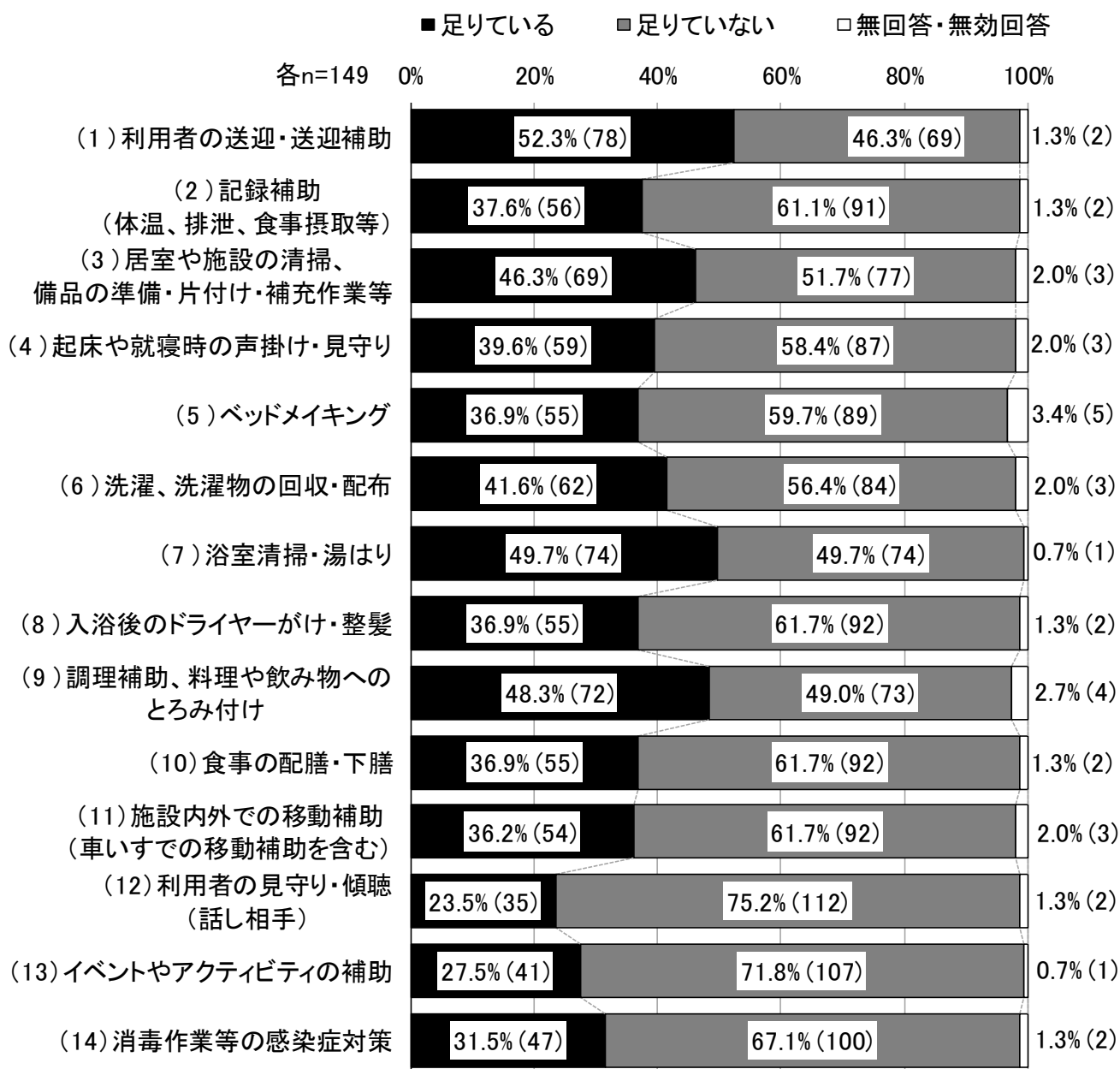
「59歳以下の介護助手」が担当している割合は全体的に低く、最も多い「居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等」でも20.8%であった。

図表 54 問 40① 業務担当者 複数回答



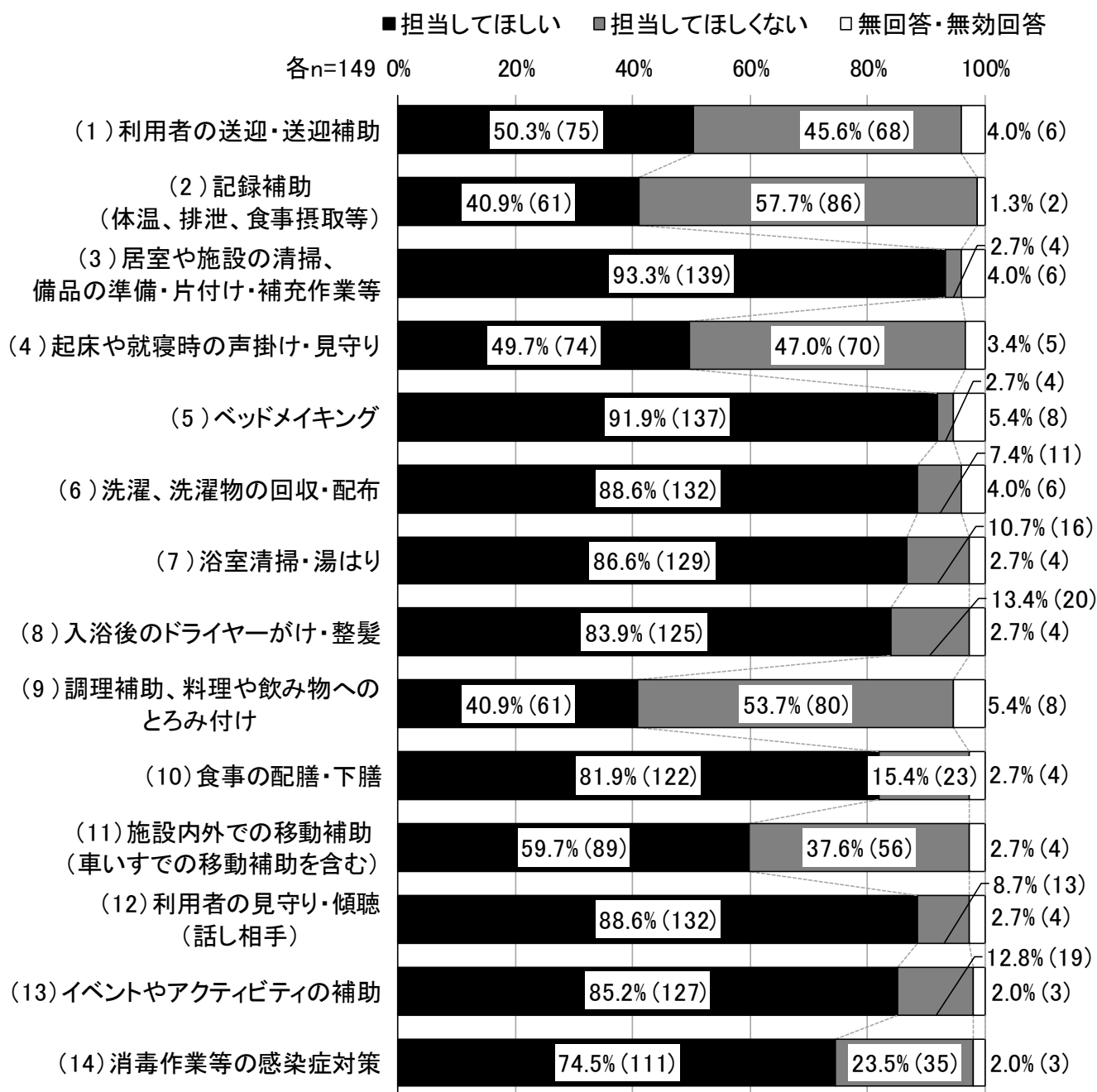
業務別の人手の状況について、14業務中11業務について「足りていない」が過半数を占めた。特に「利用者の見守り・傾聴（話し相手）」では「足りていない」が75.2%を占めた。

図表 55 問 40② 業務別 人手の状況 単一回答



(雇用した場合)業務別の高年齢介護助手への担当意向について、14業務中11業務で「担当してほしい」が過半数を占めており、「居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等」「ベッドメイキング」は「担当してほしい」が9割を超えた。

図表 56 問 40③ (雇用した場合)業務別 高年齢介護助手 担当意向 単一回答

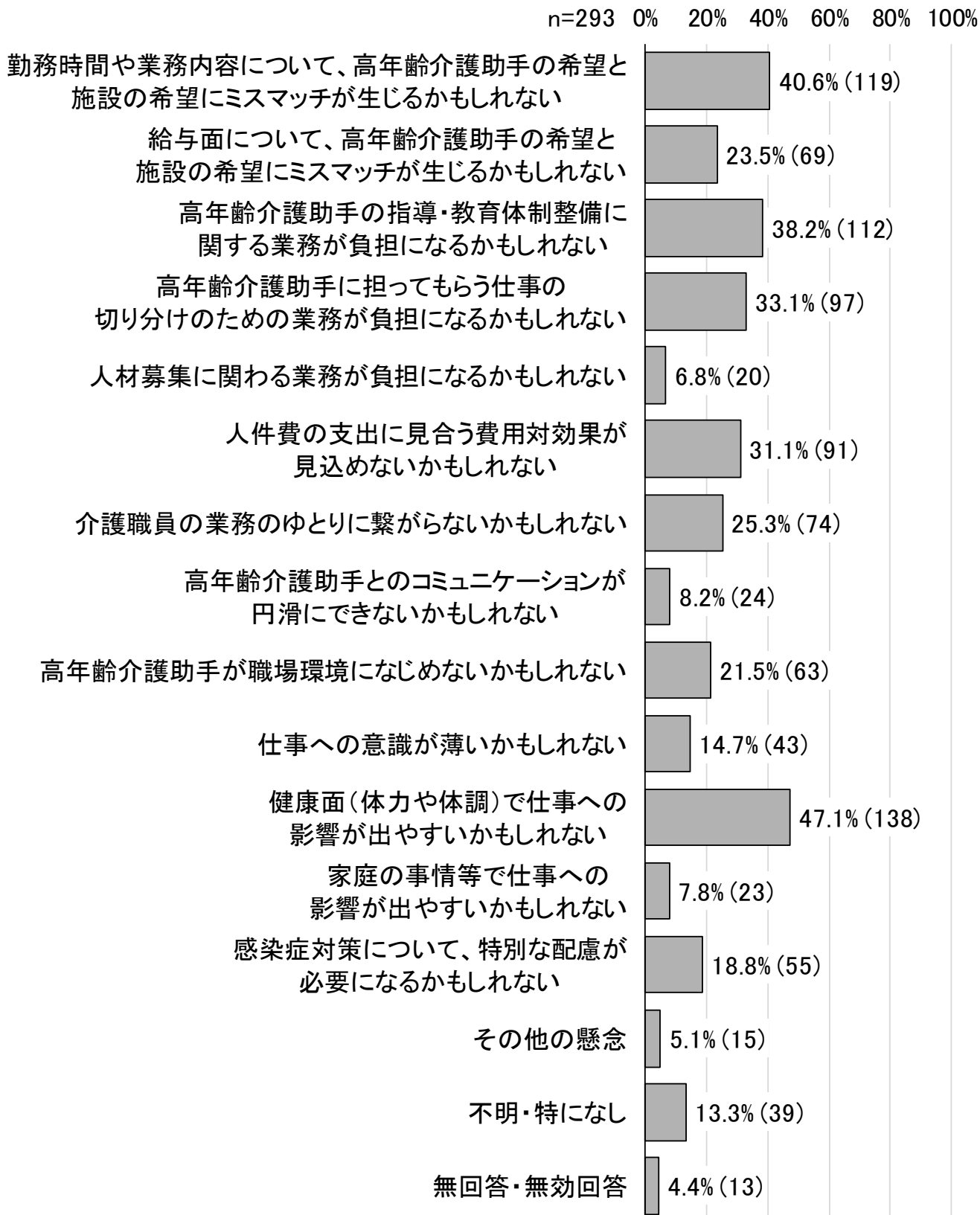


(6) 高年齢介護助手という存在は知っているが、雇用の検討等はしていない施設 調査結果

P49～52 は問 7 において高年齢介護助手を「高年齢介護助手という存在は知っているが、雇用の検討等はしていない」と回答した n=293 を集計

高年齢介護助手雇用に対する懸念点は多いものから順に、「健康面（体力や体調）で仕事への影響が出やすいかもしれない」47.1%、「勤務時間や業務内容について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチが生じるかもしれない」40.6%、「高年齢介護助手の指導・教育体制整備に関する業務が負担になるかもしれない」38.2%であった。一方、「不明・特になし」という回答は13.3%にとどまったことから、何かしら雇用に関して懸念があるという結果であった。

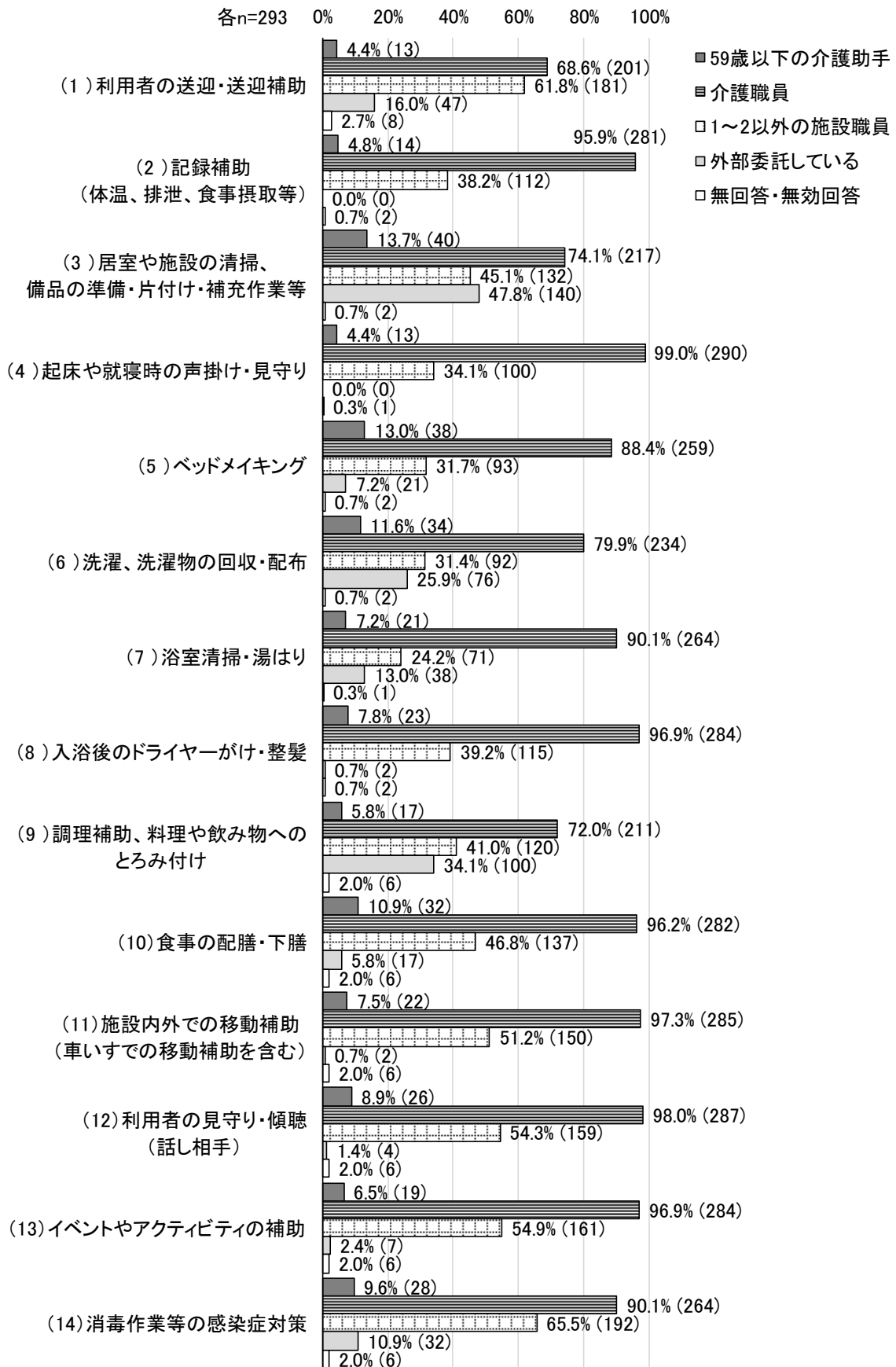
図表 57 問 41 高年齢介護助手雇用に対する懸念点 複数回答



業務別の担当者については、全体的に「介護職員」が担当している割合が高く「利用者の送迎・送迎補助」以外は70%超であった。

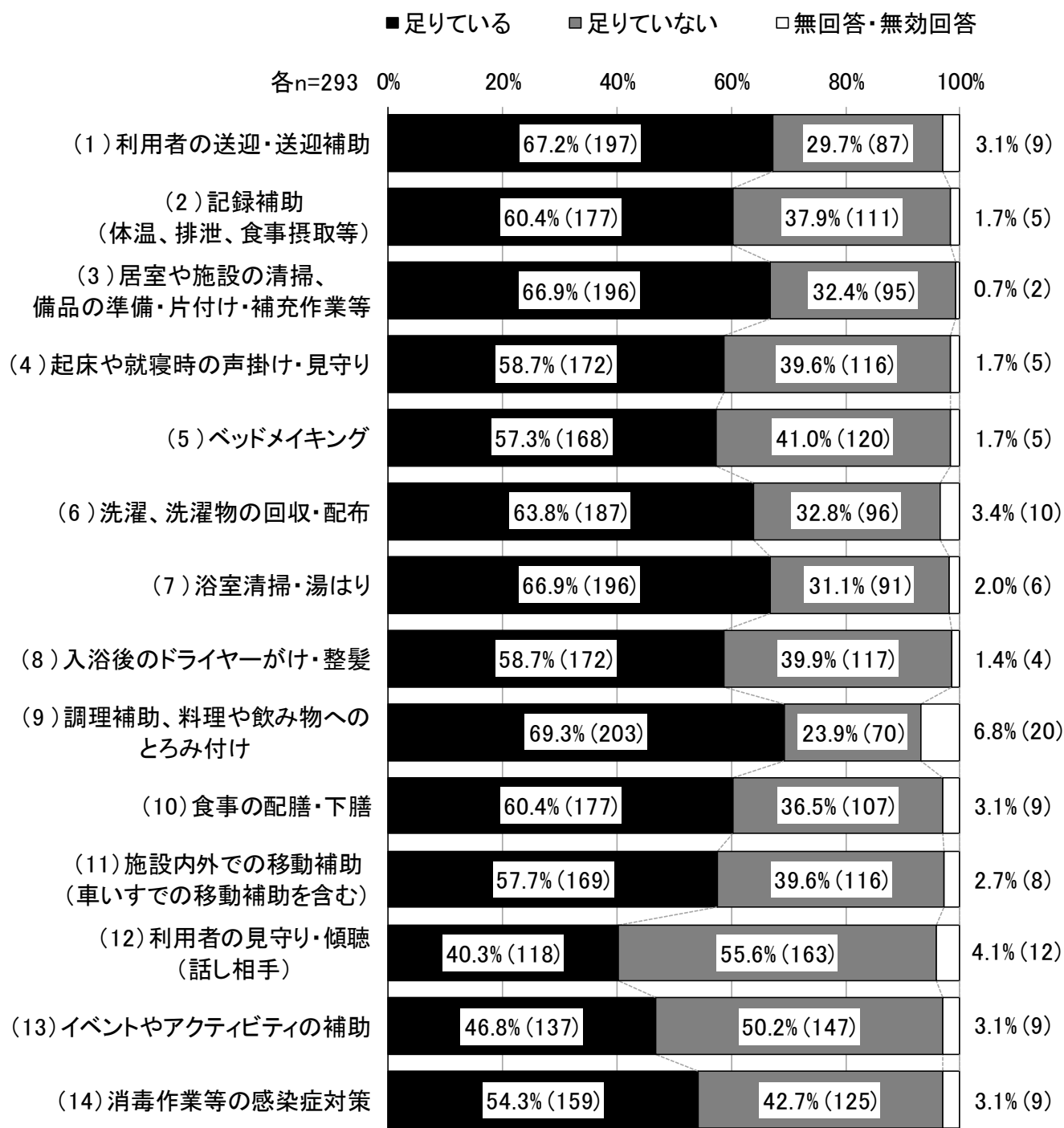
「59歳以下の介護助手」が担当している割合は全体的に低く、最も多い「居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等」でも13.7%であった。

図表 58 問 42① 業務担当者 複数回答



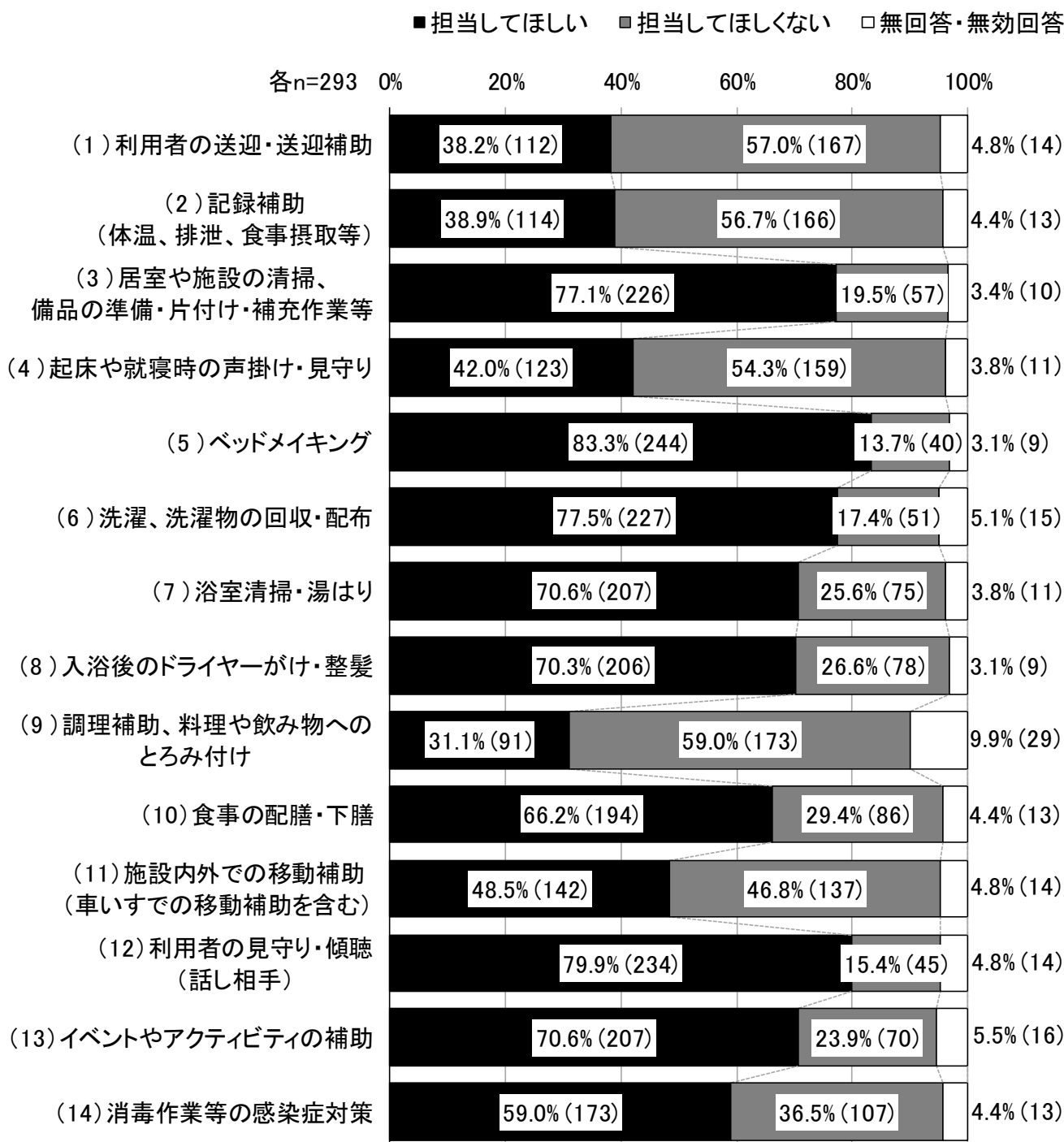
各業務の人手の状況について、「利用者の見守り・傾聴（話し相手）」「イベントやアクティビティの補助」以外では「足りている」という回答が過半数を占めた。

図表 59 問 42② 業種別 人手の状況 単一回答



(雇用した場合)業務別の高年齢介護助手への担当意向について、14業務中9業務で「担当してほしい」が過半数を占めた。担当してほしいという回答が最も多かったのは「ベッドメイキング」83.3%、次いで「利用者の見守り・傾聴(話し相手)」79.9%であった。

図表 60 問 42③ (雇用した場合)業務別 高年齢介護助手 担当意向 単一回答



(7) 高年齢介護助手という存在を知らない施設 調査結果

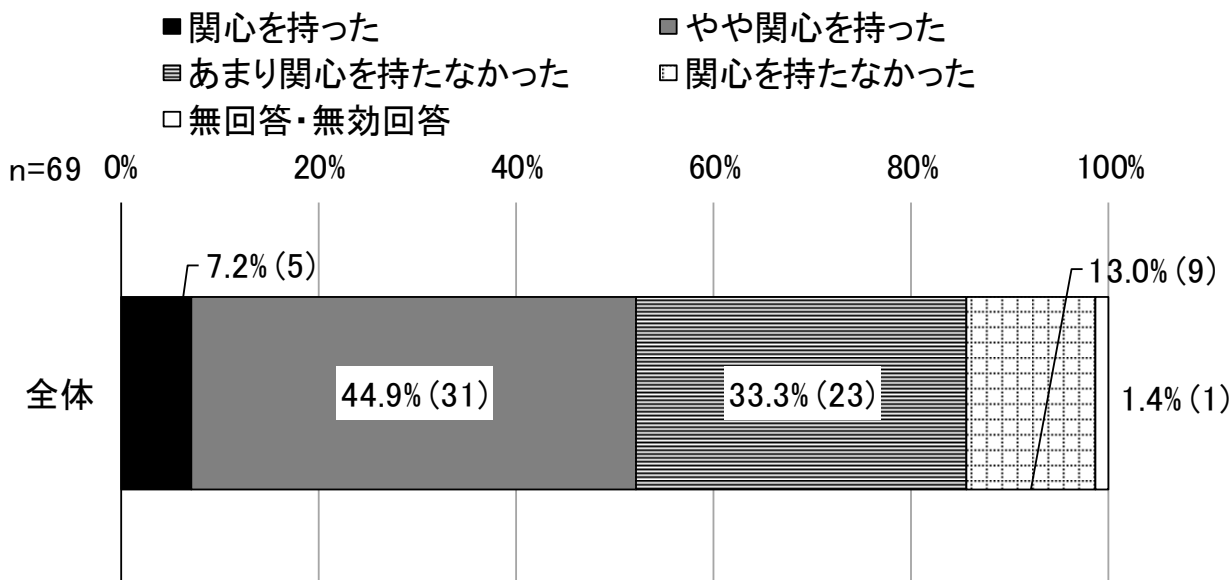
P54～58 は問 7 において高年齢介護助手を「この調査で定義するような高年齢介護助手という存在を知らない」と回答した n=69 を集計

※サンプル数僅少の為、参考値として留意されたい

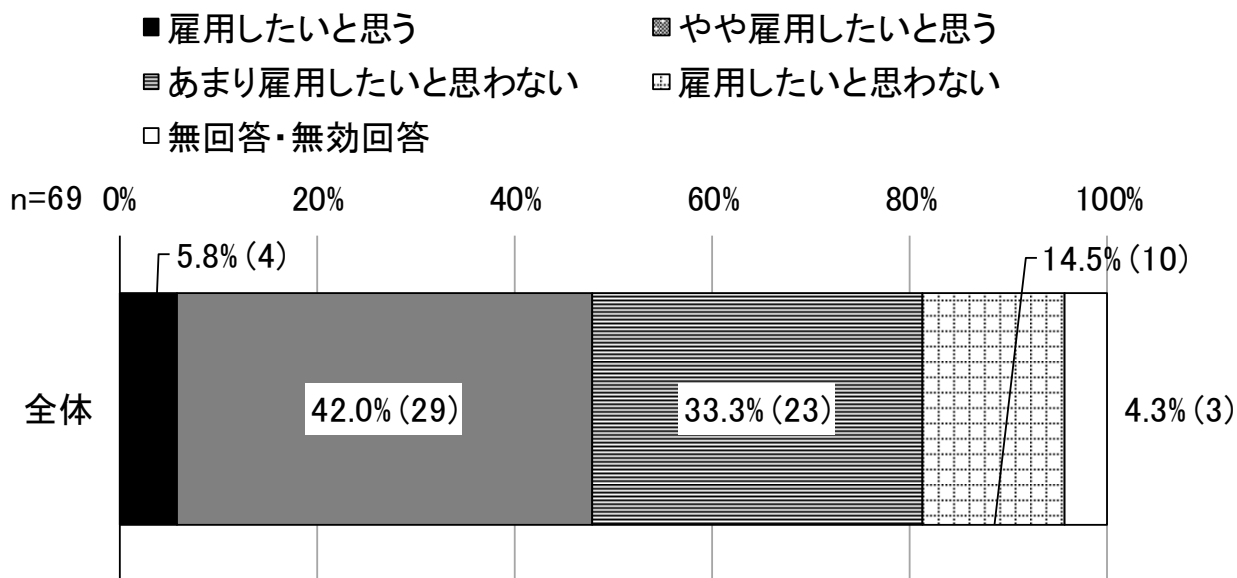
本調査を通じて高年齢介護助手への関心をもったかでは、「関心を持った」が7.2%、「やや関心を持った」が44.9%であり、合わせると約半数の施設が関心を持ったと回答した。

高年齢介護助手の雇用意向は「雇用したいと思う」が5.8%、「やや雇用したいと思う」が42.0%であり、合わせて半数近くの施設が雇用の意向があるという結果であった。

図表 61 問 43 本調査を通じて、高年齢介護助手への関心を持ったか 単一回答

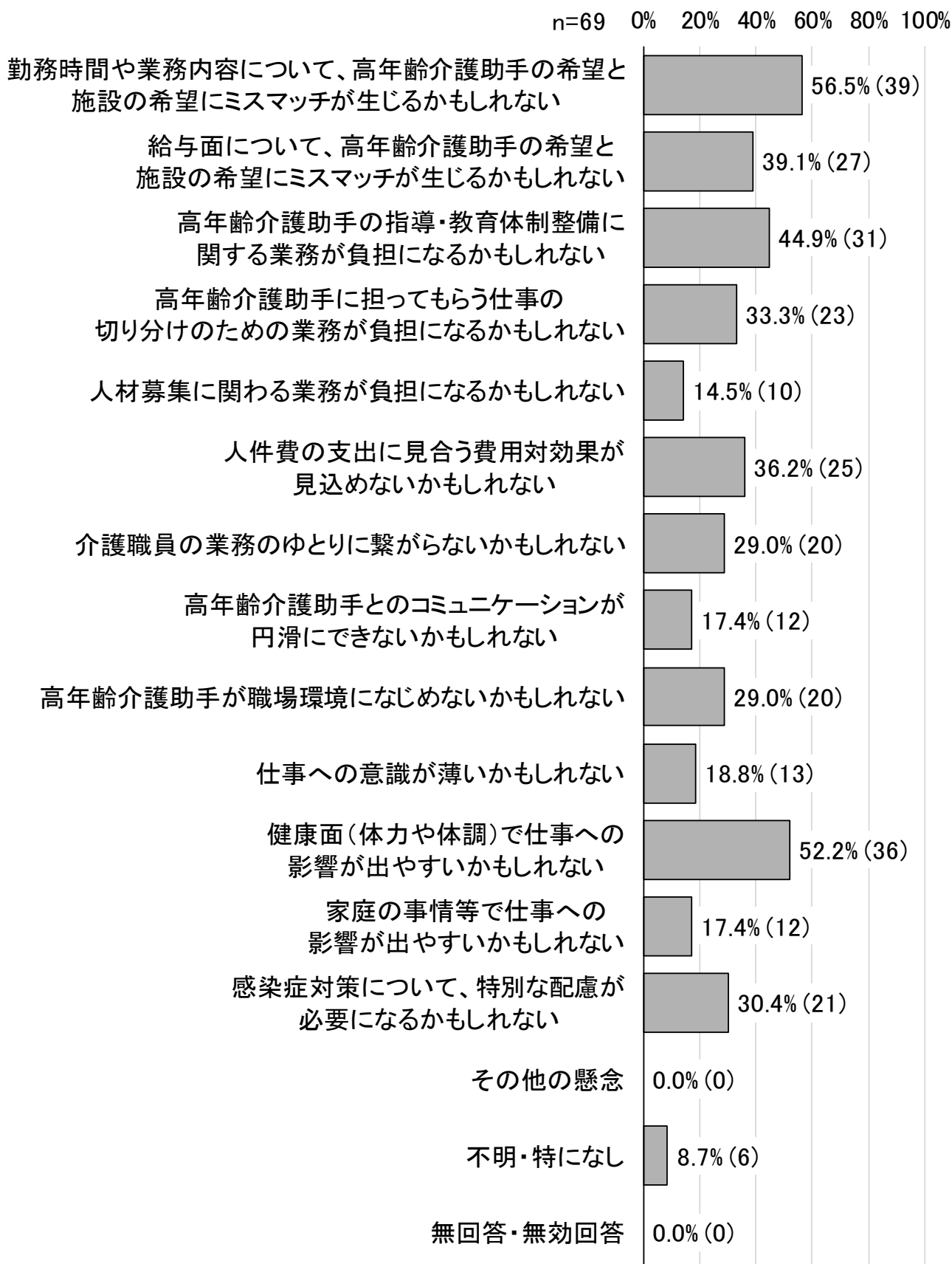


図表 62 問 44 高年齢介護助手の雇用意向 単一回答



高年齢介護助手雇用に対する懸念点は、「勤務時間や業務内容について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチが生じるかもしれない」、「健康面(体力や体調)で仕事への影響が出やすいかもしれない」がそれぞれ 56.5%、52.2%で過半数を占めた。

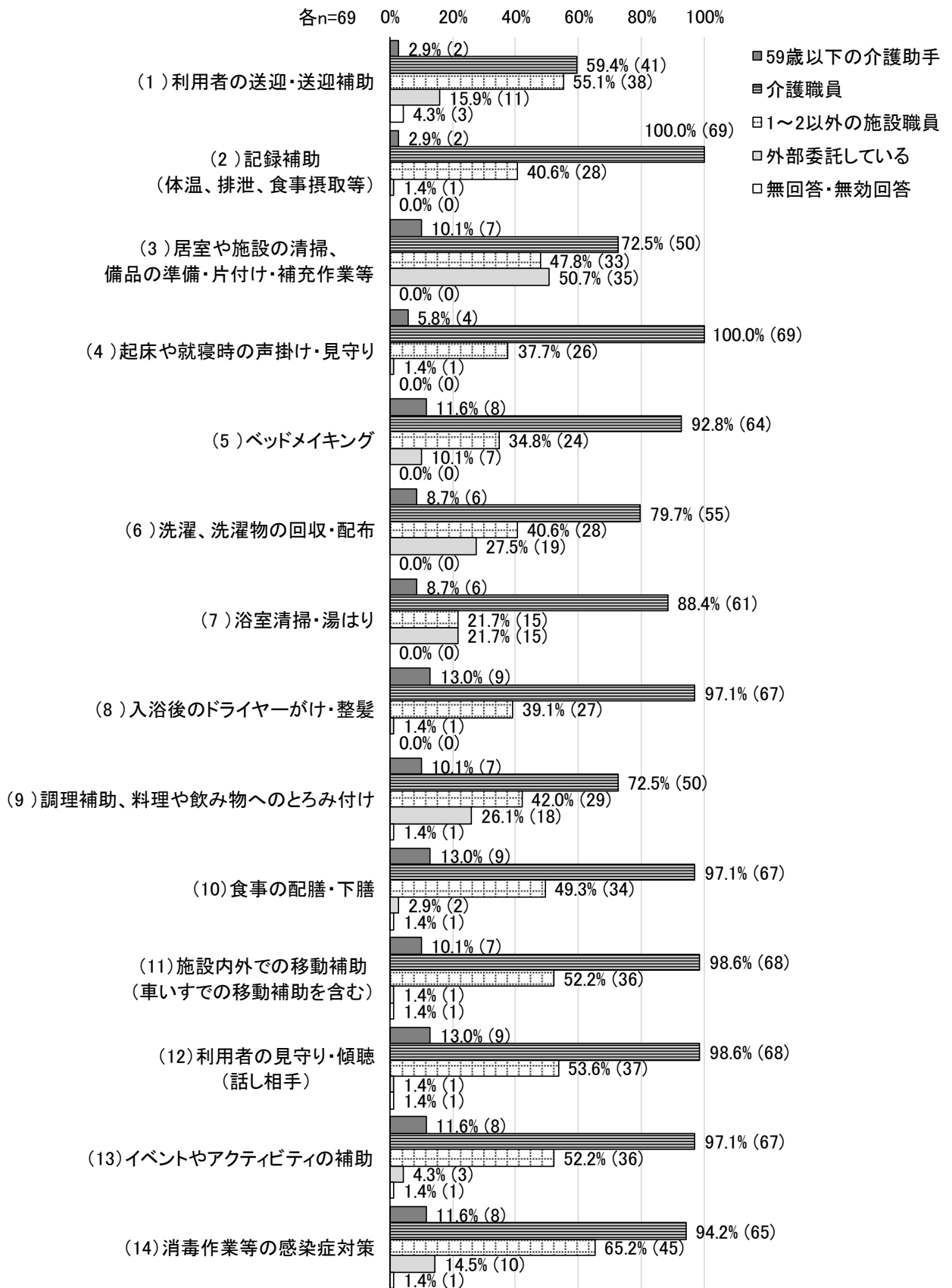
図表 63 問 45 高年齢介護助手雇用に対する懸念点 複数回答



業務別の担当者については、全体的に「介護職員」が担当している割合が高く「利用者の送迎・送迎補助」以外は70%超であった。

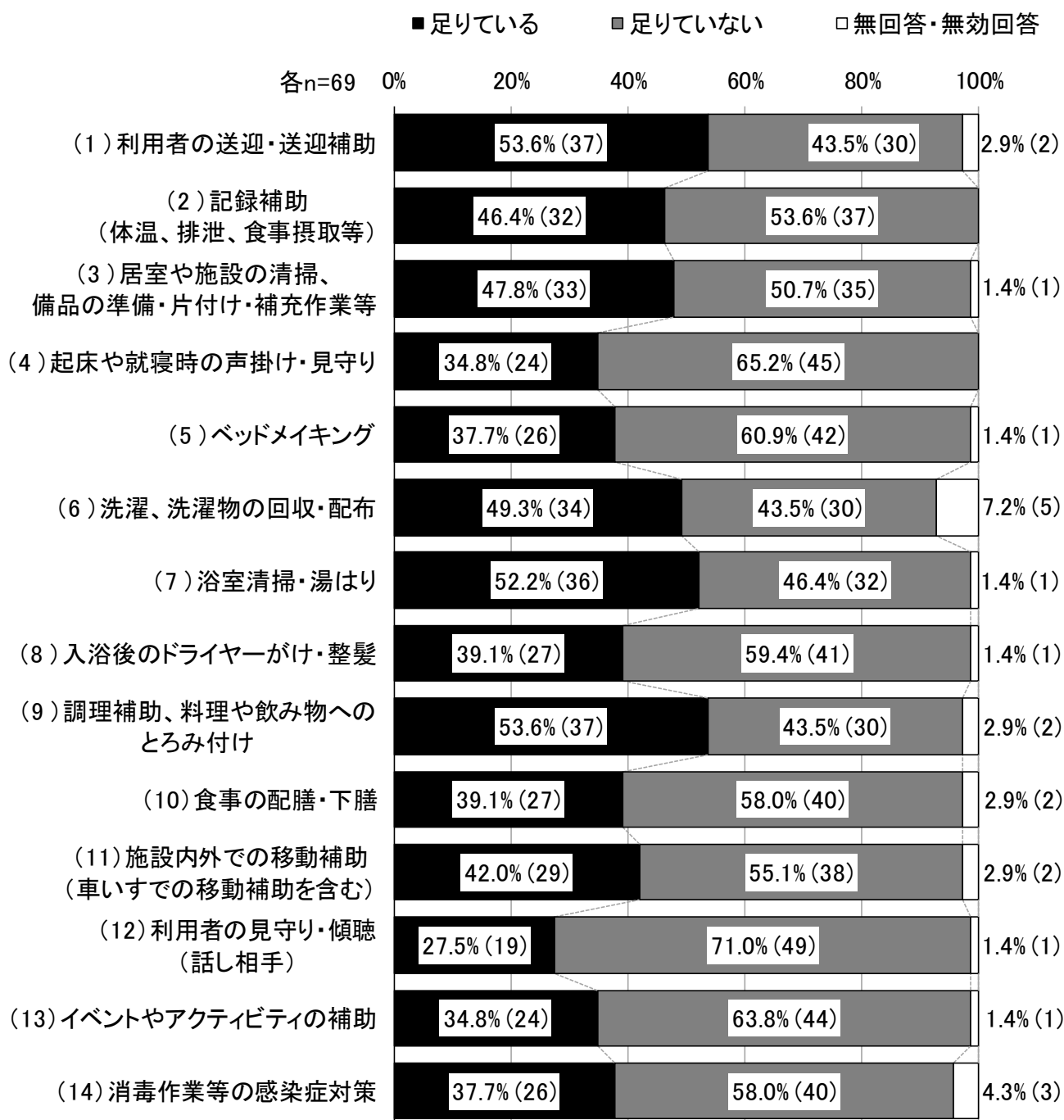
なお、「外部委託している」が最も多かったのは「居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等」で50.7%であった。

図表 64 問 46① 業務担当者 複数回答



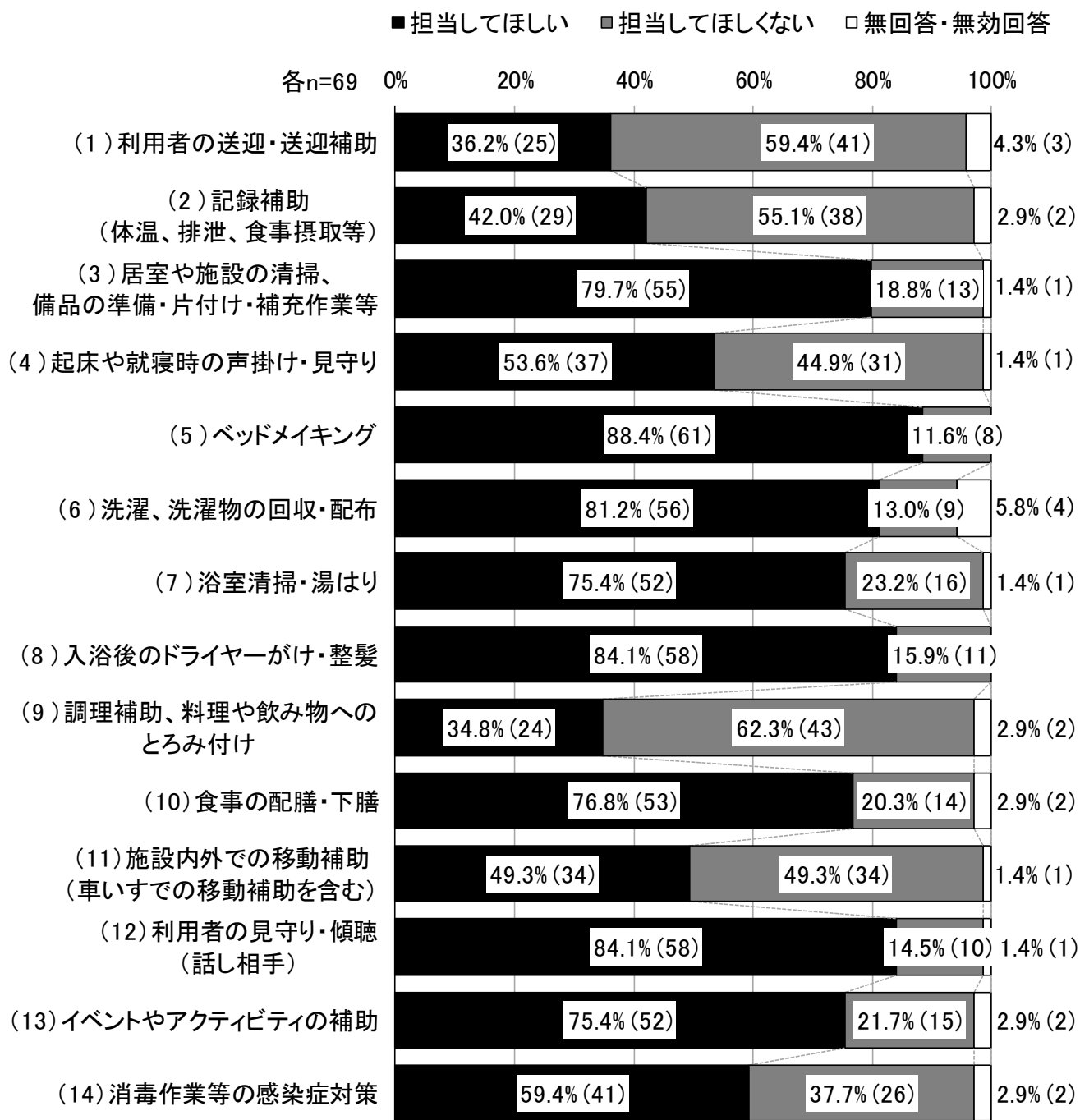
各業務の人手の状況について、14業務中10業務において過半数の施設が「足りていない」と回答していた。「足りていない」という回答が最も多かったのは「利用者の見守り・傾聴（話し相手）」で71.0%を占めた。

図表 65 問 46② 業務別 人手の状況 単一回答



(雇用した場合)業務別の高年齢介護助手への担当意向について、14業務中10業務で「担当してほしい」が過半数を占めており、「ベッドメイキング」「洗濯、洗濯物の回収・配布」「入浴後のドライヤーがけ・整髪」「利用者の見守り・傾聴(話し相手)」は「担当してほしい」が8割を超えた。

図表 66 問 46③ (雇用した場合)業務別 高年齢介護助手 担当意向 単一回答

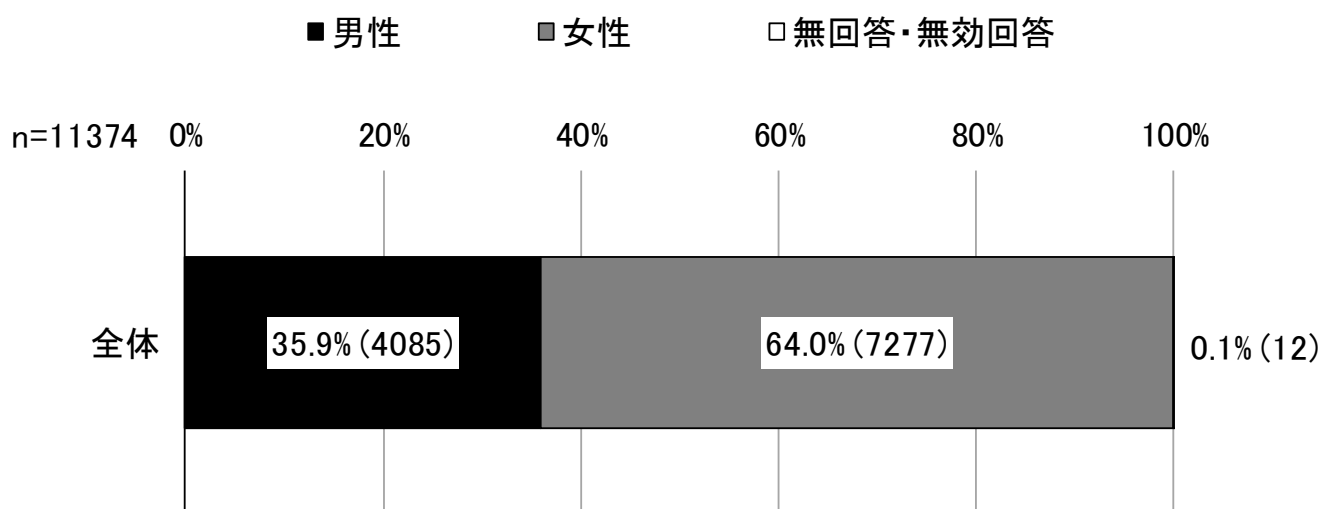


2-3. 介護職員票の結果 (n=11,374) 1246 施設から回答

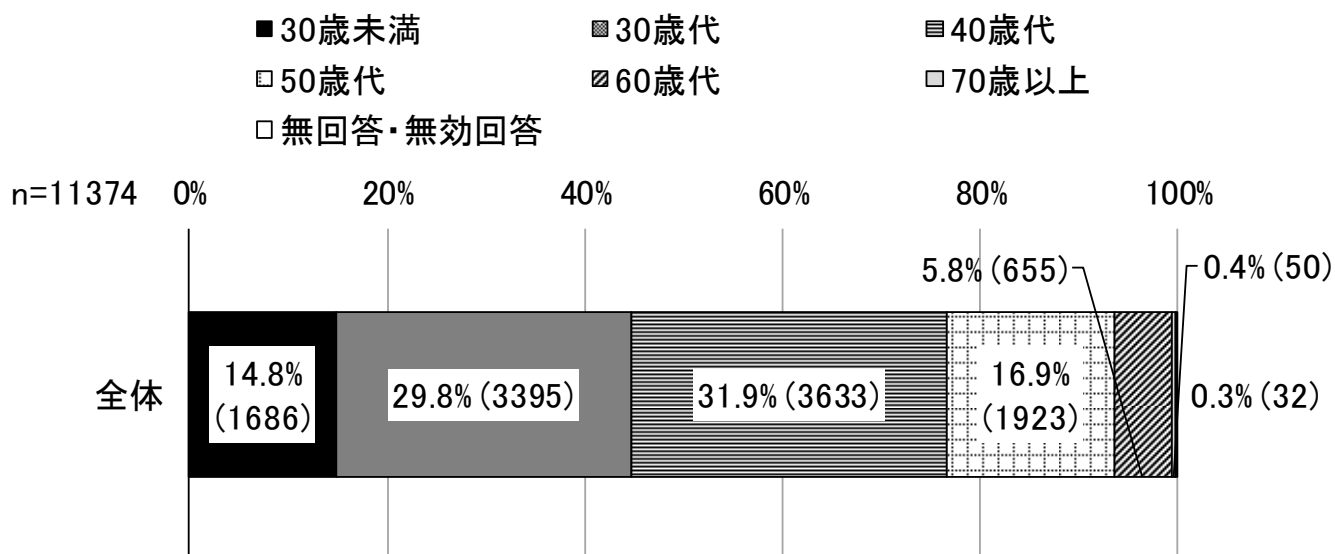
(1) 回答者属性

性別は「男性」が 35.9%、「女性」が 64.0%で年齢は「40 歳代」が 31.9%と最多。

図表 67 問 1 性別 単一回答



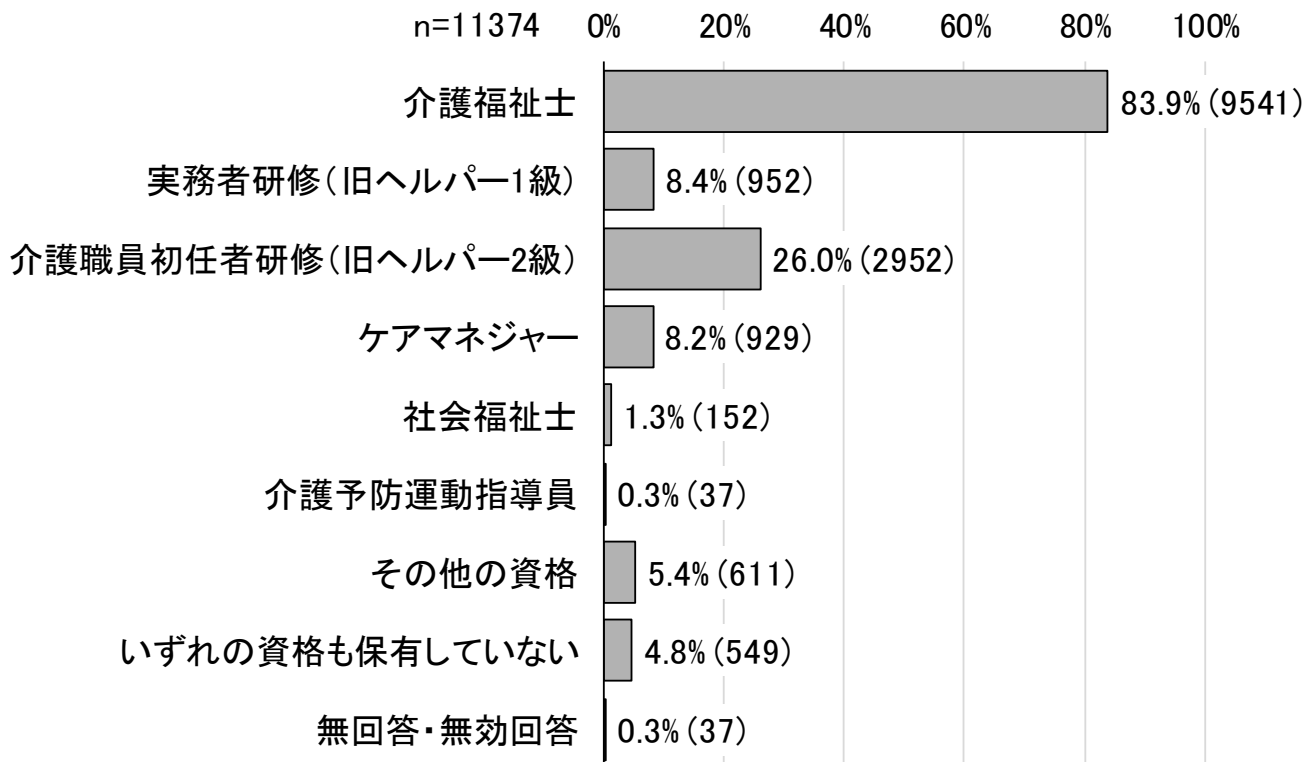
図表 68 問 2 年齢 単一回答



保有する介護系専門資格は「介護福祉士」が最も多く 83.9%、次いで「介護職員初任者研修（旧ヘルパー2級）」が 26.0%。

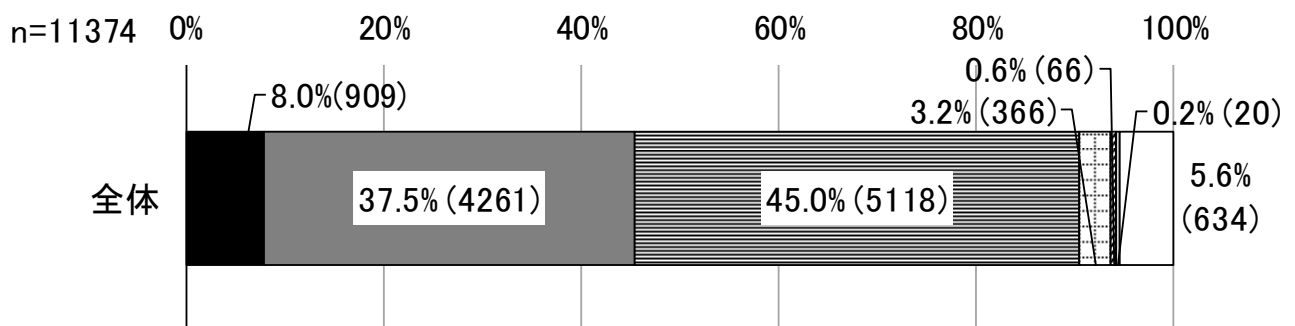
先月の1週間の平均就業時間は「週に40～50時間未満」が45.0%と最多、次いで「週に30～40時間未満」が37.5%。

図表 69 問3 保有する介護系専門資格 複数回答



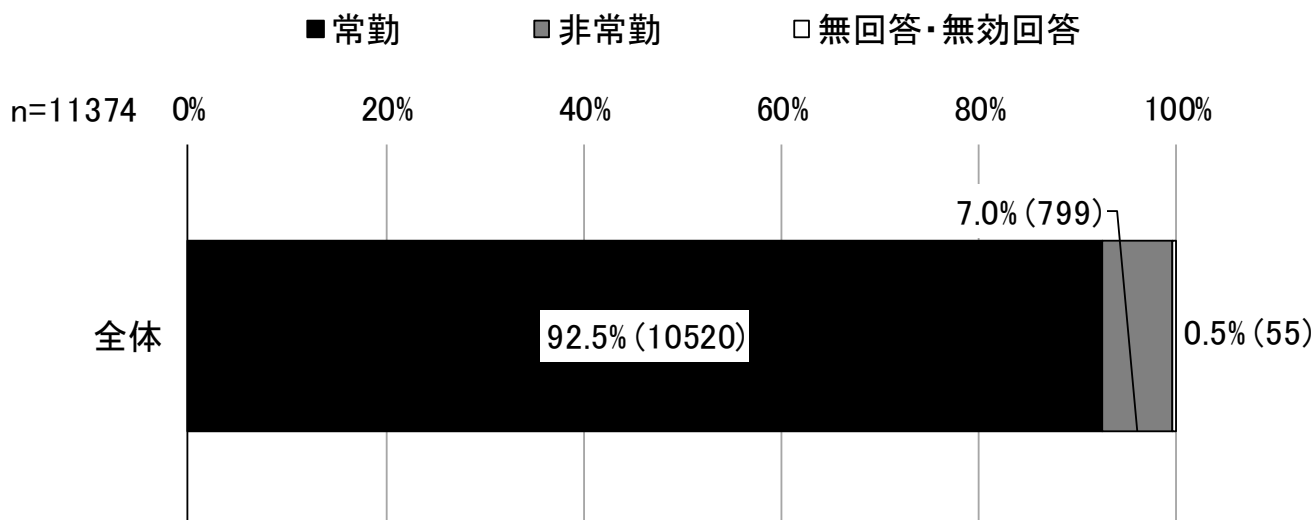
図表 70 問4 先月の平均就業時間（残業時間含む） 単一回答

- 週に30時間未満
- 週に30～40時間未満
- ▨ 週に40～50時間未満
- ▩ 週に50～60時間未満
- ▤ 週に60～70時間未満
- 週に70時間以上
- 無回答・無効回答

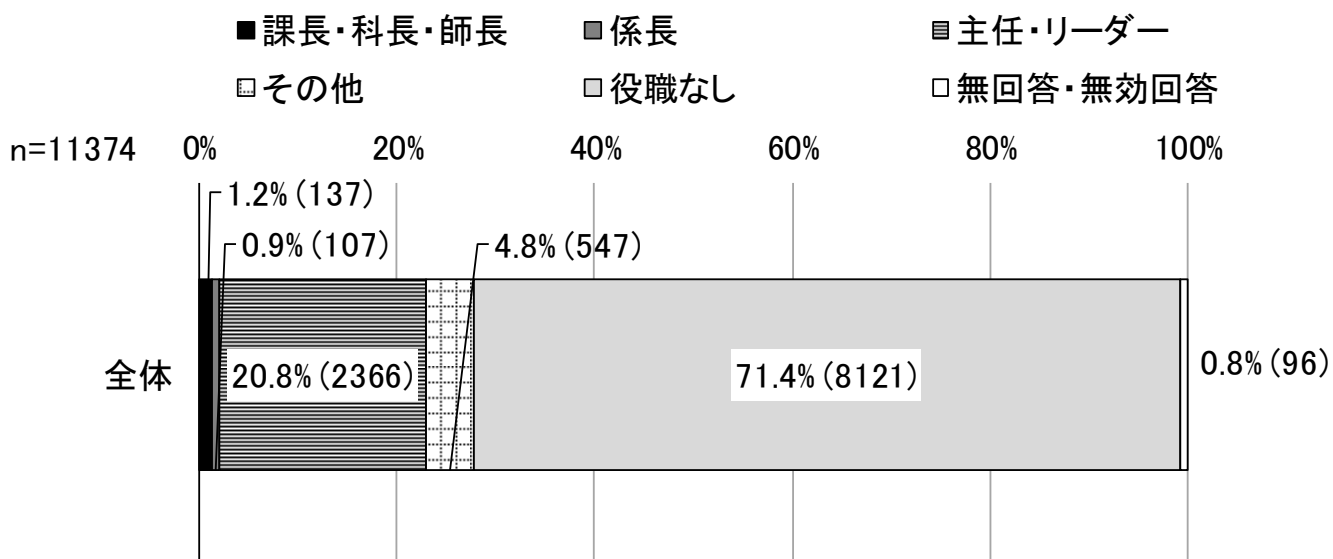


雇用形態は「常勤」が92.5%を占め、役職は「役職なし」が71.4%と最多、次いで「主任・リーダー」が20.8%。

図表 71 問5 雇用形態 単一回答



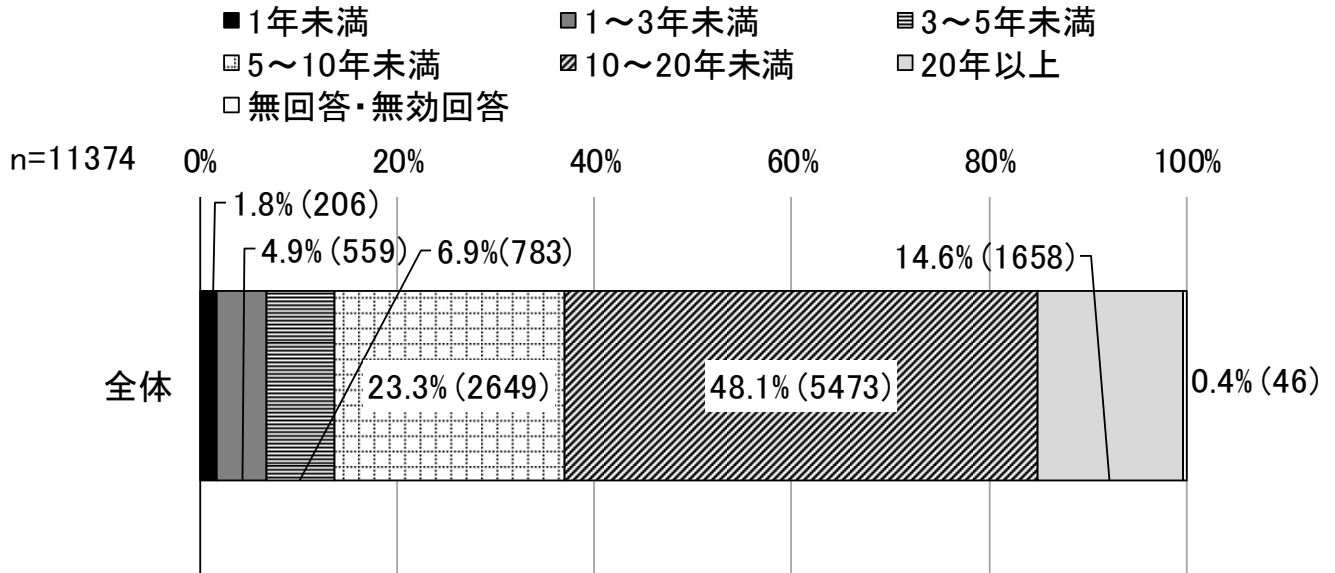
図表 72 問6 役職 単一回答



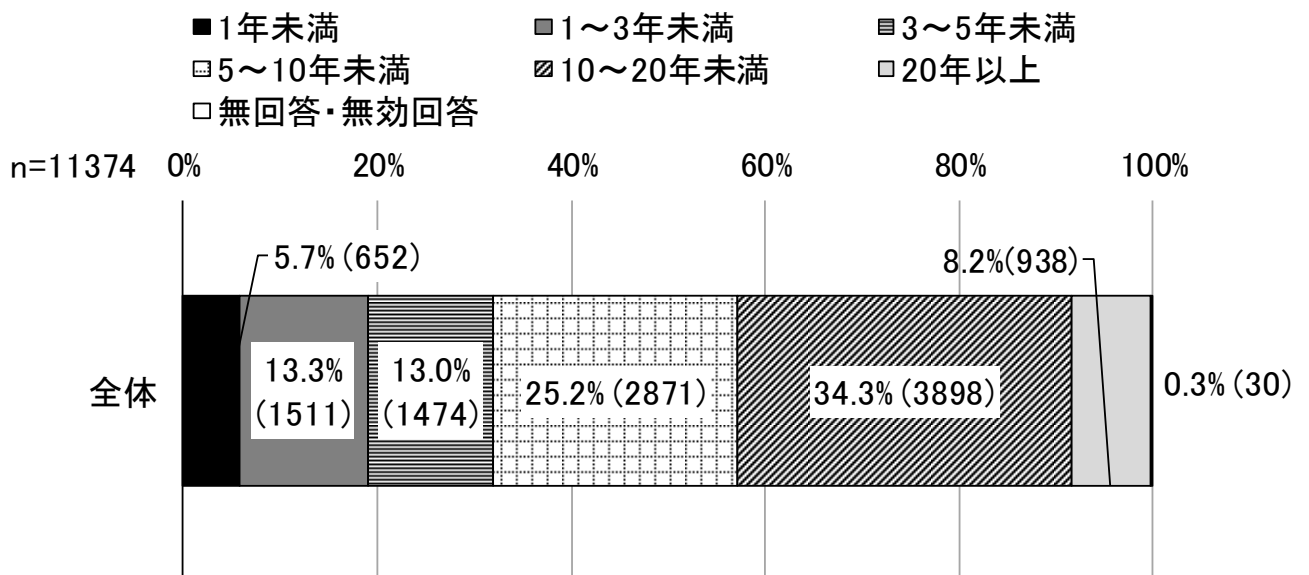
介護職の通算経験年数は「10～20年未満」が48.1%と最多、次いで「5～10年未満」が23.3%、「20年以上」が14.6%。

現施設での勤続年数は「10～20年未満」が34.3%、「5～10年未満」が25.2%。

図表 73 問7 介護職の通算経験年数 単一回答



図表 74 問8 現施設での勤続年数 単一回答



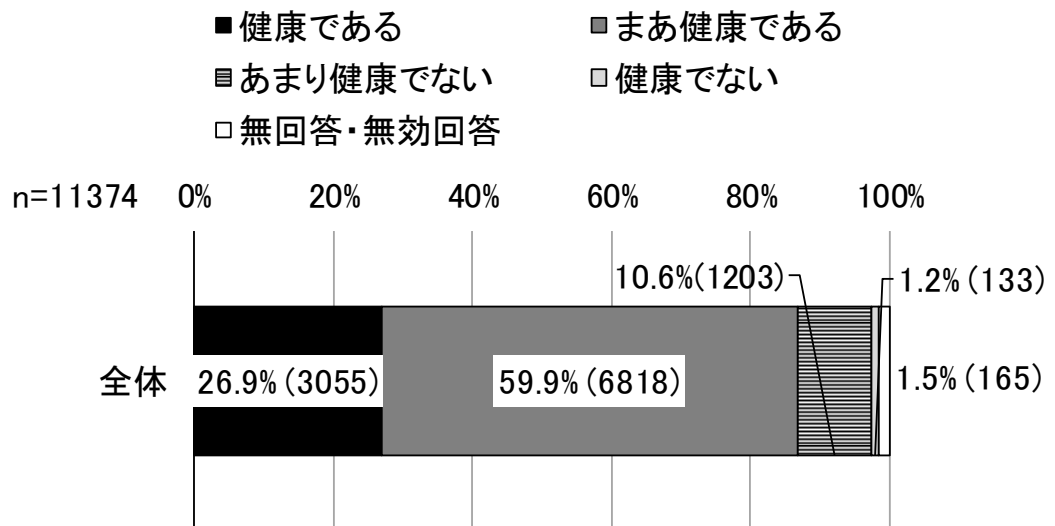
(2) 健康状態・意識・環境・満足度

自身が健康だと思うかでは「健康である」が26.9%、「まあ健康である」が59.9%。

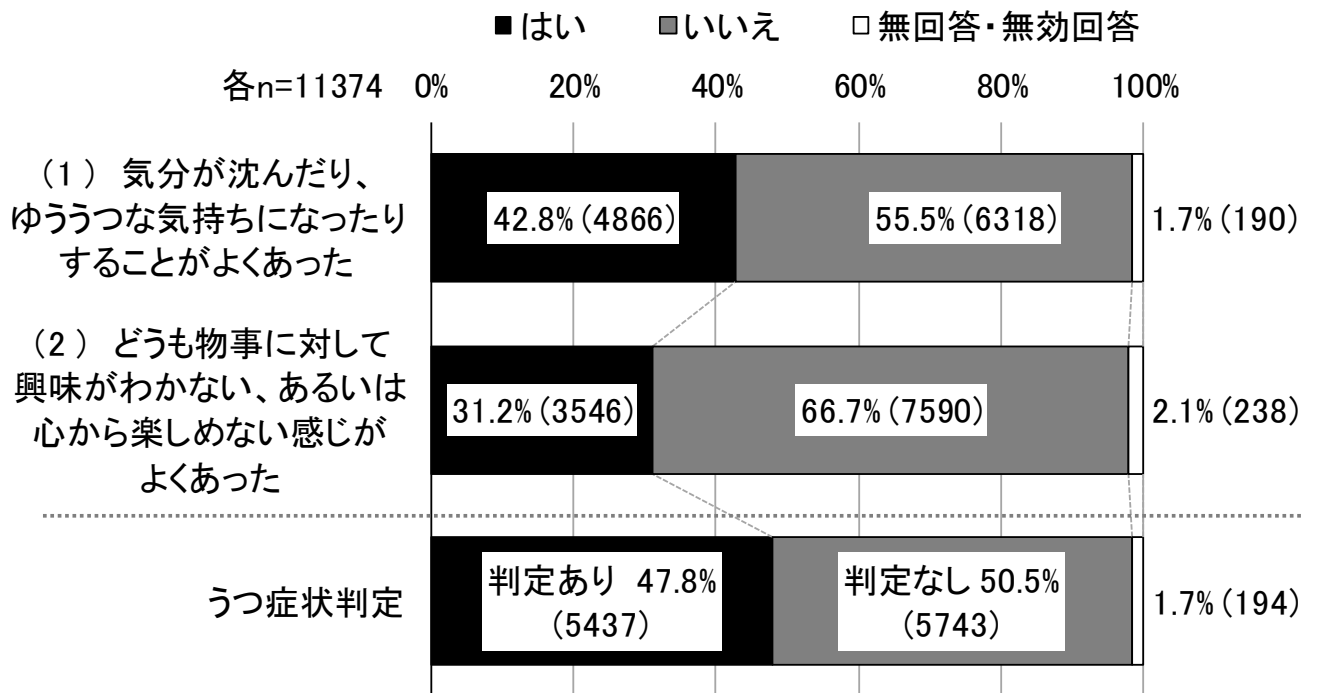
うつ症状判定（直近1ヶ月間の状況）について、「(1) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがよくあった」では42.8%、「(2) どうも物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった」では31.2%が「はい」と回答しており、うつ症状の「判定あり」は47.8%であった。

（うつ症状判定：(1) (2) いずれかで「はい」と回答した場合「判定あり」）

図表 75 問9 普段の健康意識 単一回答



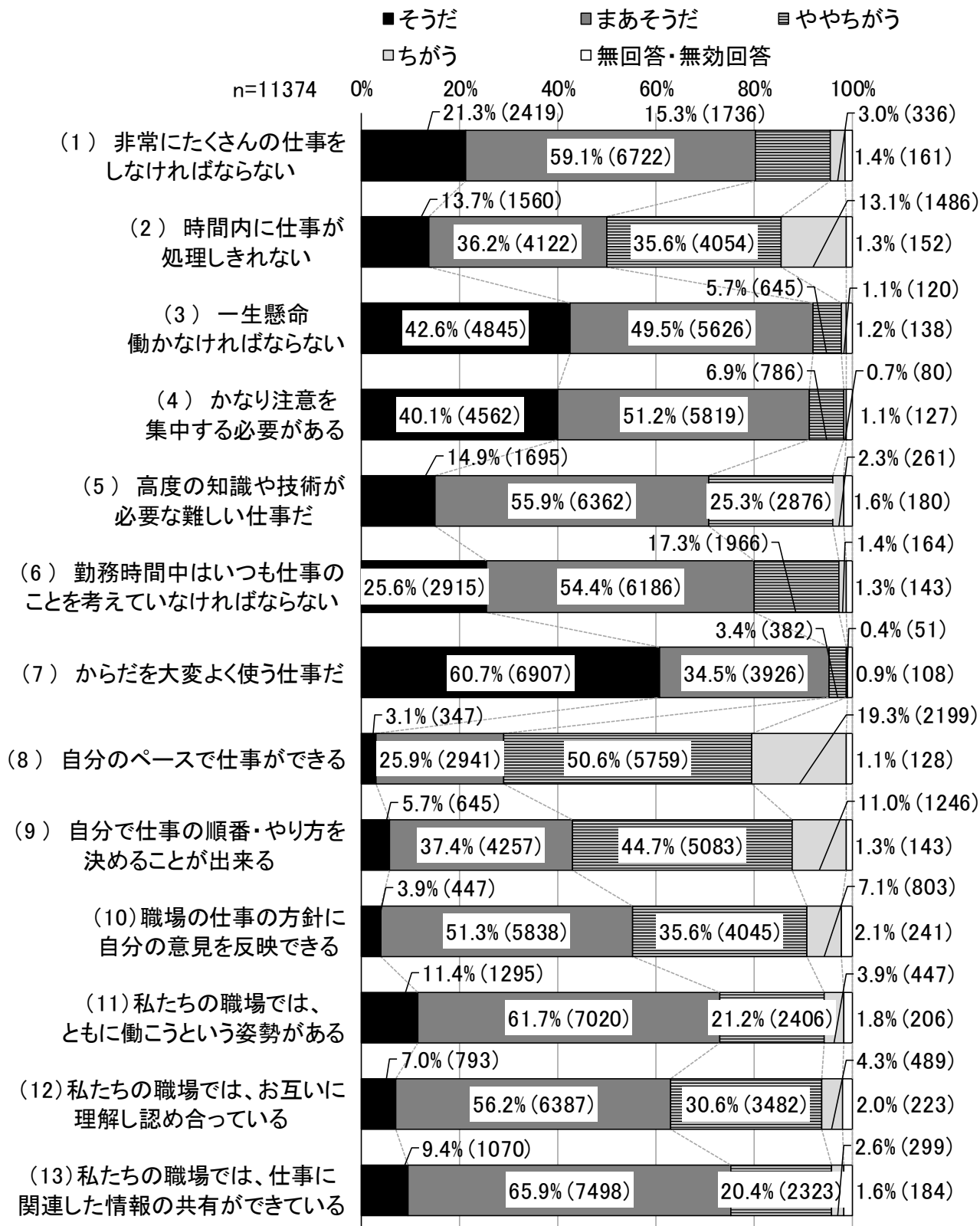
図表 76 問10 うつ症状判定（直近1ヶ月間の状況） 単一回答



※判定あり：(1) (2) いずれかで「はい」と回答
 判定なし：(1) (2) いずれにも「いいえ」と回答
 無回答・無効回答：上記以外

新職業性ストレス簡易調査票に基づいて、仕事や職場環境等について確認した結果、「からだを大変よく使う仕事だ」では「そうだ」が60.7%、「まあそうだ」が34.5%で合わせると95%超であった。一方、「私たちの職場では、ともに働こうという姿勢がある」「私たちの職場では、仕事に関連した情報の共有ができていいる」は、「そうだ」「まあそうだ」を合わせるとそれぞれ70%を超えていた。これらを得点化したものが図表78。(点数が高いほど良い状態)

図表 77 問 11 仕事や職場環境について 単一回答



図表 78 問 11 仕事や職場環境について 点数 (n=10703) ※

点数が高いほど良い状態

	項目	平均
仕事の量的負担	(1) 非常にたくさんの仕事をしなければならない (2) 時間内に仕事が処理しきれない (3) 一生懸命働かなければならない	2.0 点
仕事の質的負担	(4) かなり注意を集中する必要がある (5) 高度の知識や技術が必要な難しい仕事だ (6) 勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	1.9 点
身体的負担度	(7) からだを大変よく使う仕事だ	1.4 点
仕事のコントロール	(8) 自分のペースで仕事ができる (9) 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる (10) 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	2.4 点
職場の一体感 (ソーシャル・キャピタル)	(11) 私たちの職場では、ともに働こうという姿勢がある (12) 私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている (13) 私たちの職場では、仕事に関連した情報の共有ができています	2.8 点

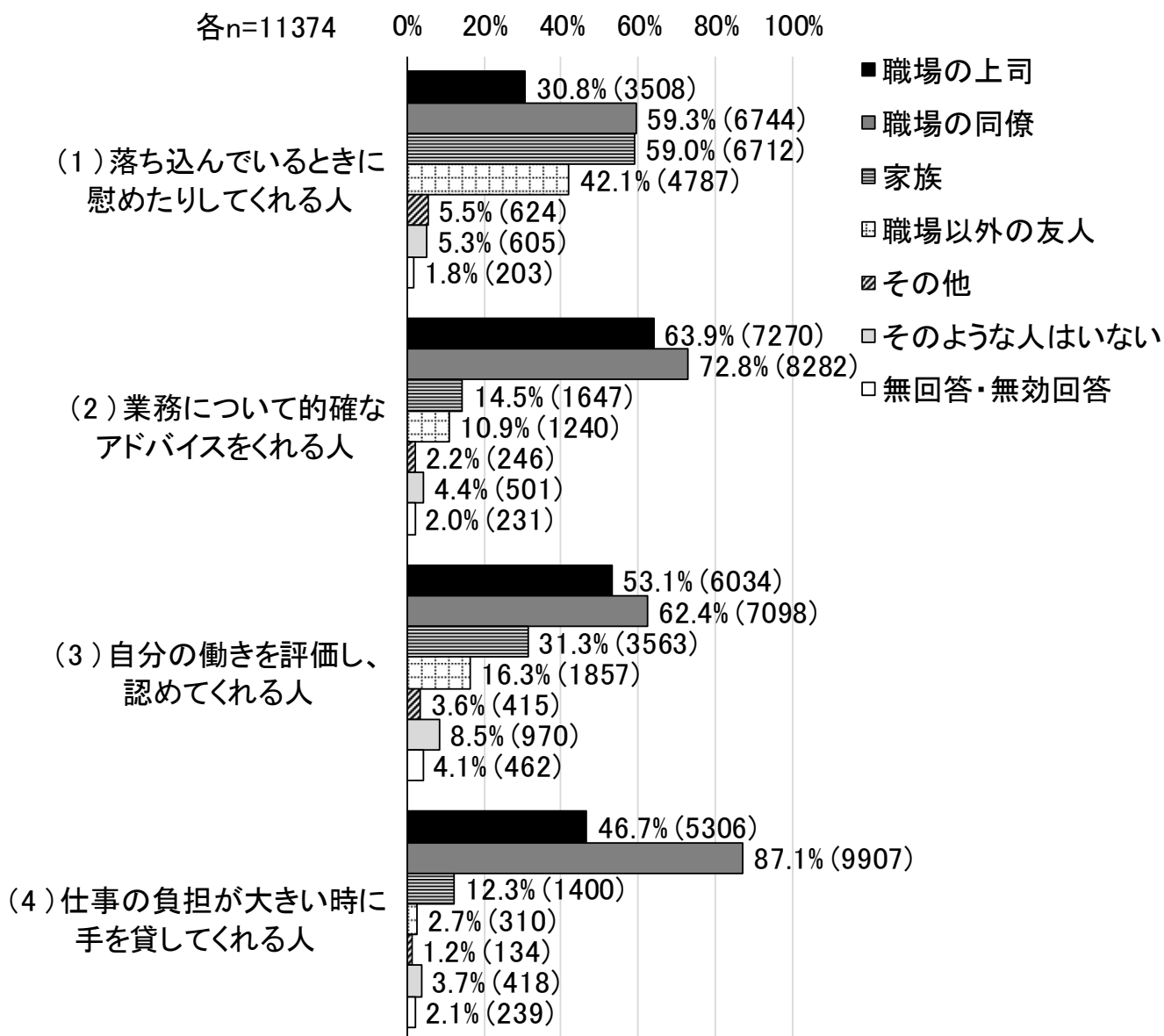
※問 11(1)～(13)全てに回答した 10703 票について、回答を以下の通り点数化して平均を算出

(1)～(7)・・・そうだ:1 点 まあそうだ:2 点 ややちがう:3 点 ちがう:4 点

(8)～(13)・・・そうだ:4 点 まあそうだ:3 点 ややちがう:2 点 ちがう:1 点

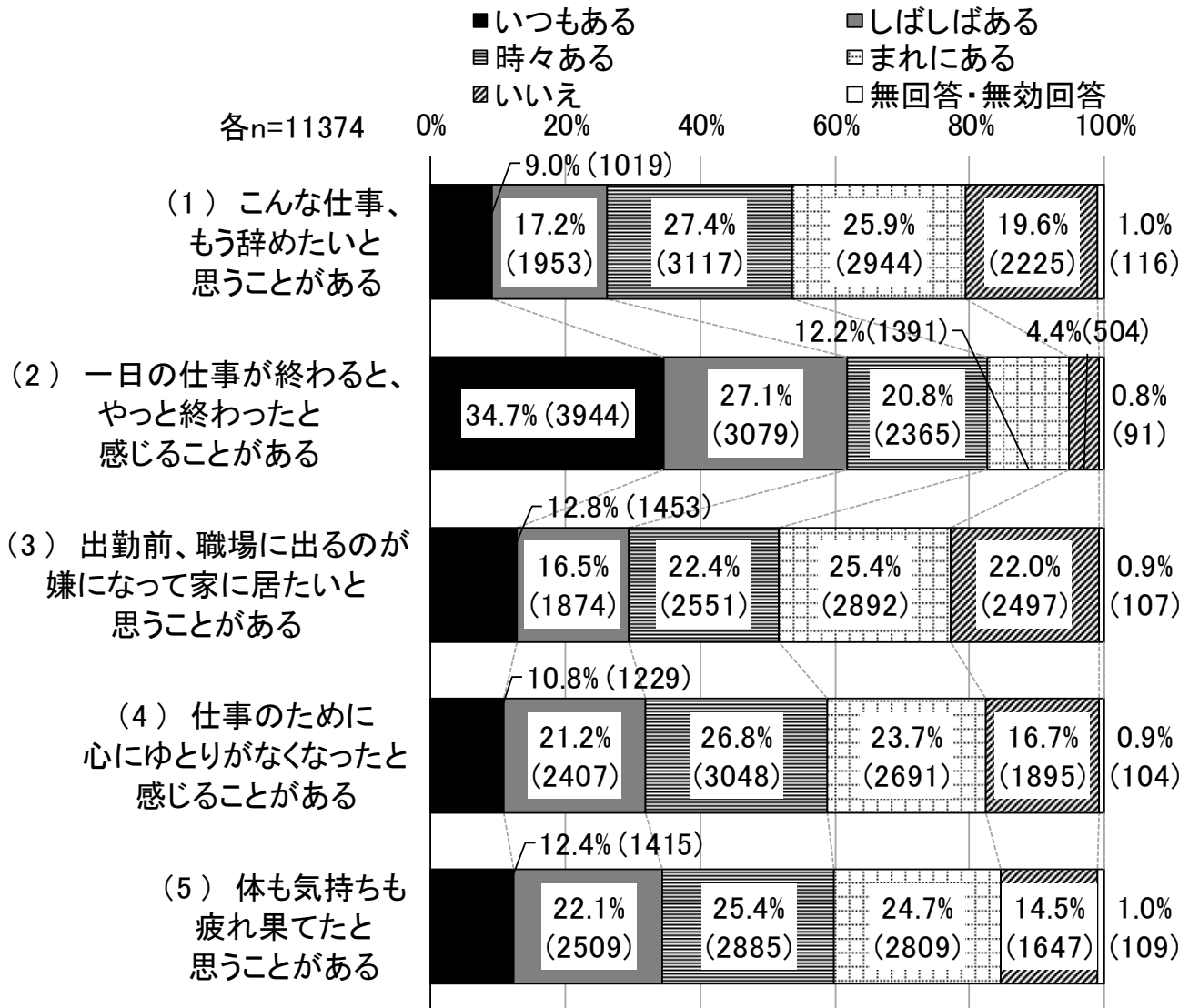
周囲の環境（落ち込んでいるときに慰めたりしてくれる人等）については、今回調査した4項目全てにおいて「職場の同僚」が最多であった。

図表 79 問 12 周囲の環境 複数回答

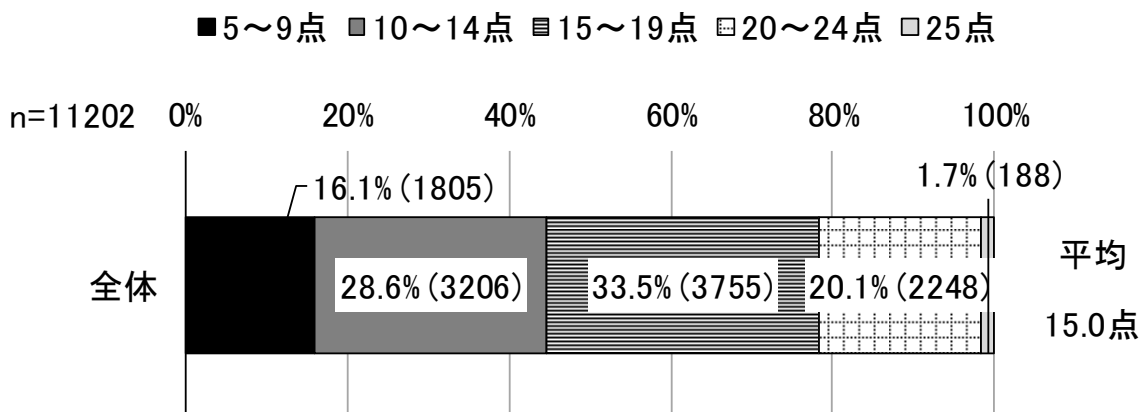


仕事に対する気持ち（情緒的消耗感）については、「一日の仕事が終わると、やっと終わったと感じることがある」が「いつもある」「しばしばある」の回答がそれぞれ34.7%、27.1%で他の項目より多かった。これらを点数化したものが図表81。（点数が高いほど良い状態）

図表 80 問 13 仕事に対する気持ち（情緒的消耗感） 単一回答



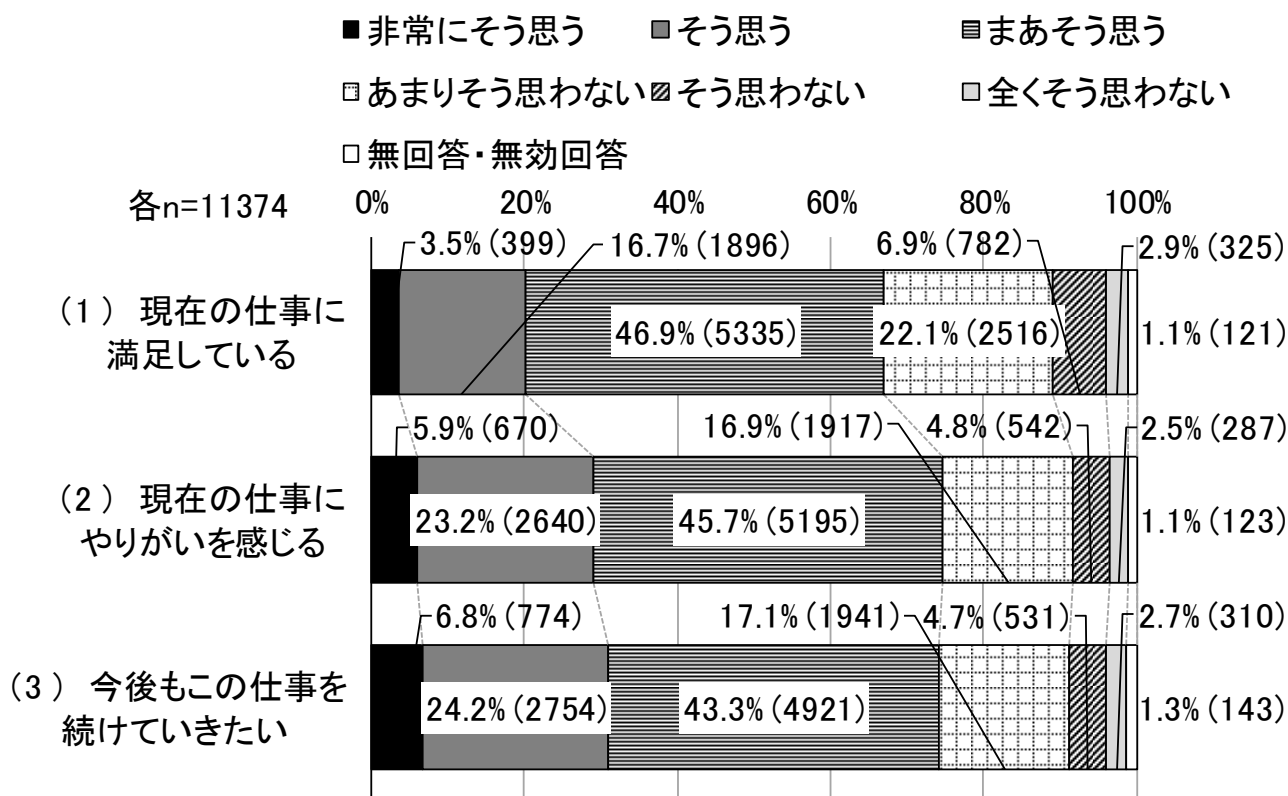
図表 81 問 13 仕事に対する気持ち（情緒的消耗感） 合計点数 (n=11202) ※
点数が高いほど良い状態



※問 13(1)~(5) 全てに回答した 11202 票について、以下の通り点数化して合計を算出
いつもある:1点 しばしばある:2点 時々ある:3点 まれにある:4点 いいえ:5点

介護職の仕事に対して満足しているか、やりがいを感じるか、今後も続けていきたいかについて、「非常にそう思う」「そう思う」「まあそう思う」を合わせると、それぞれ約70%を占めた。

図表 82 問 14 介護職の仕事についてどう感じているか 単一回答



(3) 高年齢介護助手との関わり

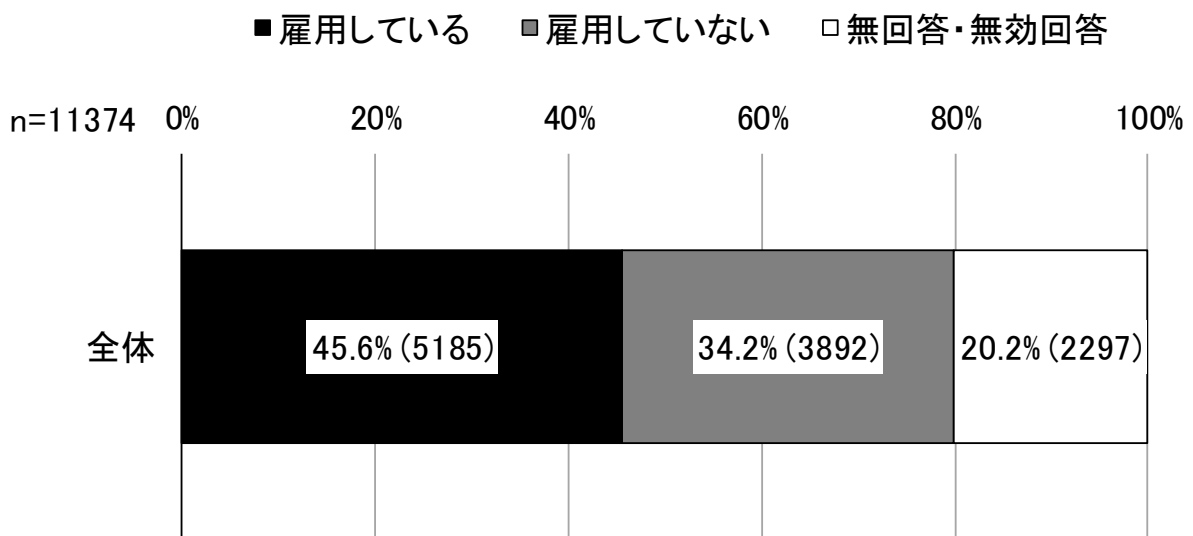
勤務先の高年齢介護助手雇用有無は、「雇用している」が45.6%、「雇用していない」が34.2%。

※図表 84～86 は高年齢介護助手を雇用していると回答した 5,185 票について集計

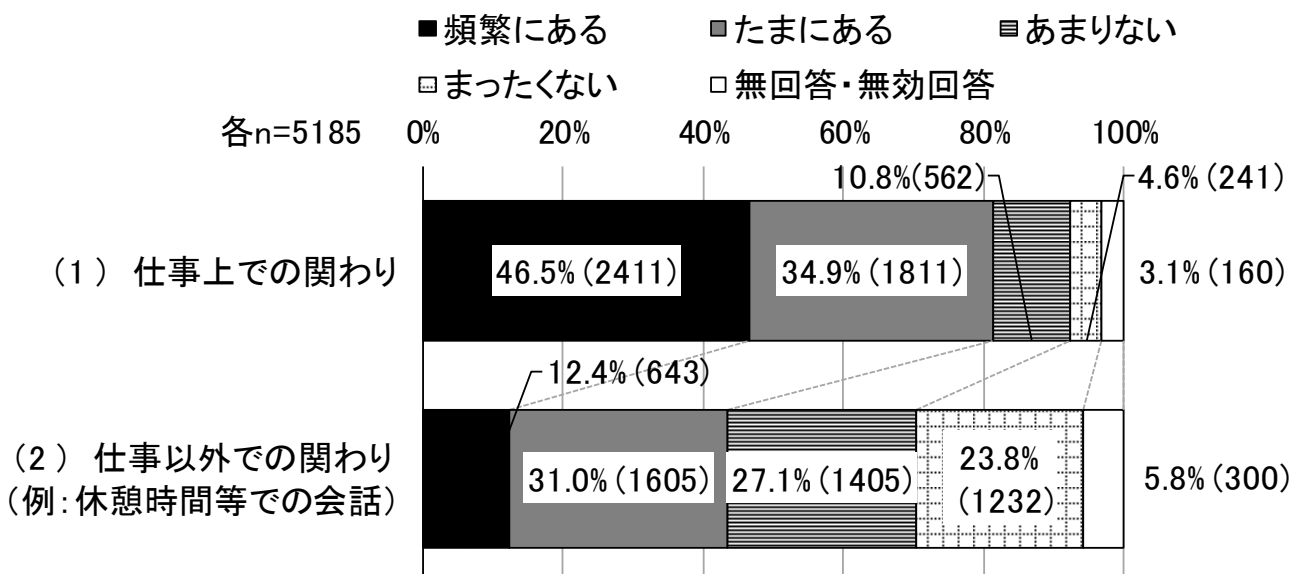
高年齢介護助手との関わりは「仕事上での関わり」は「頻繁にある」46.5%、「たまにある」34.9%で合わせると「関わりがある」という回答が8割を超えた。

一方、「仕事以外での関わり」では「頻繁にある」12.4%、「たまにある」31.0%で、合わせても約4割にとどまった。

図表 83 問 15 勤務先の高年齢介護助手雇用有無 単一回答



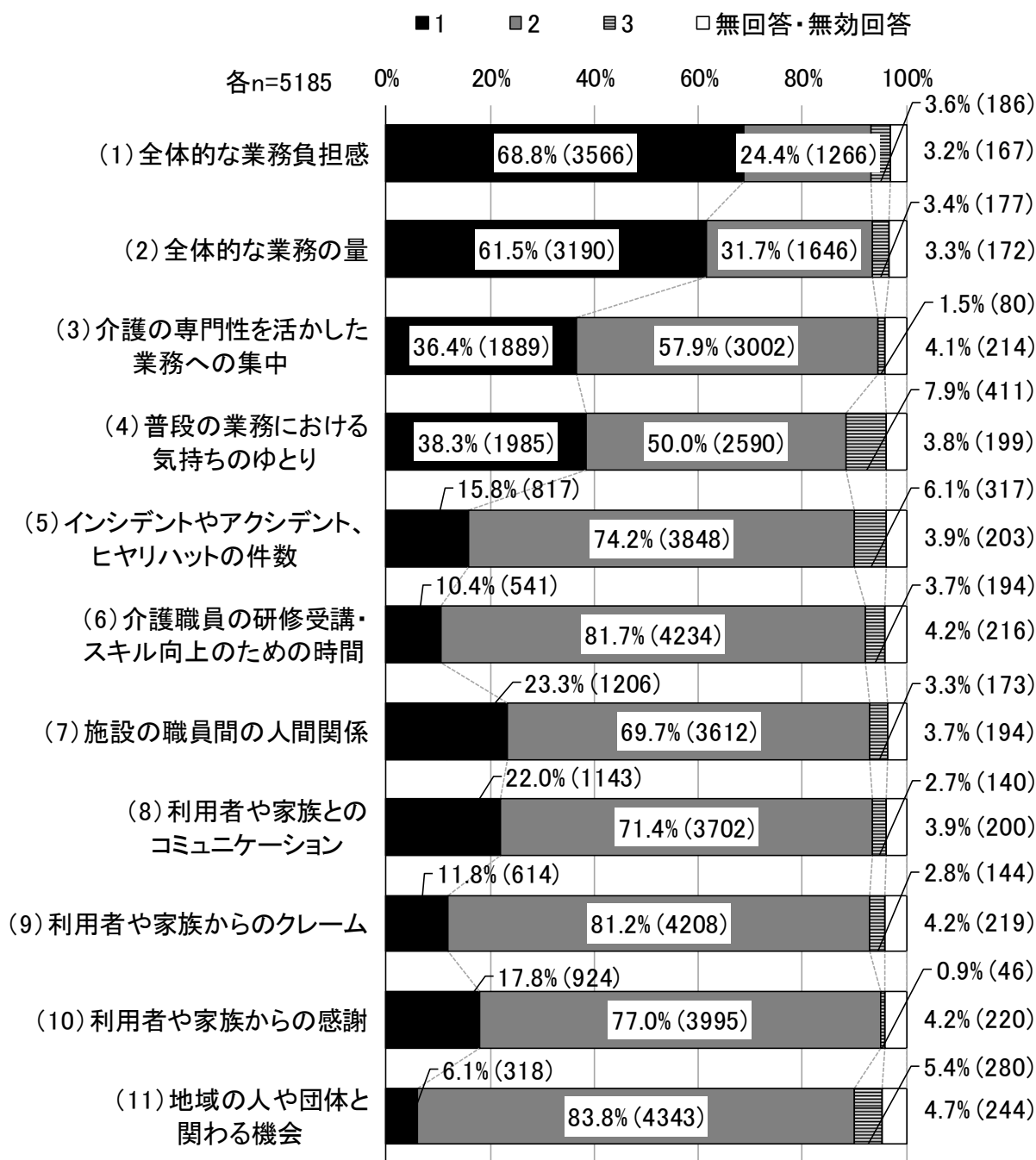
図表 84 問 16 高年齢介護助手との関わり 単一回答



高年齢介護助手雇用による影響について、プラスに働く影響を「1」、影響なしを「2」、マイナスに働く影響を「3」として、図表 85 に示す。選択肢は下部の注記を参照されたい。

「全体的な業務負担感」「全体的な業務の量」はプラスに働く影響がある（減少していると思う）と回答した割合が、それぞれ 68.8%、61.5%と多かった。また、マイナスに働く影響があったと回答した割合は総じて少なかった。

図表 85 問 17 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答

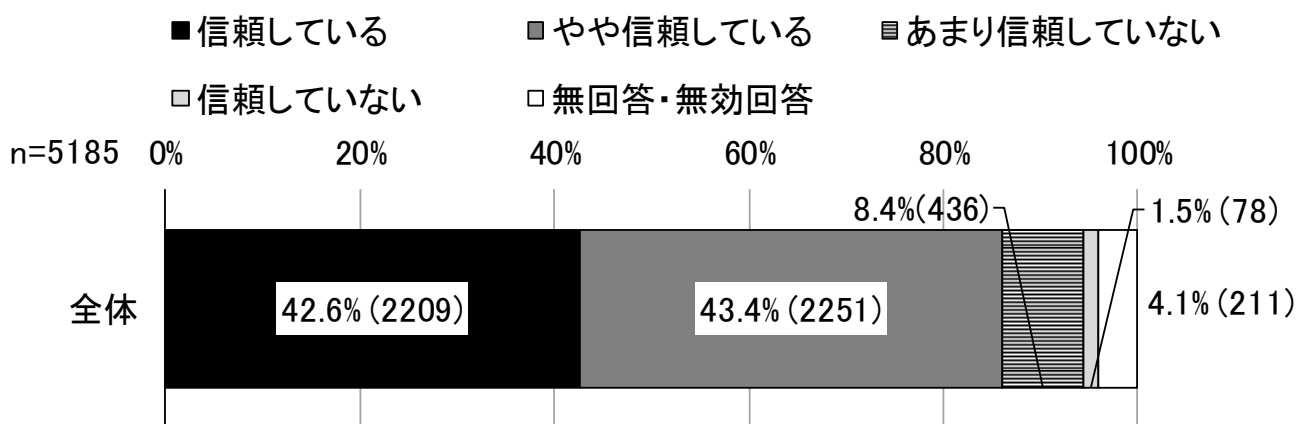


※選択肢

- (1) (2) (5) (9)・・・1:減少していると思う 2:変わらないと思う 3:増加していると思う
- (3)・・・1:高まっていると思う 2:変わらないと思う 3:低まっていると思う
- (4) (6) (8) (10) (11)・・・1:増加していると思う 2:変わらないと思う 3:減少していると思う
- (7)・・・1:良好になっていると思う 2:変わらないと思う 3:悪化していると思う

高年齢介護助手に対する信頼度は「信頼している」が42.6%、「やや信頼している」が43.4%であり、合わせると86.0%を占めた。

図表 86 問 18 高年齢介護助手に対する信頼度 単一回答



2-4. 介護助手票^{*}の結果 (n=1,606) 599 施設から回答

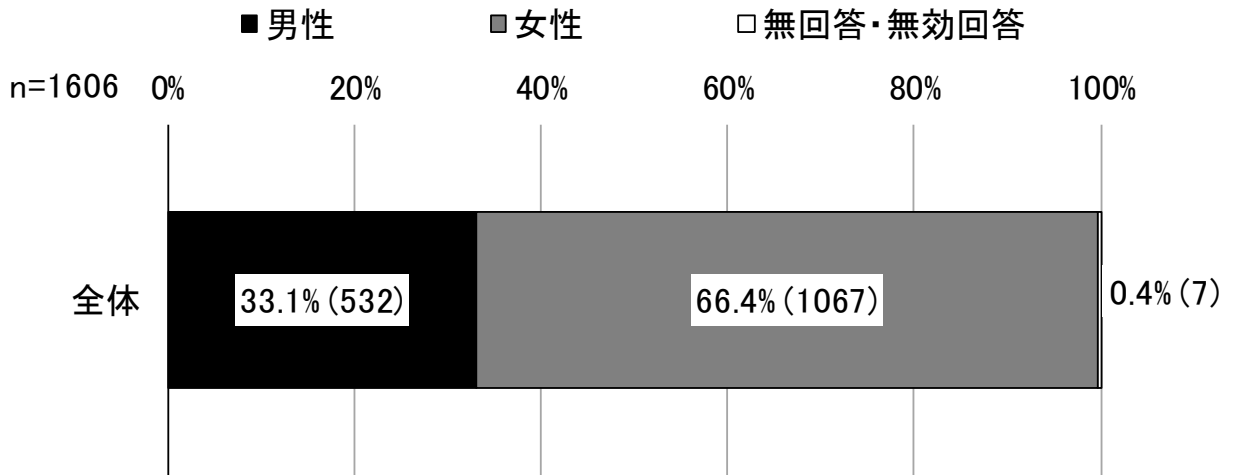
※高年齢介護助手 (60 歳以上の介護助手) 対象

(1) 回答者属性

性別は「男性」33.1%、「女性」66.4%で平均年齢は68.4歳。

介護・医療・保健・福祉関連資格の保有状況は「保有していない」が68.6%であった。

図表 87 問1 性別 単一回答



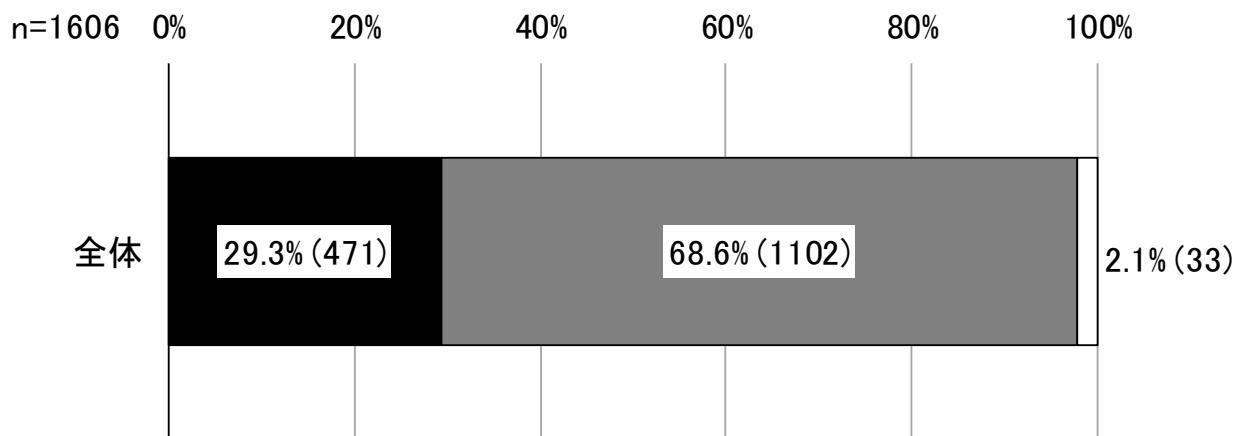
図表 88 問2 年齢 単一回答

n=1574	平均	最小値	最大値	中央値
年齢	68.4 歳	60 歳	85 歳	68 歳

※無回答・無効回答を除いて集計

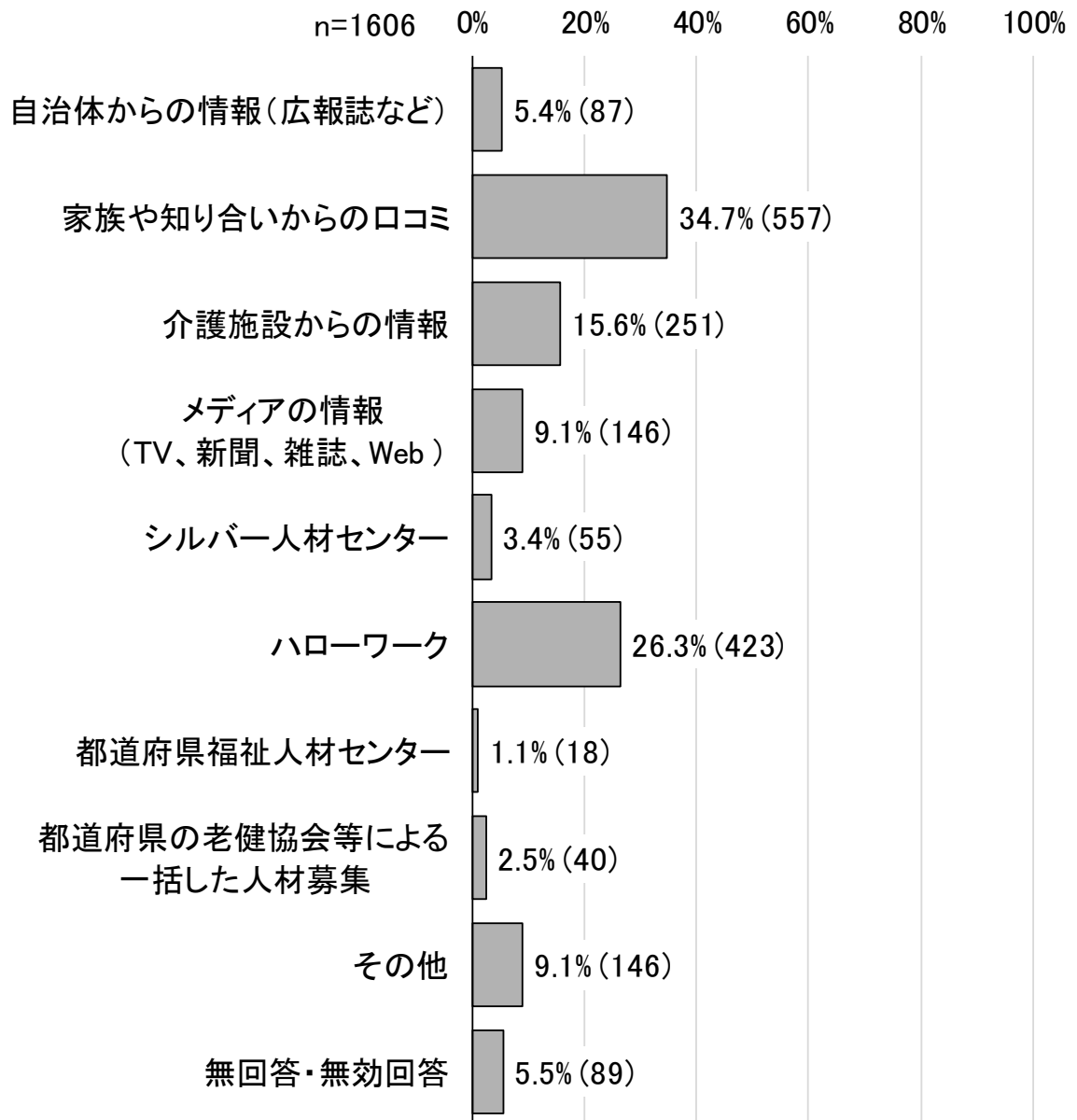
図表 89 問3 介護・医療・保健・福祉関連資格の保有状況 単一回答

■保有している ■保有していない □無回答・無効回答



介護助手の仕事をはじめたきっかけは「家族や知り合いからの口コミ」が 34.7%と最多、次いで「ハローワーク」が 26.3%、「介護施設からの情報」が 15.6%。

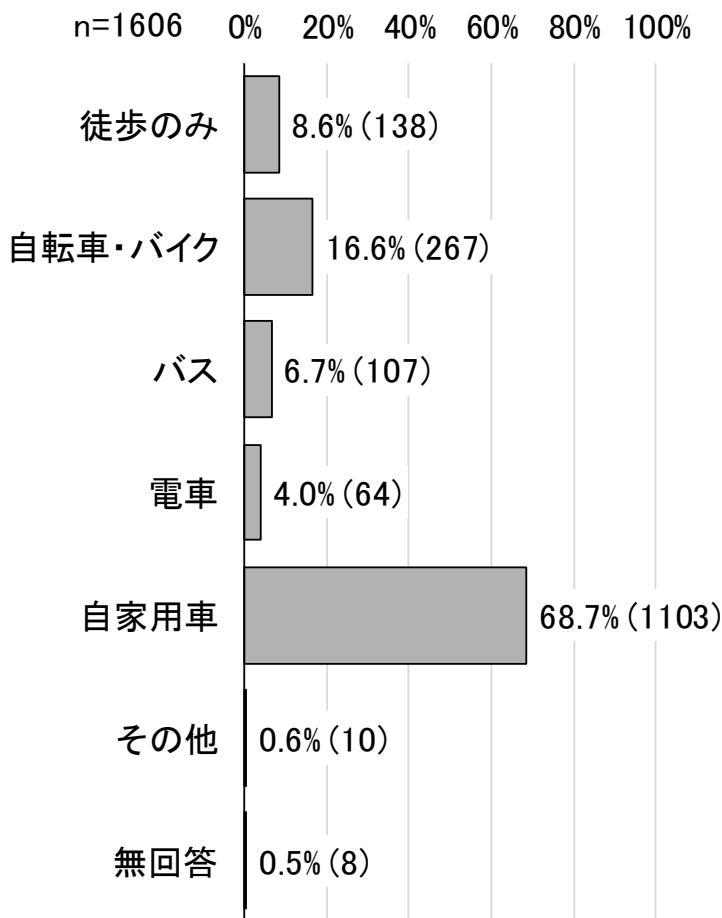
図表 90 問4 介護助手の仕事をはじめたきっかけ 複数回答



通勤手段は「自家用車」が68.7%と最多、次いで「自転車・バイク」が16.6%で片道の通勤時間は平均16.9分。

介護助手としての就労期間は平均5.4年、勤務日数は平均4.3日/週、勤務時間は平均5.1時間/回で、勤務パターンは「勤務する曜日や時間帯はだいたい固定的である」が86.1%であった。

図表 91 問 5 (1) 通勤手段 複数回答



図表 92 問 5 (2) 通勤時間 (片道)

n=1556	平均	最小値	最大値	中央値
通勤時間	16.9分	0.5分	80分	15分

図表 93 問 6 介護助手としての就労期間

n=1503	平均	最小値	最大値	中央値
勤務期間	5.4年	0.0年	40.0年	3.4年

図表 94 問 7 (1) 1週間の勤務日数

n=1564	平均	最小値	最大値	中央値
勤務日数	4.3日	1日	7日	4日

図表 95 問 7 (2) 1回あたりの勤務時間

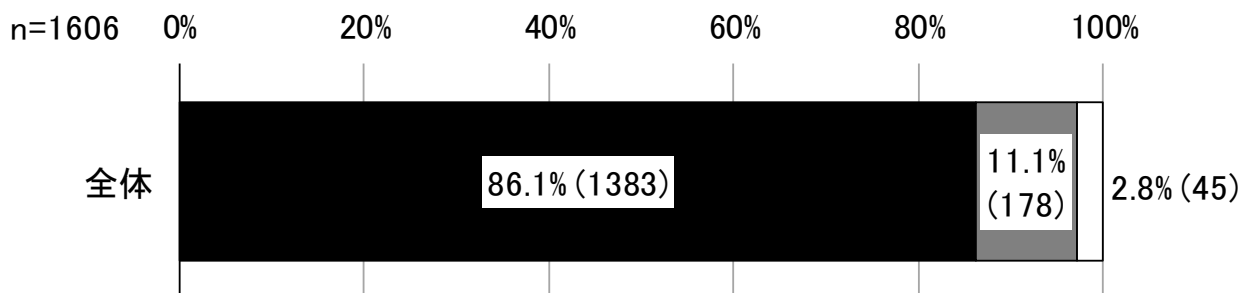
n=1576	平均	最小値	最大値	中央値
勤務時間	5.1時間	0.3時間	21.0時間	5.0時間

※図表 92～95 それぞれ無回答・無効回答を除いて集計
※異常値と思われる回答もあったが、詳細不明のため有効回答してそのまま集計している

図表 96 問 7 (3) 勤務パターン 単一回答

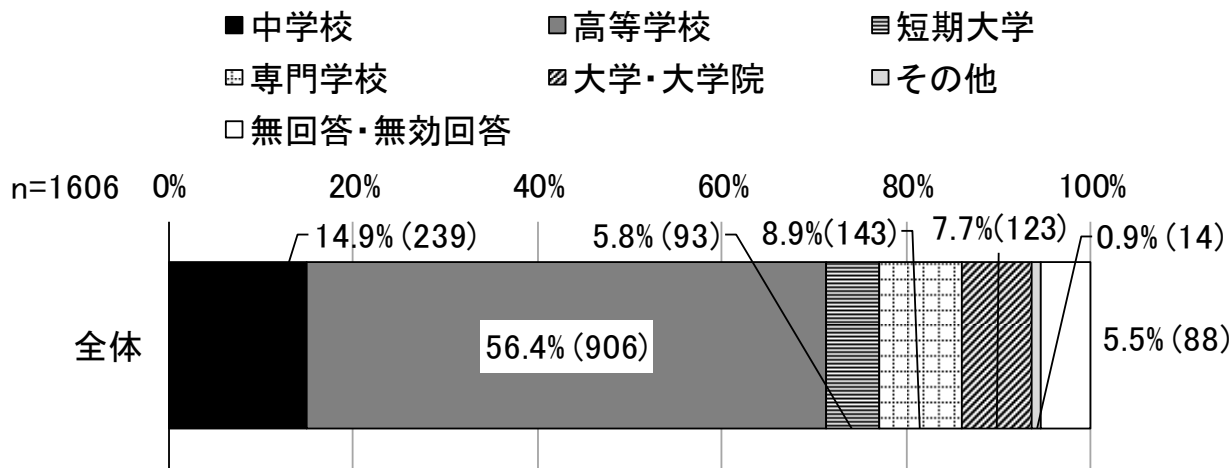
- 勤務する曜日や時間帯は、だいたい固定的である
- 勤務する曜日や時間帯は、流動的で日によって変わることが多い

□ 無回答・無効回答

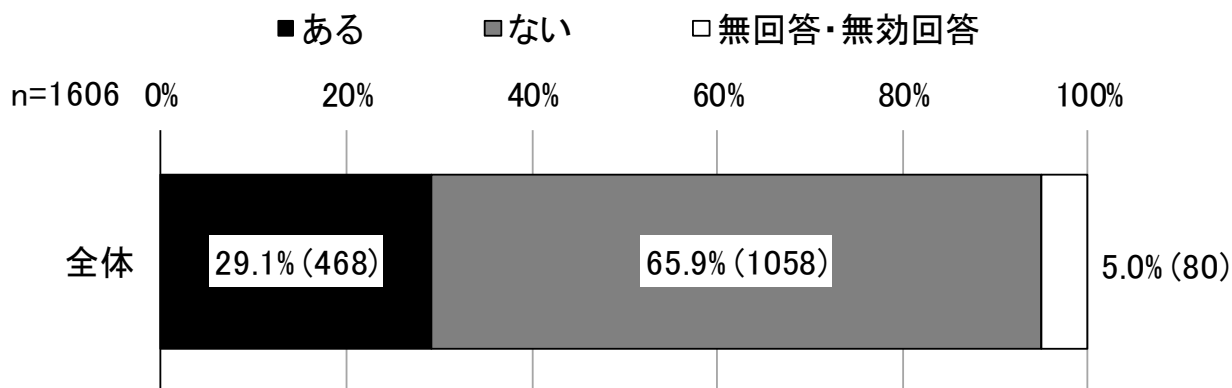


最終学歴は「高等学校」が 56.4%と最多で、介護・医療・保健・福祉関連の仕事に携わった経験は「ない」が 65.9%。

図表 97 問 8 最終学歴 単一回答

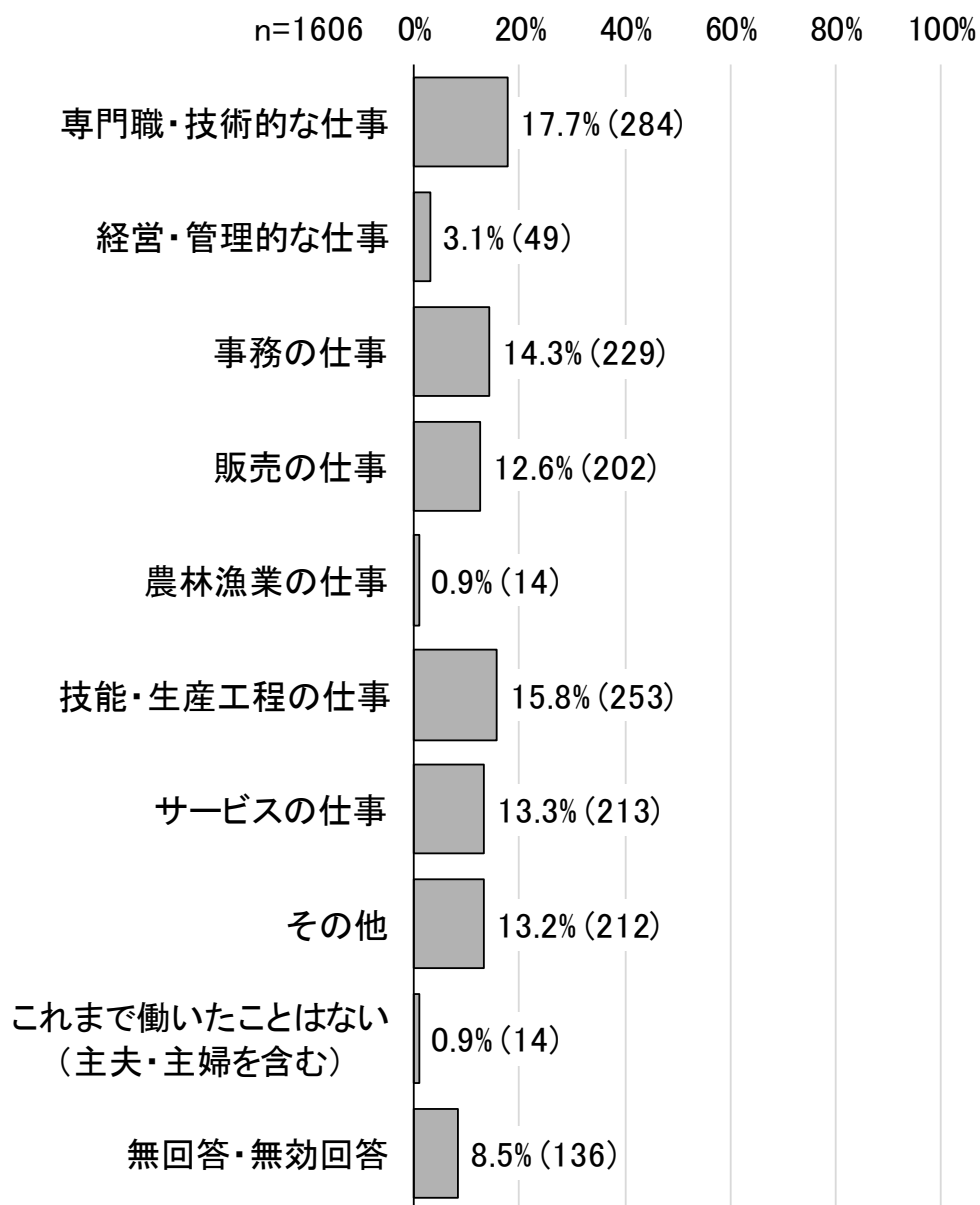


図表 98 問 9 介護・医療・保健・福祉関連の仕事に携わった経験 単一回答



これまでに最も長く従事した仕事は「専門職・技術的な仕事」が17.7%と最多、次いで「技能・生産工程の仕事」が15.8%、「事務の仕事」が14.3%であった。

図表 99 問 10 これまでに最も長く従事した仕事 単一回答



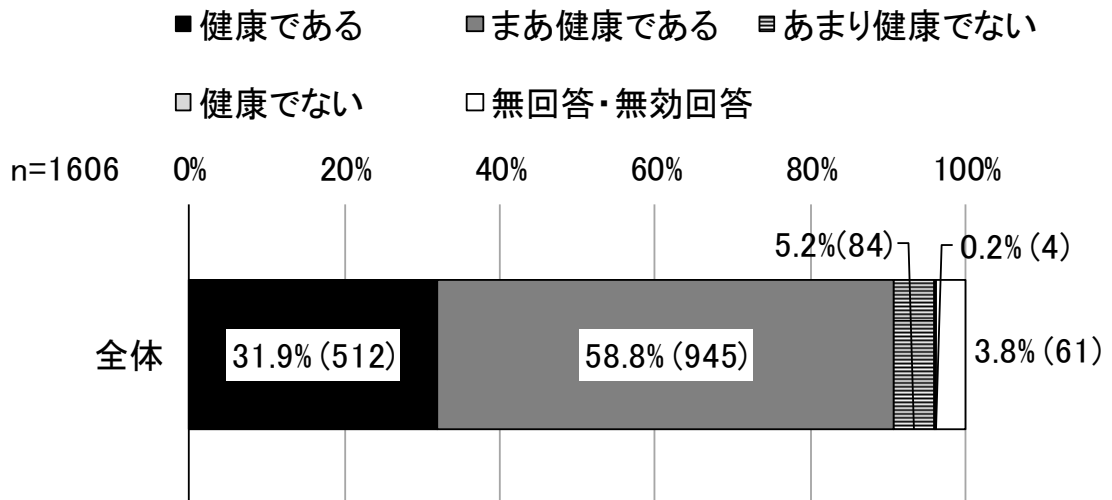
(2) 健康状態・意識・環境

自身が健康だと思うかでは、「健康である」31.9%、「まあ健康である」58.8%であった。

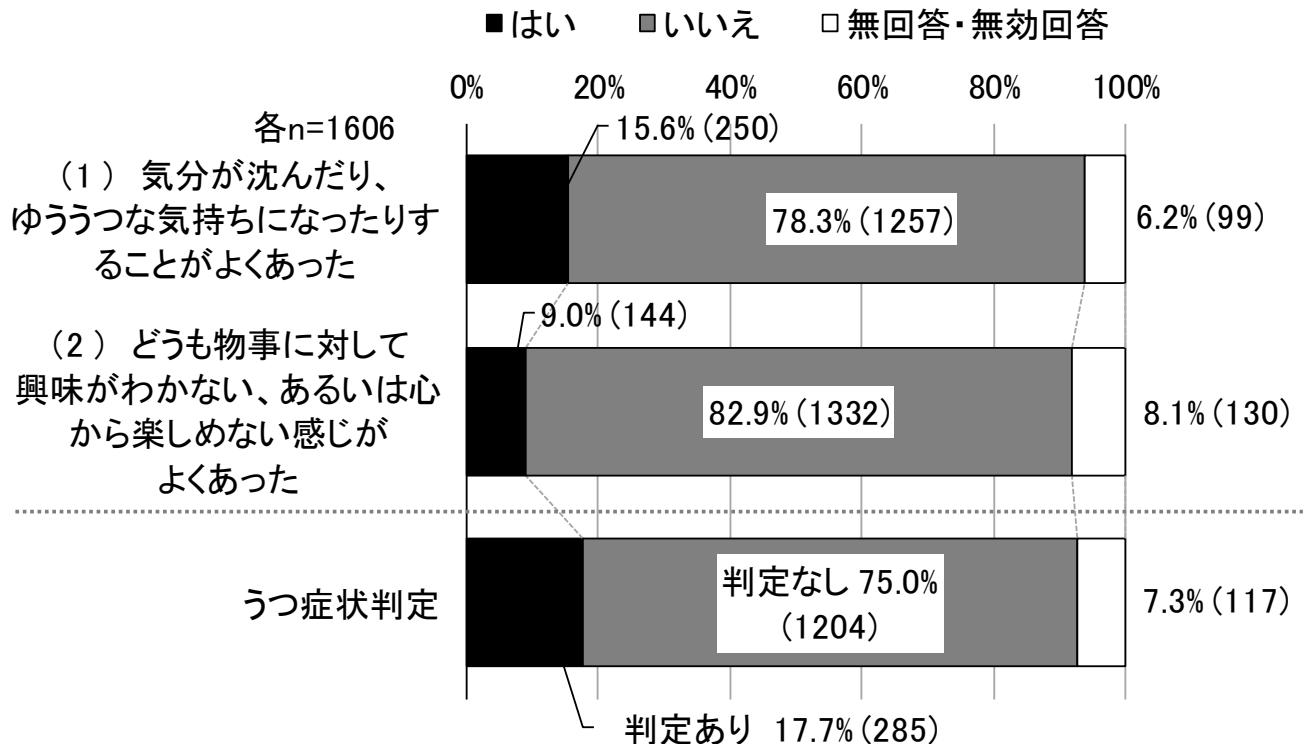
うつ症状判定（直近1ヶ月間の状況）について、「(1) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがよくあった」では15.6%、「(2) どうも物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった」では9.0%が「はい」と回答しており、うつ症状の「判定あり」は17.7%であった。

（うつ症状判定：(1) (2) いずれかで「はい」と回答した場合「判定あり」）

図表 100 問 11 普段の健康意識 単一回答



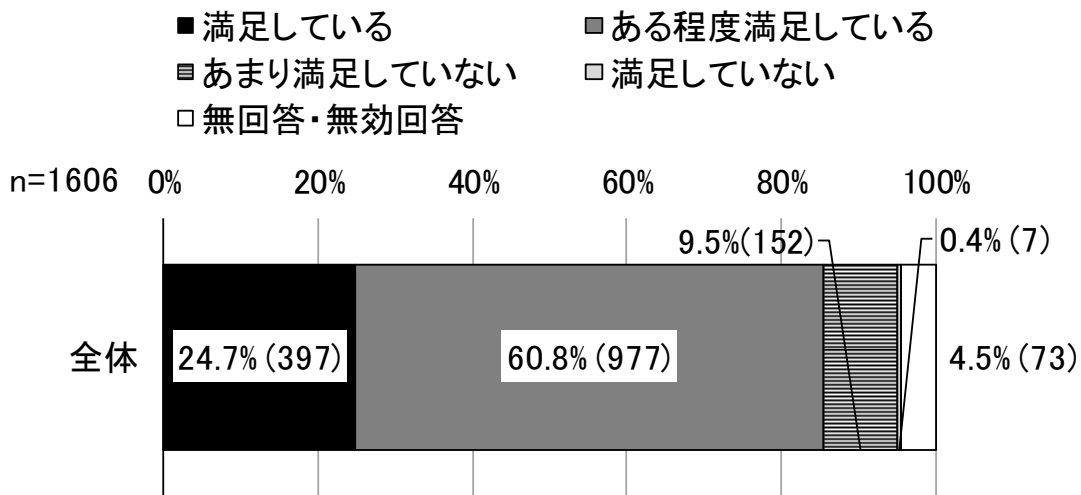
図表 101 問 12 うつ症状判定（直近1ヶ月の状況） 単一回答



※判定あり：(1) (2) いずれかで「はい」と回答
 判定なし：(1) (2) いずれにも「いいえ」と回答
 無回答・無効回答：上記以外

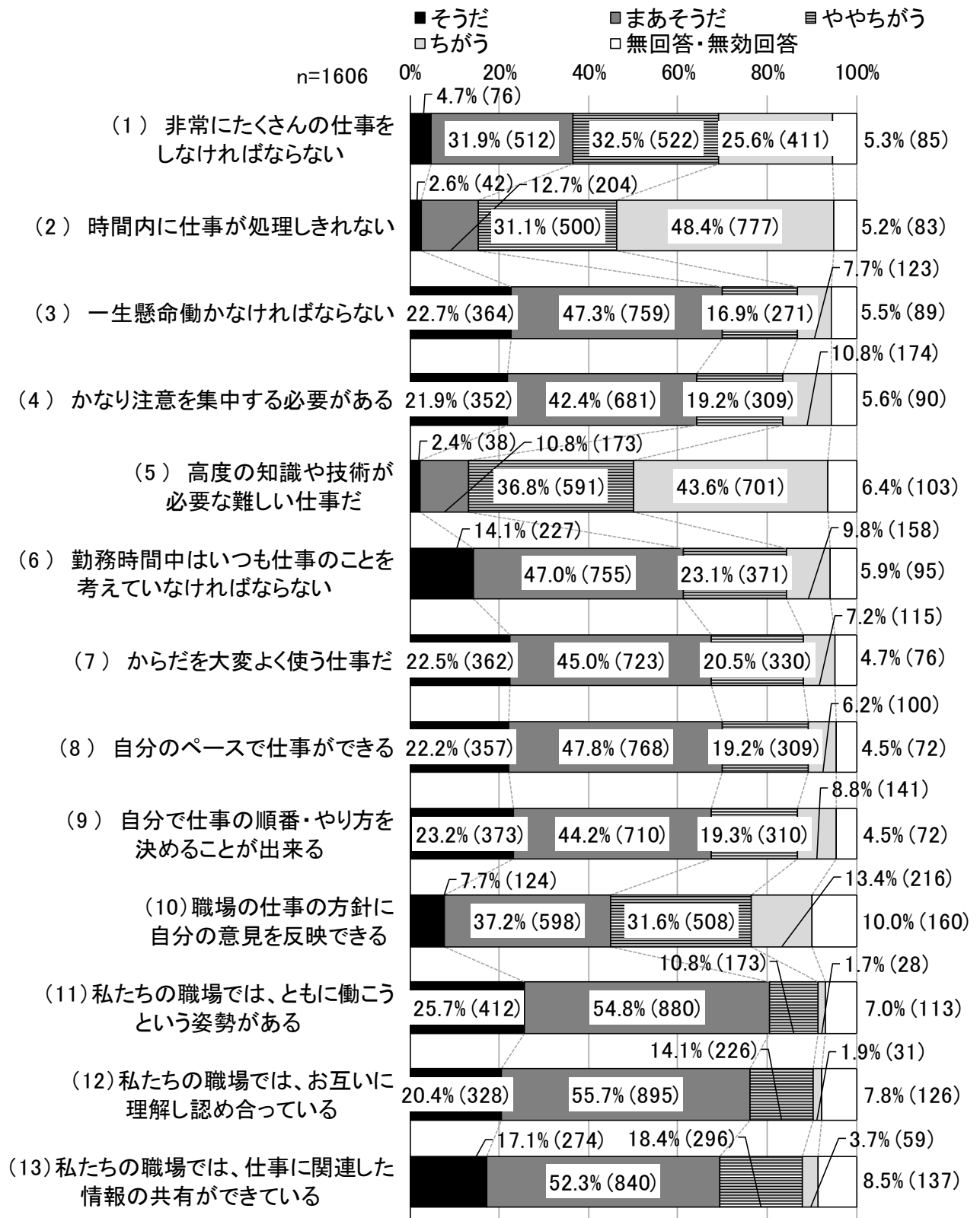
最近の生活に対する満足度は、「満足している」が24.7%、「ある程度満足している」が60.8%であり、合わせると8割を超えた。

図表 102 問 13 最近の生活に対する満足度 単一回答



新職業性ストレス簡易調査票に基づいて、仕事や職場環境等について確認した結果、「職場の一体感」の項目：「私たちの職場では、ともに働こうという姿勢がある」「私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている」「私たちの職場では、仕事に関連した情報の共有ができています」については、「そうだ」「まあそうだ」を合わせるとそれぞれ約7割～8割を占めていた。これらを得点化したものが図表 104。（点数が高いほど良い状態）

図表 103 問 14 仕事や職場環境について 単一回答



図表 104 問 14 仕事や職場環境について 点数 (n=1273) ※
点数が高いほど良い状態

	項目	平均
仕事の量的負担	(1) 非常にたくさんの仕事をしなければならない (2) 時間内に仕事が処理しきれない (3) 一生懸命働かなければならない	2.8 点
仕事の質的負担	(4) かなり注意を集中する必要がある (5) 高度の知識や技術が必要な難しい仕事だ (6) 勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	2.6 点
身体的負担度	(7) からだを大変よく使う仕事だ	2.2 点
仕事のコントロール	(8) 自分のペースで仕事ができる (9) 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる (10) 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	2.7 点
職場の一体感 (ソーシャル・キャピタル)	(11) 私たちの職場では、ともに働こうという姿勢がある (12) 私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている (13) 私たちの職場では、仕事に関連した情報の共有ができています	3.0 点

※問 14(1)～(13)全てに回答した 1273 票について、回答を以下の通り点数化して平均を算出

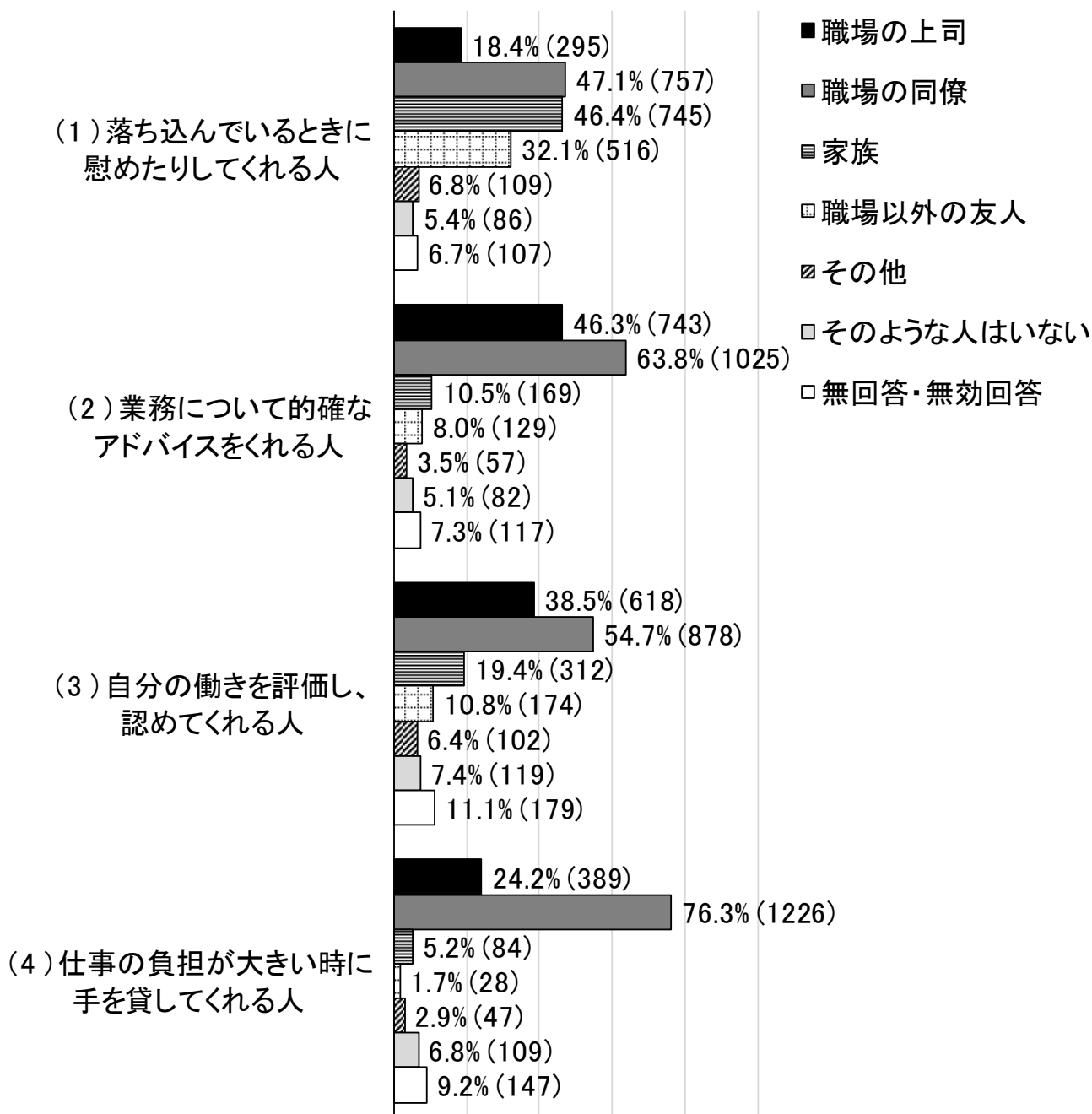
(1)～(7)・・・そうだ:1 点 まあそうだ:2 点 ややちがう:3 点 ちがう:4 点

(8)～(13)・・・そうだ:4 点 まあそうだ:3 点 ややちがう:2 点 ちがう:1 点

周囲の環境（落ち込んでいるときに慰めたりしてくれる人等）については、今回調査した4項目全てにおいて「職場の同僚」が最多であった。

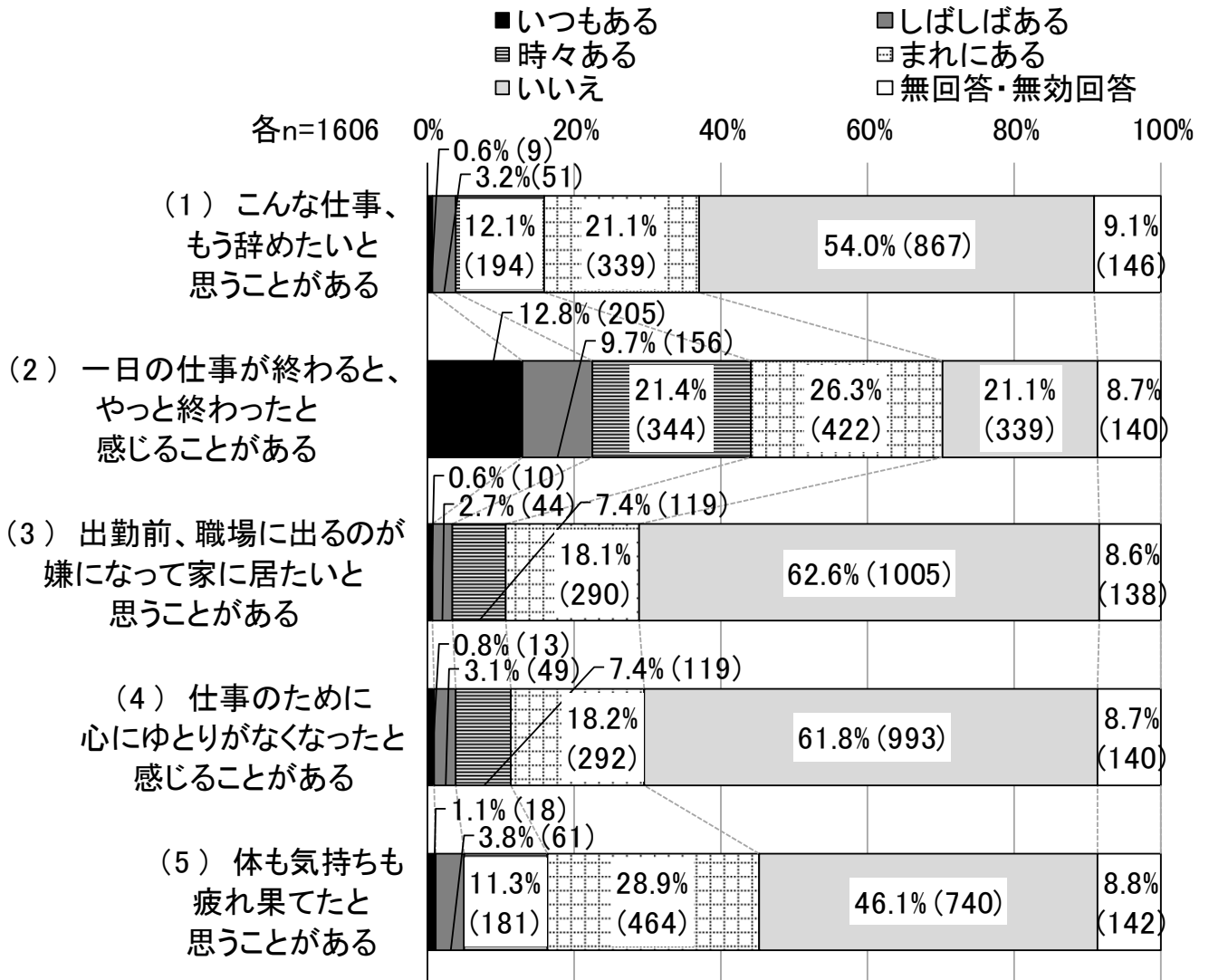
図表 105 問 15 周囲の環境 複数回答

各n=1606 0% 20% 40% 60% 80% 100%

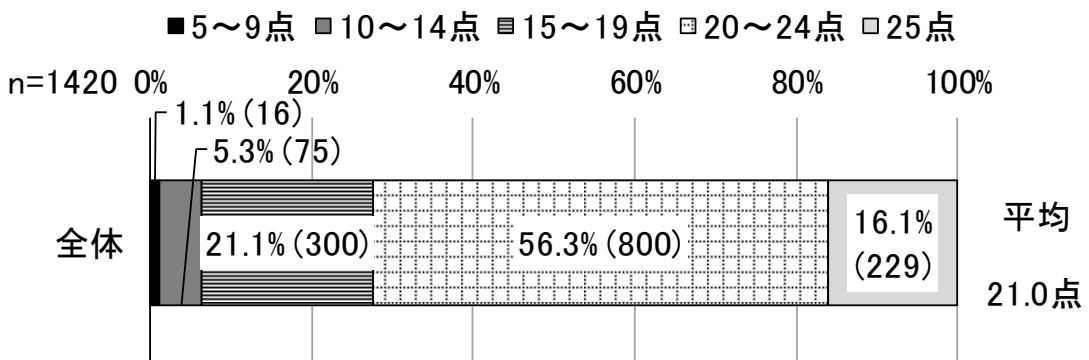


仕事に対する気持ち（情緒的消耗感）については、全体的に「ある」という回答が少ないが、「一日の仕事が終わると、やっと終わったと感じることがある」は他の項目より「いつもある」「しばしばある」の割合が高く、合わせると2割を超えていた。これらを点数化したものが図表 107。（点数が高いほど良い状態）

図表 106 問 16 仕事に対する気持ち（情緒的消耗感） 単一回答



図表 107 問 16 仕事に対する気持ち（情緒的消耗感） 合計点数（n=1420）※
点数が高いほど良い状態

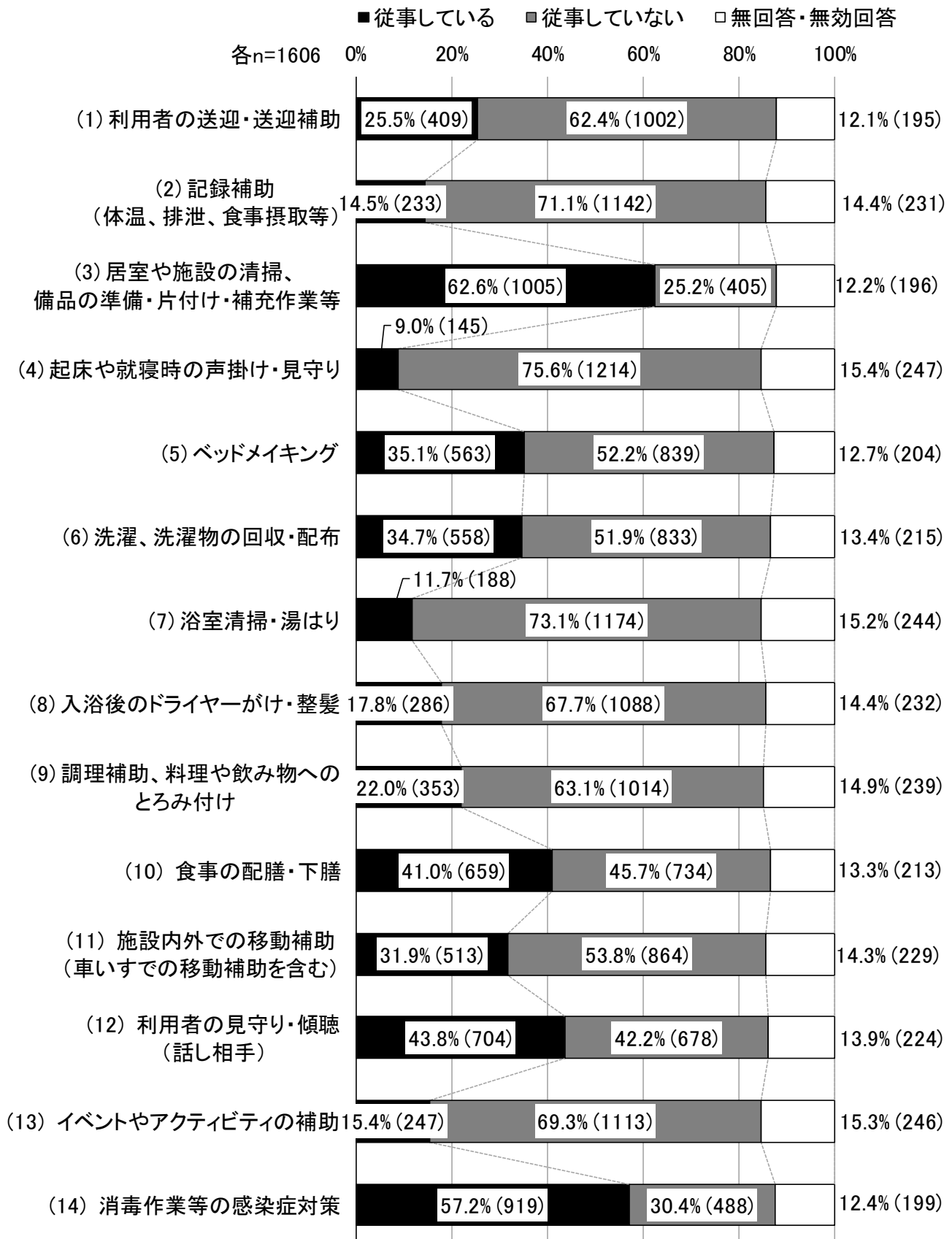


※問 13(1)～(5) 全てに回答した 1420 票について、以下の通り点数化して合計を算出
いつもある:1点 しばしばある:2点 時々ある:3点 まれにある:4点 いいえ:5点

(3) 従事している業務

介護助手としての従事状況について、「居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等」が最も多く 62.6%、次いで「消毒作業等の感染症対策」が 57.2%であった。

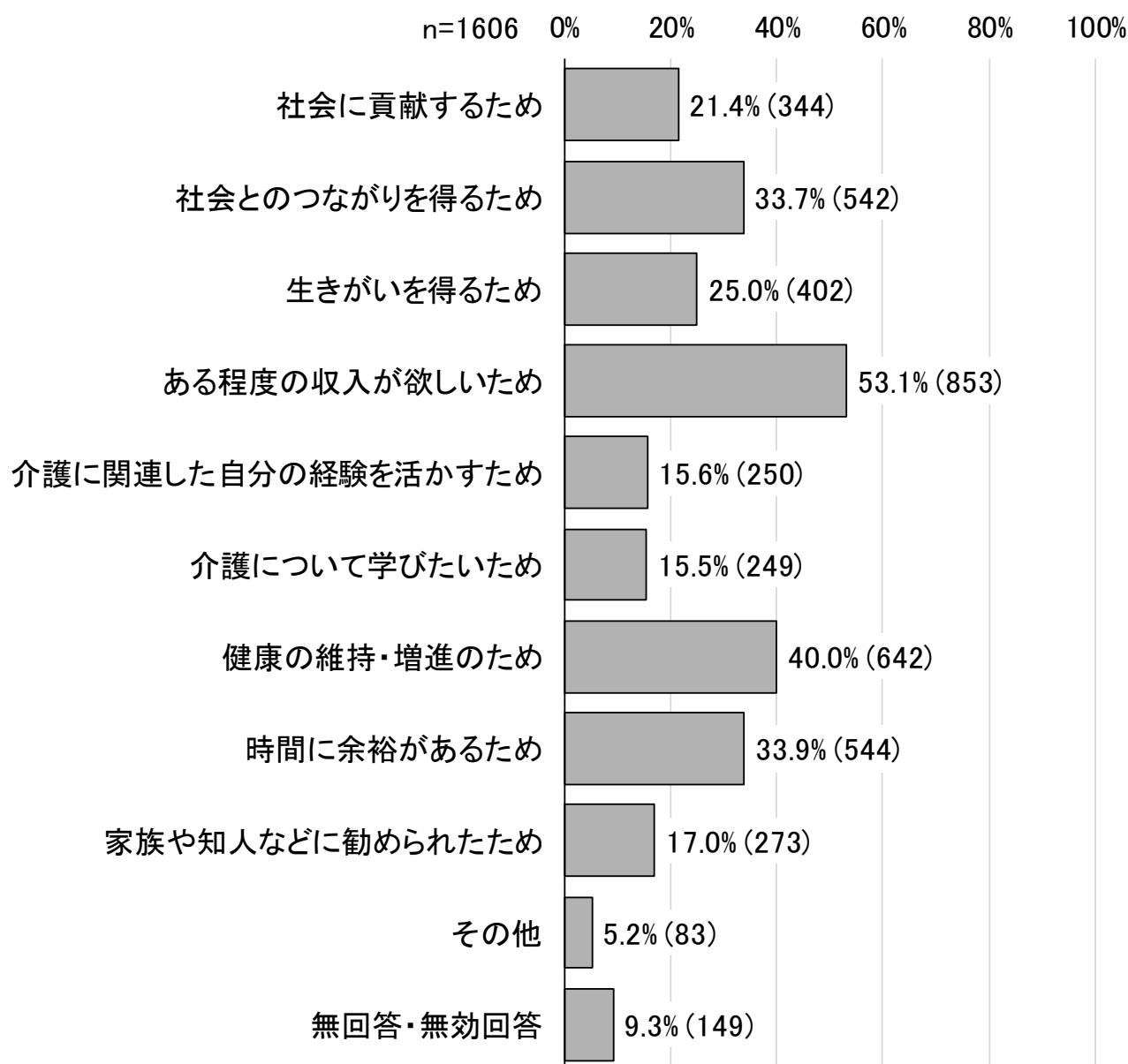
図表 108 問 17 介護助手としての従事状況 単一回答



(4) はじめた理由・影響・満足度

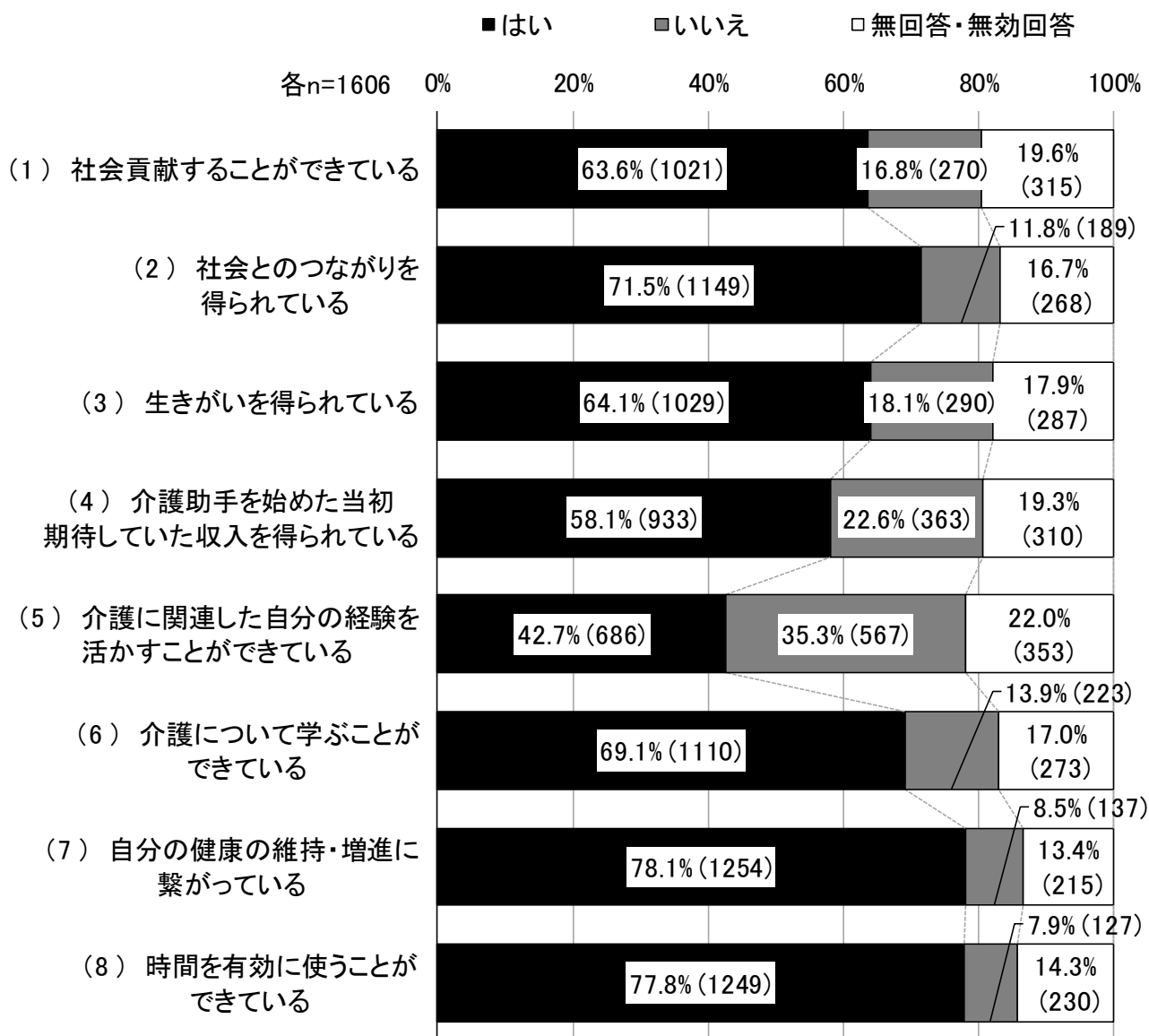
介護助手の仕事をはじめた理由は、多いものから順に「ある程度の収入が欲しいため」53.1%、「健康の維持・増進のため」40.0%、「時間に余裕があるため」33.9%であった。

図表 109 問 18 介護助手の仕事をはじめた理由 複数回答



介護助手の仕事をはじめたことによる影響について、今回調べた項目では全体的に良い影響が得られている旨の回答が多く、「社会とのつながりを得られている」「自分の健康の維持・増進に繋がっている」「時間を有効に使うことができている」では「はい」が、それぞれ7割を超えていた。

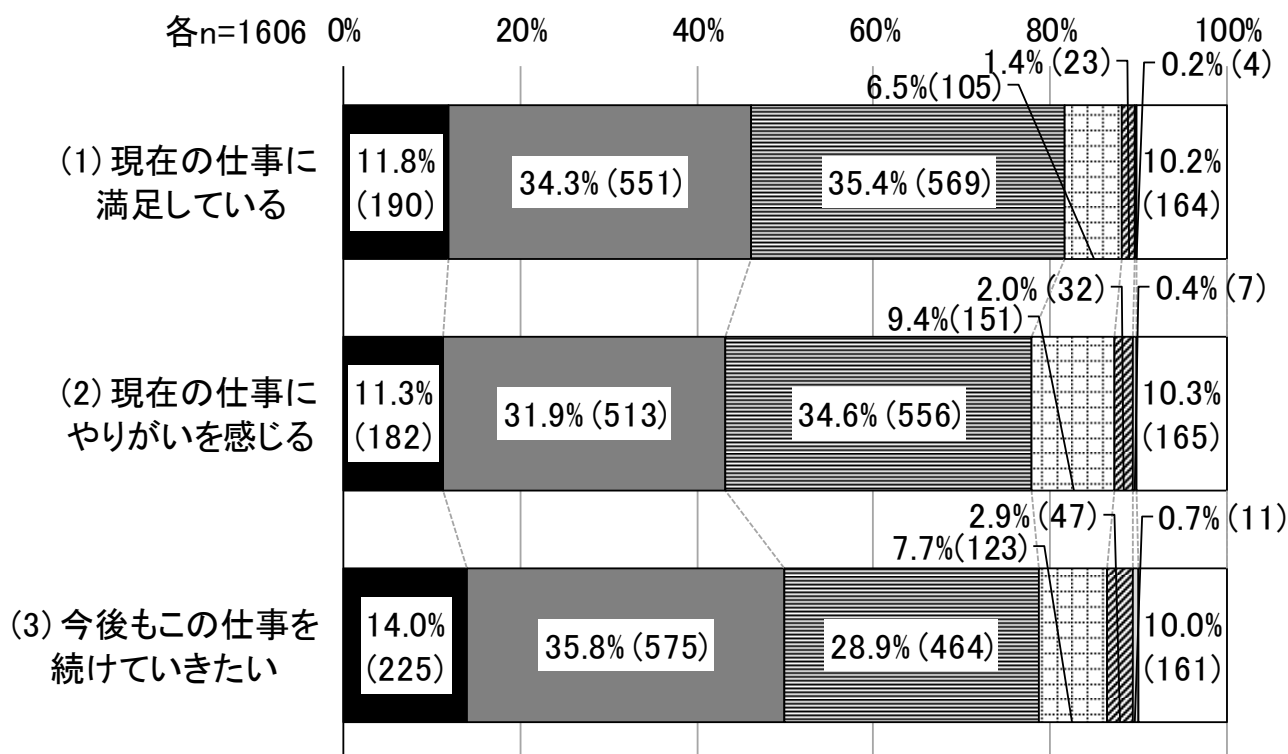
図表 110 問 19 介護助手の仕事をはじめたことによる影響 単一回答



介護助手の仕事に対して満足しているか、やりがいを感じるか、今後も続けていきたいかについては、「非常にそう思う」「そう思う」「まあそう思う」を合わせると、それぞれ約80%を占めた。

図表 111 問 22 介護助手の仕事についてどう感じているか 単一回答

- 非常にそう思う ■ そう思う ▨ まあそう思う
- ▩ あまりそう思わない ▩ そう思わない □ 全くそう思わない
- 無回答・無効回答



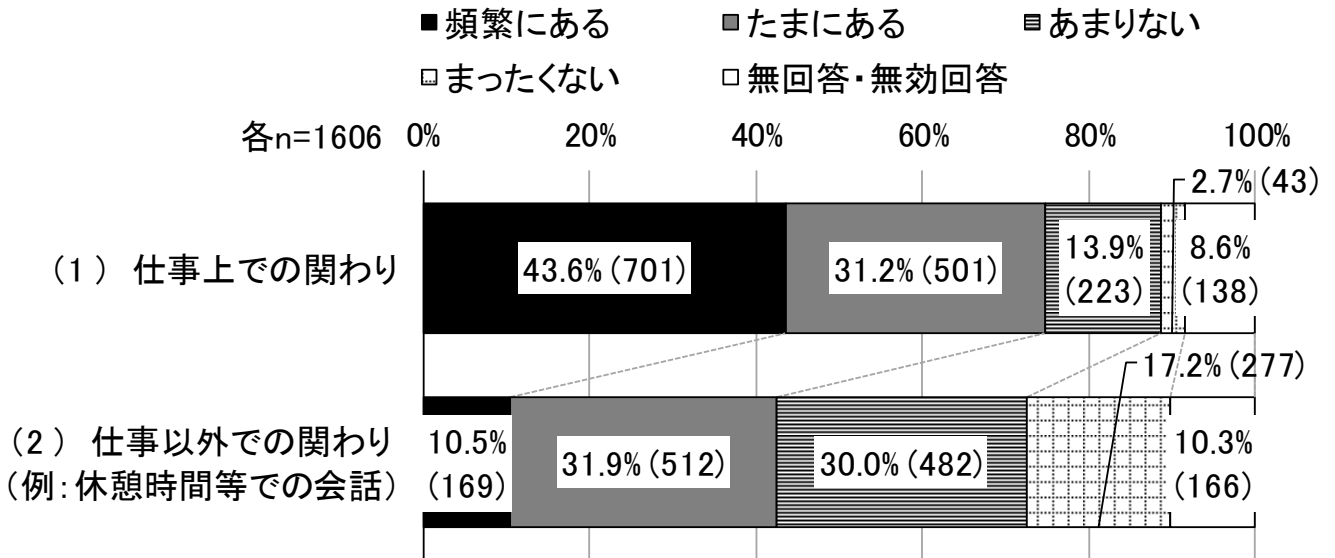
(5) 介護職員との関わり

介護職員との関わりは「仕事上での関わり」は「頻繁にある」43.6%、「たまにある」31.2%で合わせると「関わりがある」という回答が7割を超えた。

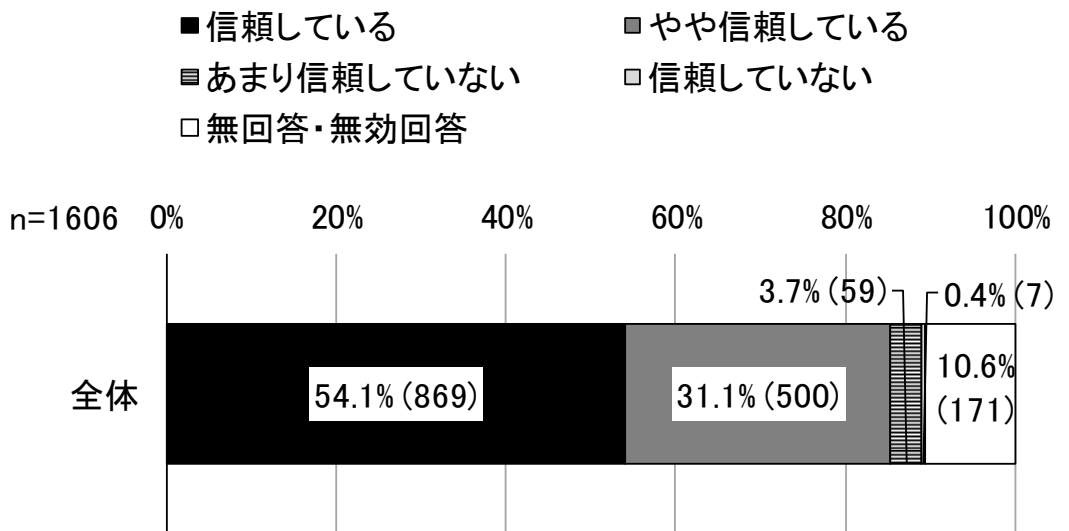
一方、「仕事以外での関わり」では「頻繁にある」10.5%、「たまにある」31.9%で、合わせても約4割にとどまった。

介護職員に対する信頼度については、「信頼している」54.1%、「やや信頼している」31.1%で合わせると8割を超えた。

図表 112 問 20 介護職員との関わり 単一回答



図表 113 問 21 介護職員に対する信頼度 単一回答



3章. クロス集計結果

3-1 施設票クロス集計

本項では施設票の問7において、高年齢介護助手を「現在雇用している」と回答した687施設について、施設票の問8(1)「2020年9月1日時点の高年齢介護助手の人数」から以下の群に分けて集計した結果を掲載する。

※サンプル数僅少の群もある為、参考値として留意されたい

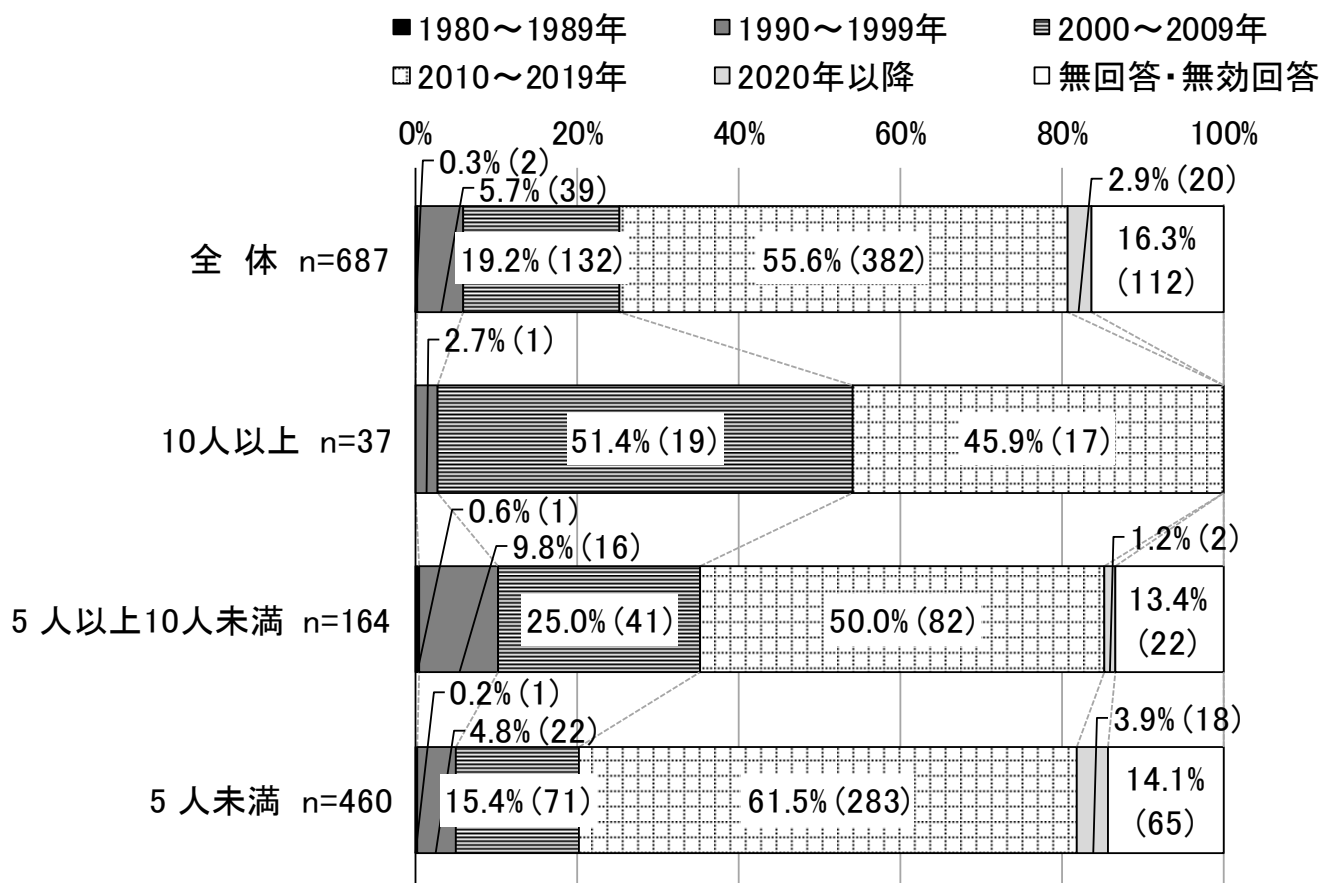
群分け		n
全体※		687
2020年9月1日時点 高年齢介護助手の人数	10人以上	37
	5人以上10人未満	164
	5人未満	460

※全体には高年齢介護助手の人数不明（無回答・無効回答）も含まれる。2020年9月1日時点の高年齢介護助手0名という回答（該当1施設）については、「5人未満」ではなく「人数不明」として扱っている。

主な結果は以下の通り。

- ・高年齢介護助手が多い群程、高年齢介護助手雇用のための補助金／助成金等を利用している割合が高かった。（図表117）
- ・高年齢介護助手が多い群程、募集方法として該当する割合が高かった（色々な方法で募集していた）。（図表119）
- ・高年齢介護助手が多い群程、導入当初の課題について、該当する割合が高く、「特に課題はなかった」という割合が低かった（何かしらの課題があった）。（図表122）
- ・高年齢介護助手が多い群程、高年齢介護助手に対して「決まった教育体制はない」という割合が低かった（何かしらの決まった教育体制がある）。（図表124）
- ・高年齢介護助手が「10人以上」「5人以上10人未満」の群は「5人未満」の群と比べて、高年齢介護助手継続雇用のために何かしらの工夫をしている割合が高かった。（図表125）
- ・満足度について、「満足している」という割合は高年齢介護助手が「5人以上10人未満」の群が他の群よりやや高かった（「満足している」「やや満足している」を合わせるとどの群も9割超）。（図表180）

図表 114 高年齢介護助手の雇用人数別 問9 高年齢介護助手を雇用しはじめた時期



図表 115 高年齢介護助手の雇用人数別 問11 各年9月1日時点の高年齢介護助手の人数

		2017年	2018年	2019年
全体	n	593	604	614
	平均	2.7人	3.0人	3.4人
	最小値	0人	0人	0人
	最大値	28人	32人	30人
	中央値	2人	2人	2人
10人以上	n	33	34	34
	平均	10.4人	11.1人	11.6人
	最小値	0人	0人	0人
	最大値	28人	32人	30人
	中央値	10人	10人	11人
5人以上10人未満	n	152	152	155
	平均	4.7人	5.2人	5.7人
	最小値	0人	0人	0人
	最大値	14人	11人	11人
	中央値	5人	5人	6人
5人未満	n	406	416	423
	平均	1.4人	1.6人	1.9人
	最小値	0人	0人	0人
	最大値	8人	8人	8人
	中央値	1人	1人	1人

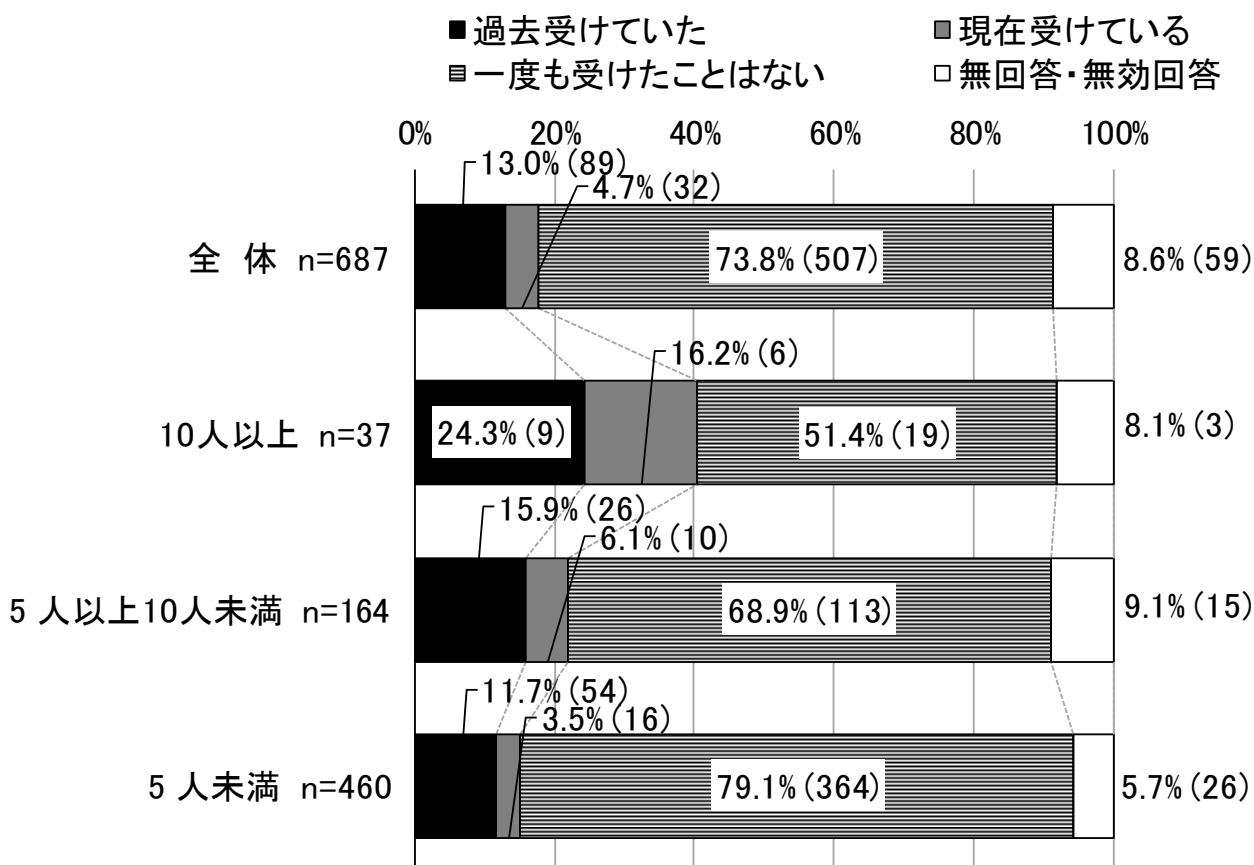
※無回答・無効回答を除いて集計

図表 116 高年齢介護助手の雇用人数別 問 11 各年 9 月 1 日時点の 59 歳以下の介護助手の人数

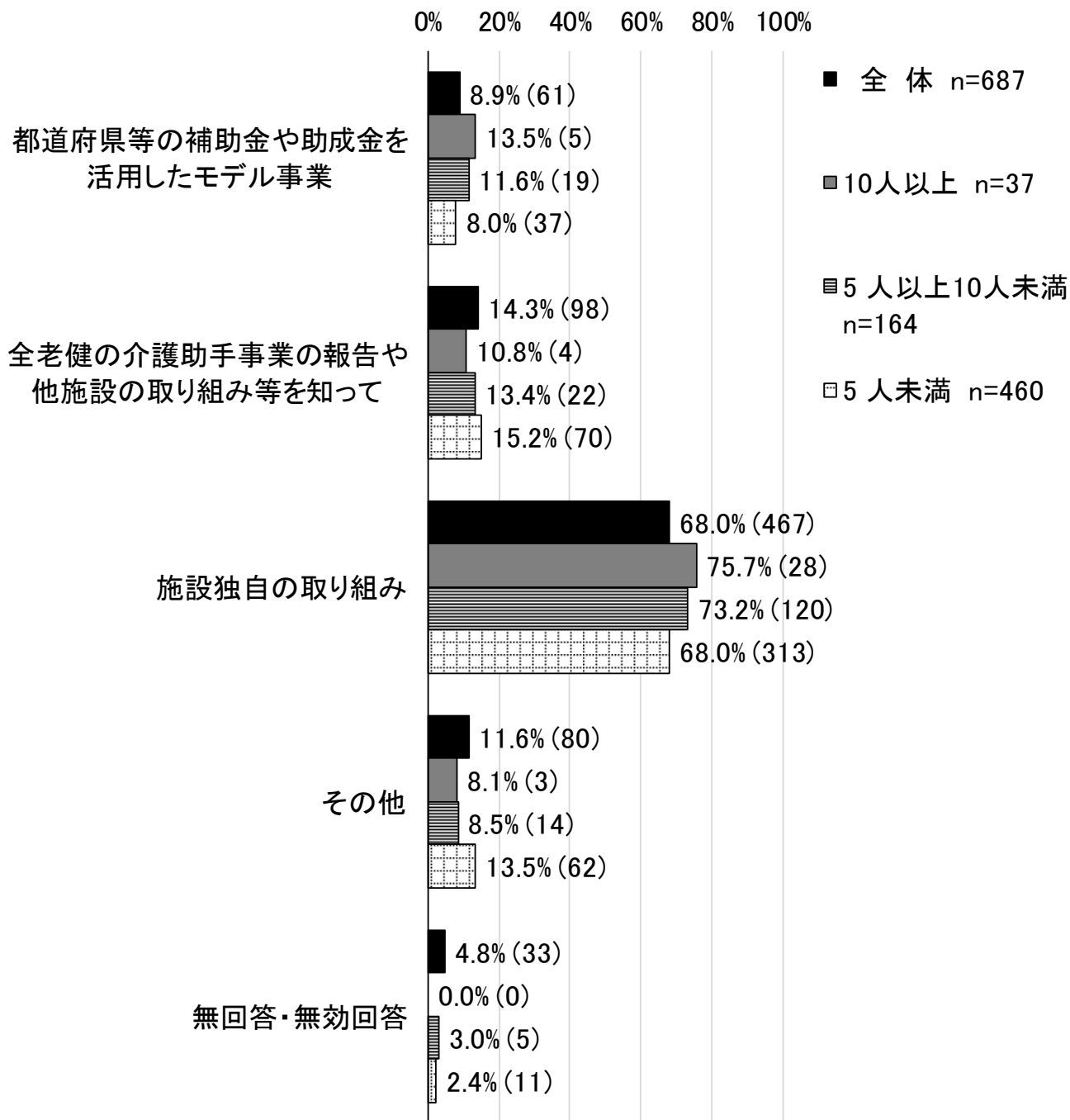
		2017 年	2018 年	2019 年
全体	n	598	605	615
	平均	1.3 人	1.5 人	1.7 人
	最小値	0 人	0 人	0 人
	最大値	41 人	41 人	41 人
	中央値	0 人	1 人	1 人
10 人以上	n	33	34	34
	平均	2.6 人	3.0 人	3.3 人
	最小値	0	0 人	0 人
	最大値	11 人	12 人	12 人
	中央値	2 人	2 人	2 人
5 人以上 10 人未満	n	153	154	156
	平均	1.2 人	1.4 人	1.7 人
	最小値	0 人	0 人	0 人
	最大値	8 人	10 人	9 人
	中央値	1 人	1 人	1 人
5 人未満	n	405	410	418
	平均	1.2 人	1.4 人	1.5 人
	最小値	0 人	0 人	0 人
	最大値	41 人	41 人	41 人
	中央値	0 人	0 人	1 人

※無回答・無効回答を除いて集計

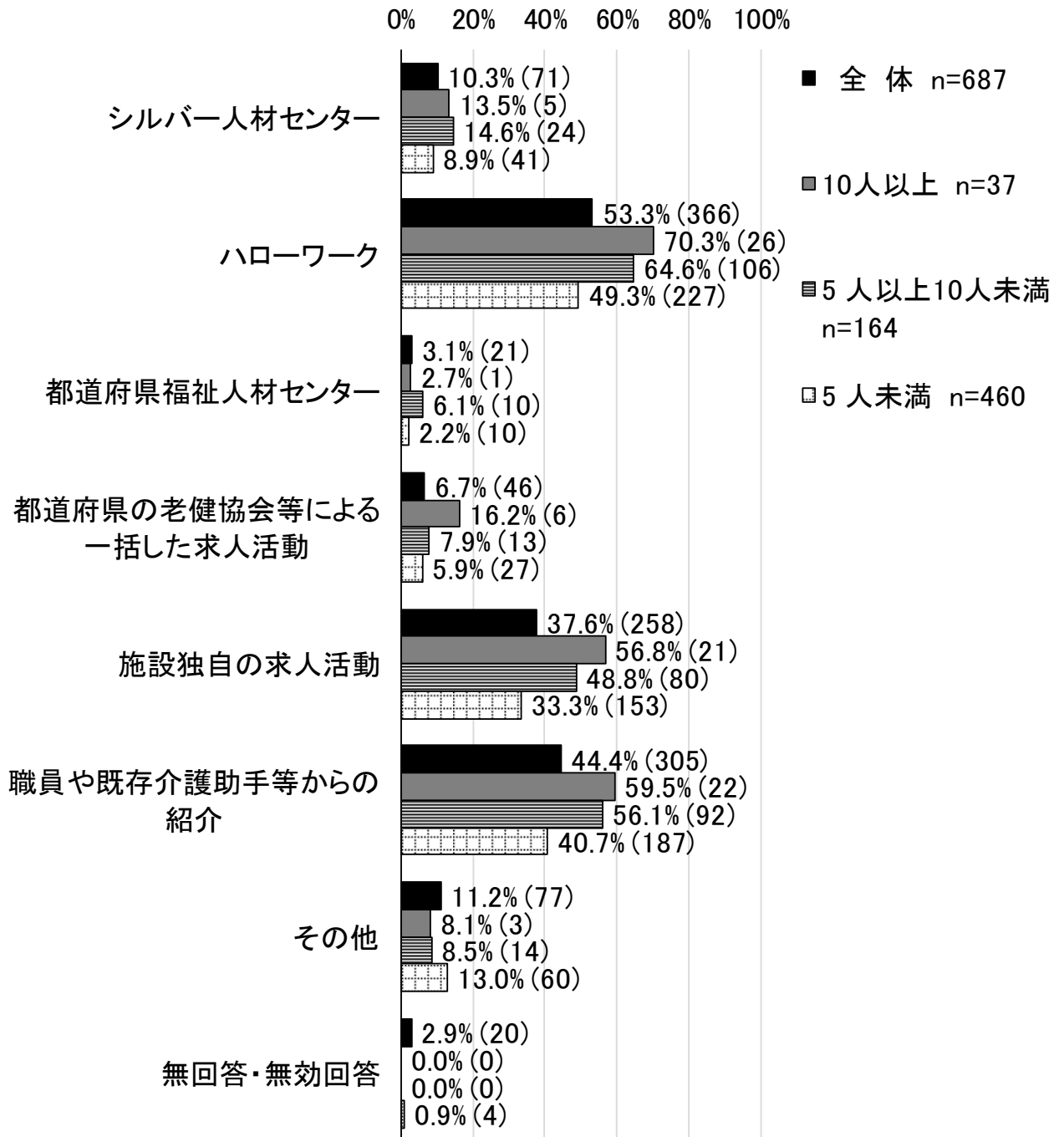
図表 117 高年齢介護助手の雇用人数別 問 12 高年齢介護助手雇用のための補助金/助成金等の利用有無 単一回答



図表 118 高齢介護助手の雇用人数別 問 13 高齢介護助手導入のきっかけ 複数回答



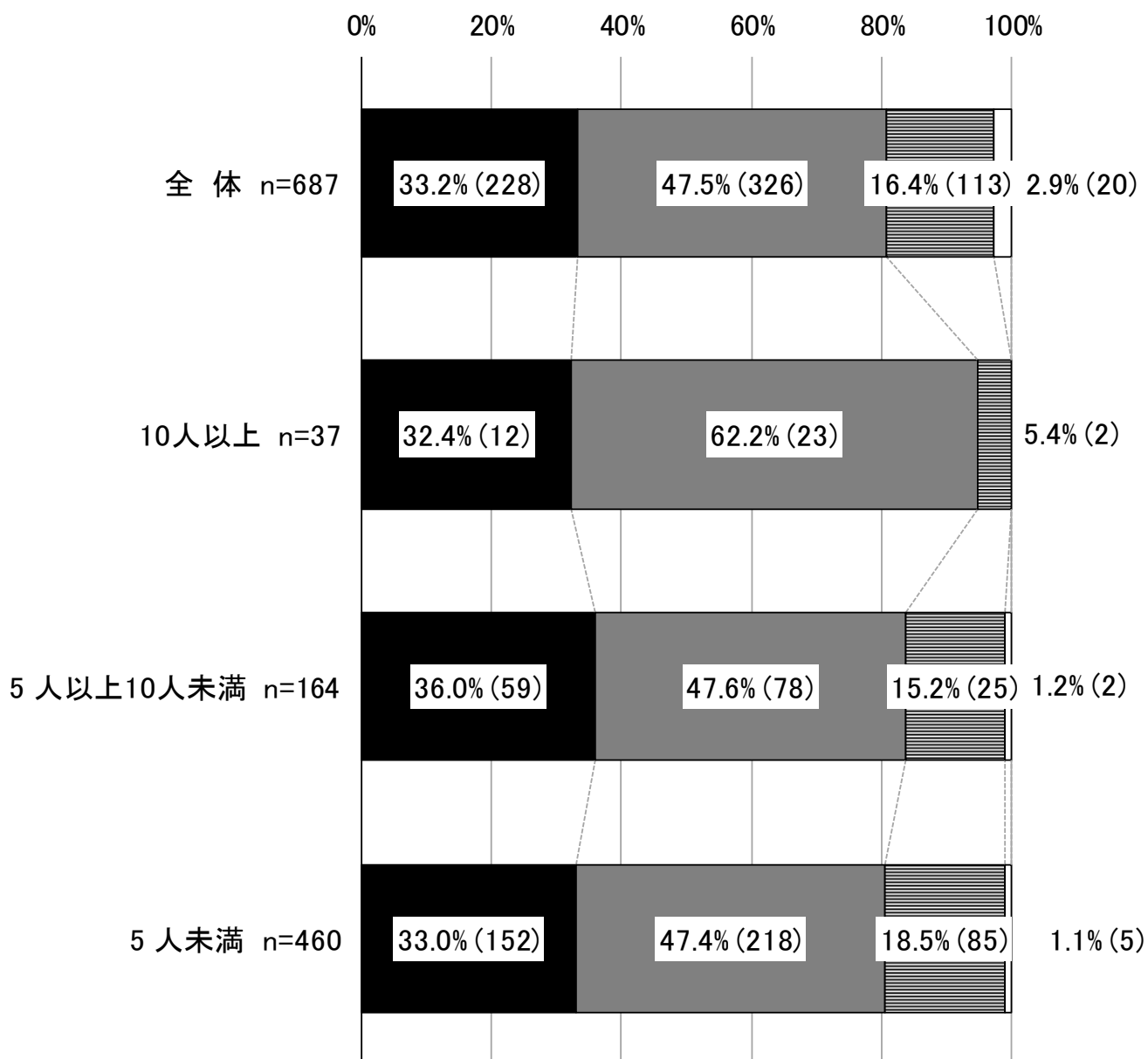
図表 119 高年齢介護助手の雇用人数別 問 14 高年齢介護助手の募集方法 複数回答



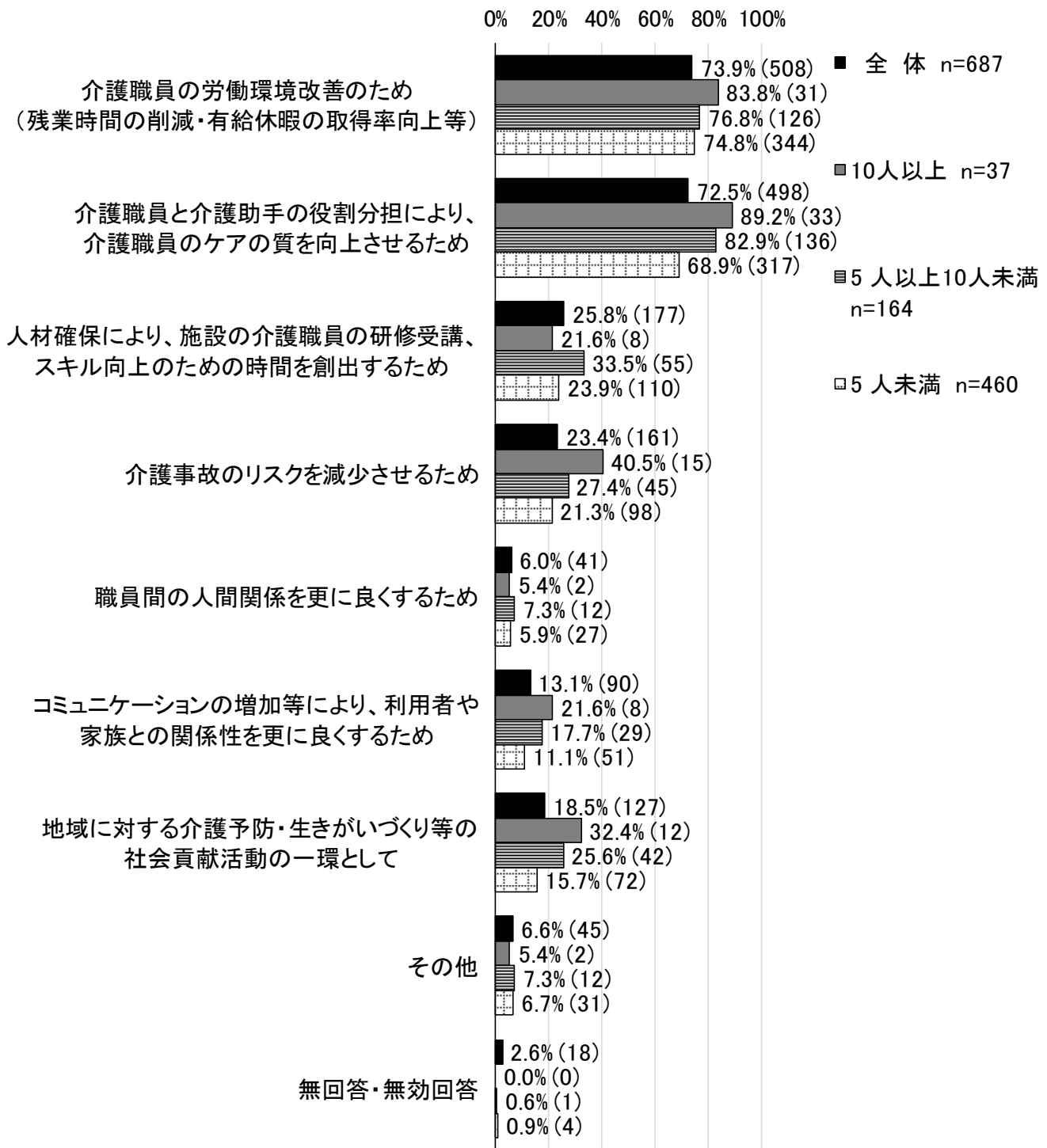
図表 120 高年齢介護助手の雇用人数別

問 15 経験・能力に応じて高年齢介護助手の業務内容を分けているか 単一回答

- 明確に分けている
(介護助手の経験や能力により業務内容を分けている)
- ある程度分けているが、業務は柔軟に担当してもらっている
- 経験や能力に応じた業務分けはしていない
- 無回答・無効回答

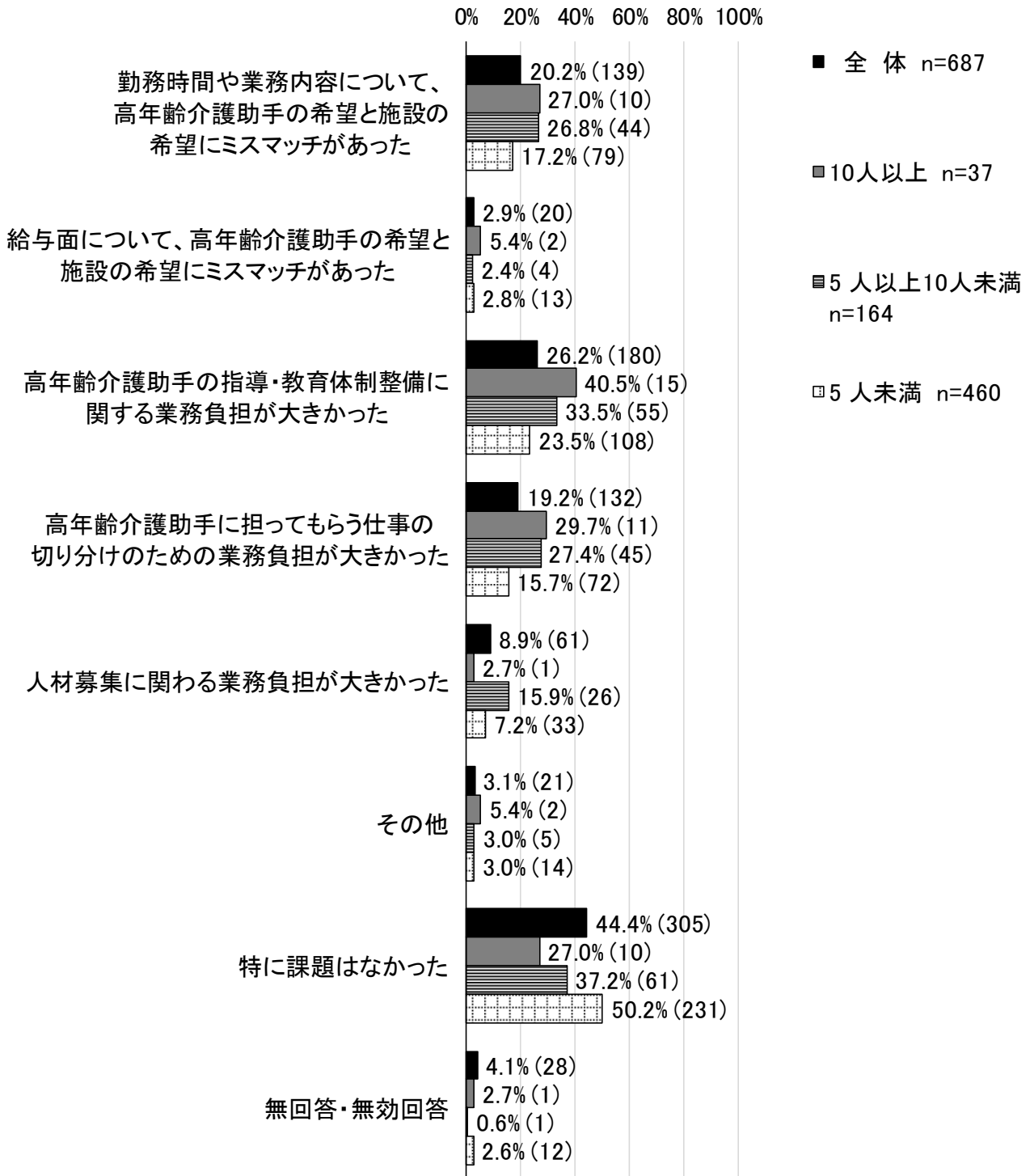


図表 121 高年齢介護助手の雇用人数別
問 16 高年齢介護助手導入の理由 複数回答

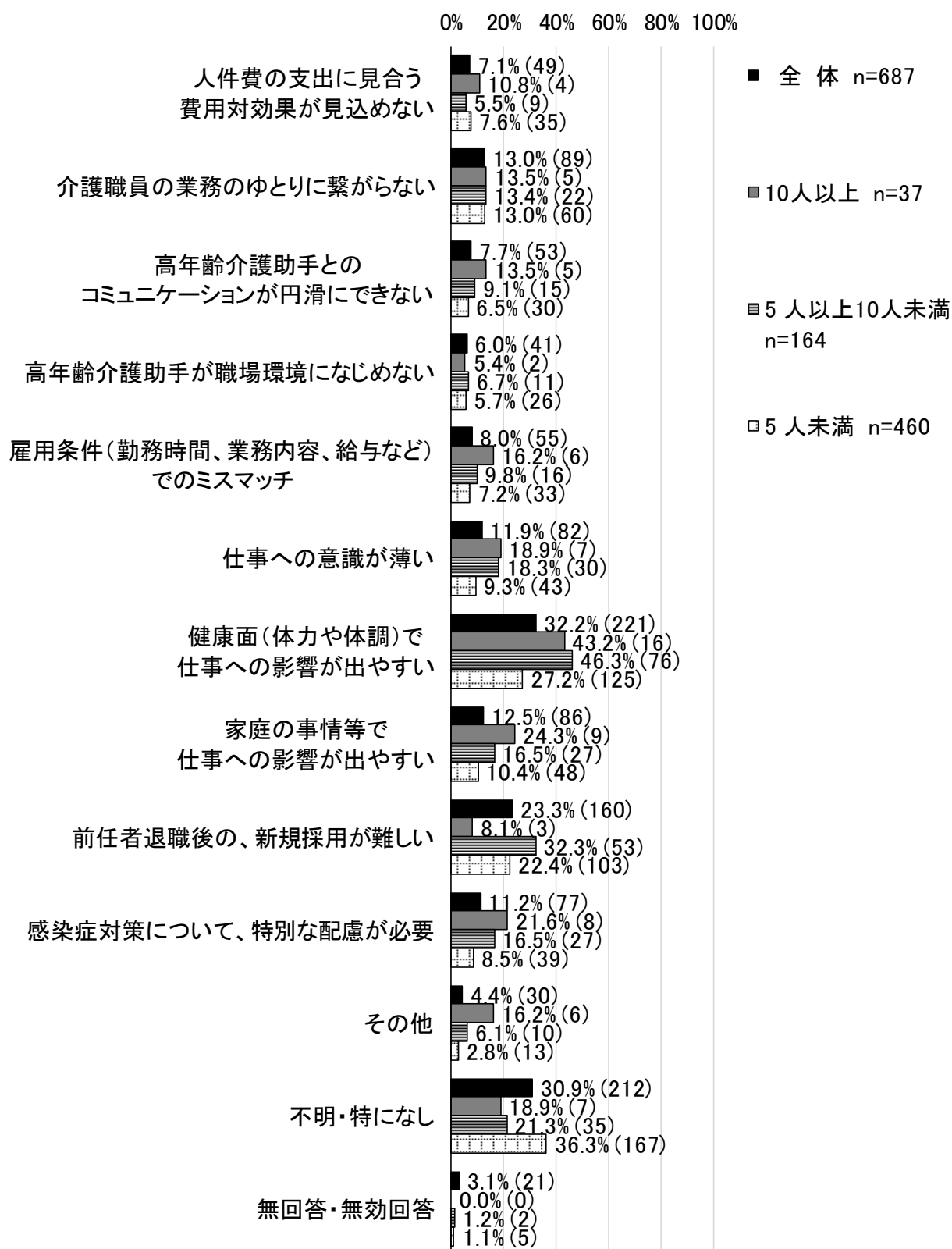


図表 122 高年齢介護助手の雇用人数別

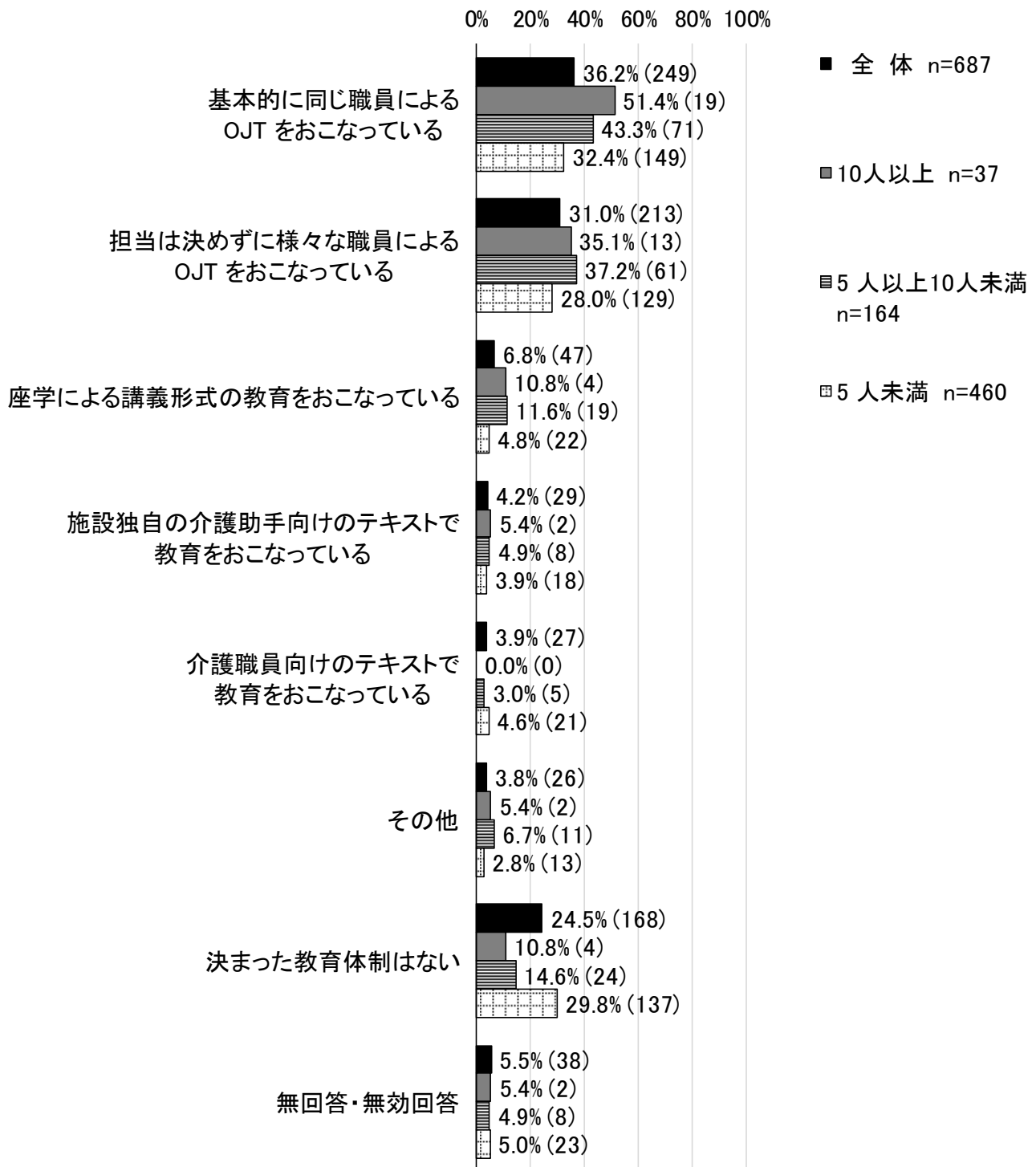
問 17 高年齢介護助手導入当初の課題 複数回答



図表 123 高齢介護助手の雇用人数別
問 18 高齢介護助手雇用後の課題 複数回答

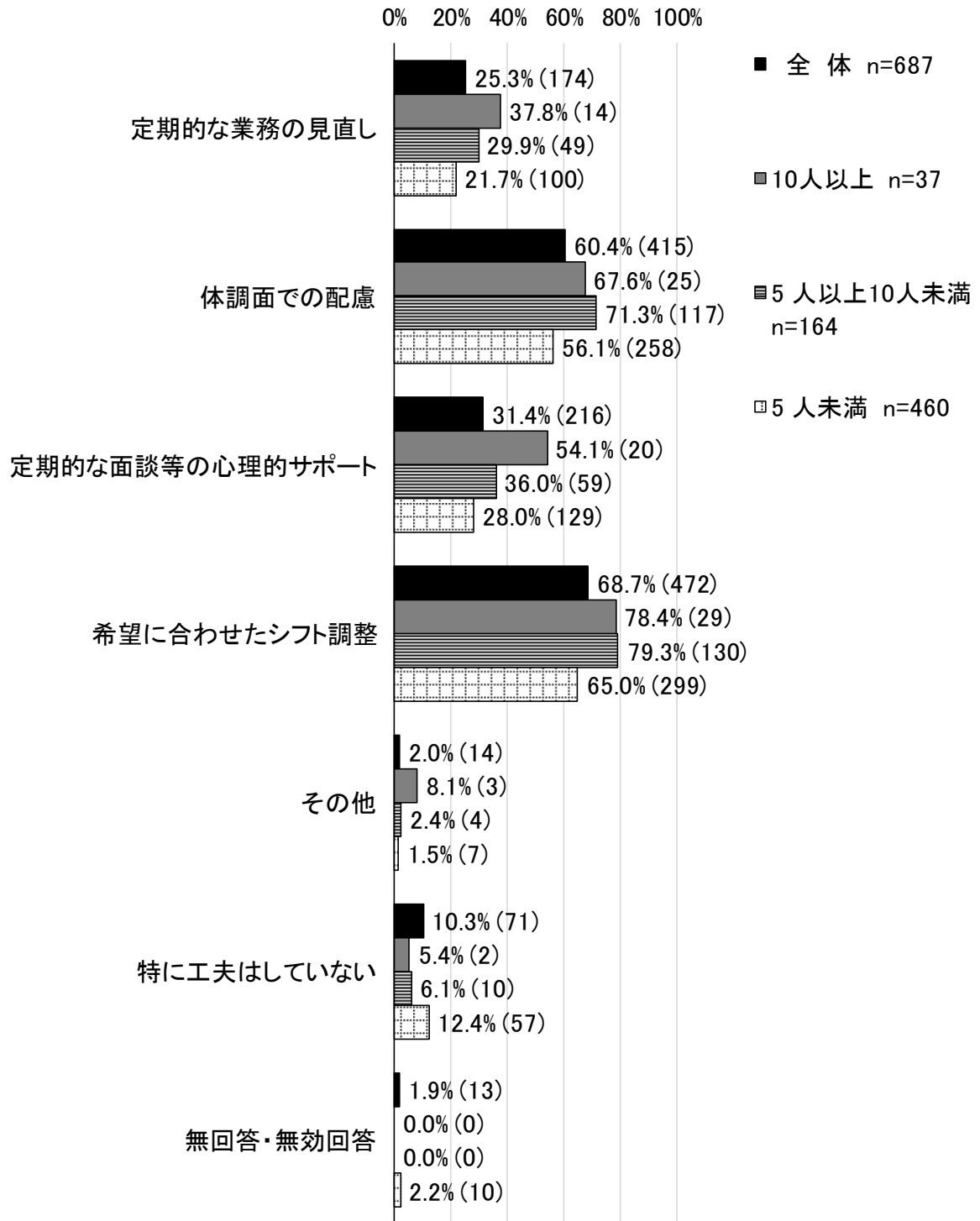


図表 124 高年齢介護助手の雇用人数別
問 19 高年齢介護助手に対する教育体制 複数回答



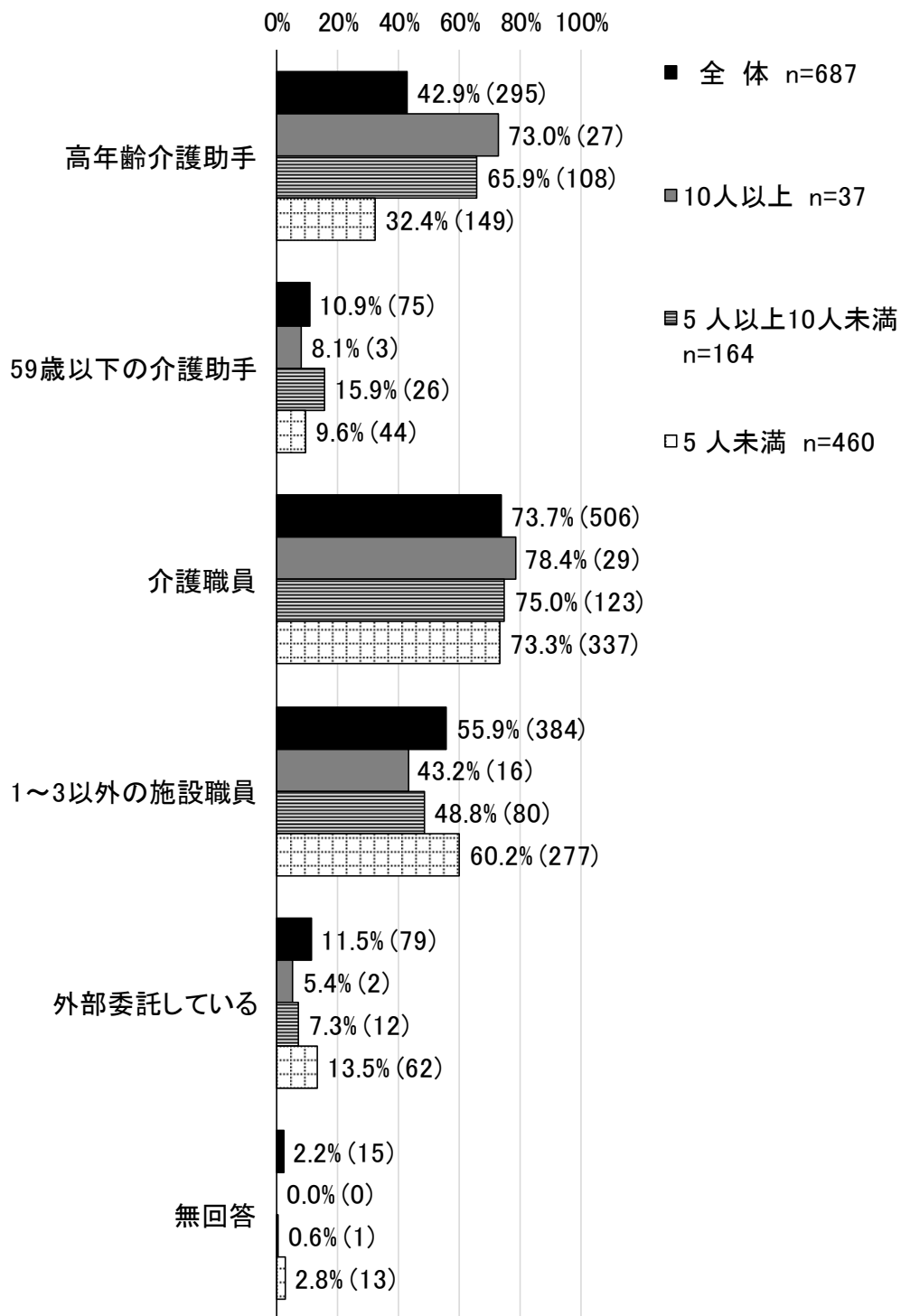
図表 125 高年齢介護助手の雇用人数別

問 20 高年齢介護助手継続雇用のための工夫 複数回答



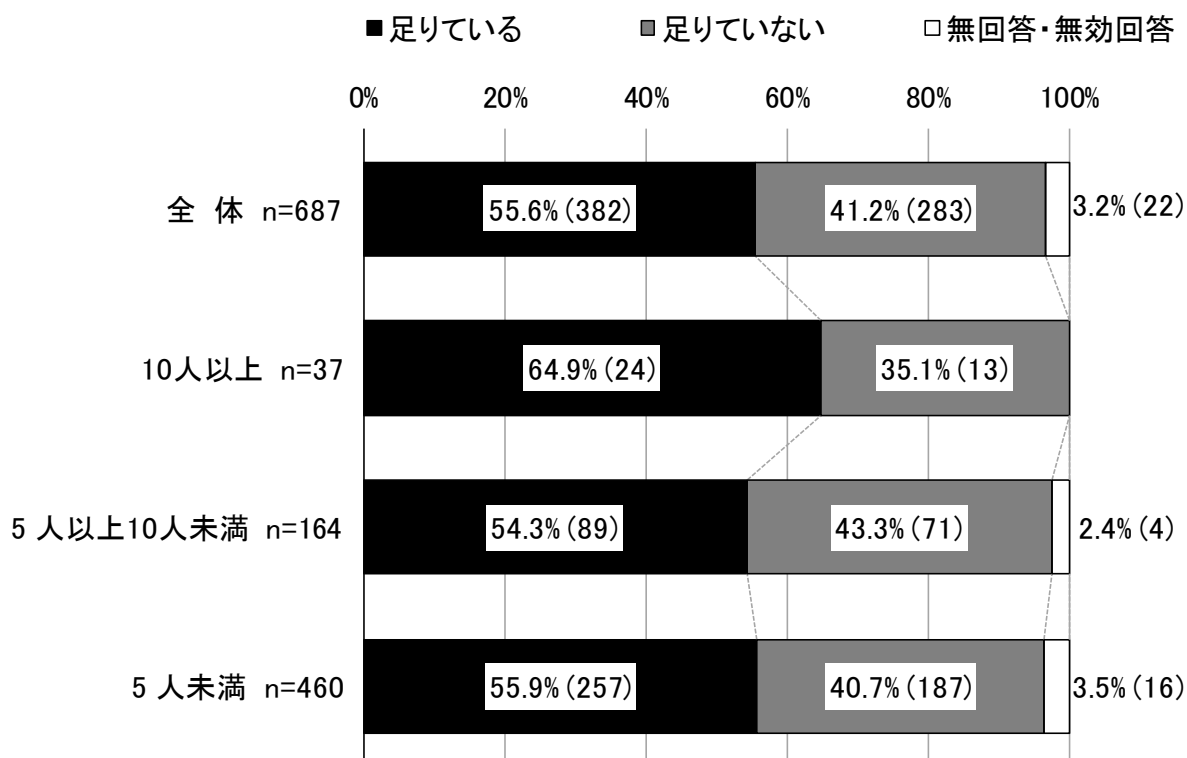
図表 126 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21① 業務担当者 複数回答 (1) 利用者の送迎・送迎補助



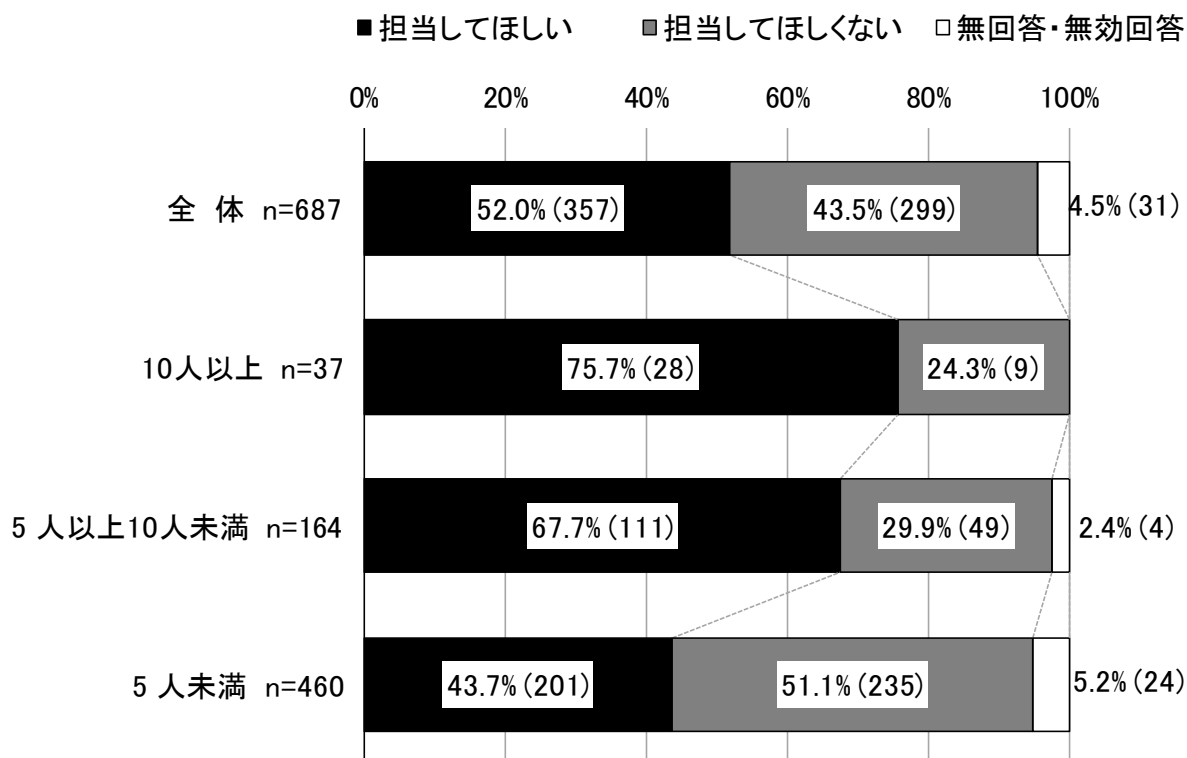
図表 127 高齢介護助手の雇用人数別

問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (1) 利用者の送迎・送迎補助



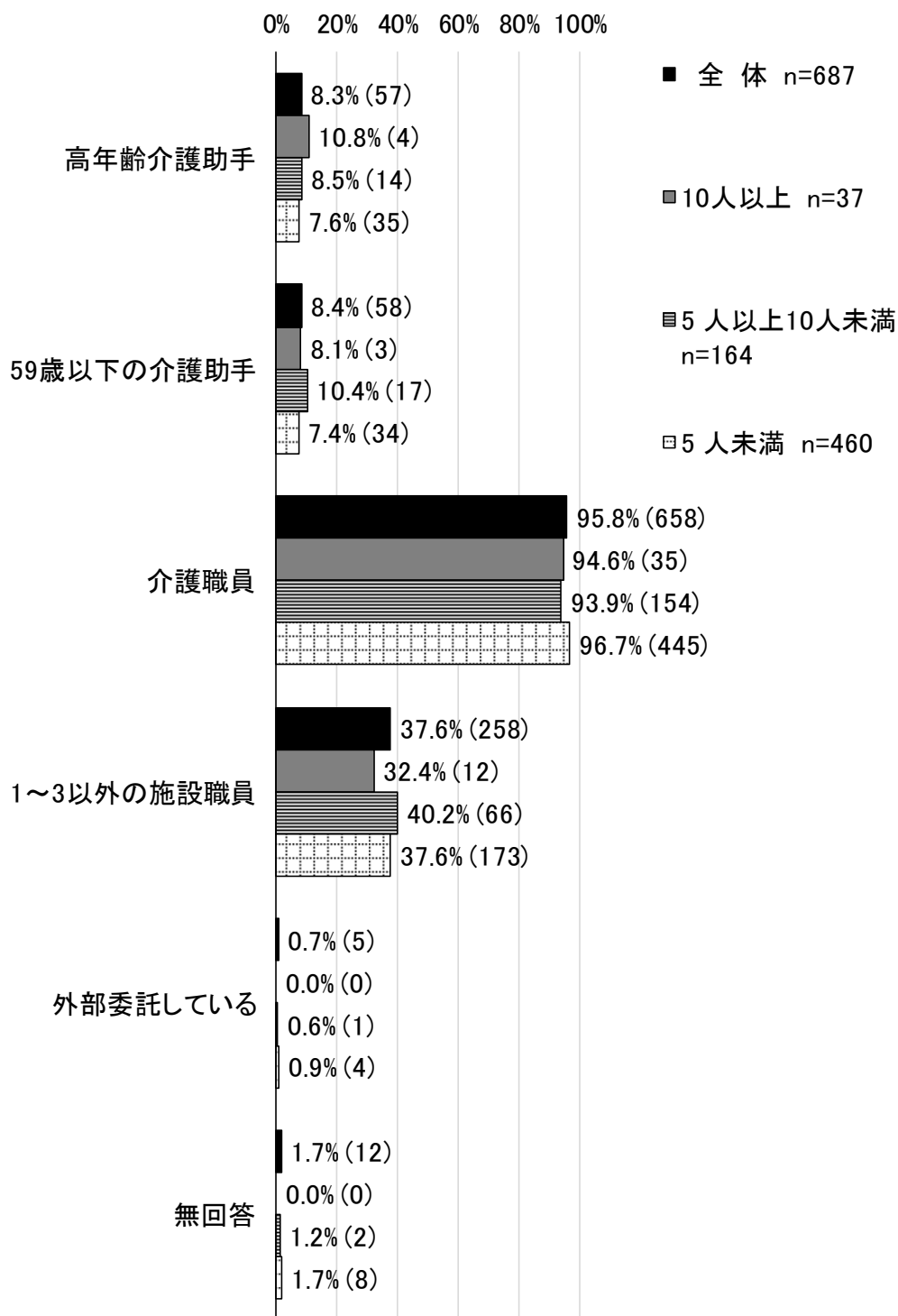
図表 128 高齢介護助手の雇用人数別

問 21③ 業務別 高齢介護助手への担当意向 単一回答 (1) 利用者の送迎・送迎補助



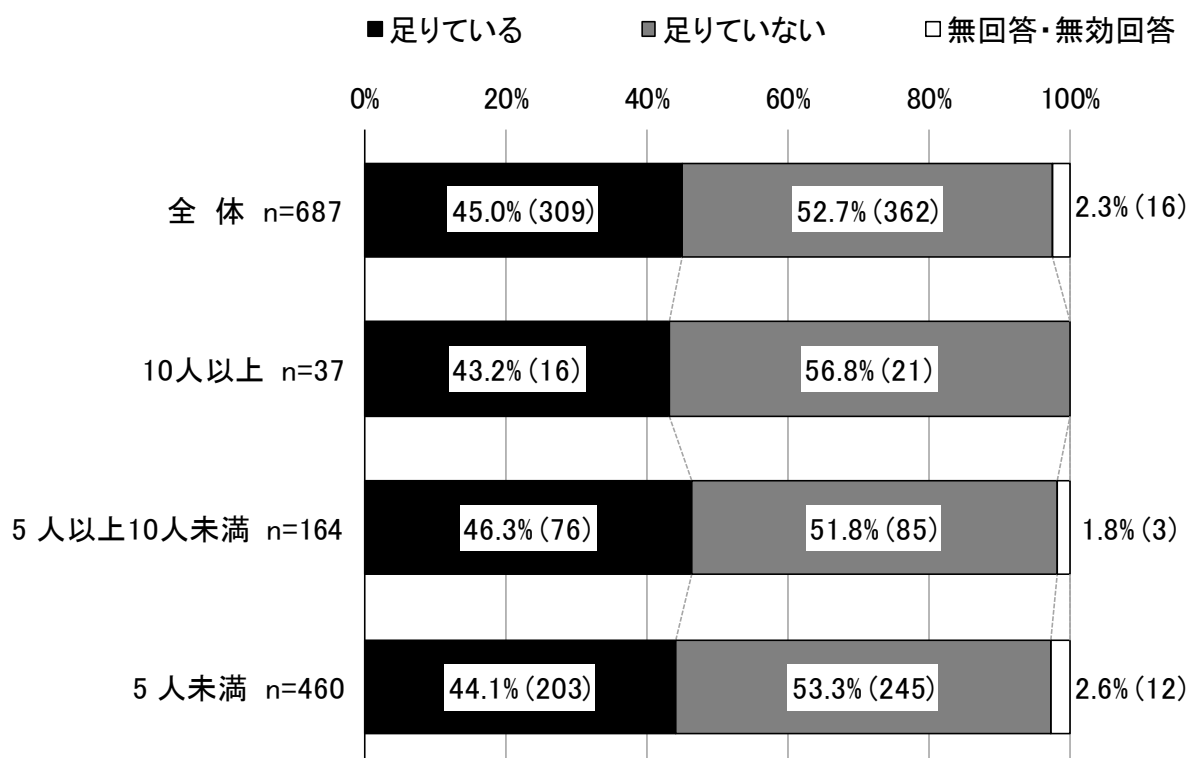
図表 129 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21① 業務担当者 複数回答 (2) 記録補助 (体温、排泄、食事摂取等)



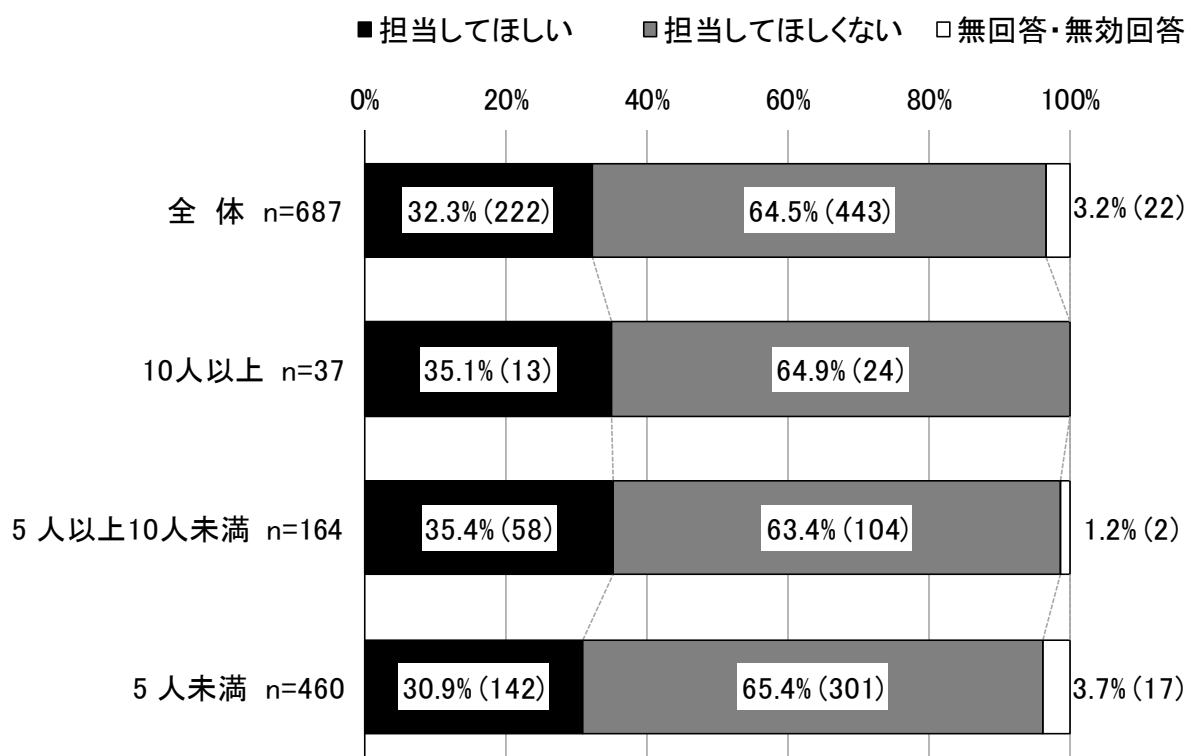
図表 130 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (2) 記録補助 (体温、排泄、食事摂取等)



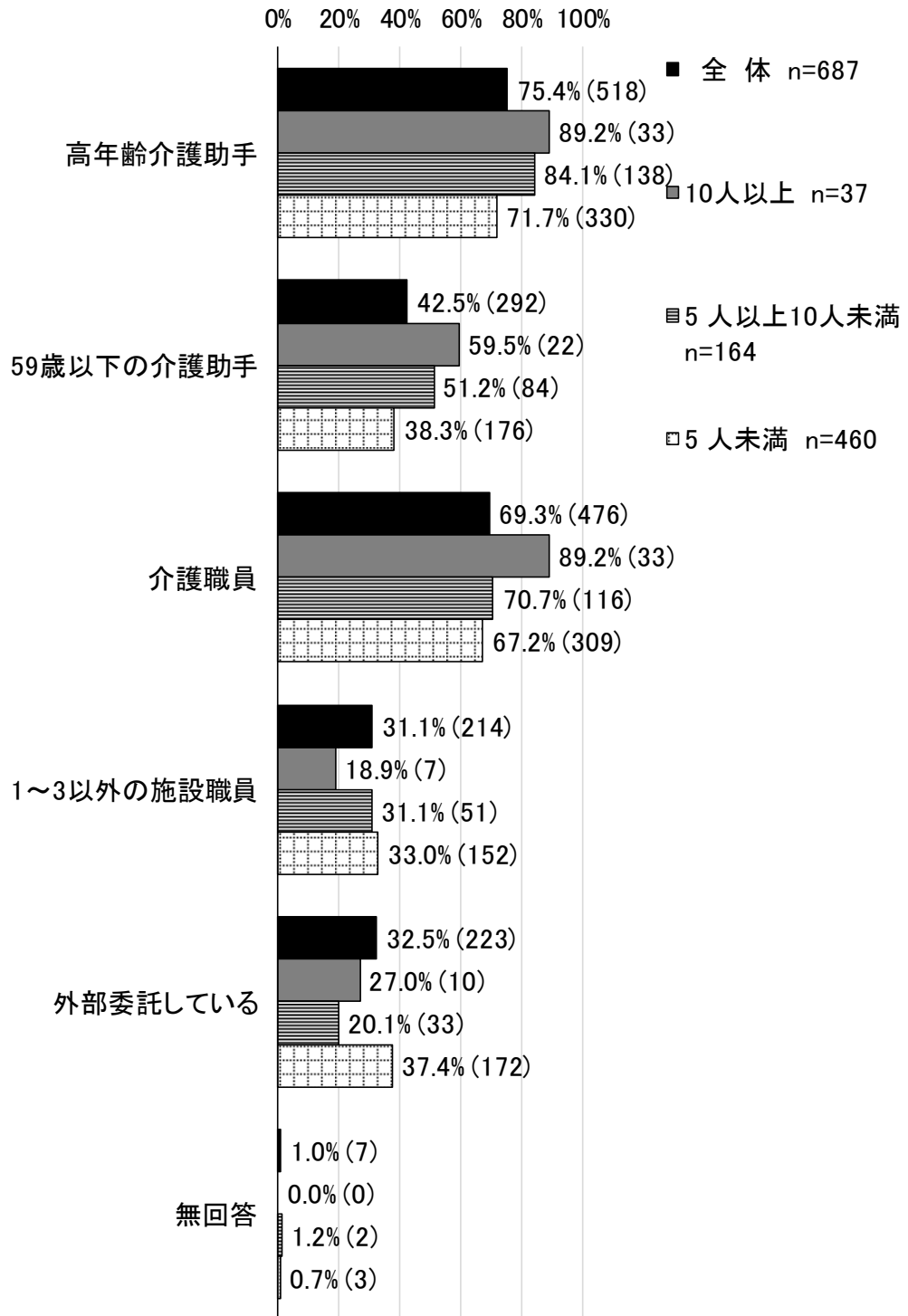
図表 131 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 単一回答 (2) 記録補助 (体温、排泄、食事摂取等)



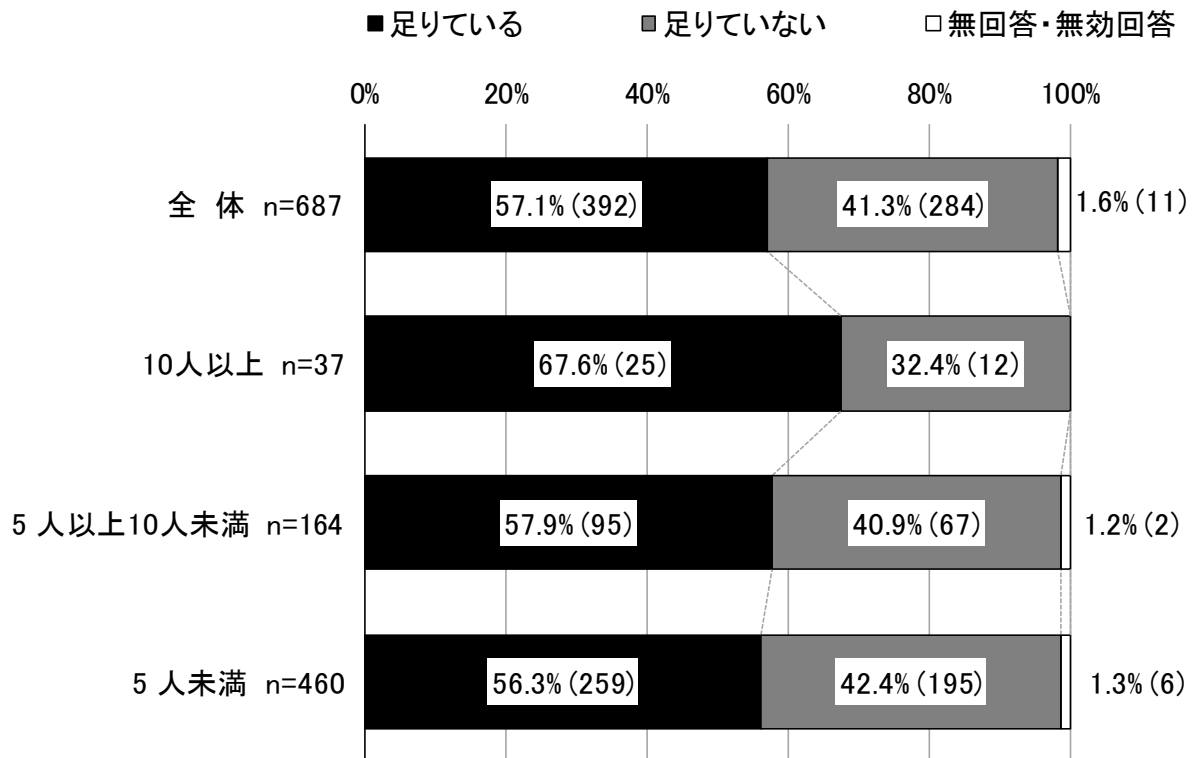
図表 132 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21① 業務担当者 複数回答 (3) 居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等



図表 133 高年齢介護助手の雇用人数別

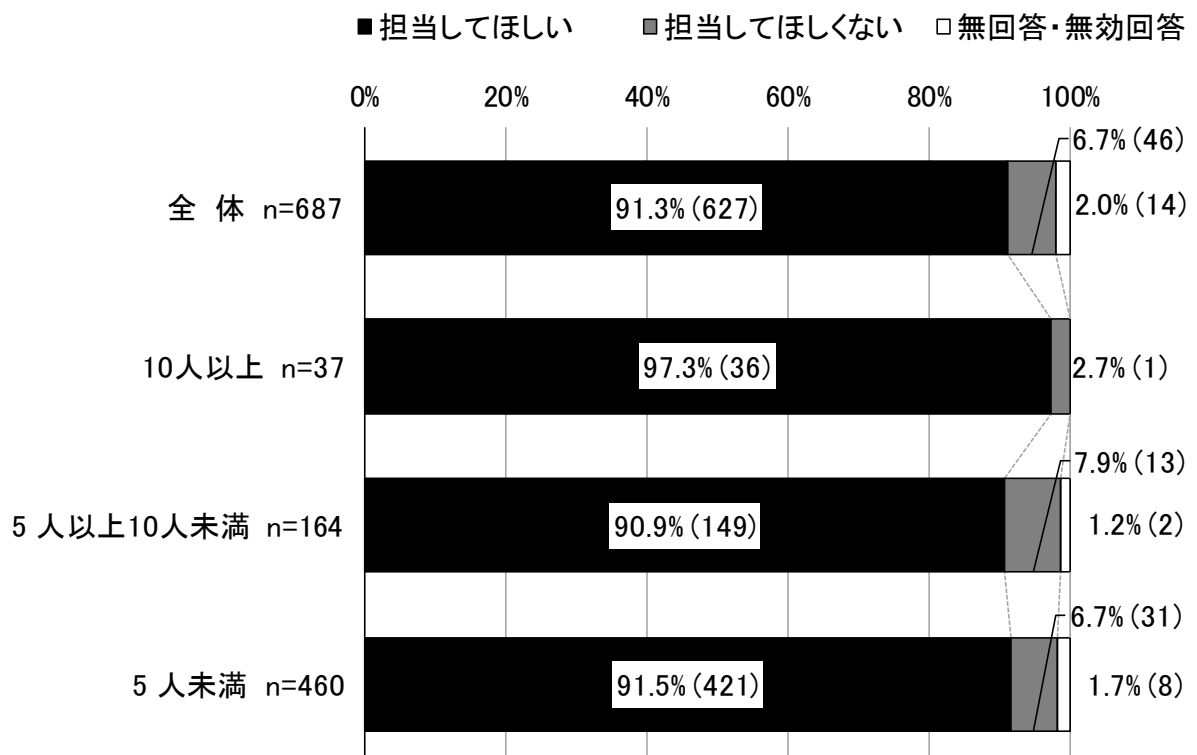
問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (3) 居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等



図表 134 高年齢介護助手の雇用人数別

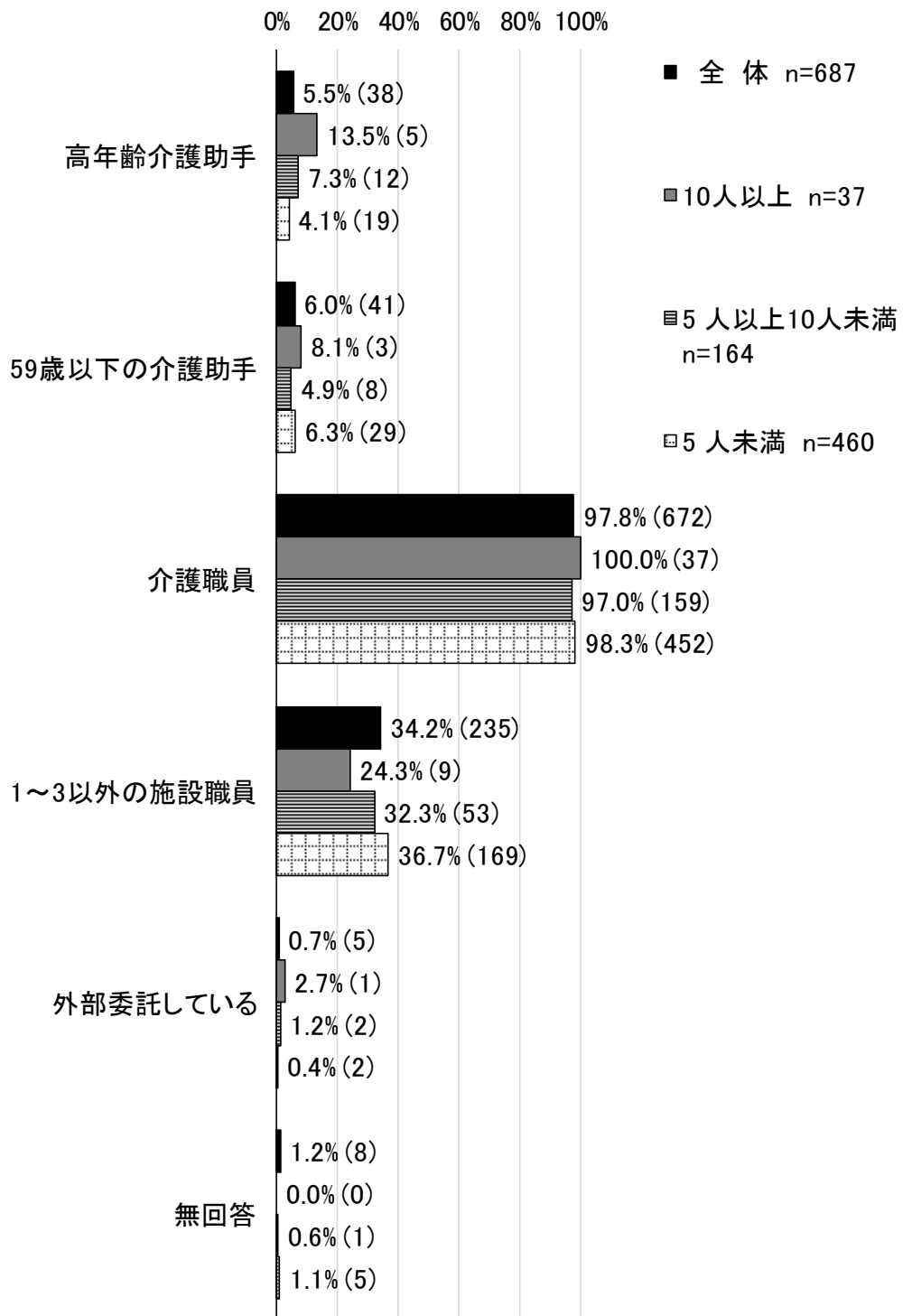
問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 単一回答

(3) 居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等



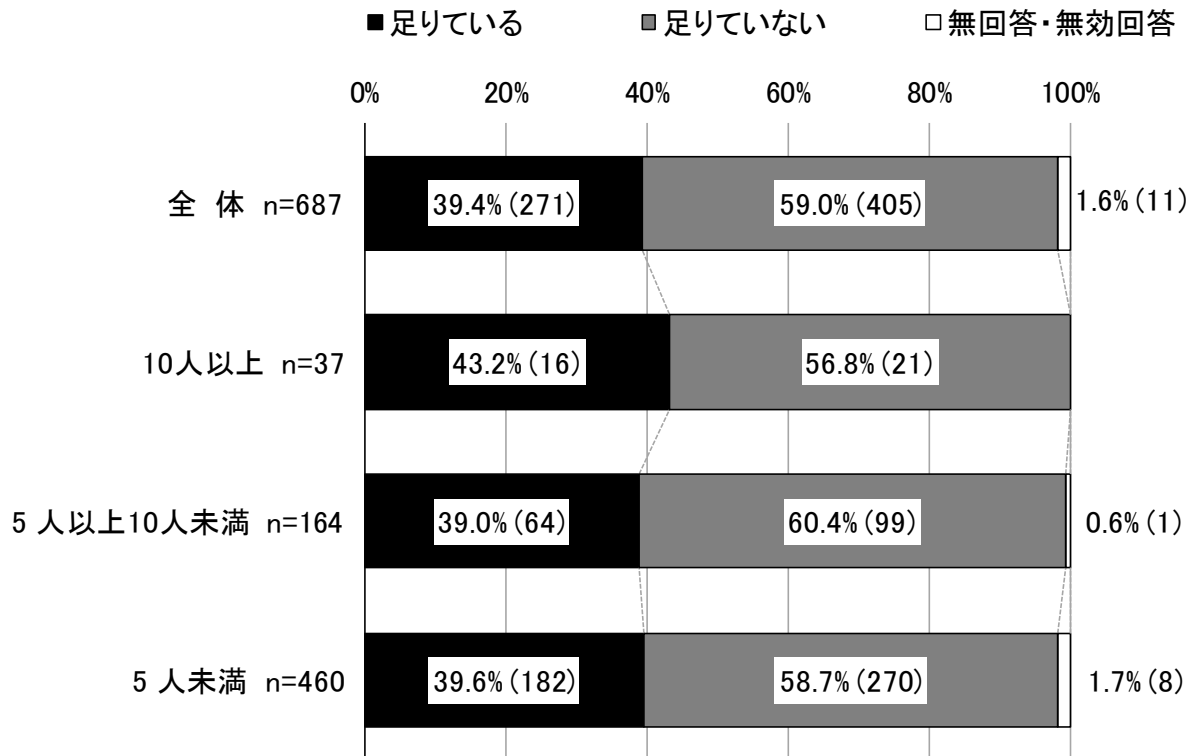
図表 135 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21① 業務担当者 複数回答 (4) 起床や就寝時の声掛け・見守り



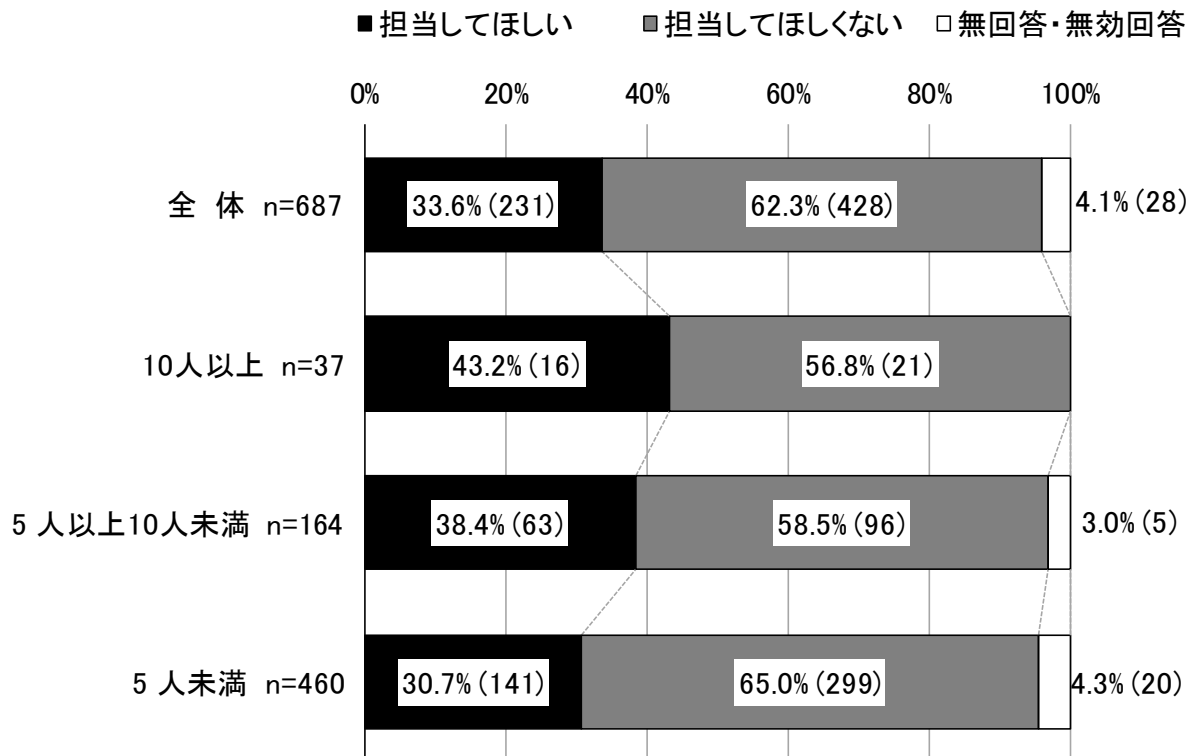
図表 136 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (4) 起床や就寝時の声掛け・見守り



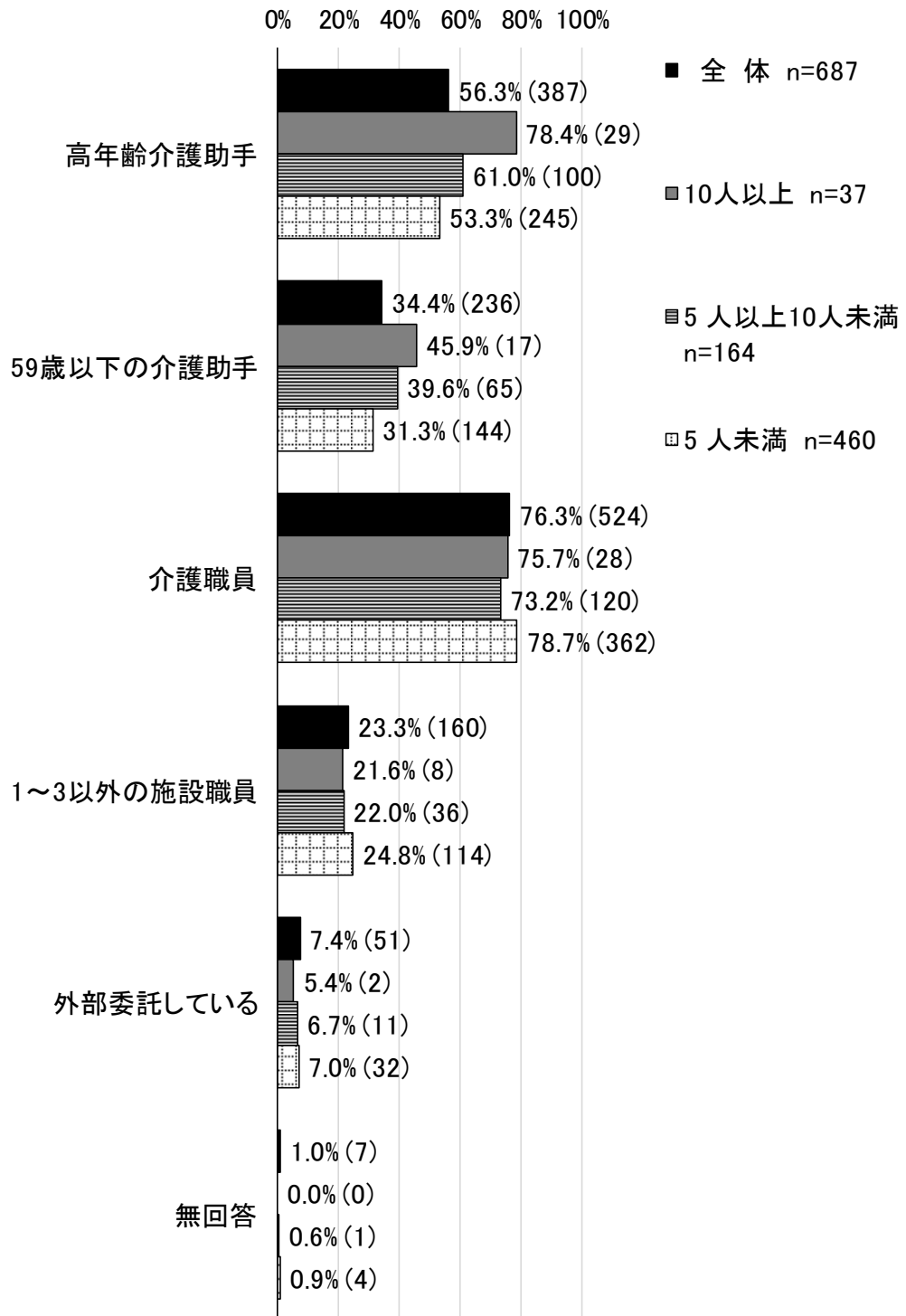
図表 137 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 単一回答 (4) 起床や就寝時の声掛け・見守り



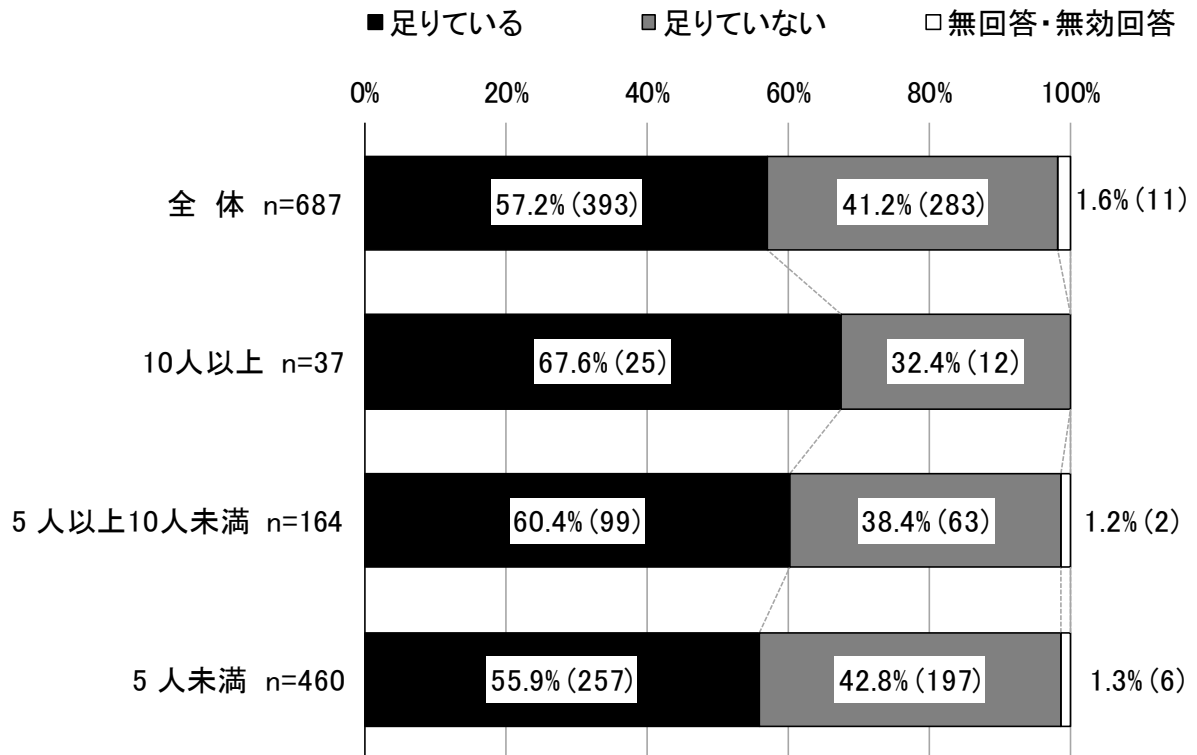
図表 138 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21④ 業務担当者 複数回答 (5) ベッドメイキング



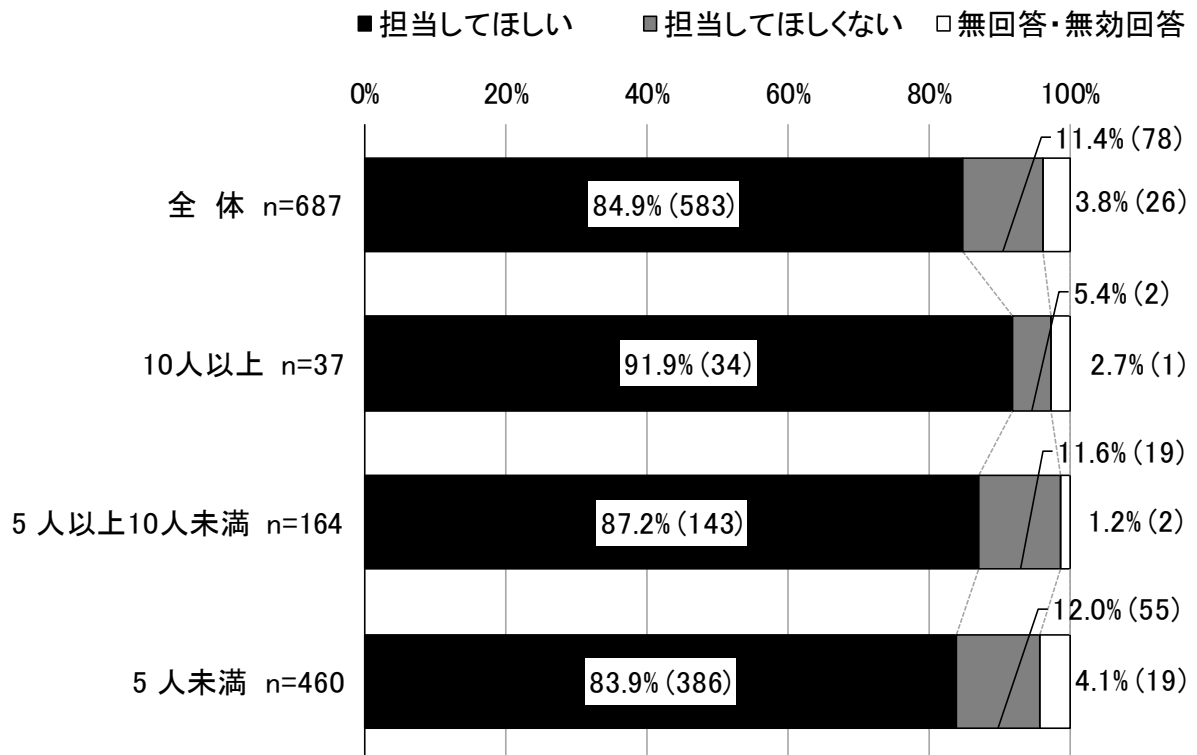
図表 139 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (5) ベッドメイキング



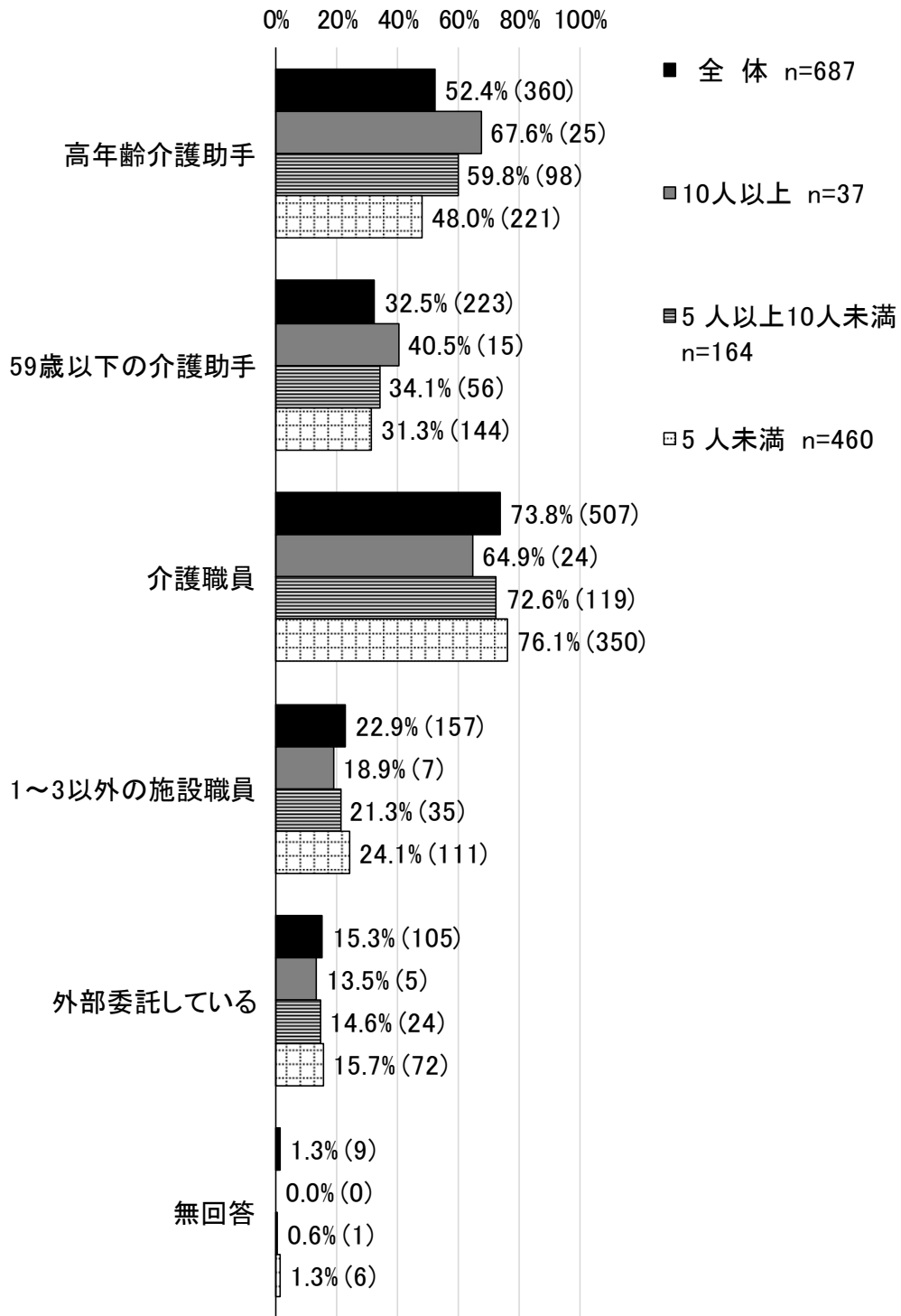
図表 140 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 単一回答 (5) ベッドメイキング



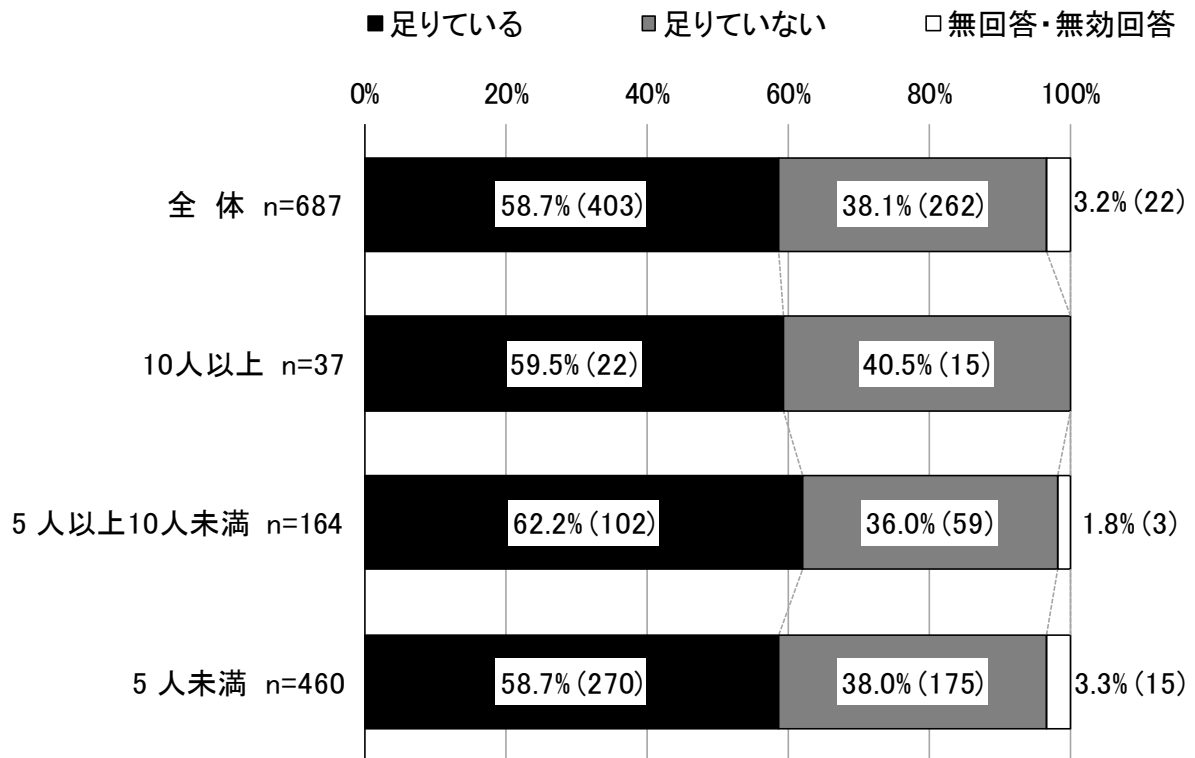
図表 141 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21① 業務担当者 複数回答 (6) 洗濯、洗濯物の回収・配布



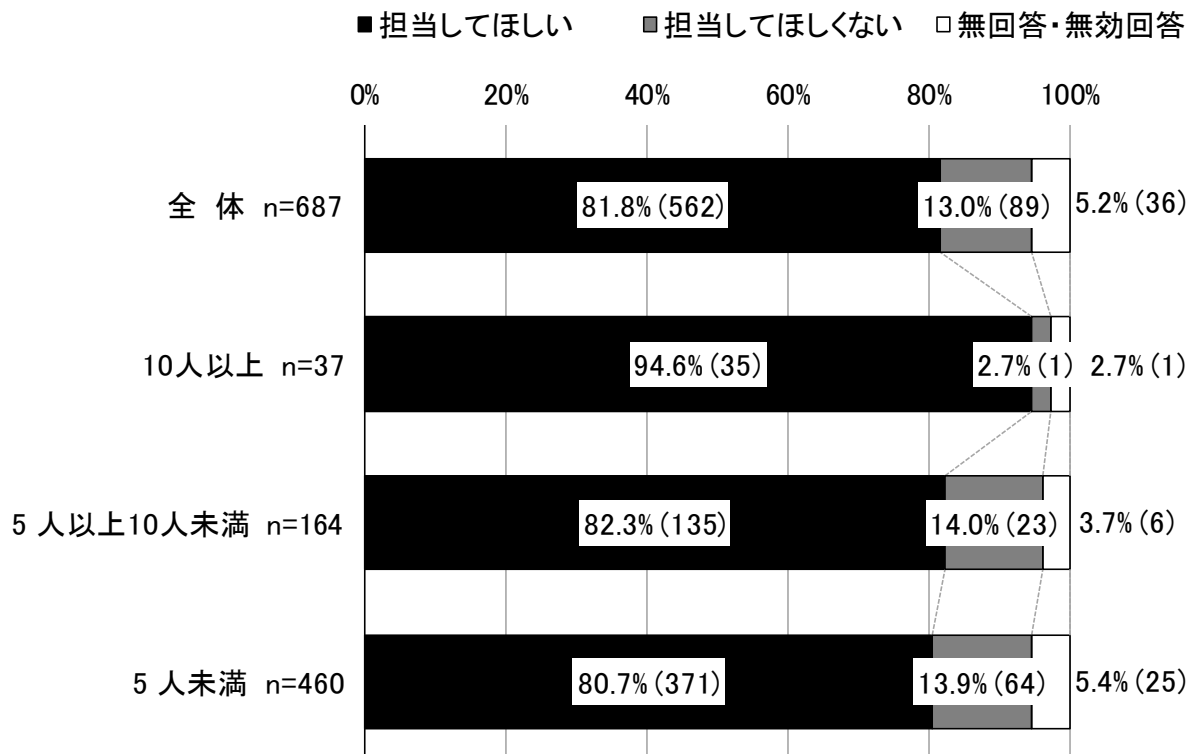
図表 142 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (6) 洗濯、洗濯物の回収・配布



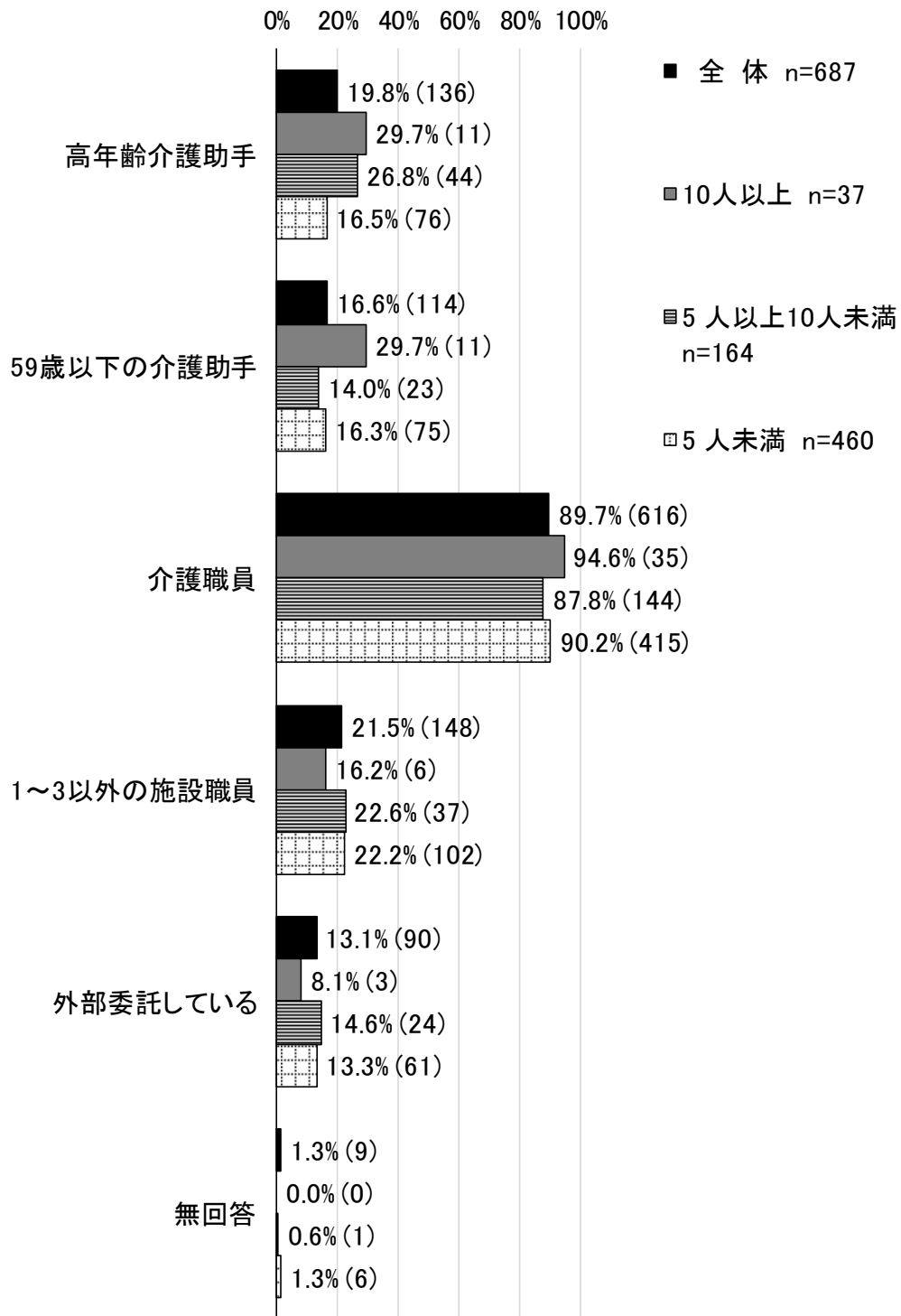
図表 143 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 (6) 洗濯、洗濯物の回収・配布



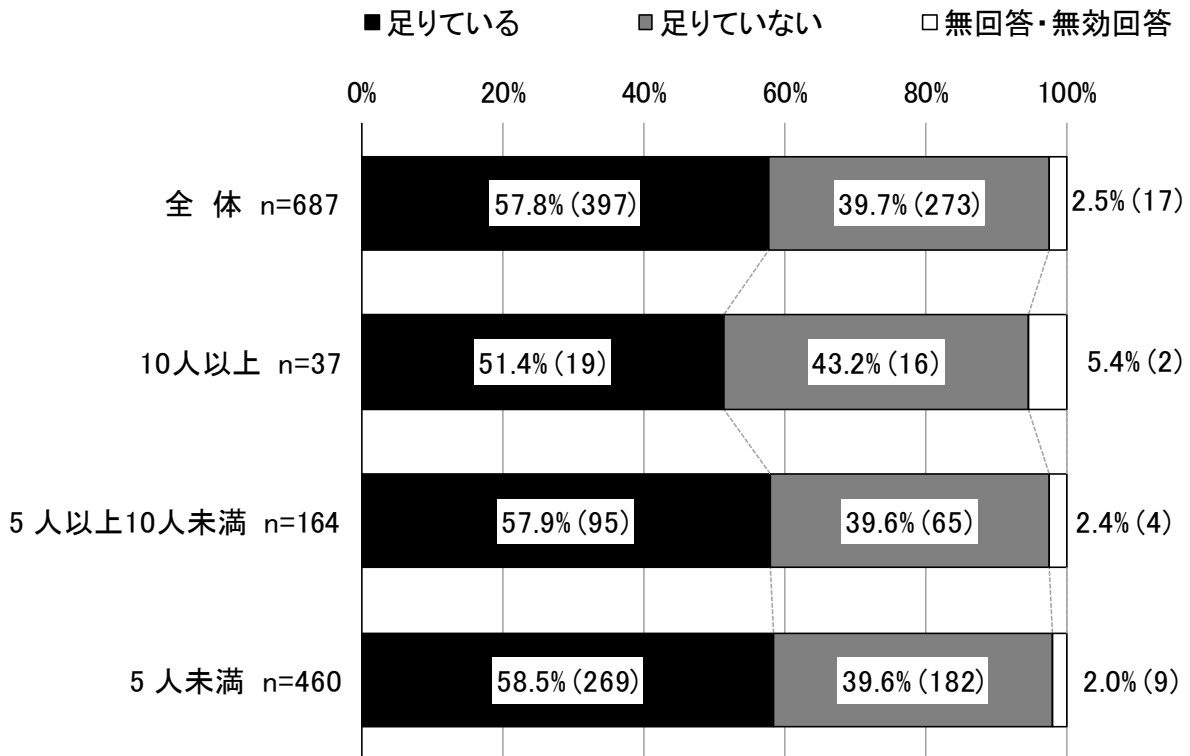
図表 144 高齢介護助手の雇用人数別

問 21① 業務担当者 複数回答 (7) 浴室清掃・湯はり



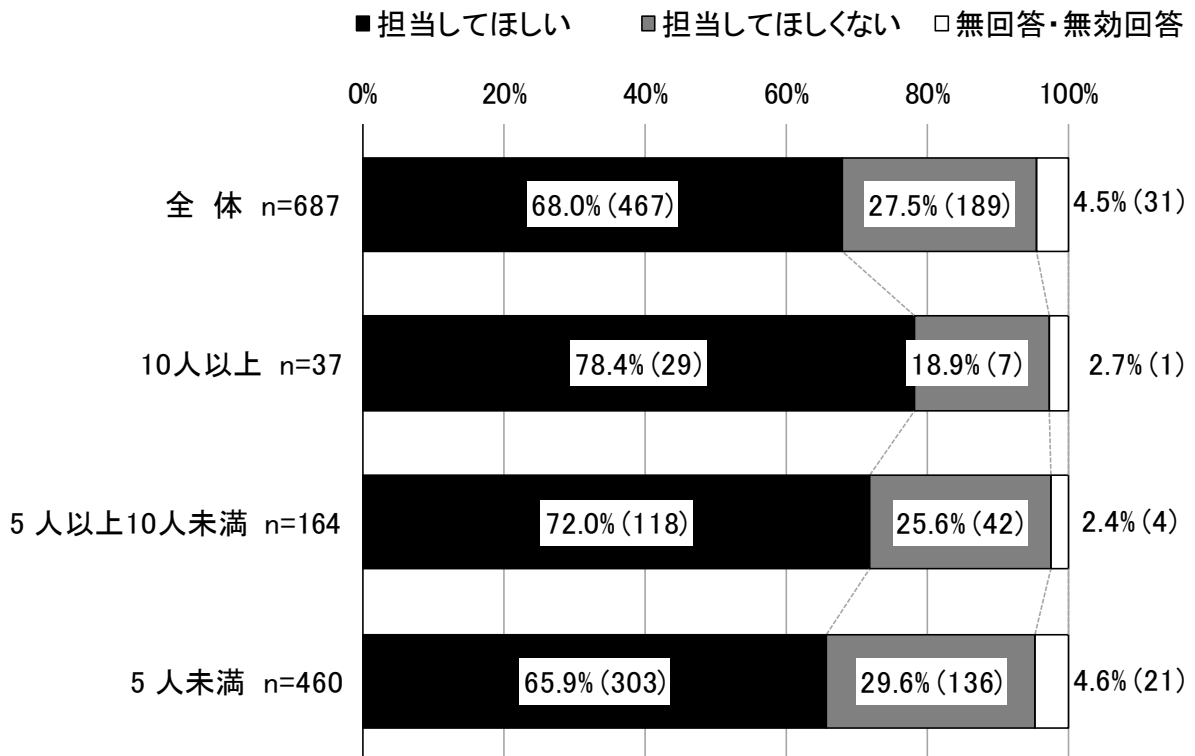
図表 145 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (7) 浴室清掃・湯はり



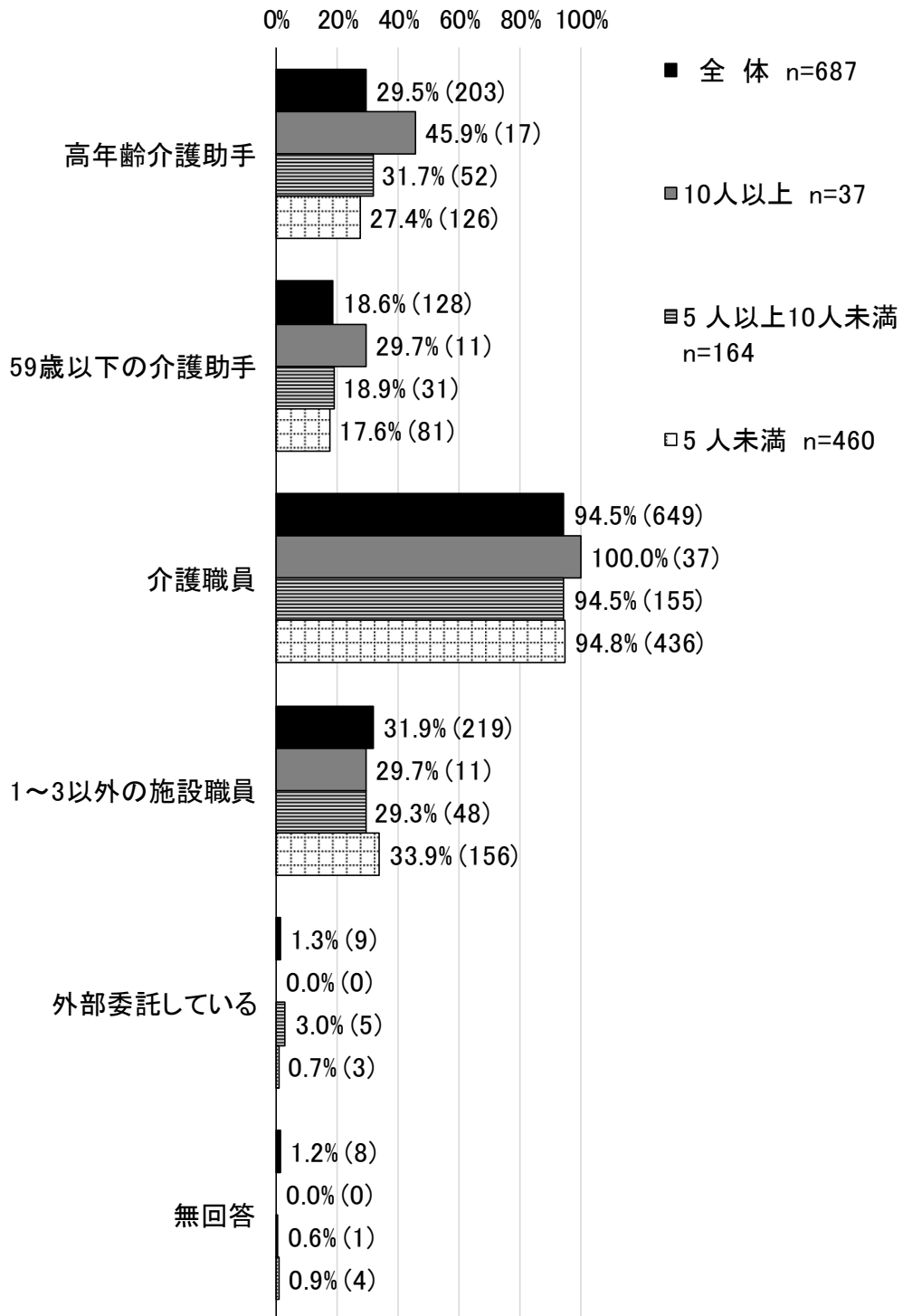
図表 146 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 単一回答 (7) 浴室清掃・湯はり



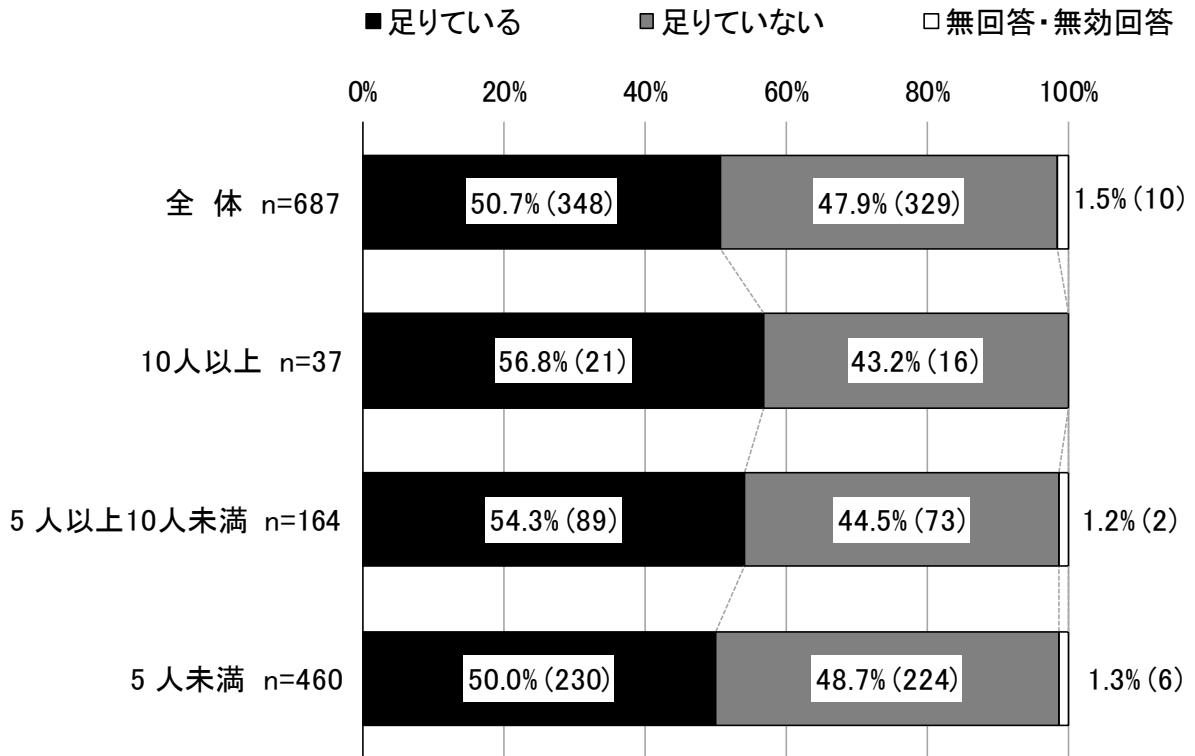
図表 147 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21① 業務担当者 複数回答 (8) 入浴後のドライヤーがけ・整髪



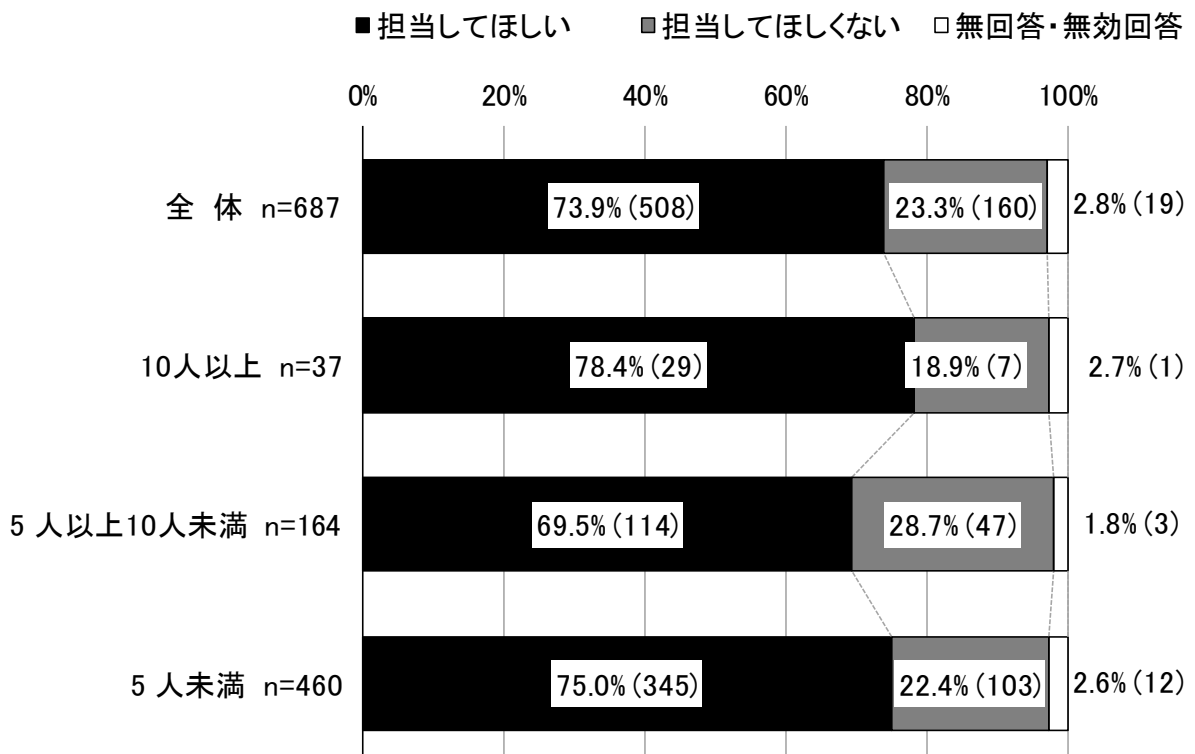
図表 148 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (8) 入浴後のドライヤーがけ・整髪



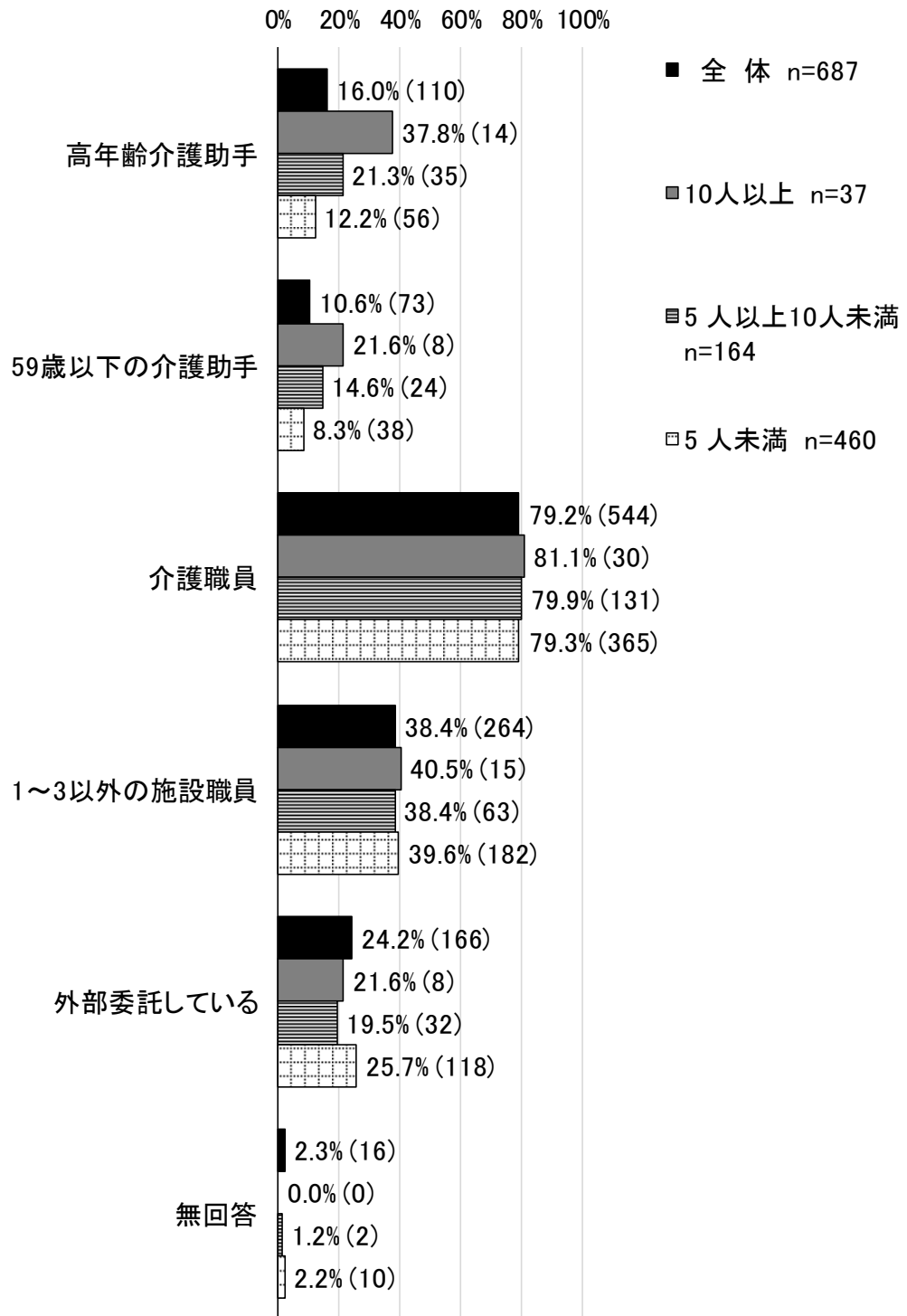
図表 149 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 単一回答 (8) 入浴後のドライヤーがけ・整髪



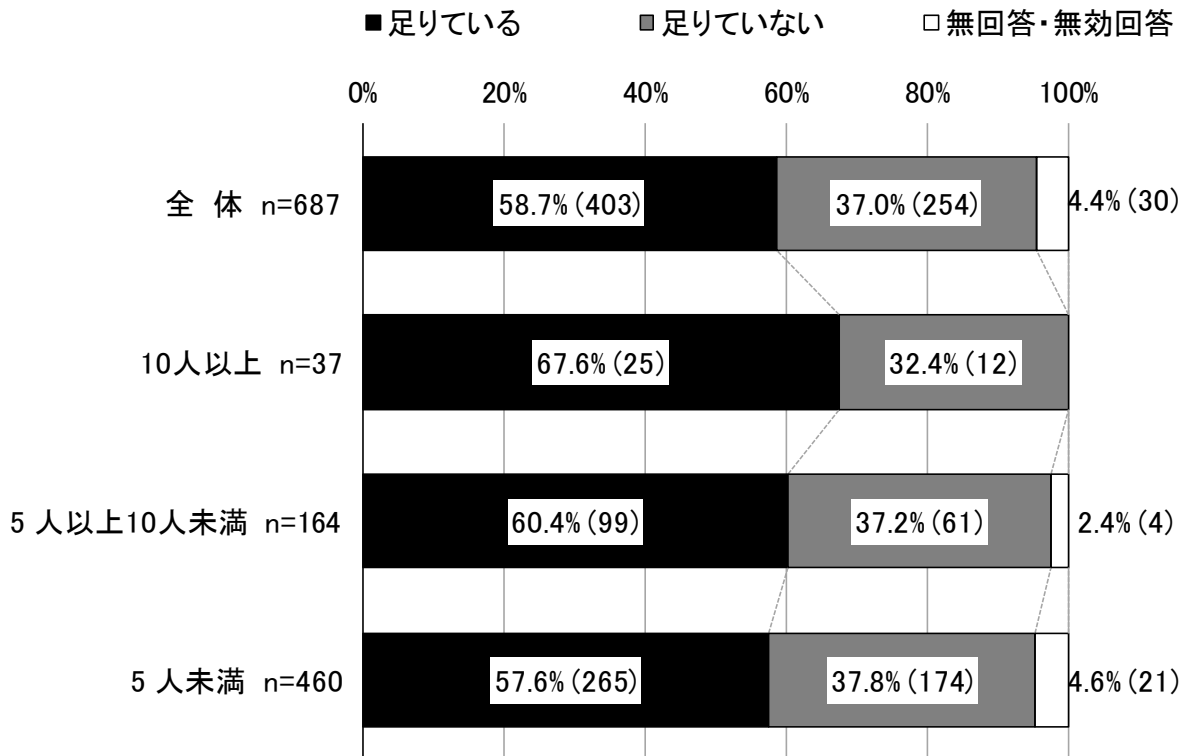
図表 150 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21① 業務担当者 複数回答 (9) 調理補助、料理や飲み物へのとりみ付け



図表 151 高年齢介護助手の雇用人数別

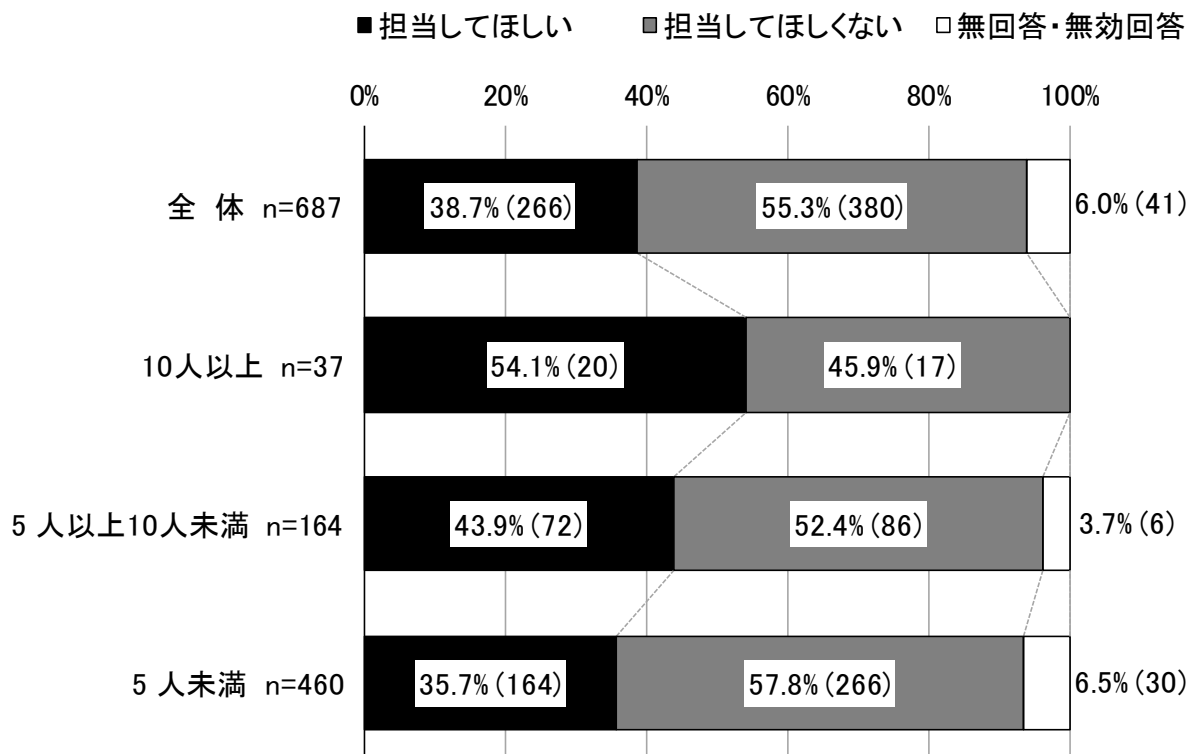
問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (9) 調理補助、料理や飲み物へのとろみ付け



図表 152 高年齢介護助手の雇用人数別

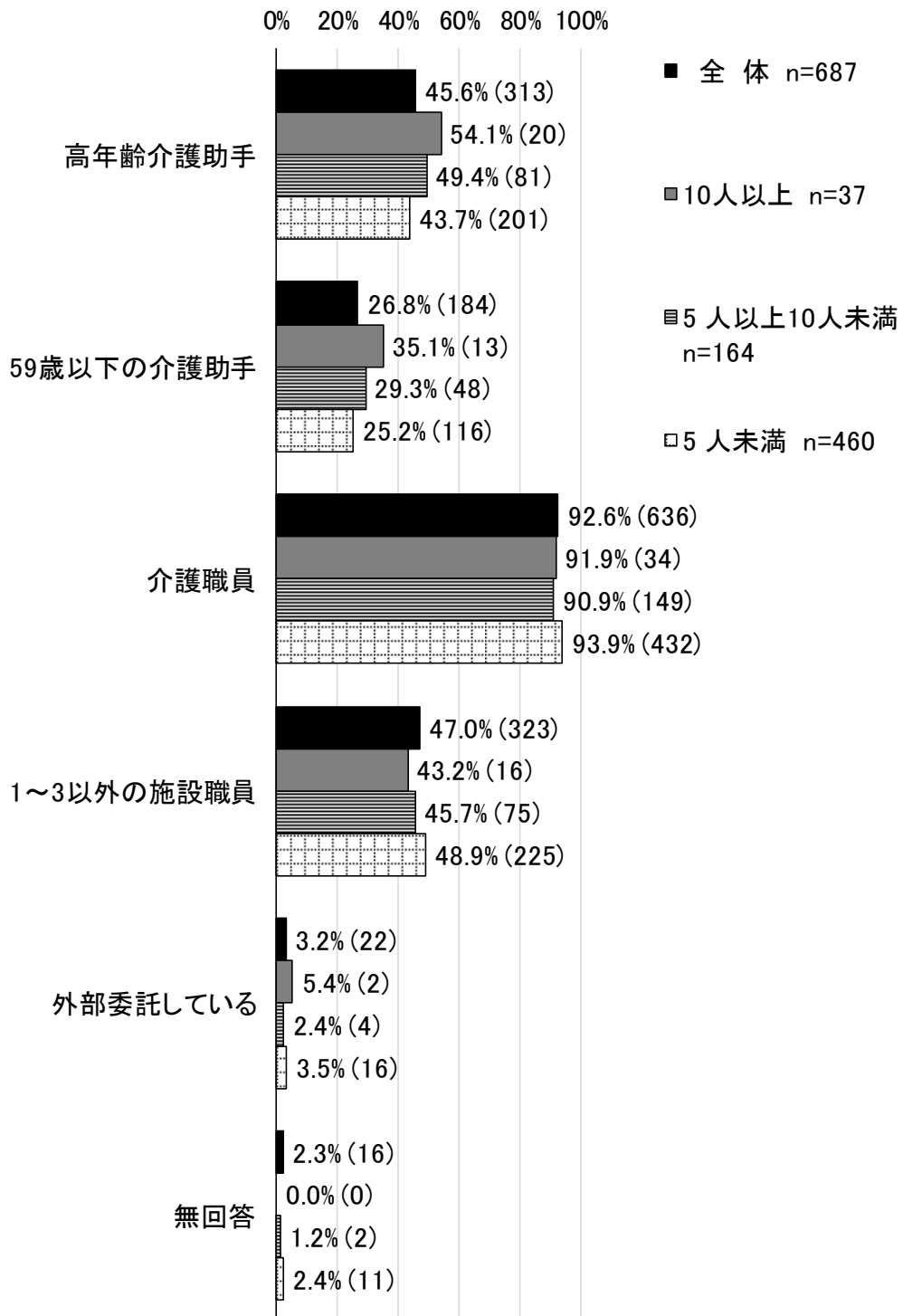
問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 単一回答

(9) 調理補助、料理や飲み物へのとろみ付け



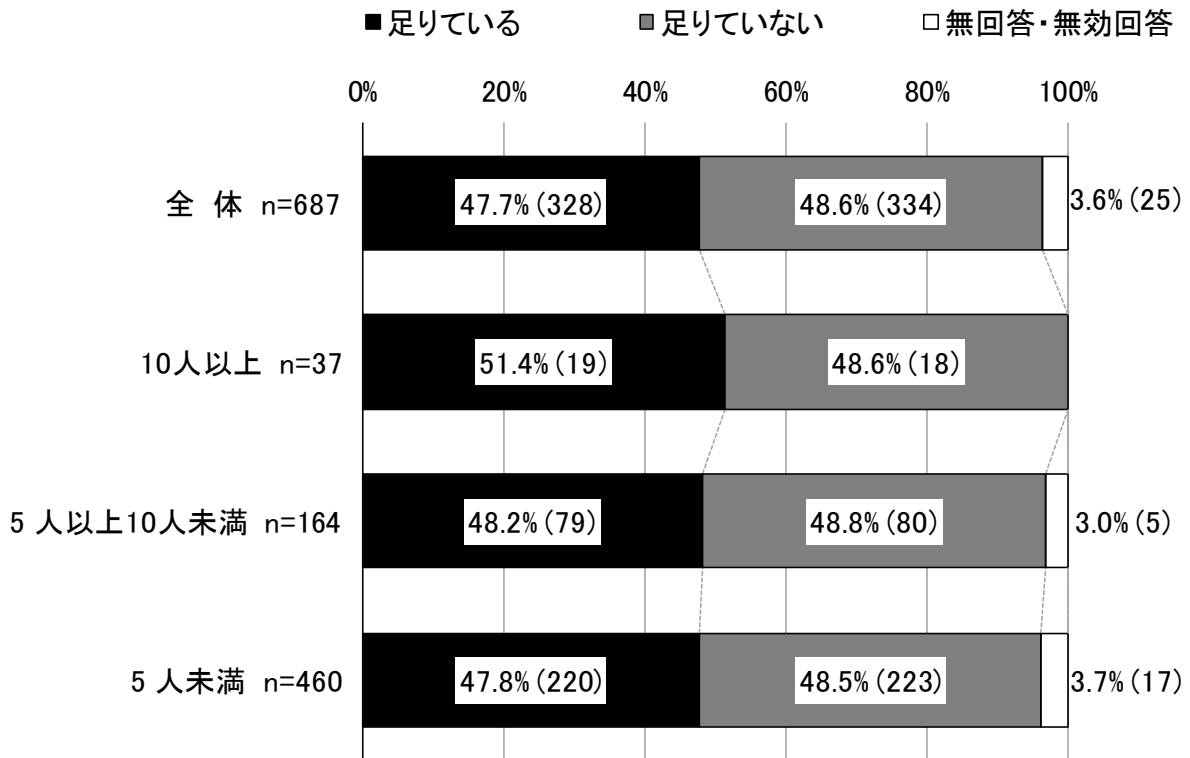
図表 153 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21① 業務担当者 複数回答 (10) 食事の配膳・下膳



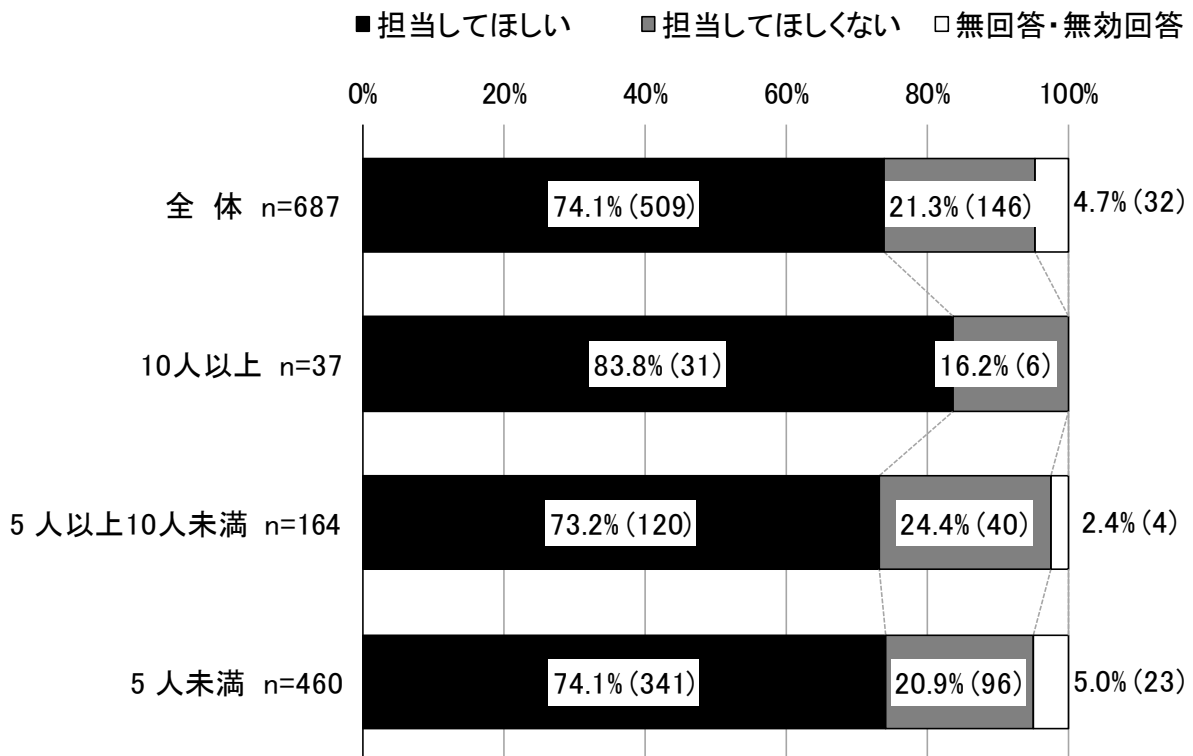
図表 154 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (10) 食事の配膳・下膳



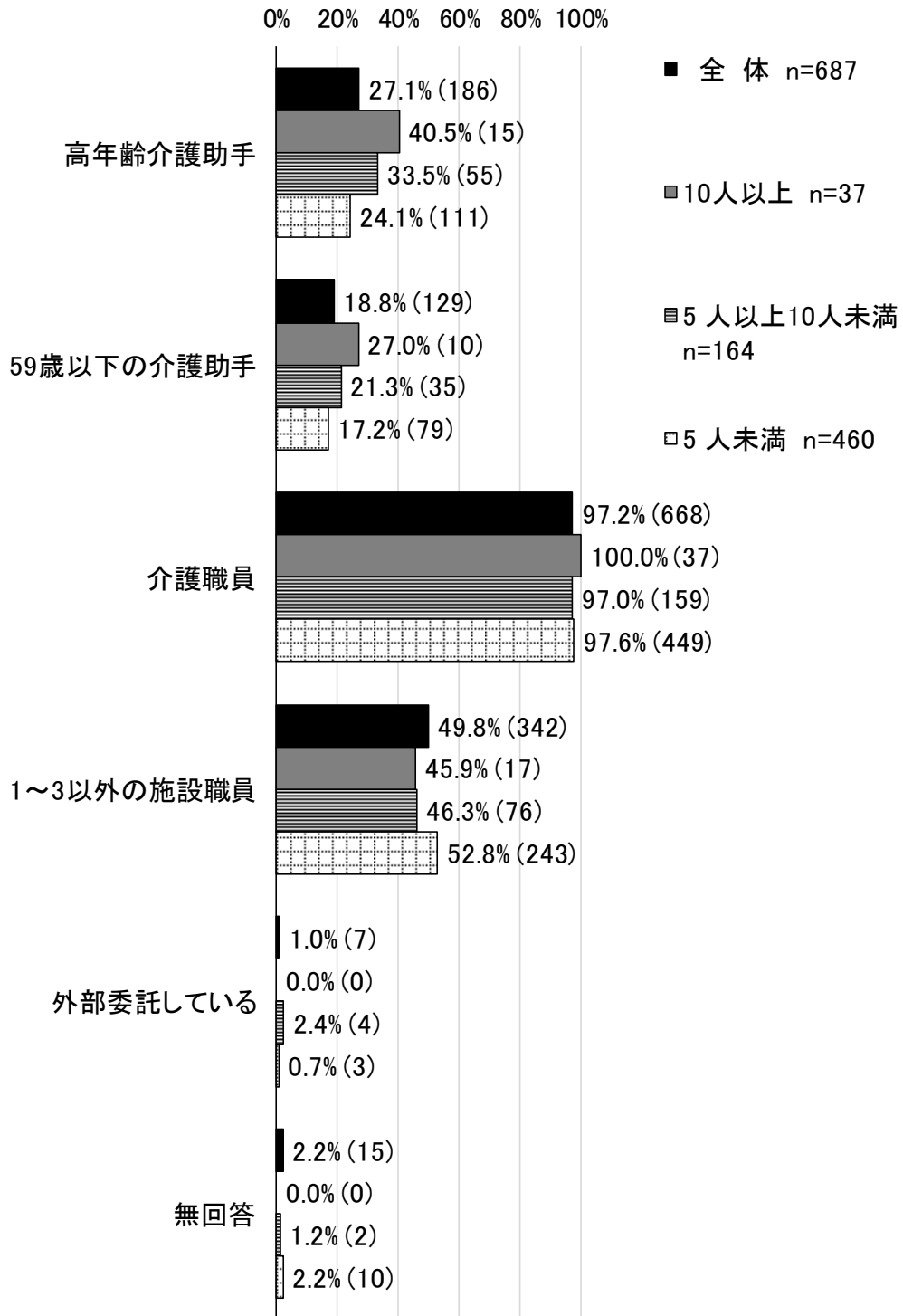
図表 155 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 単一回答 (10) 食事の配膳・下膳



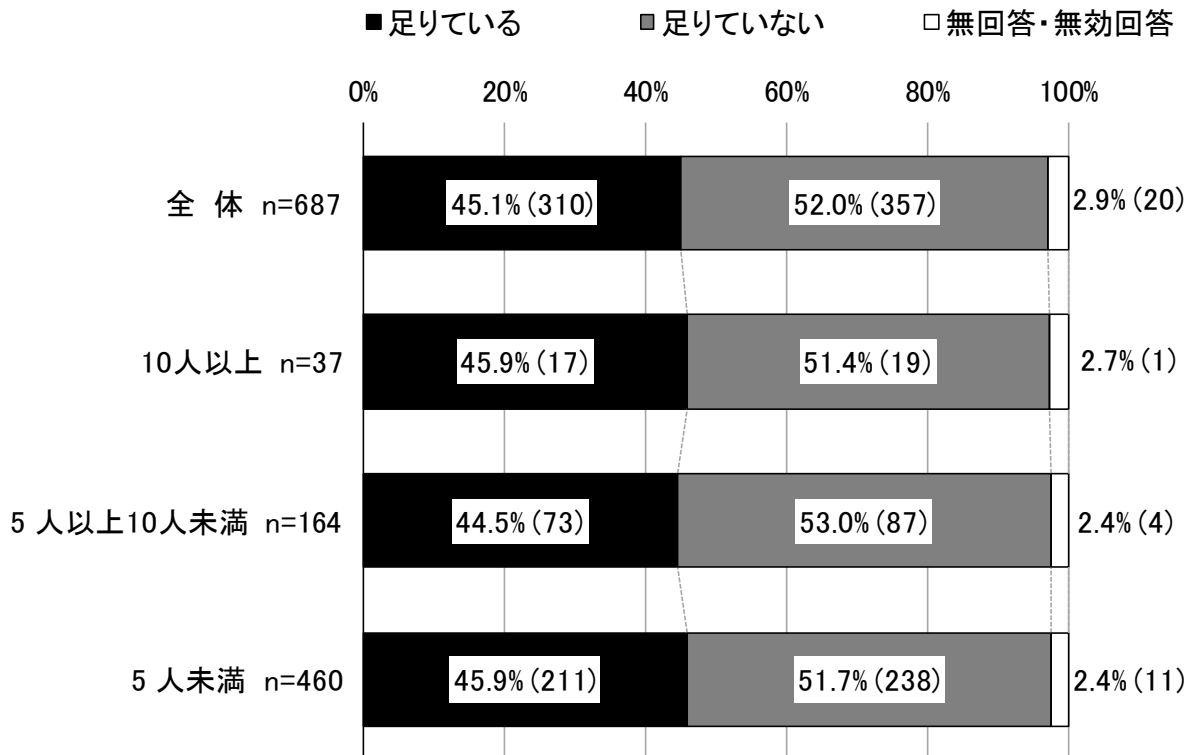
図表 156 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21① 業務担当者 複数回答 (11) 施設内外での移動補助 (車いすでの移動補助を含む)



図表 157 高年齢介護助手の雇用人数別

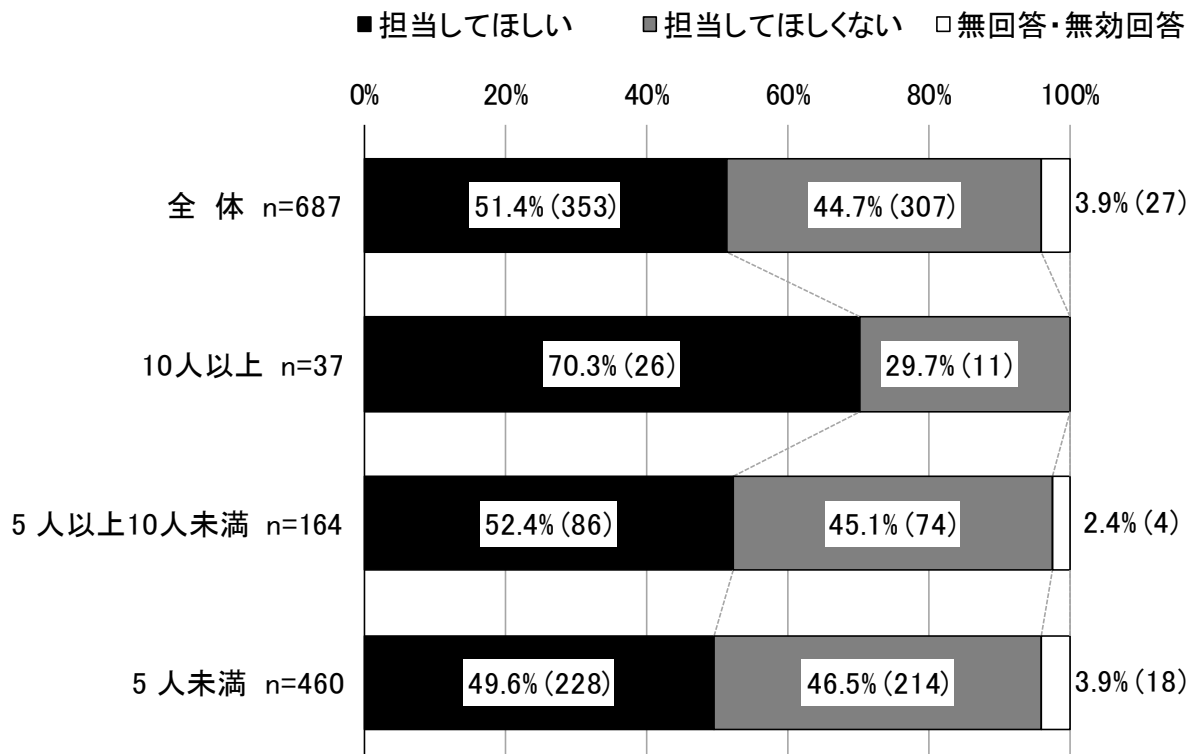
問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (11) 施設内外での移動補助 (車いすでの移動補助を含む)



図表 158 高年齢介護助手の雇用人数別

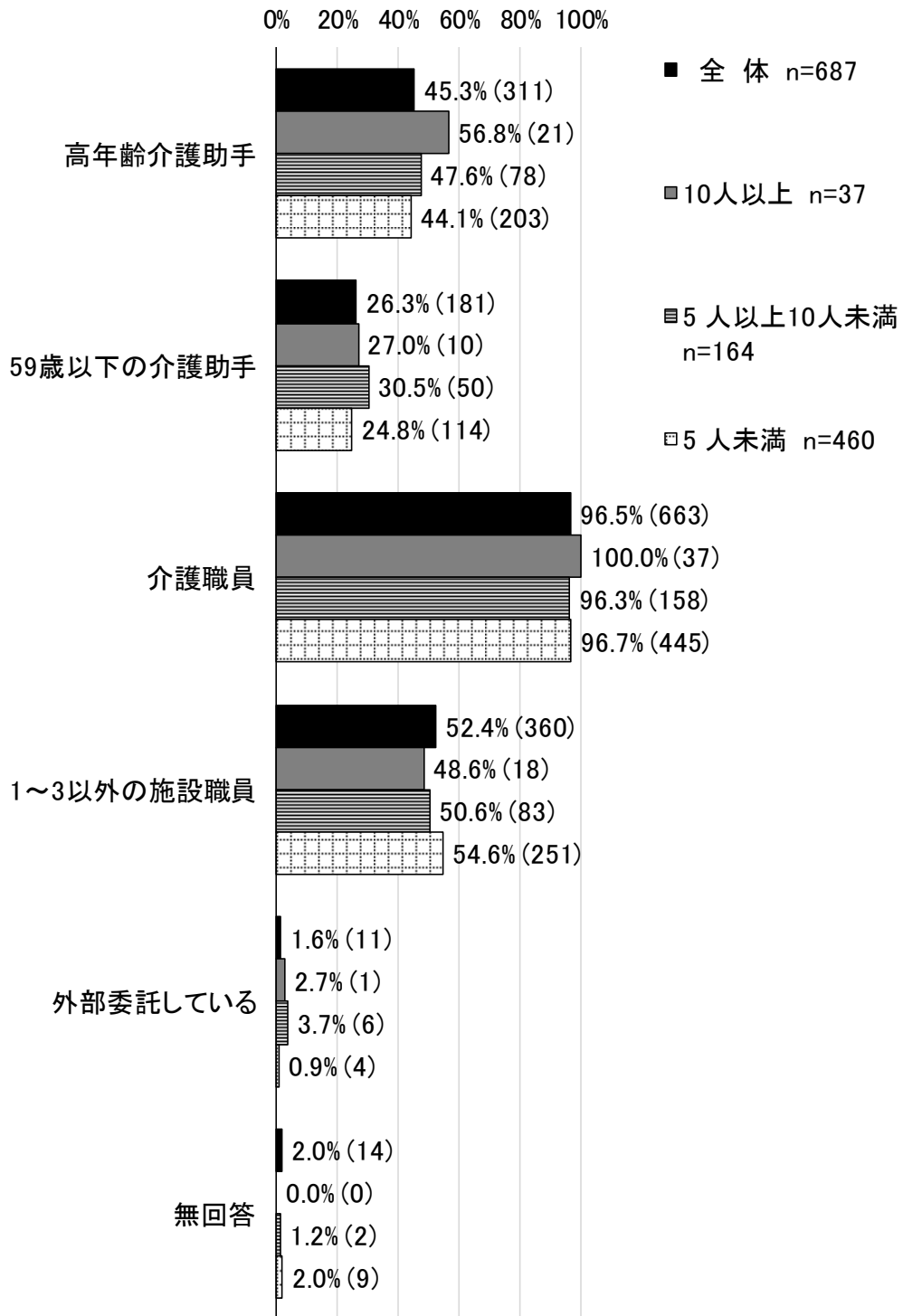
問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 単一回答

(11) 施設内外での移動補助 (車いすでの移動補助を含む)



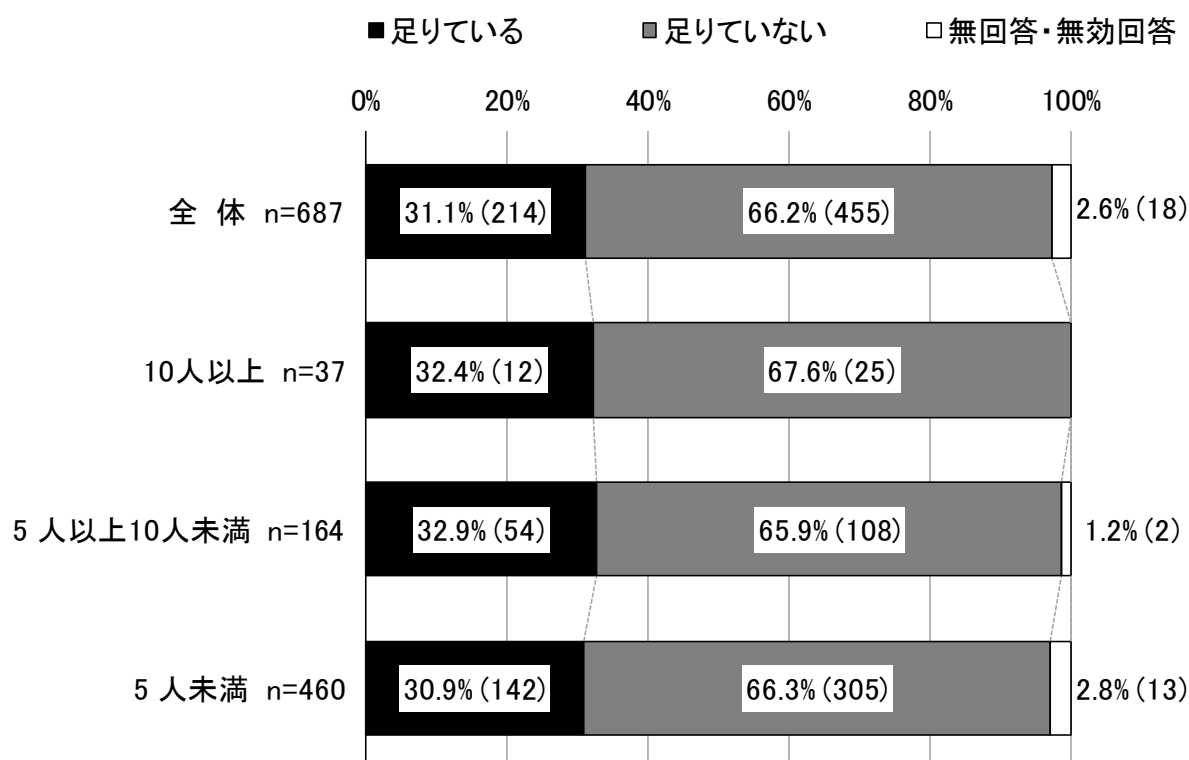
図表 159 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21① 業務担当者 複数回答 (12) 利用者の見守り・傾聴 (話し相手)



図表 160 高年齢介護助手の雇用人数別

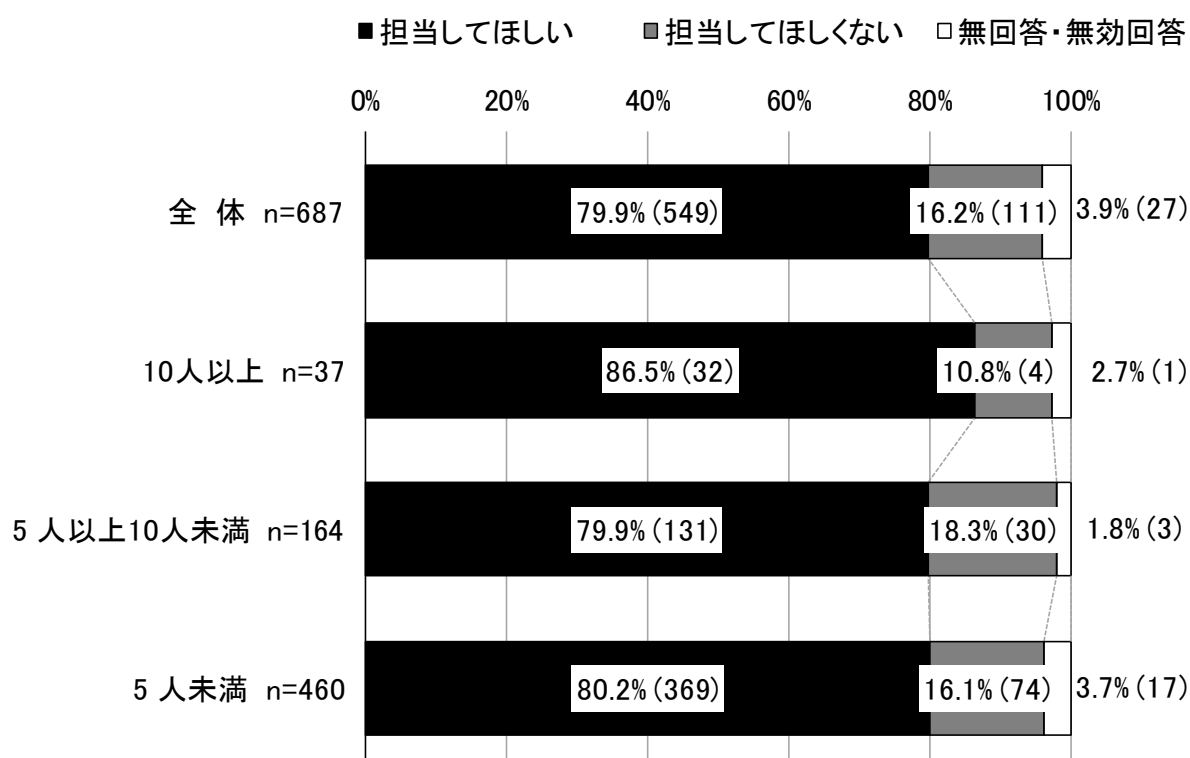
問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (12) 利用者の見守り・傾聴 (話し相手)



図表 161 高年齢介護助手の雇用人数別

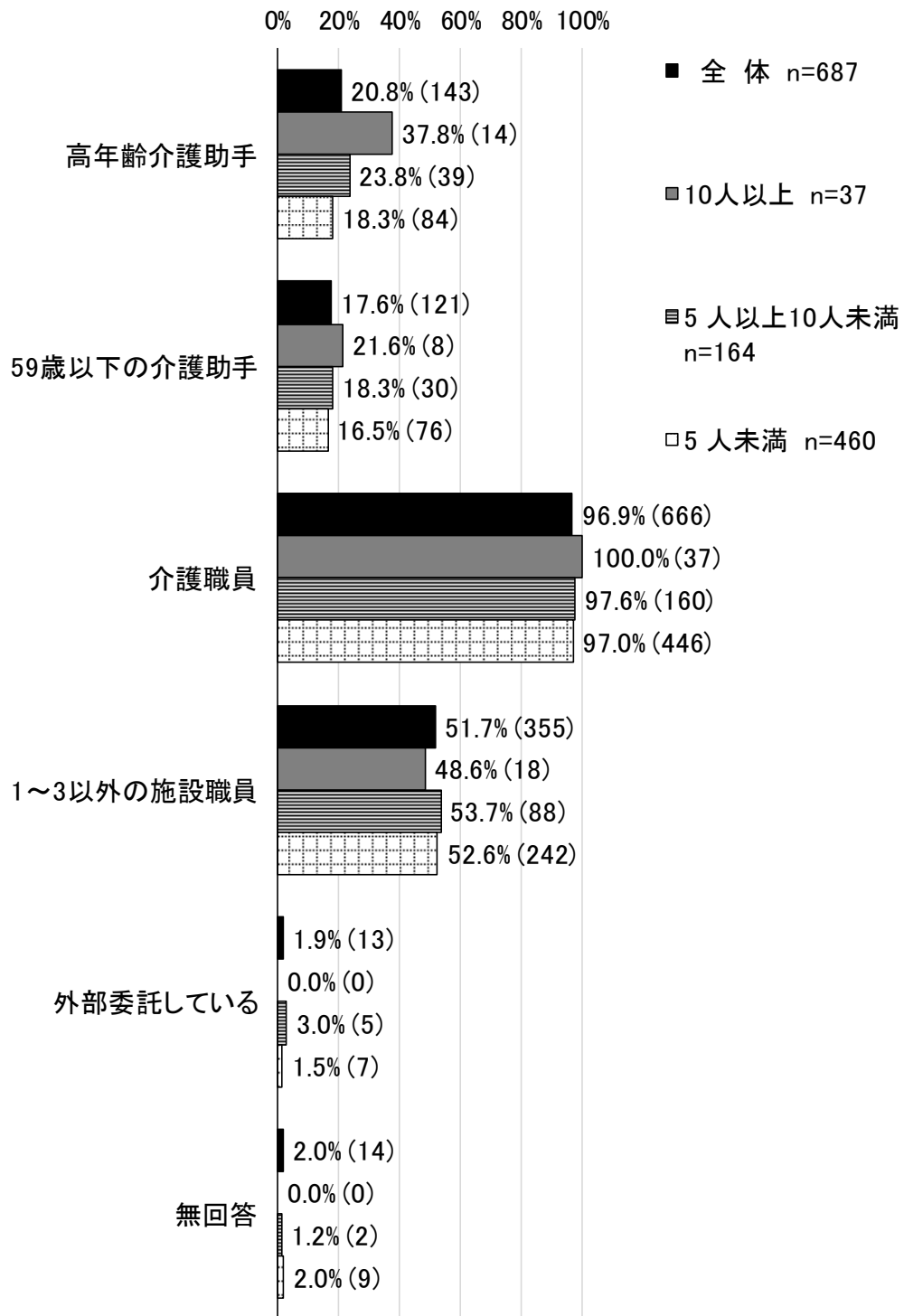
問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 単一回答

(12) 利用者の見守り・傾聴 (話し相手)



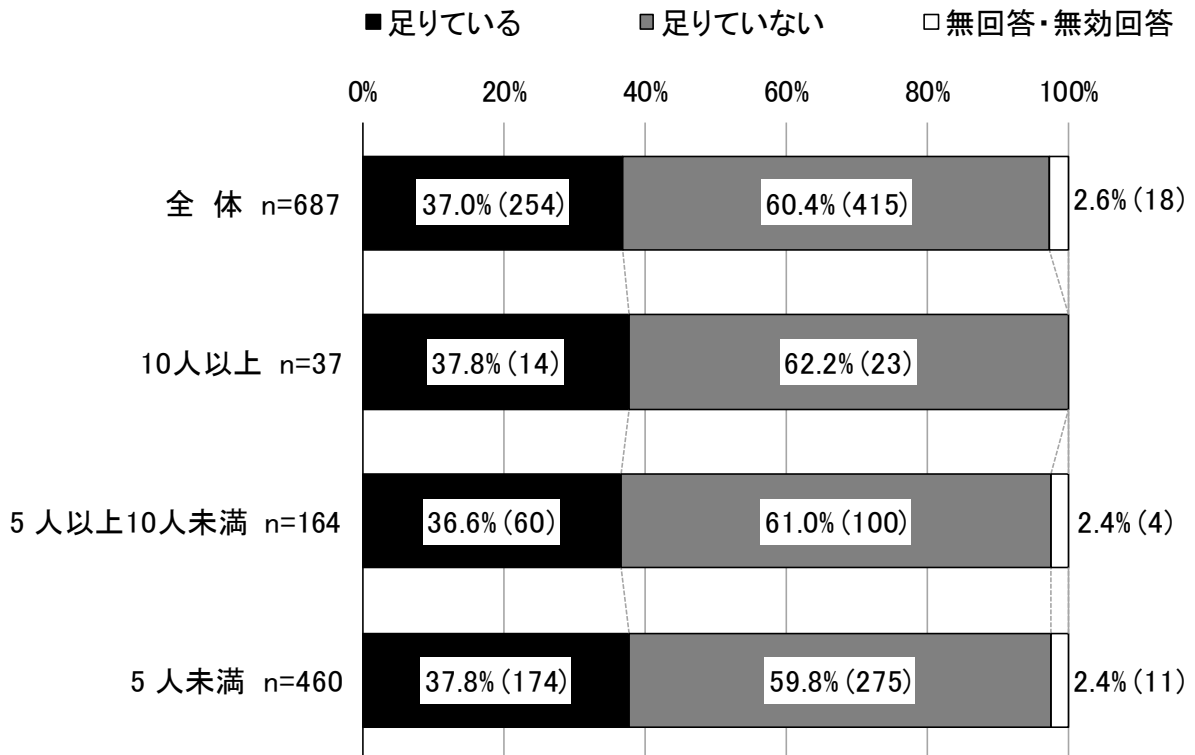
図表 162 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21① 業務担当者 複数回答 (13) イベントやアクティビティの補助



図表 163 高年齢介護助手の雇用人数別

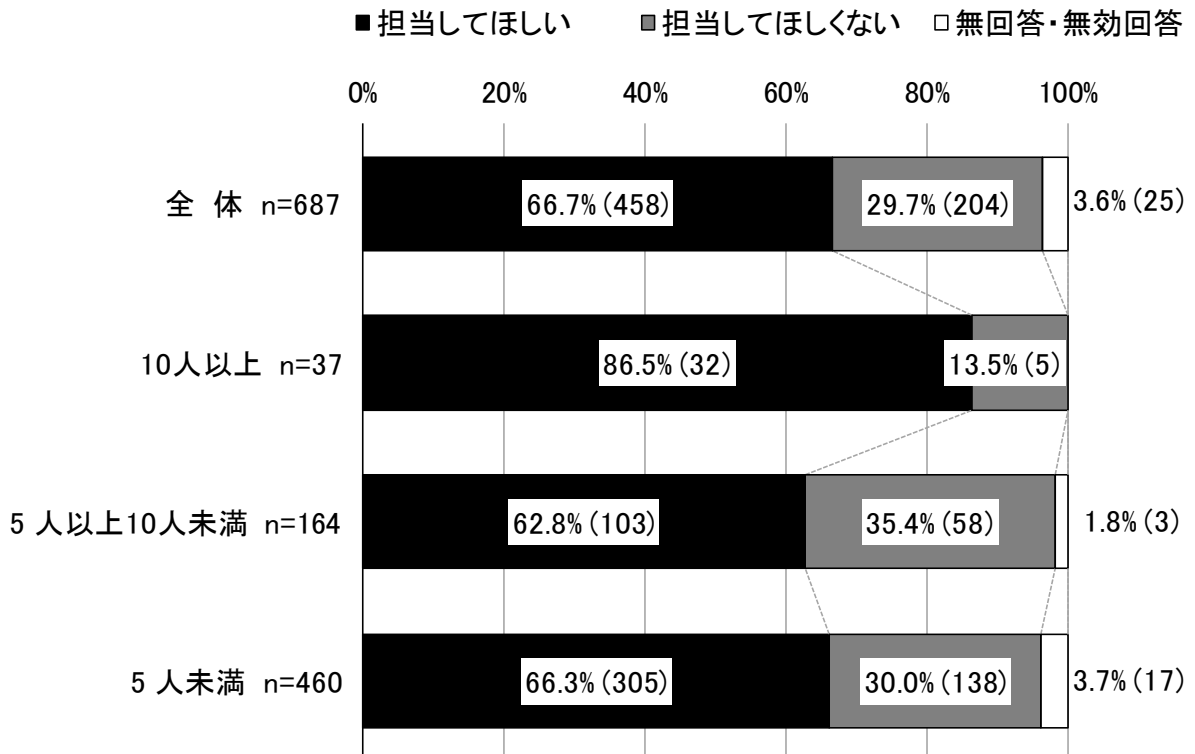
問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (13) イベントやアクティビティの補助



図表 164 高年齢介護助手の雇用人数別

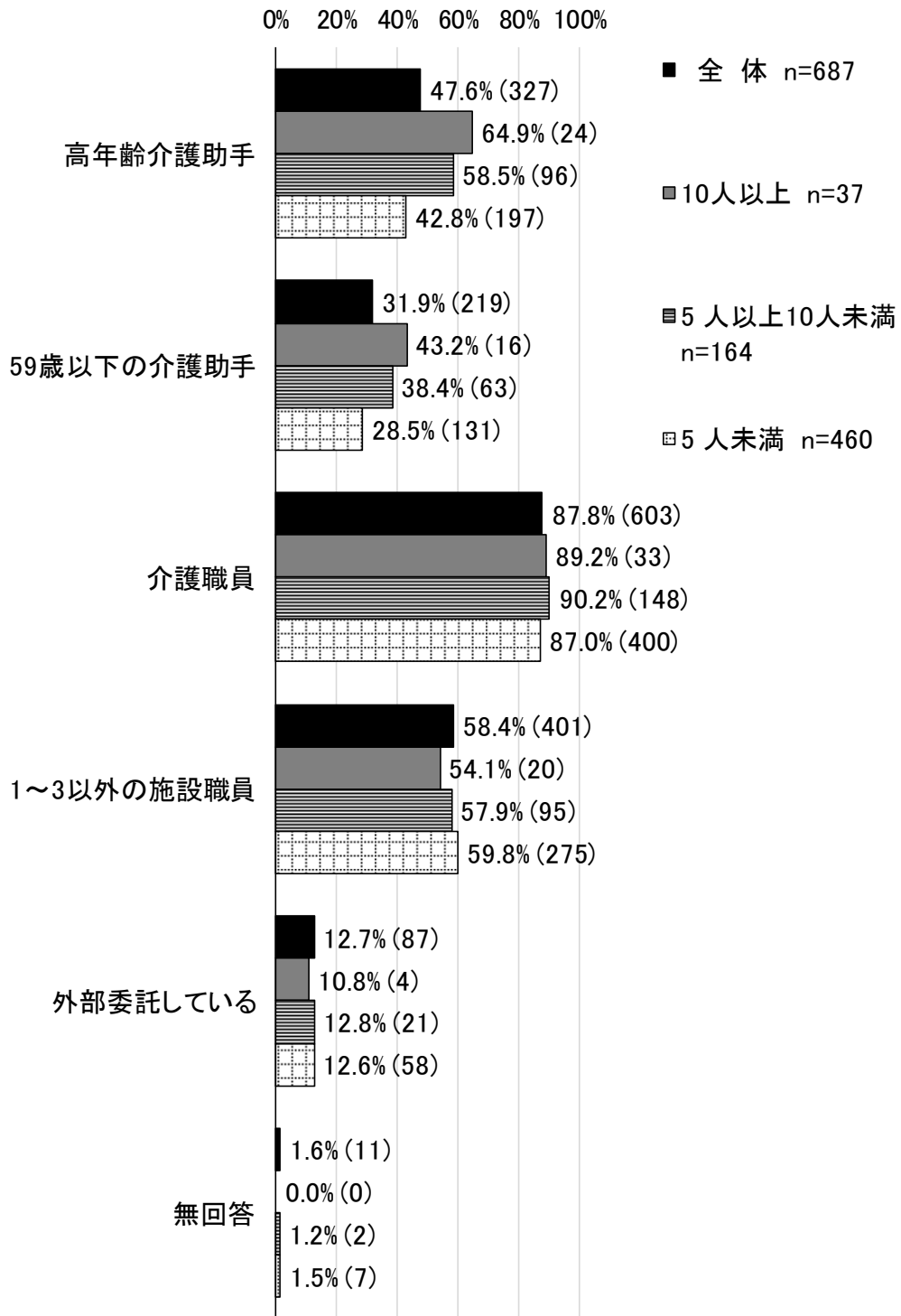
問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 単一回答

(13) イベントやアクティビティの補助



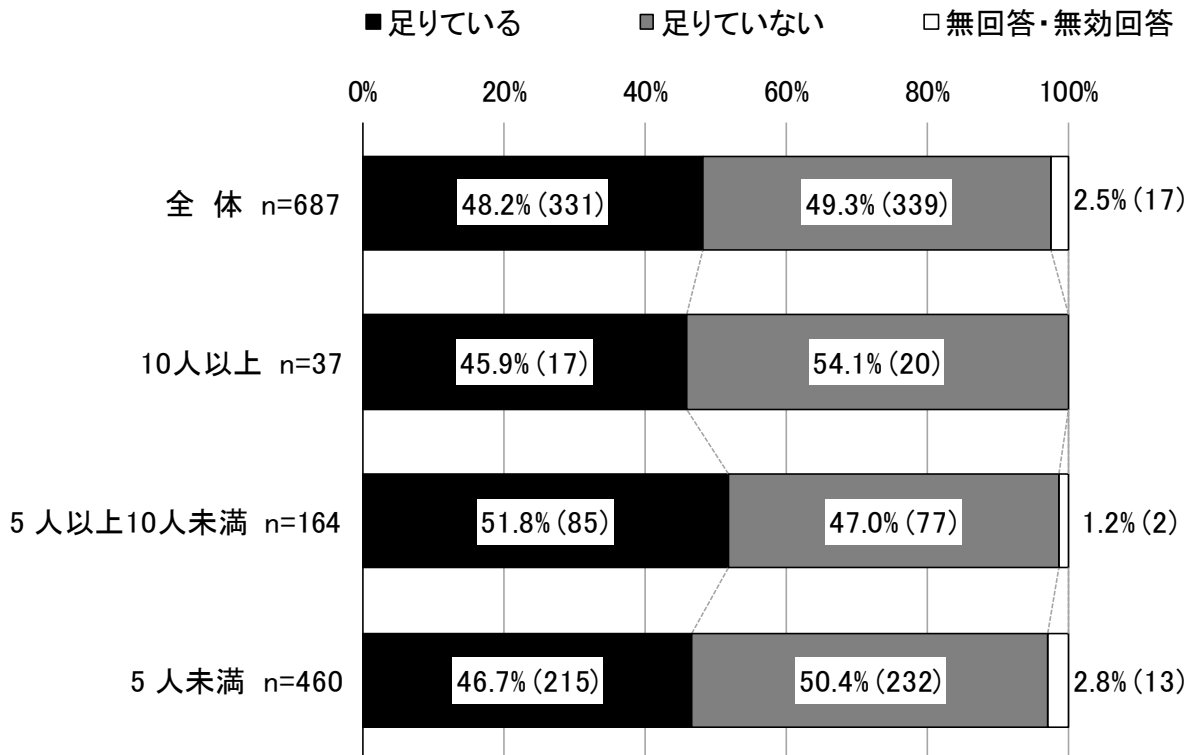
図表 165 高年齢介護助手の雇用人数別

問 21① 業務担当者 複数回答 (14) 消毒作業等の感染症対策



図表 166 高年齢介護助手の雇用人数別

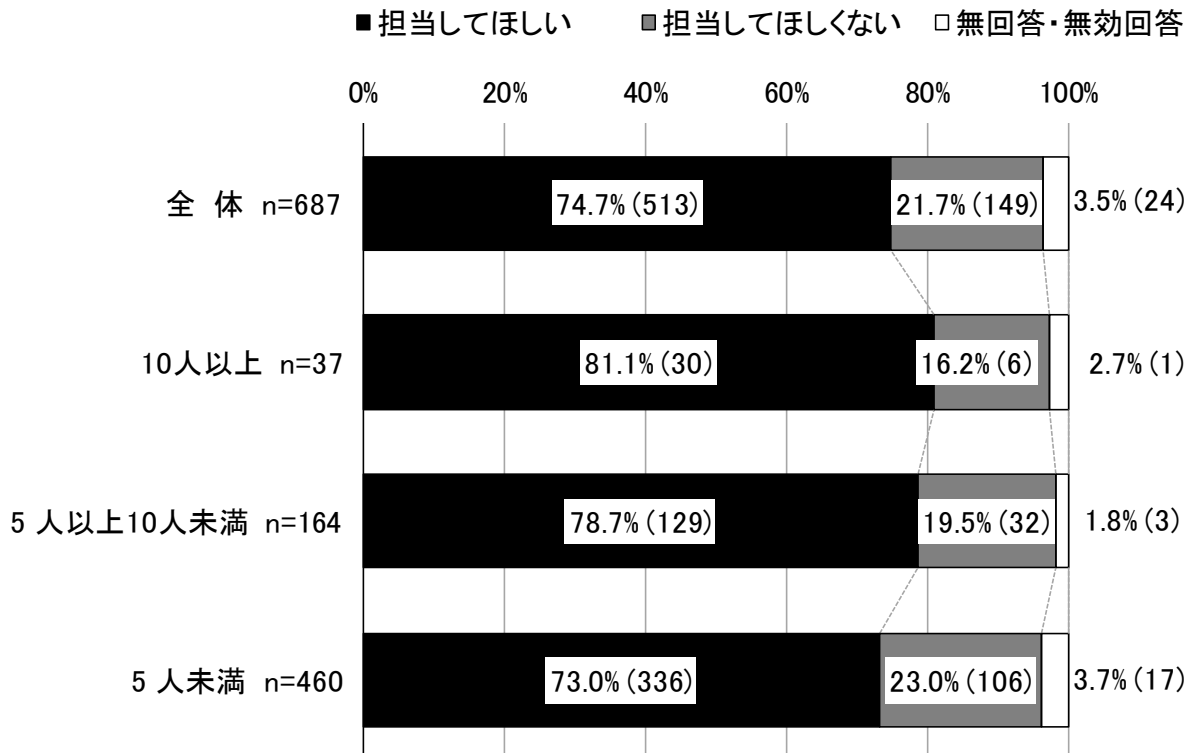
問 21② 業務別 人手の状況 単一回答 (14) 消毒作業等の感染症対策



図表 167 高年齢介護助手の雇用人数別

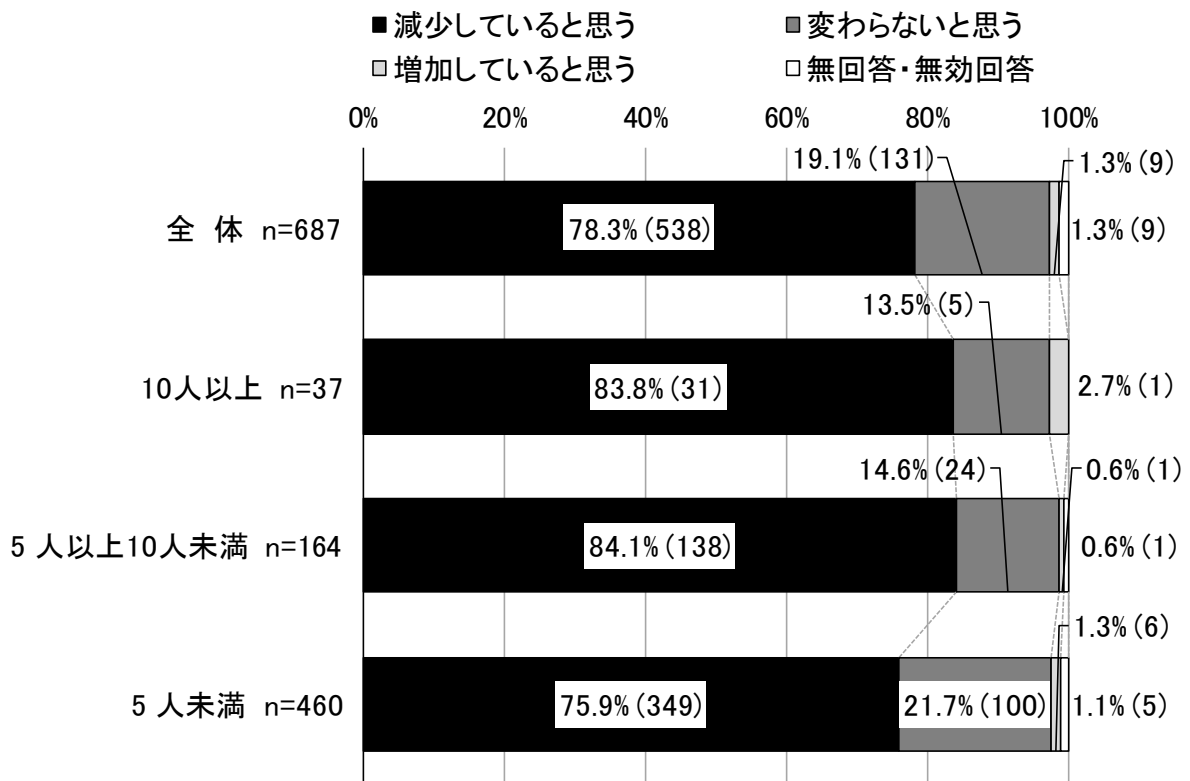
問 21③ 業務別 高年齢介護助手への担当意向 単一回答

(14) 消毒作業等の感染症対策



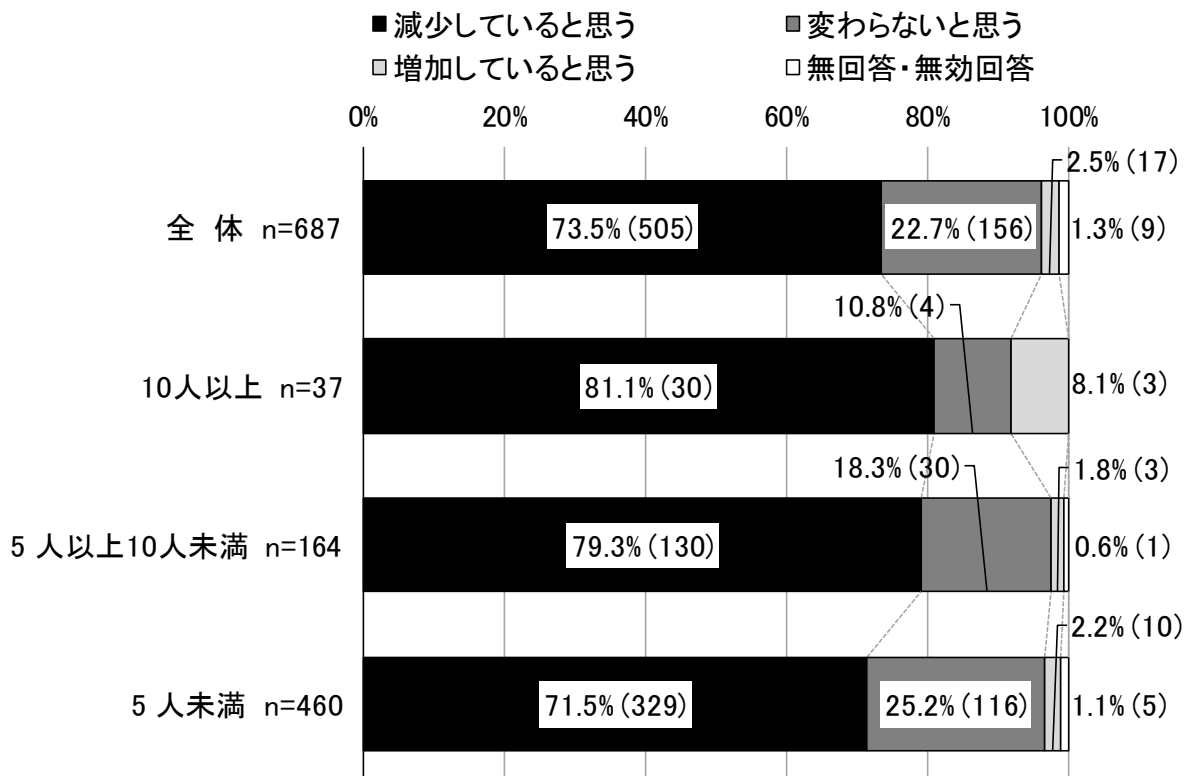
図表 168 高年齢介護助手の雇用人数別

問 22 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答 (1) 全体的な業務負担感



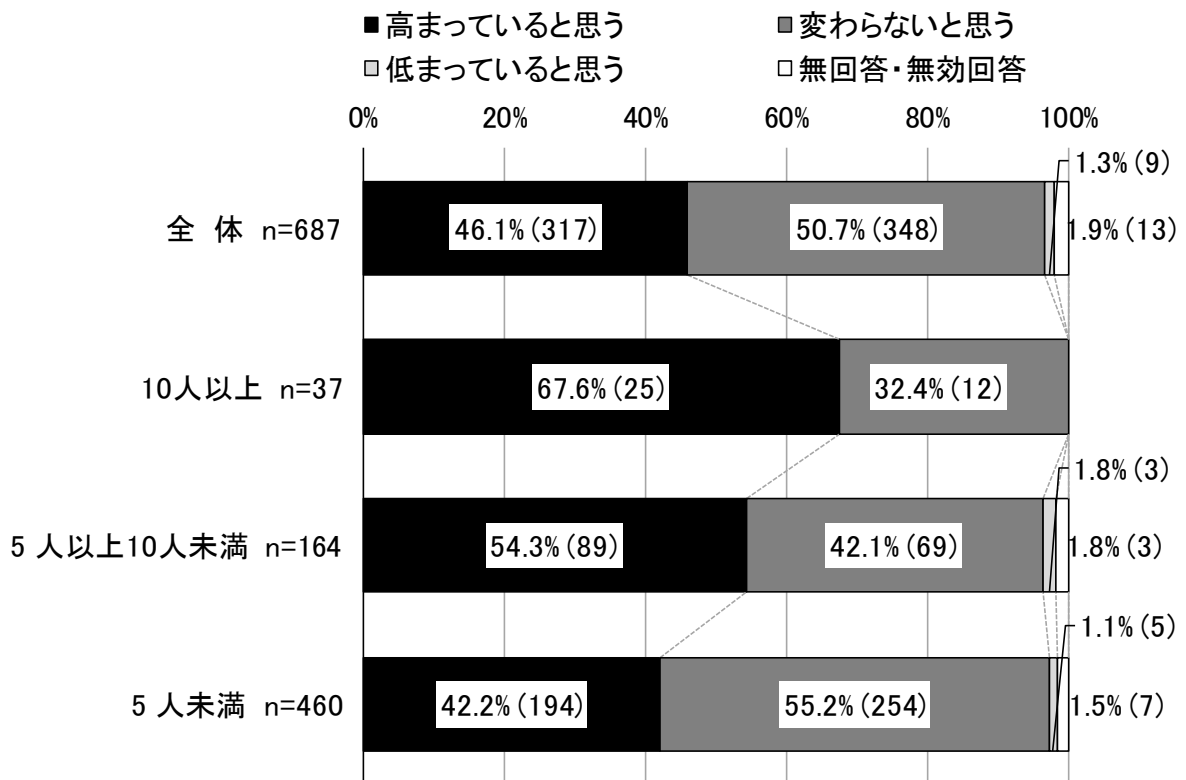
図表 169 高年齢介護助手の雇用人数別

問 22 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答 (2) 全体的な業務の量



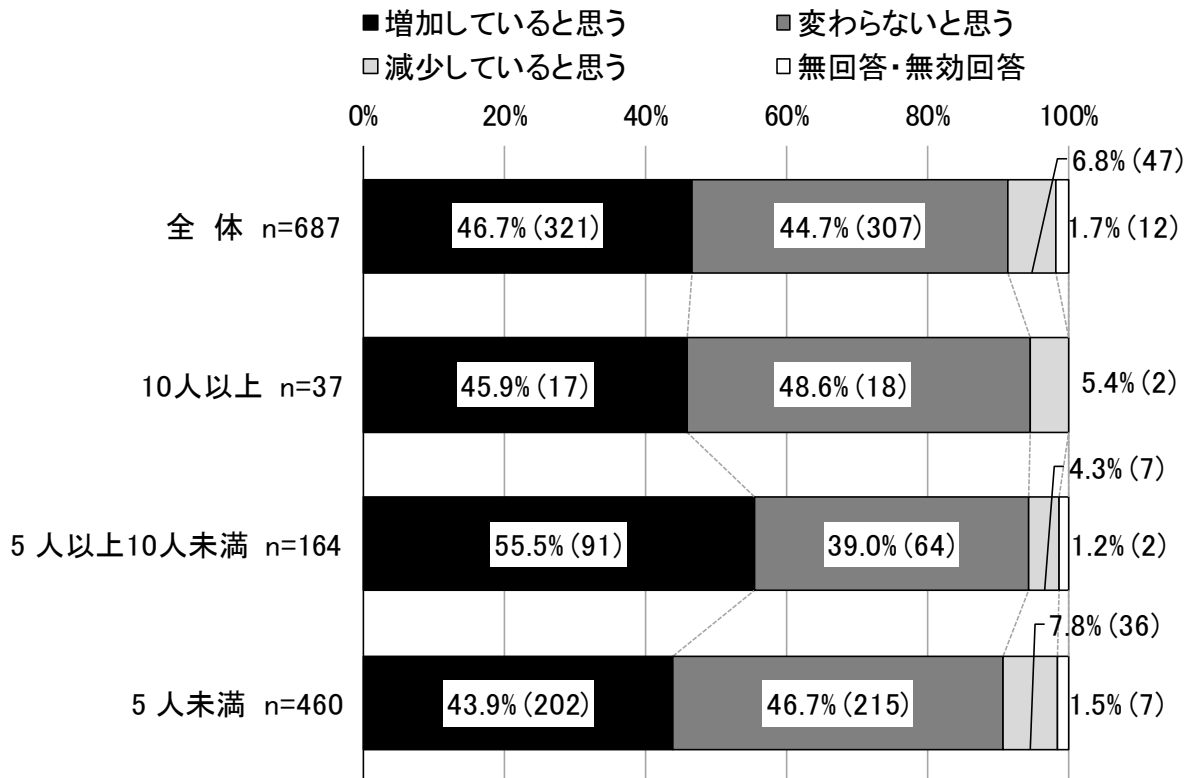
図表 170 高年齢介護助手の雇用人数別

問 22 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答 (3) 介護の専門性を活かした業務への集中



図表 171 高年齢介護助手の雇用人数別

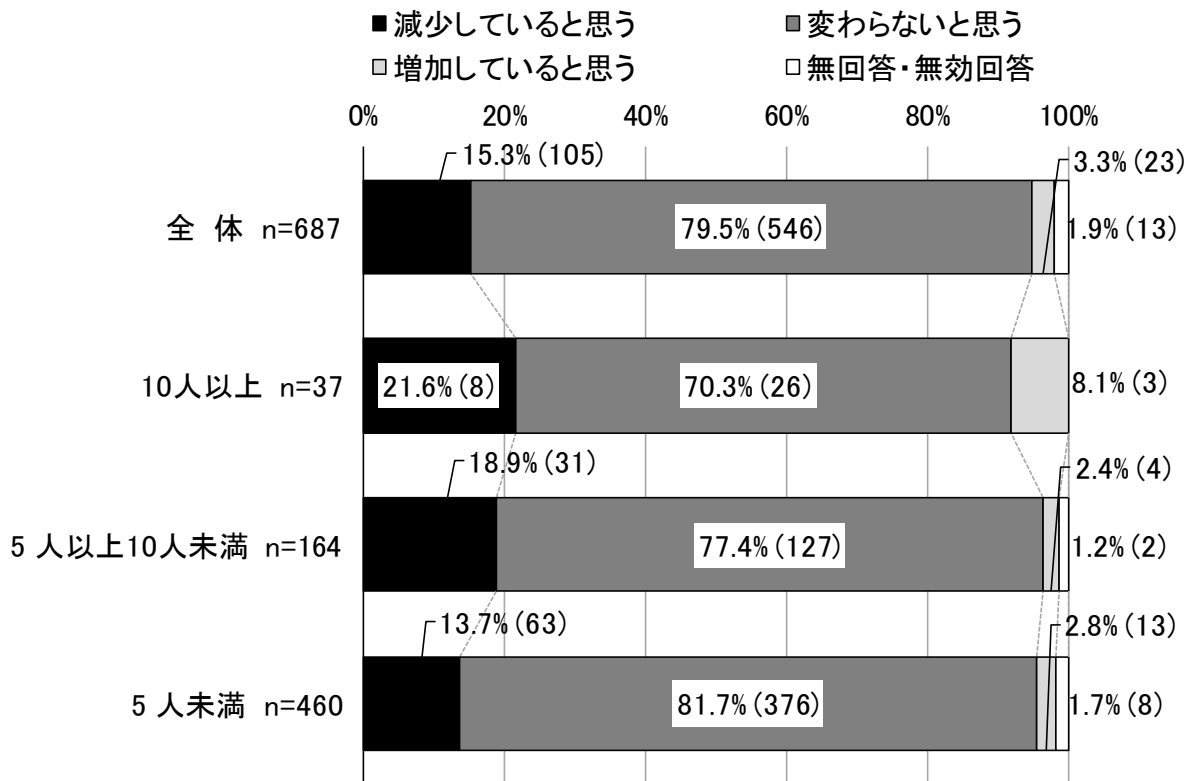
問 22 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答 (4) 普段の業務における気持ちのゆとり



図表 172 高齢介護助手の雇用人数別

問 22 高齢介護助手の存在による影響 単一回答

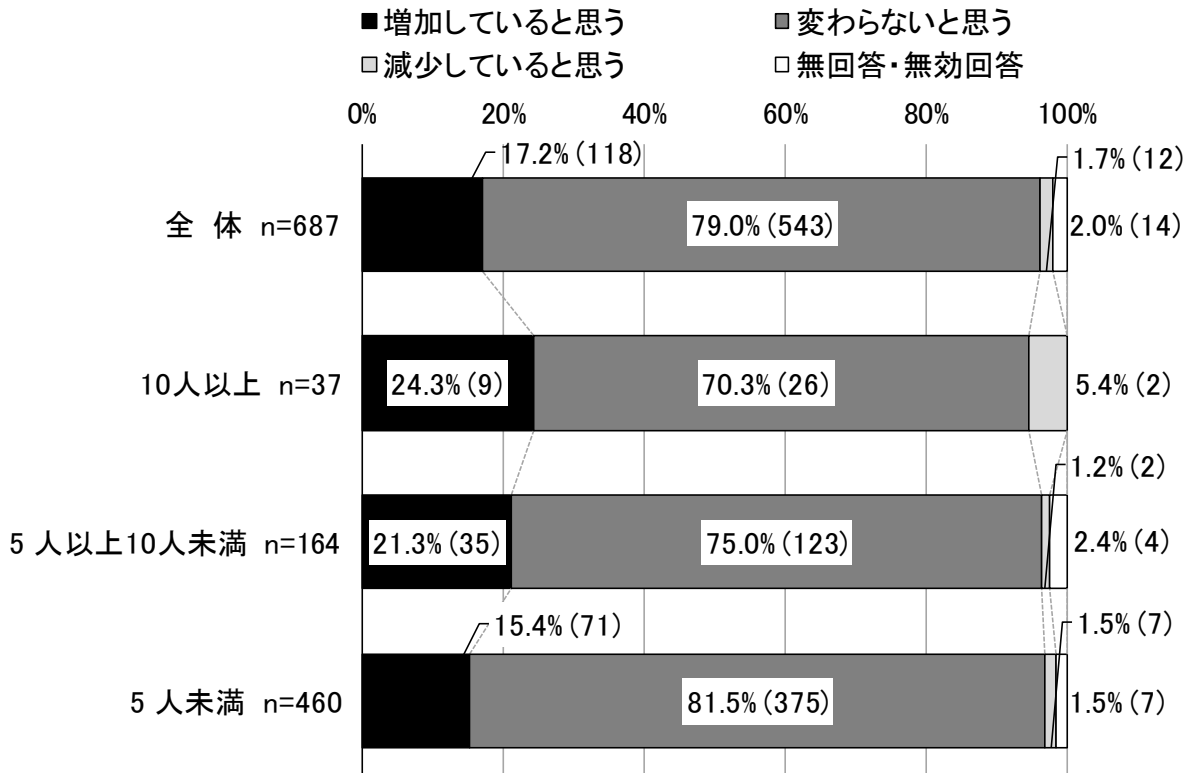
(5) インシデントやアクシデント、ヒヤリハットの件数



図表 173 高齢介護助手の雇用人数別

問 22 高齢介護助手の存在による影響 単一回答

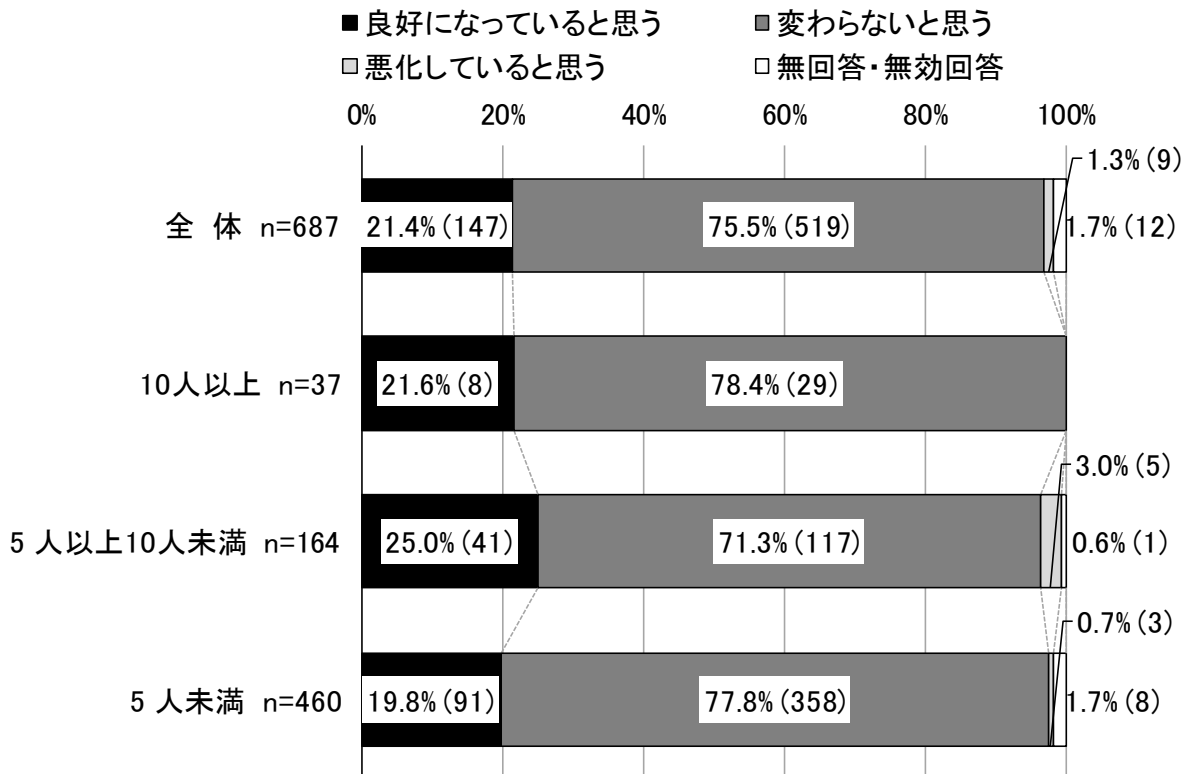
(6) 介護職員の研修受講・スキル向上のための時間



図表 174 高年齢介護助手の雇用人数別

問 22 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答

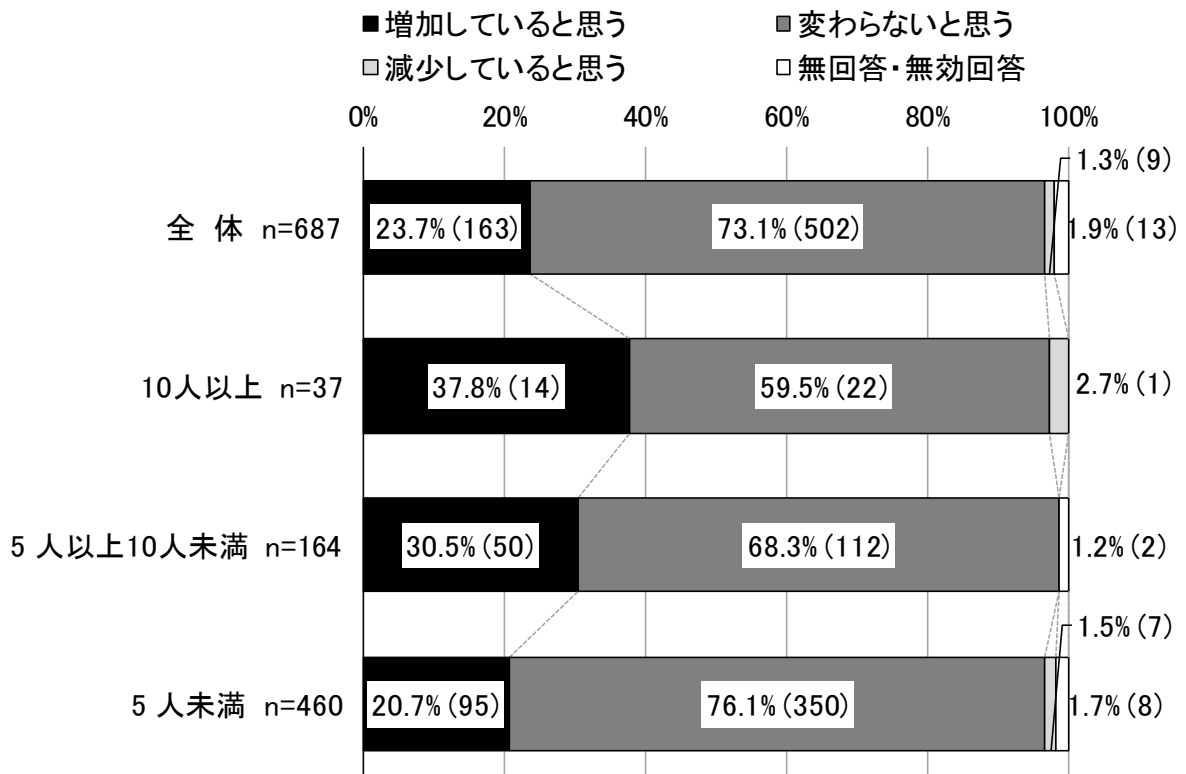
(7) 施設の職員間の人間関係



図表 175 高年齢介護助手の雇用人数別

問 22 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答

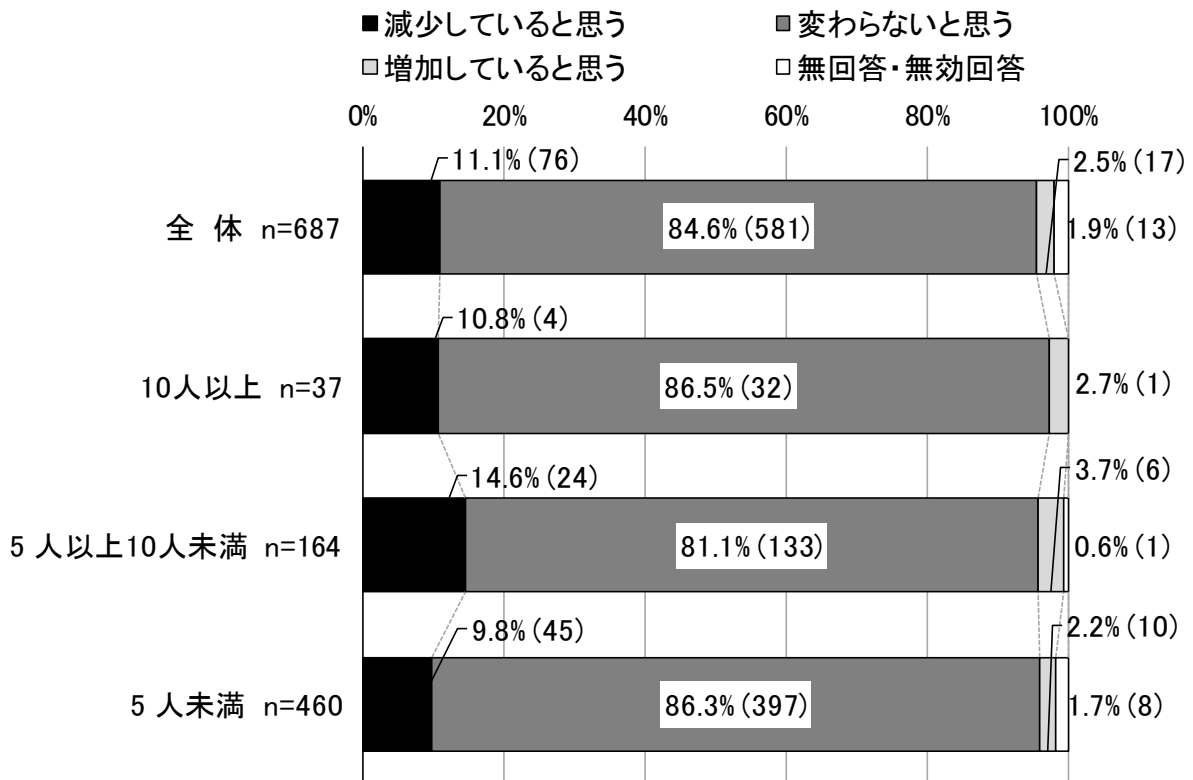
(8) 利用者や家族とのコミュニケーション



図表 176 高齢介護助手の雇用人数別

問 22 高齢介護助手の存在による影響 単一回答

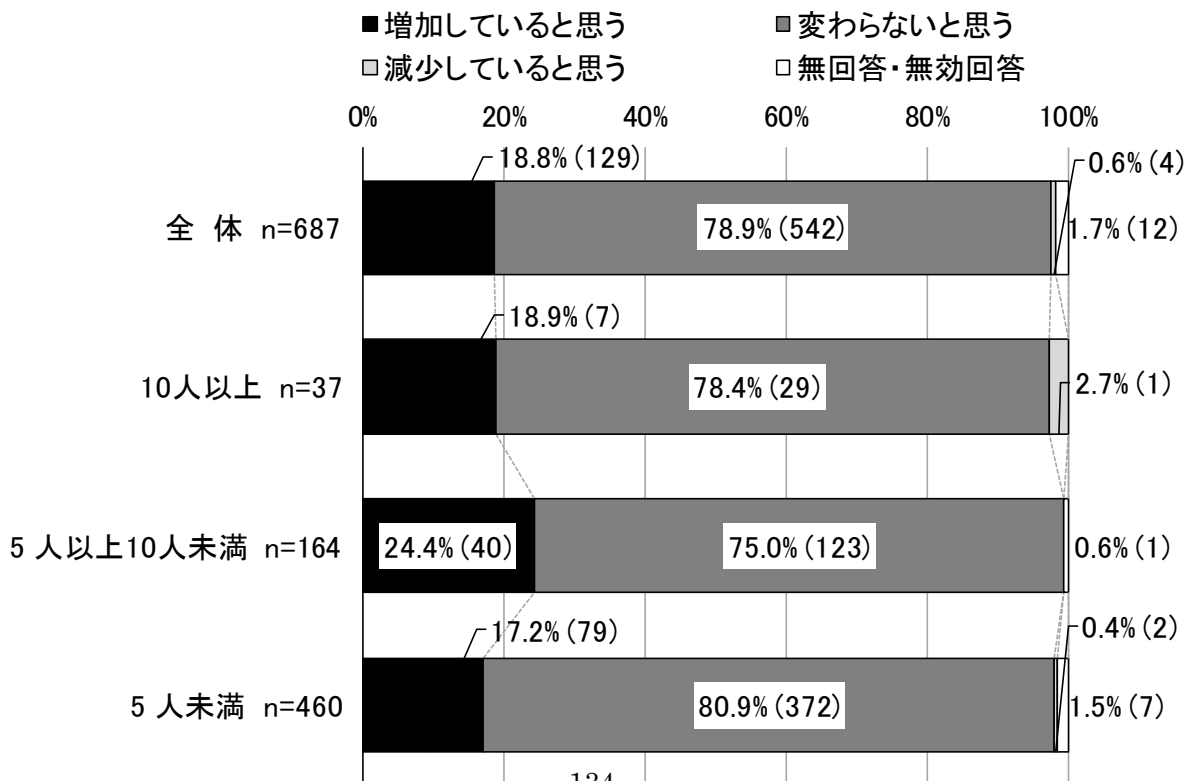
(9) 利用者や家族からのクレーム



図表 177 高齢介護助手の雇用人数別

問 22 高齢介護助手の存在による影響 単一回答

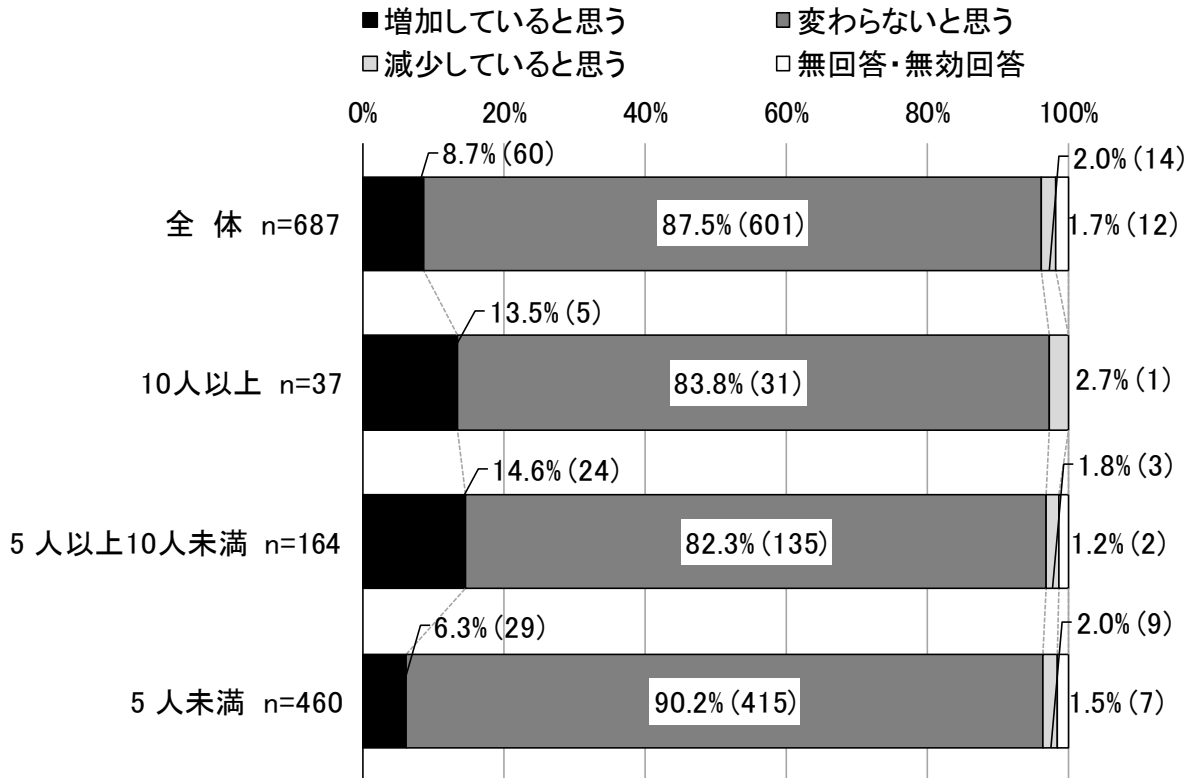
(10) 利用者や家族からの感謝



図表 178 高年齢介護助手の雇用人数別

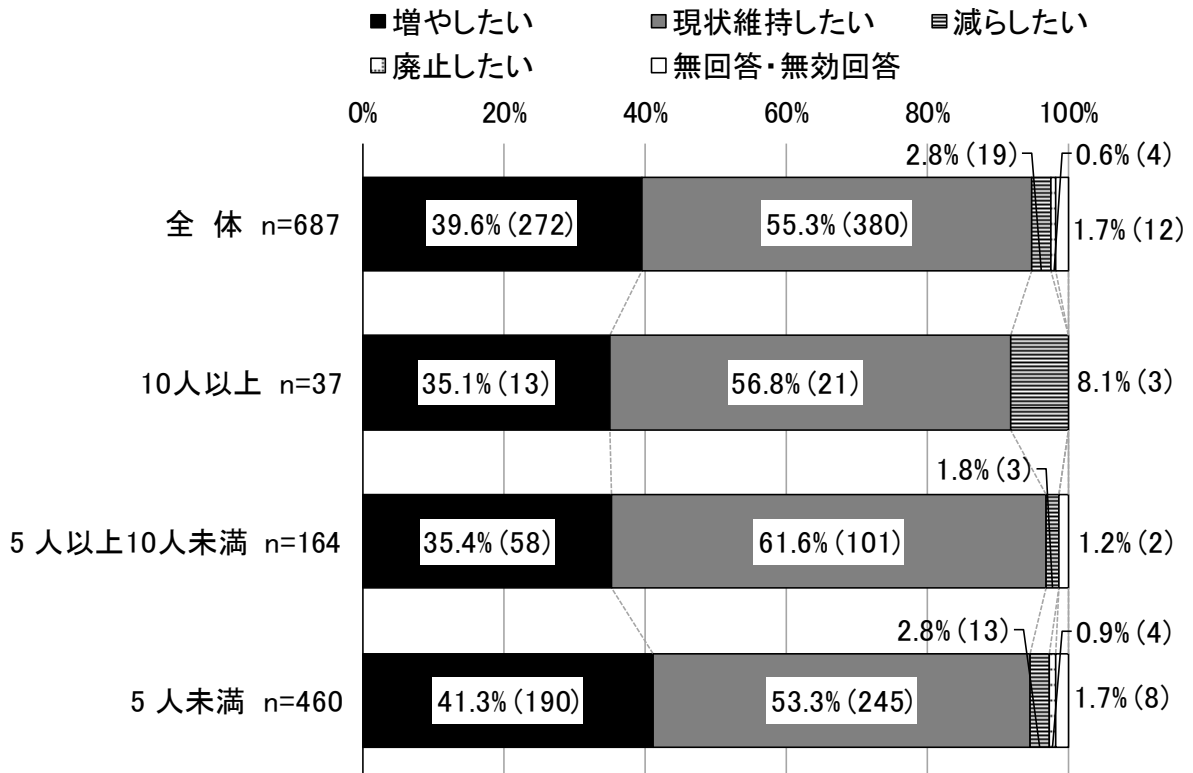
問 22 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答

(11) 地域の人や団体と関わる機会



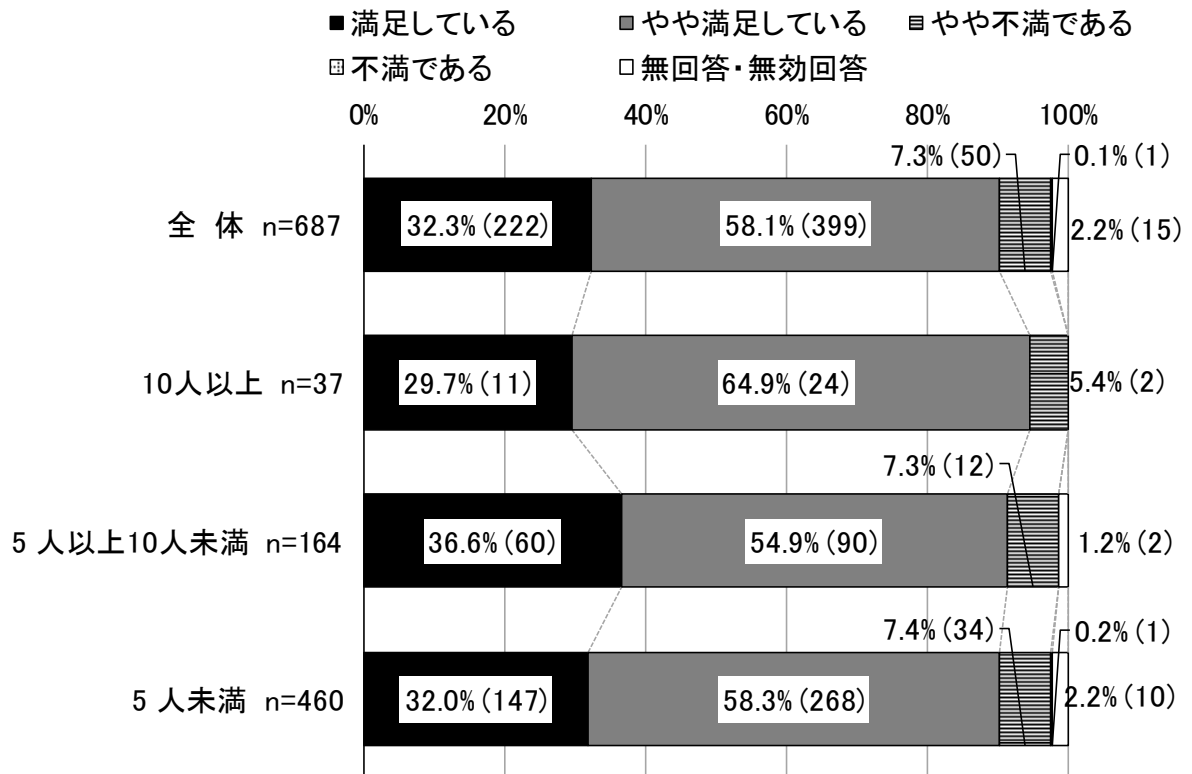
図表 179 高年齢介護助手の雇用人数別

問 23 高年齢介護助手の雇用人数に対する今後の意向 単一回答



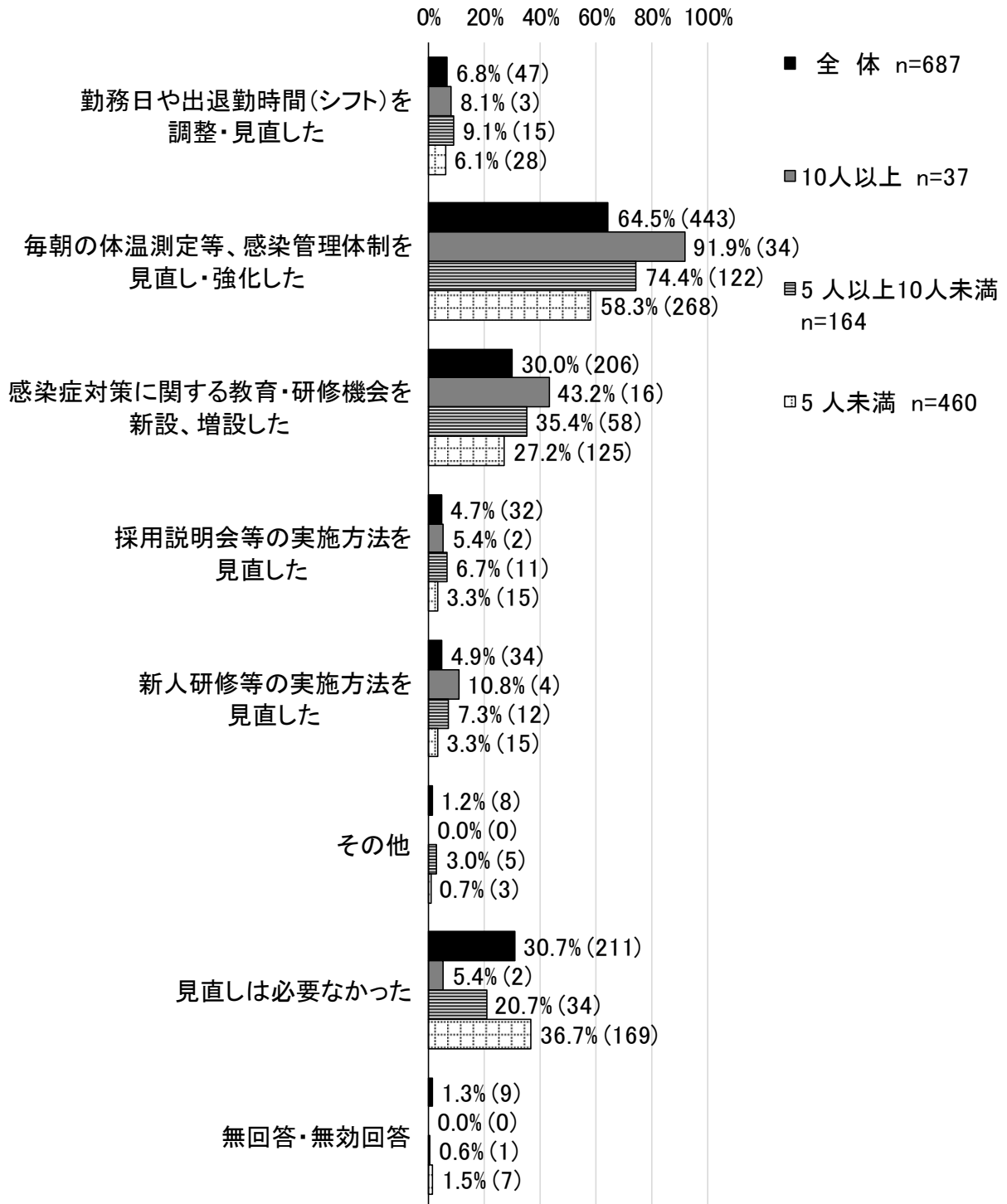
図表 180 高年齢介護助手の雇用人数別

問 24 高年齢介護助手雇用に対する満足度 単一回答



図表 181 高年齢介護助手の雇用人数別

問 25 COVID-19 対策としての高年齢介護助手の勤務体制等の見直し 複数回答



3-2 介護職員票クロス集計

本項では介護職員票の問 15 において、勤務先で高年齢介護助手を「雇用している」と回答した 5185 件について、介護職員票の問 16 「高年齢介護助手との関わり」から以下の群に分けて集計した結果を掲載する。

※サンプル数が少ない群もある為、参考値として留意されたい

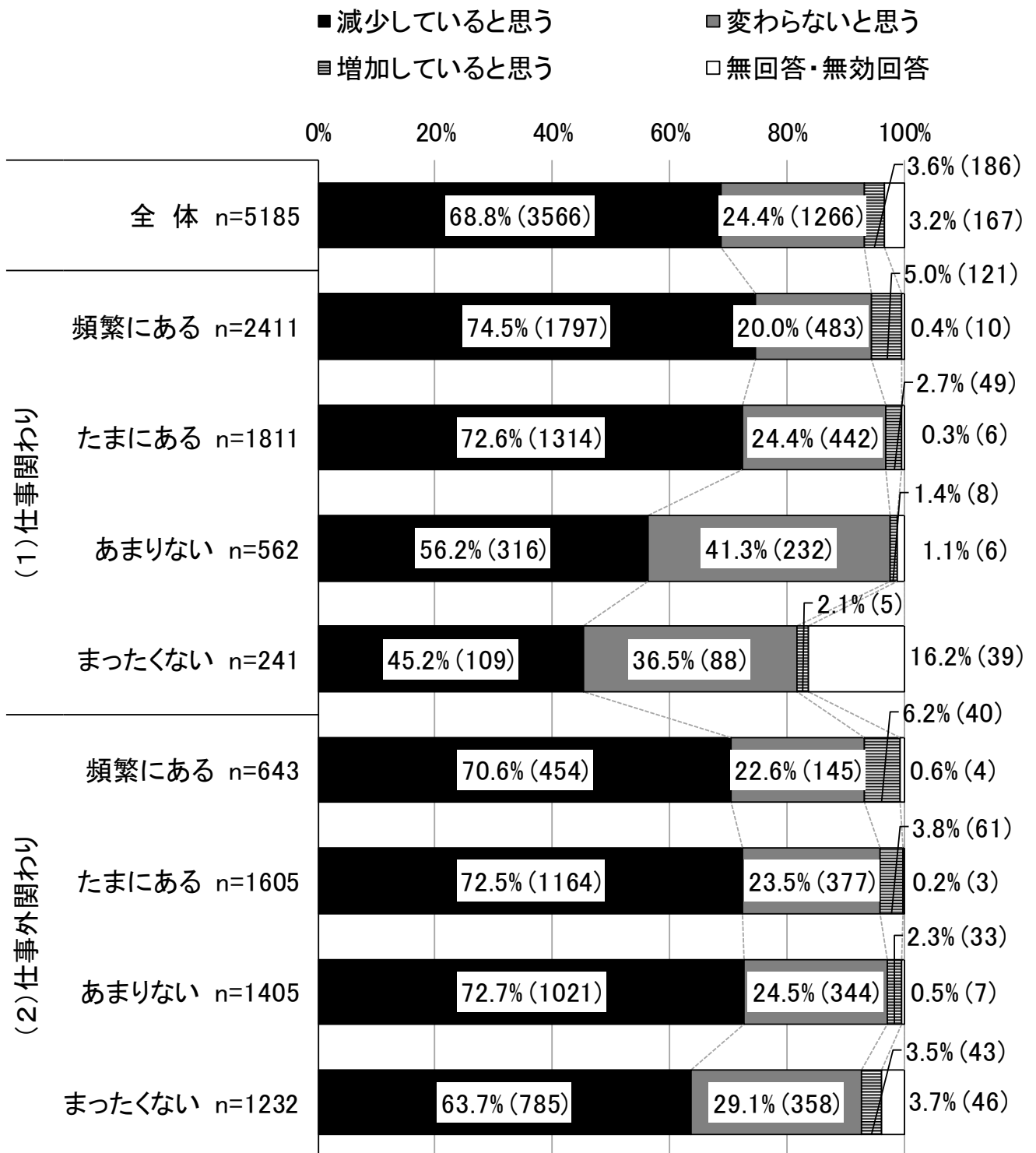
群分け		n
全体※		5185
仕事上での関わり	頻繁にある	2411
	たまにある	1811
	あまりない	562
	まったくない	241
仕事以外での関わり	頻繁にある	643
	たまにある	1605
	あまりない	1405
	まったくない	1232

※全体には高年齢介護助手との関わりについて無回答・無効回答票も含まれる。

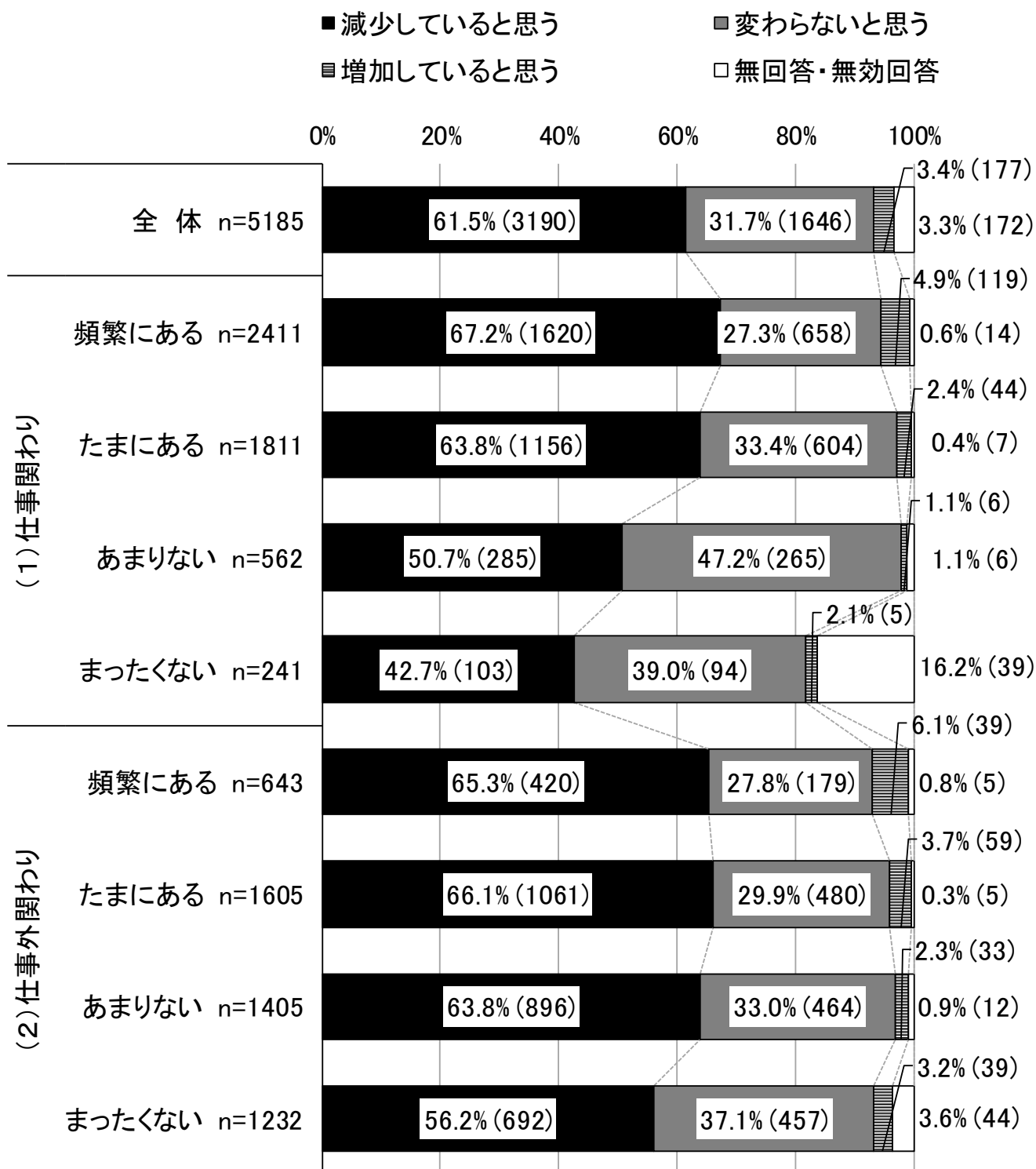
主な結果は以下の通り。

- ・高年齢介護助手と仕事上の関わりがある群（「頻繁にある」「たまにある」群）は、関わりがない群（「あまりない」「まったくない」群）よりも、問 17 「高年齢介護助手による影響」において、良い影響を感じているという割合が高かった。（図表 182～図表 192）

図表 182 高年齢介護助手との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別
 問 17 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答 (1) 全体的な業務負担感

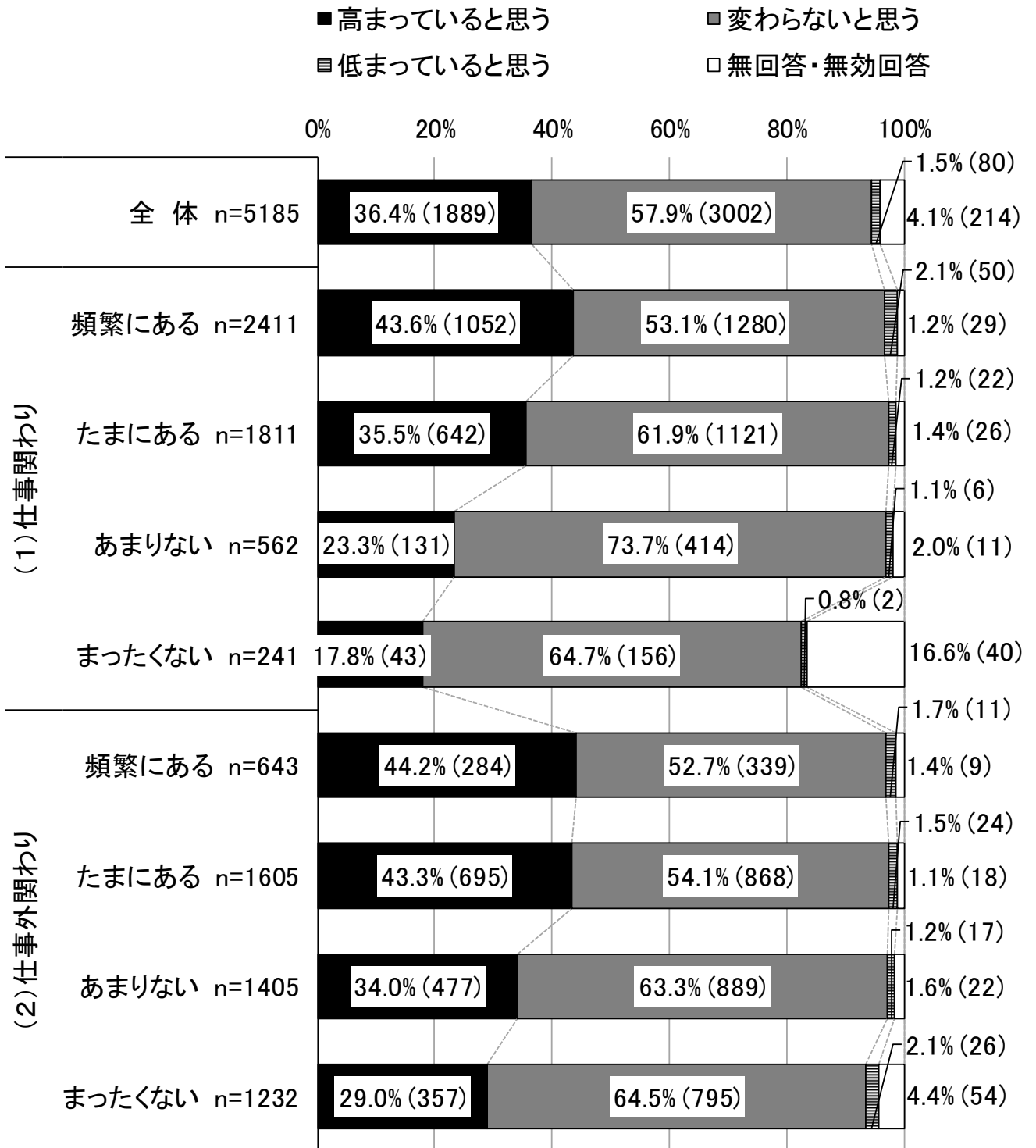


図表 183 高年齢介護助手との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別
 問 17 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答 (2) 全体的な業務の量



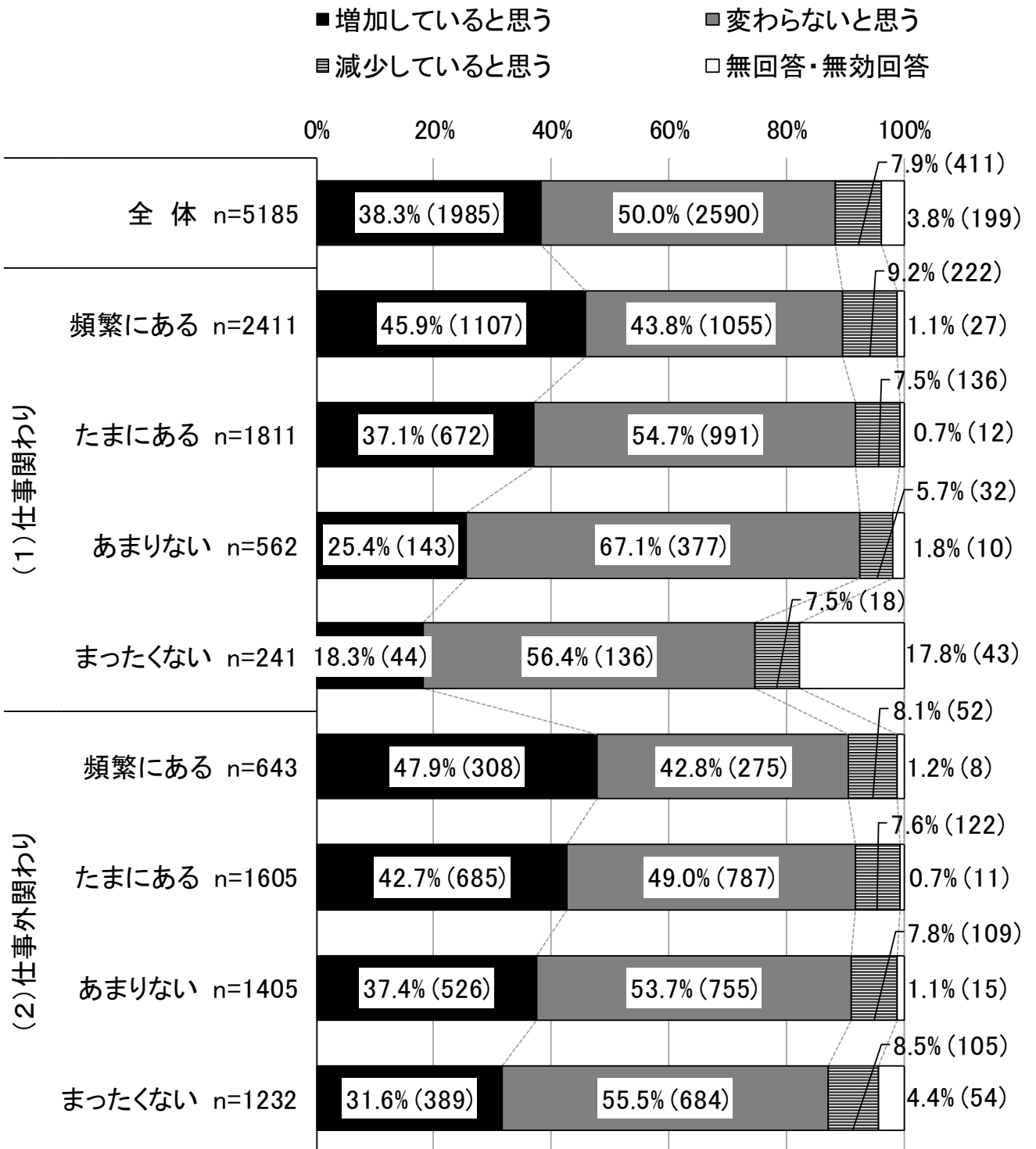
図表 184 高年齢介護助手との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

問 17 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答 (3) 介護の専門性を活かした業務への集中



図表 185 高年齢介護助手との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

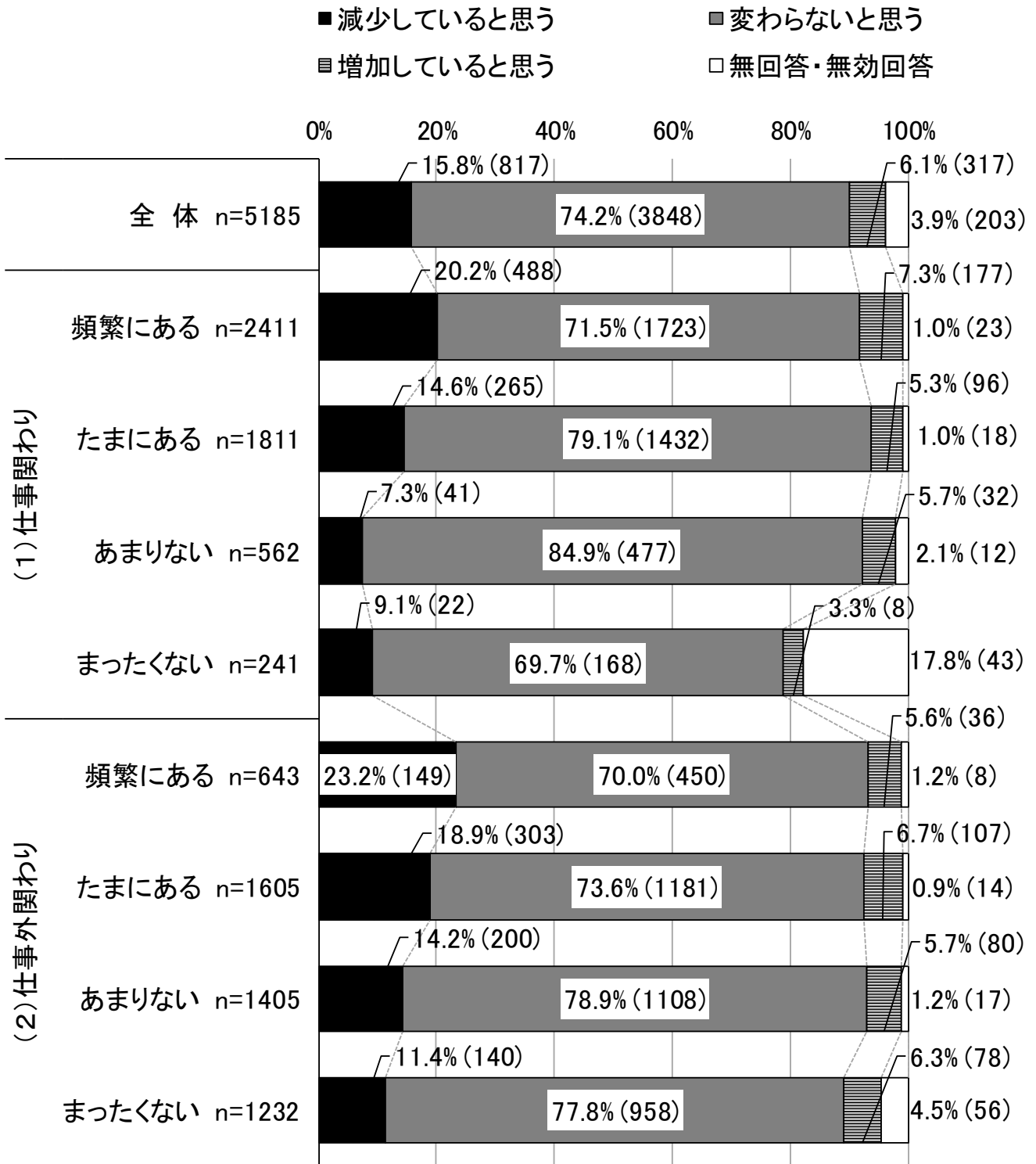
問 17 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答 (4) 普段の業務における気持ちのゆとり



図表 186 高年齢介護助手との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

問 17 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答

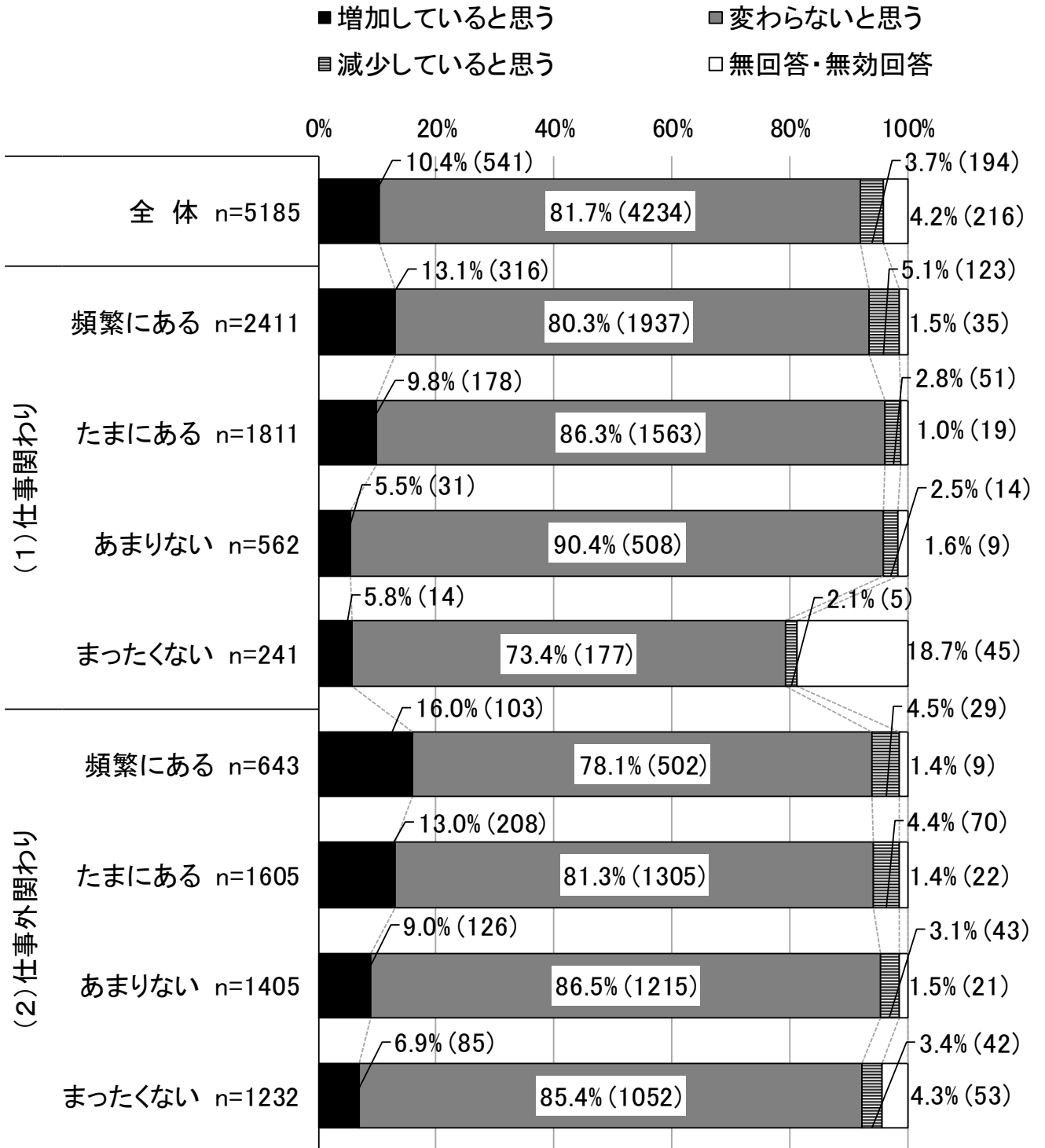
(5) インシデントやアクシデント、ヒヤリハットの件数



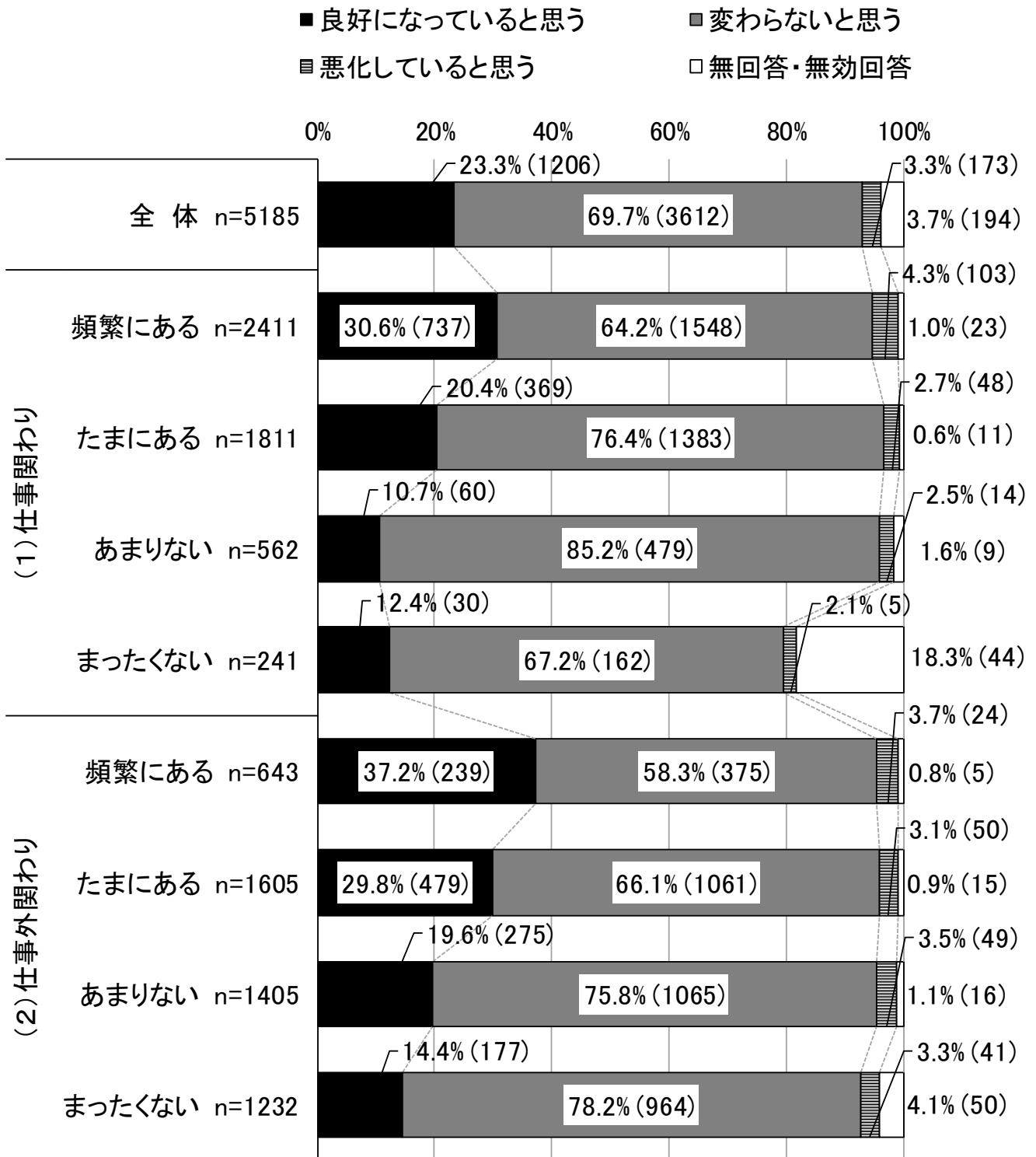
図表 187 高年齢介護助手との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

問 17 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答

(6) 介護職員の研修受講・スキル向上のための時間

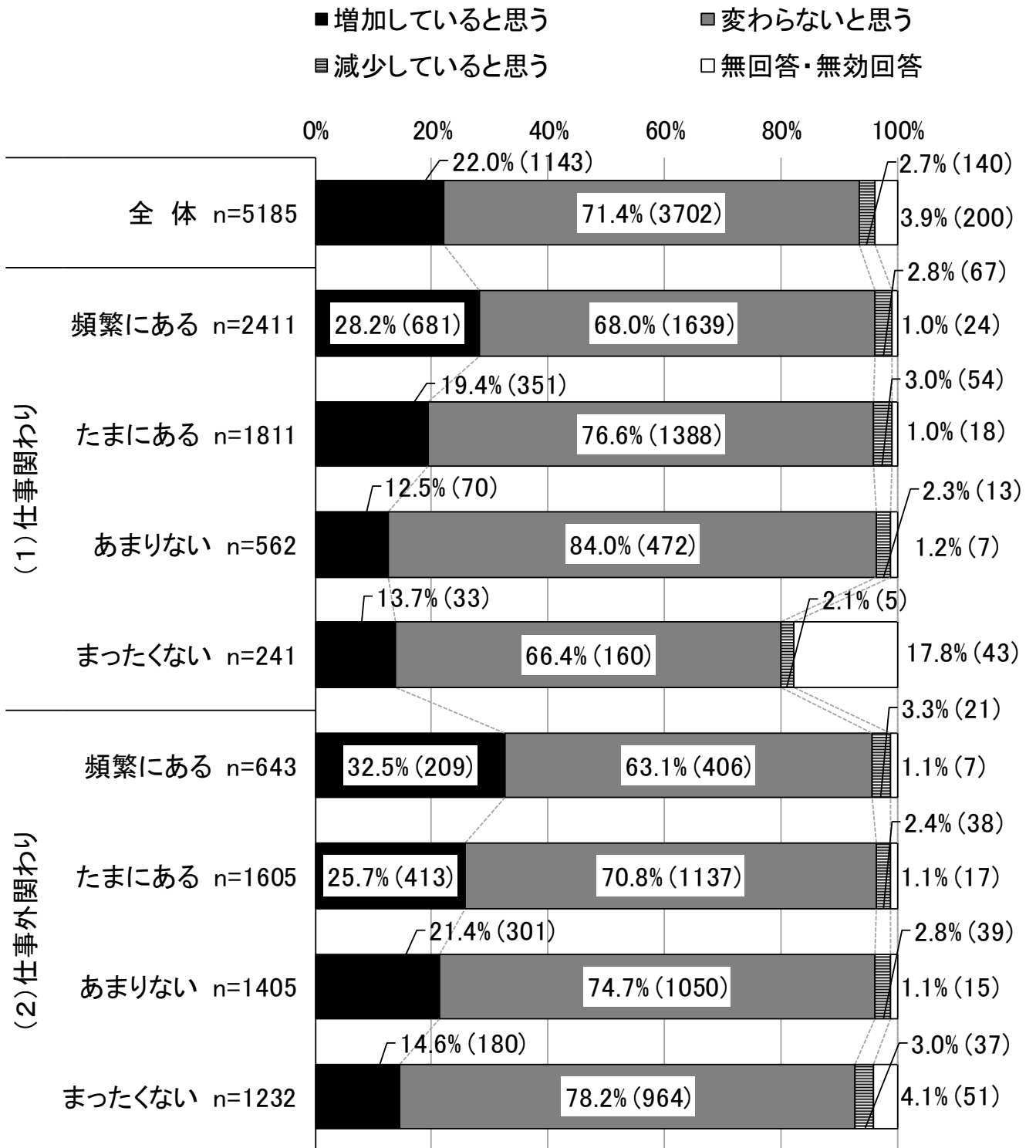


図表 188 高年齢介護助手との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別
 問 17 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答 (7) 施設の職員間の人間関係

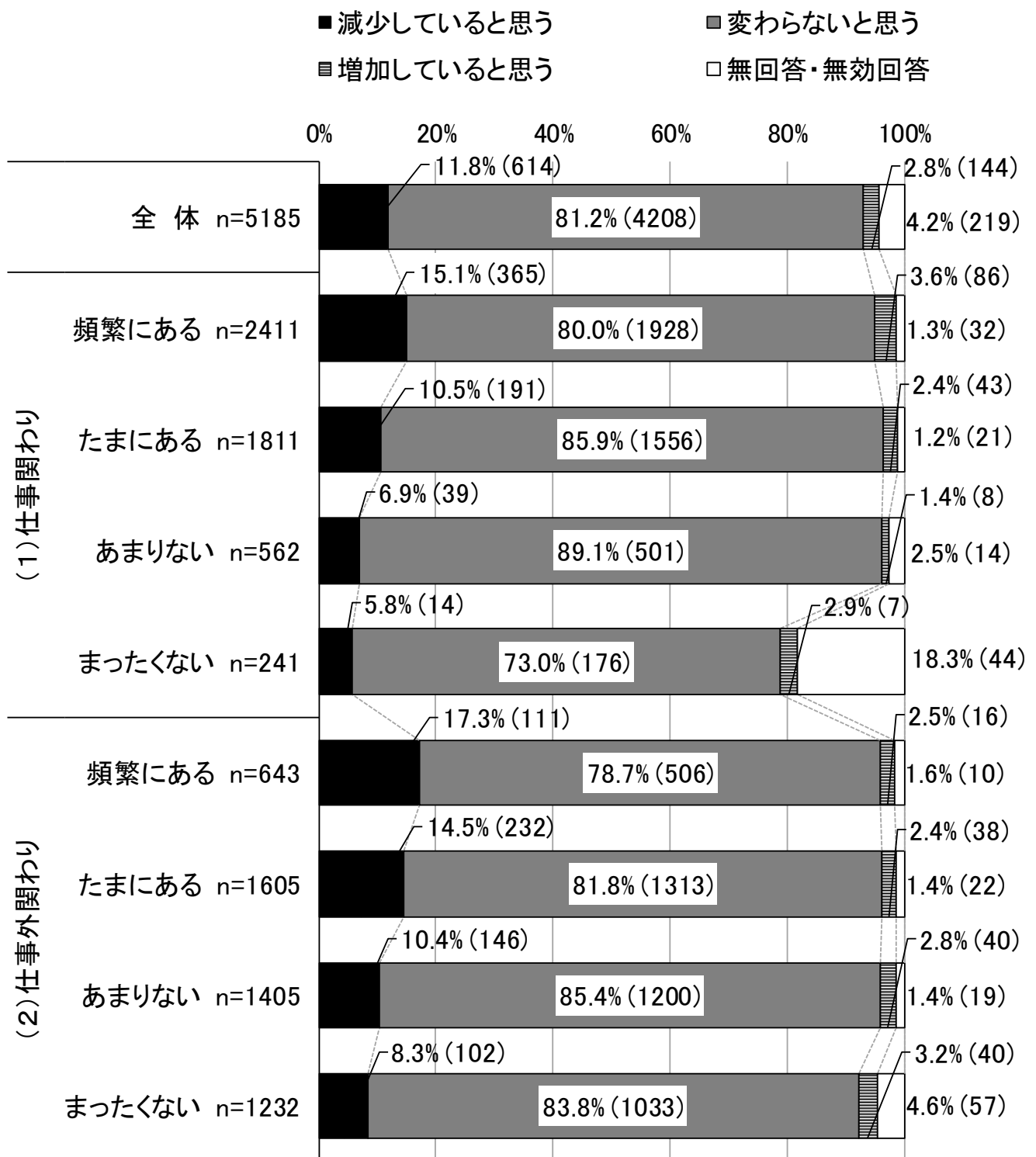


図表 189 高年齢介護助手との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

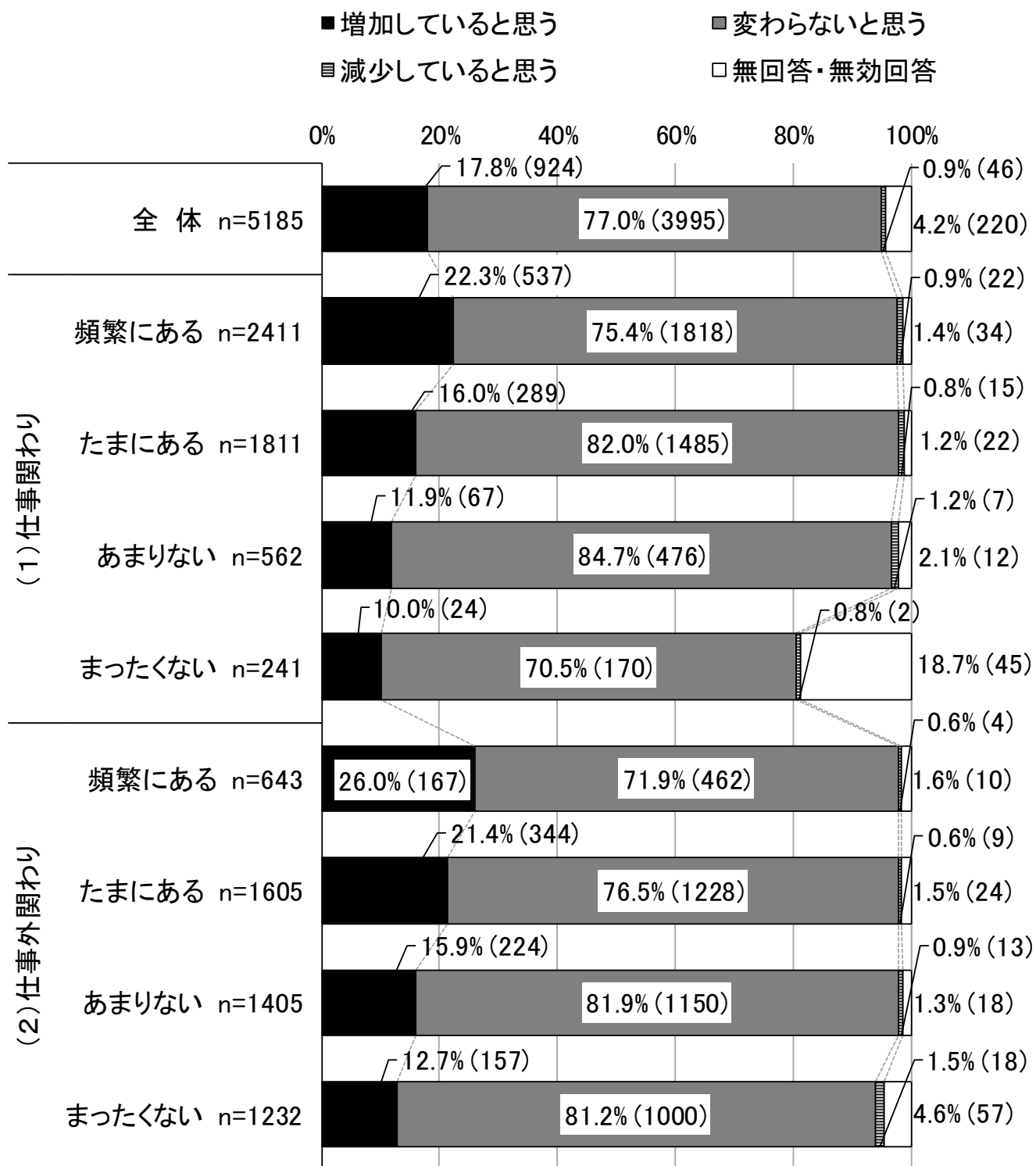
問 17 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答 (8) 利用者や家族とのコミュニケーション



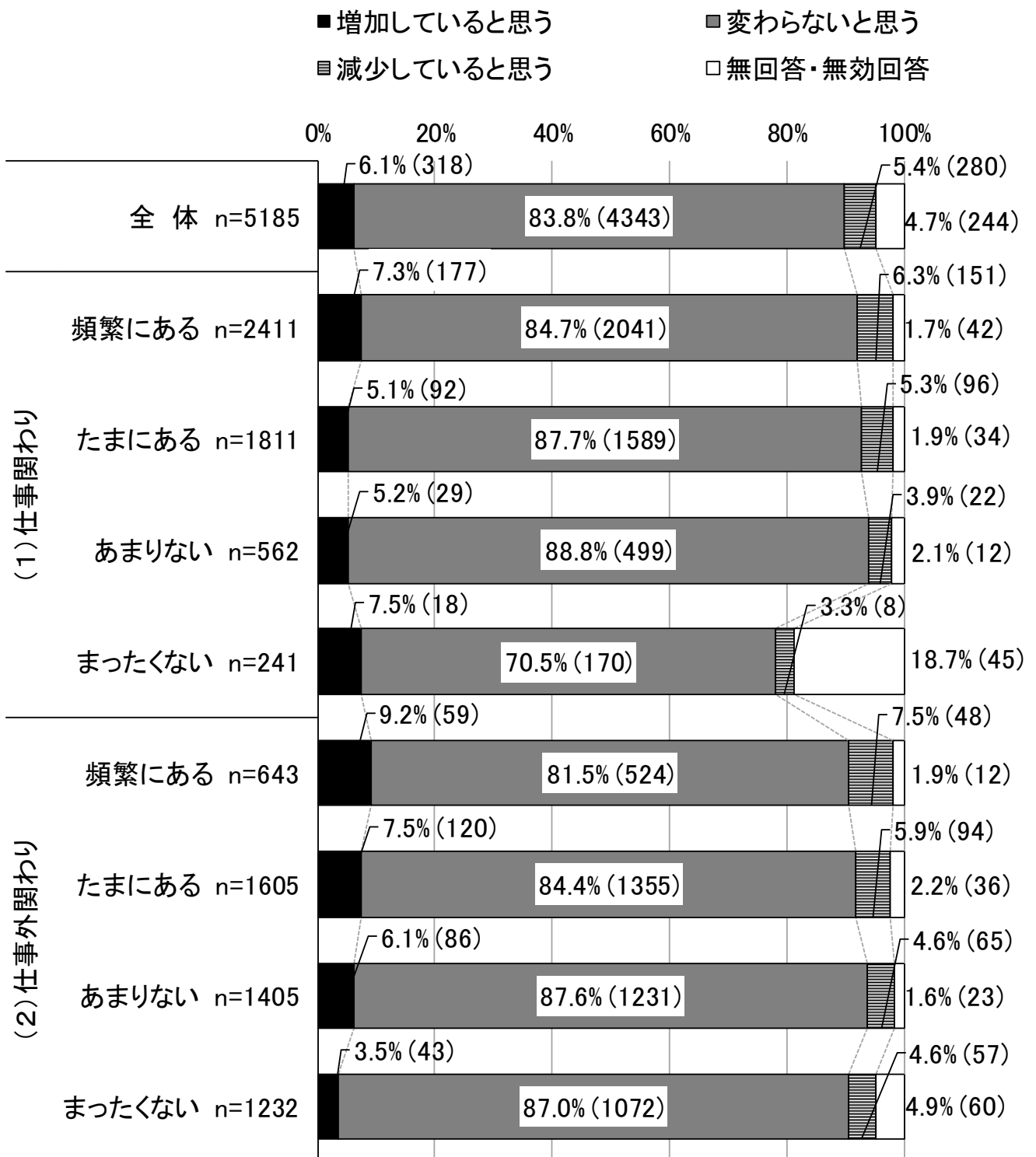
図表 190 高年齢介護助手との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別
 問 17 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答 (9) 利用者や家族からのクレーム



図表 191 高年齢介護助手との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別
 問 17 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答 (10) 利用者や家族からの感謝



図表 192 高年齢介護助手との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別
 問 17 高年齢介護助手の存在による影響 単一回答 (11) 地域の人や団体と関わる機会



3-3 介護助手票クロス集計

本項では介護助手票（1606 件）について、介護助手票の問 20「介護職員との関わり」から以下の群に分けて集計した結果を掲載する。

※サンプル数僅少の群もある為、参考値として留意されたい

群分け		n
全体※		1606
仕事上での関わり	頻繁にある	701
	たまにある	501
	あまりない	223
	まったくない	43
仕事以外での関わり	頻繁にある	169
	たまにある	512
	あまりない	482
	まったくない	277

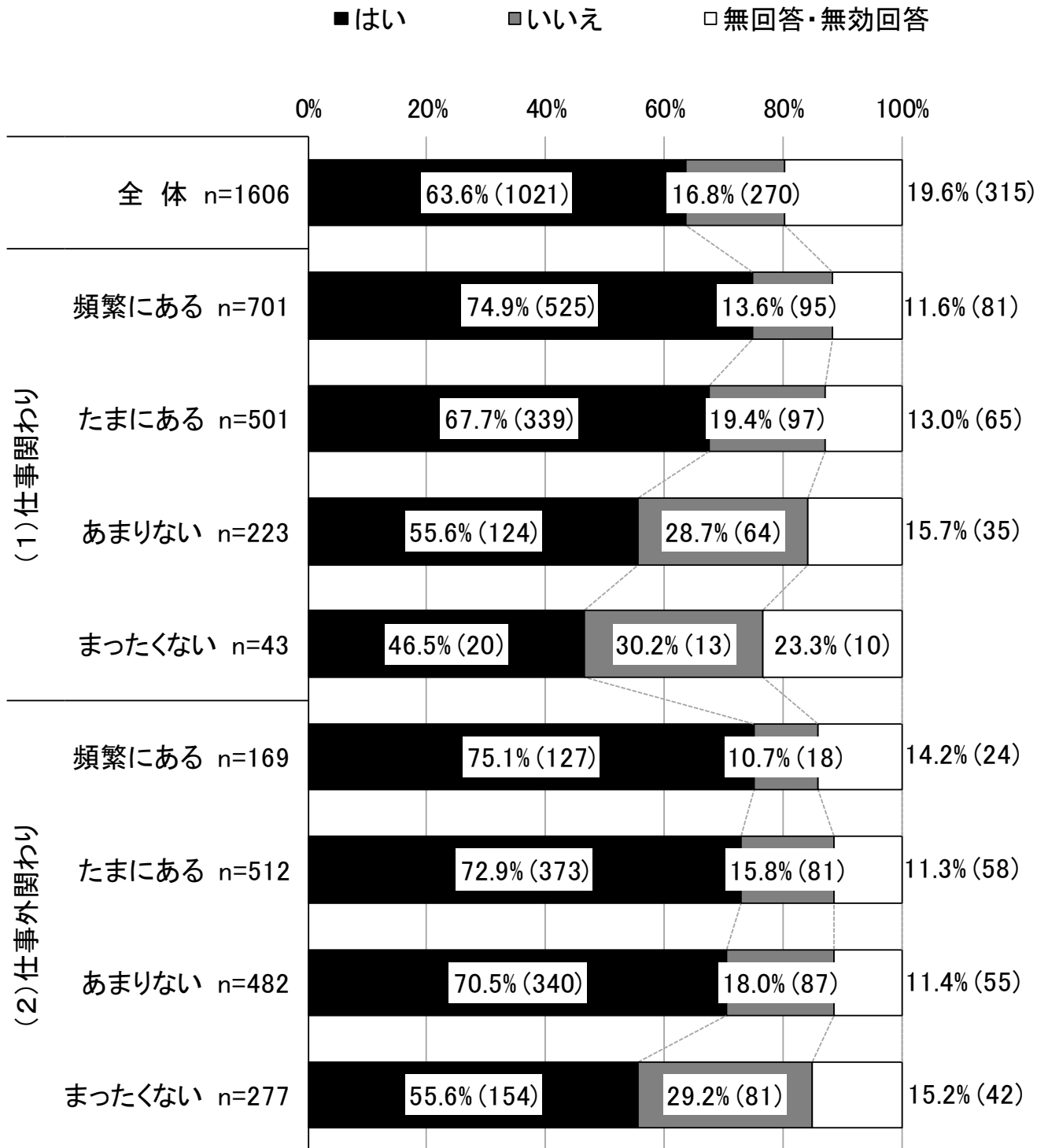
※全体には介護職員との関わりについて無回答・無効回答の票も含まれる。

主な結果は以下の通り。

- ・介護職員と関わりがある群（「頻繁にある」「たまにある」群）は、関わりがない群（「あまりない」「まったくない」群）よりも、問 19「介護助手の仕事をはめることで出来るようになったこと」及び問 22「仕事についての満足度、やりがい等」において良い影響を感じているという割合が高かった。（図表 193～図表 203）

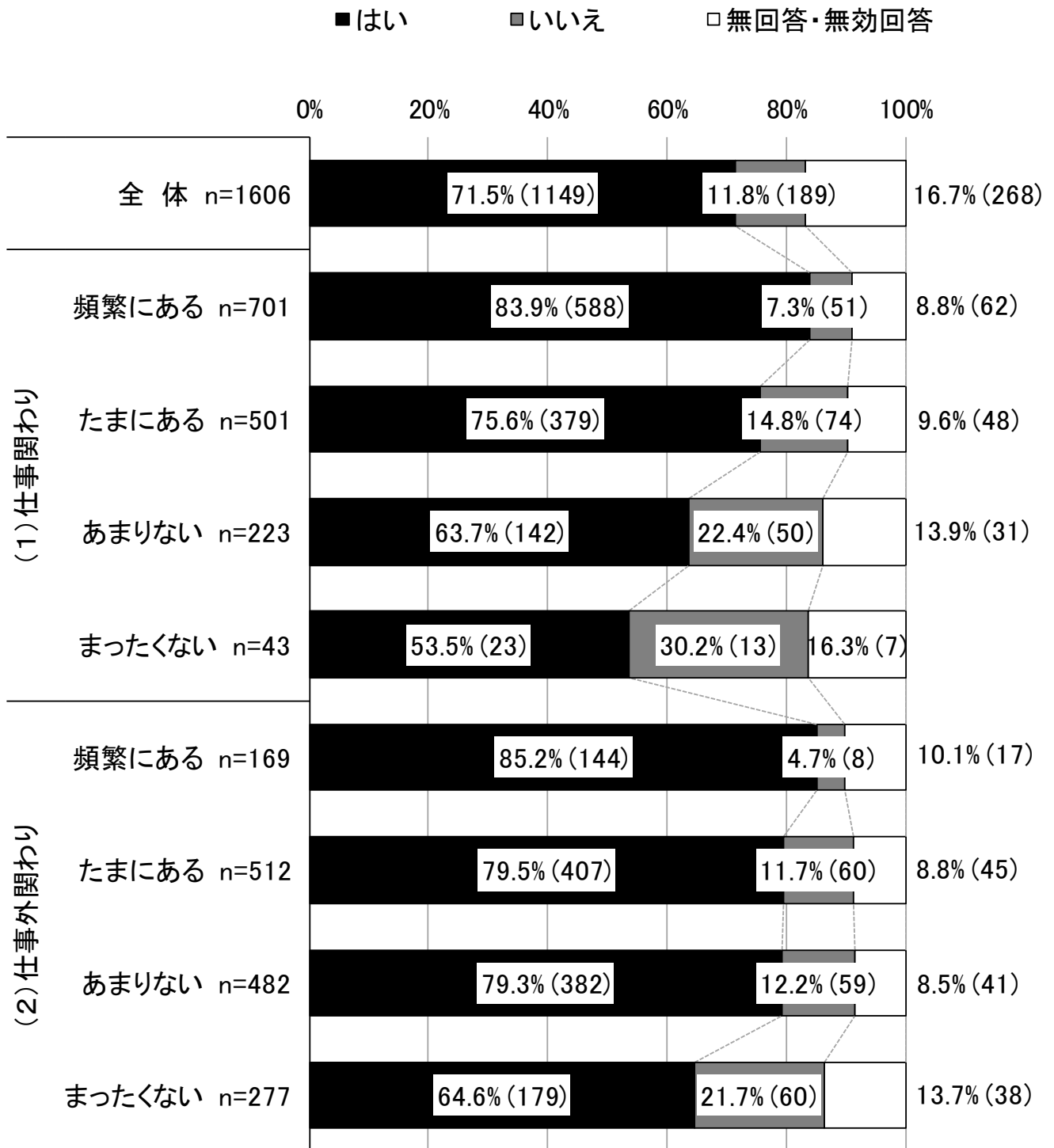
図表 193 介護職員との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

問 19 介護助手の仕事をはじめたことによる影響 単一回答 (1) 社会貢献することができている



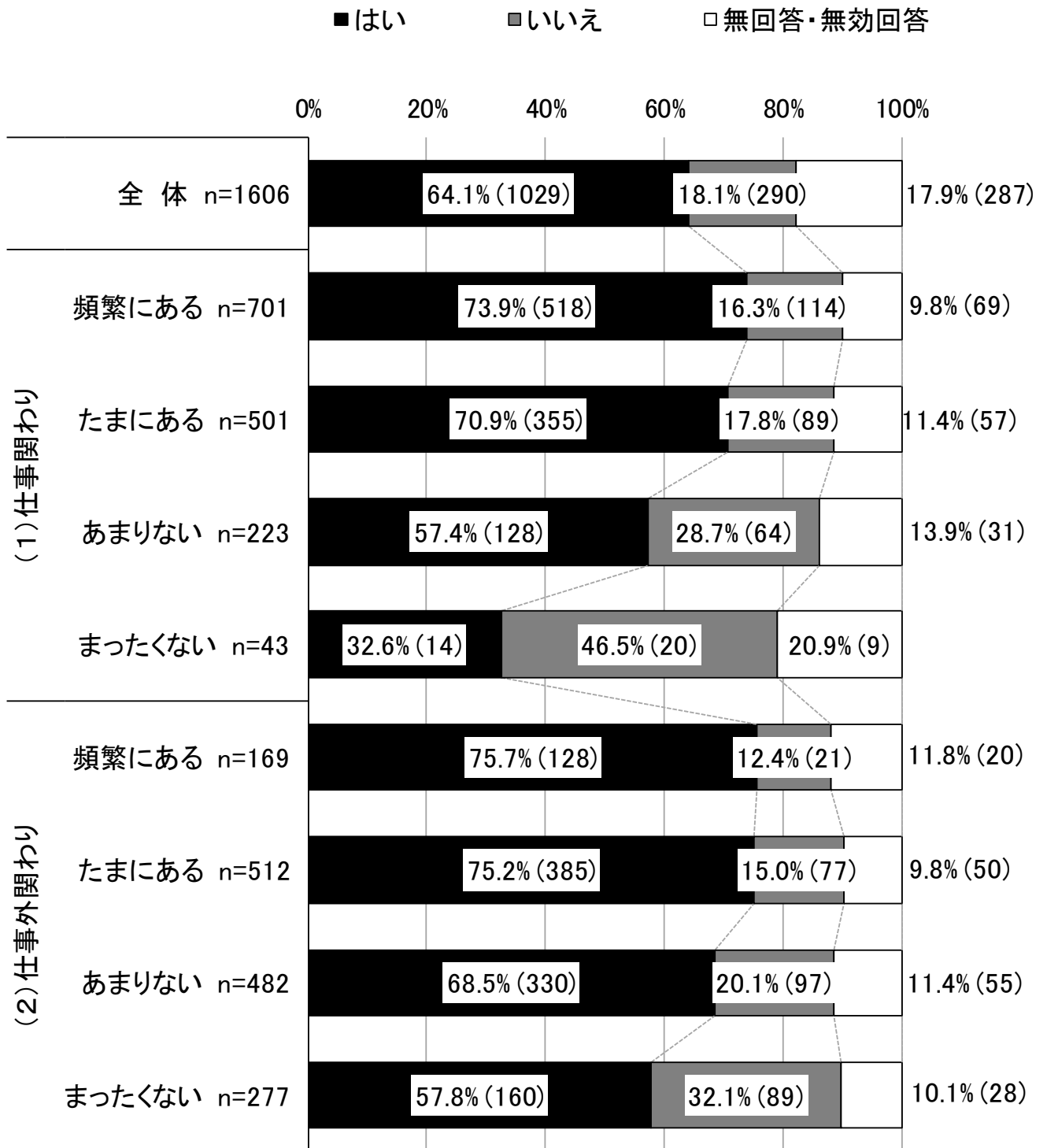
図表 194 介護職員との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

問 19 介護助手の仕事をはじめたことによる影響 単一回答 (2) 社会とのつながりを得られている



図表 195 介護職員との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

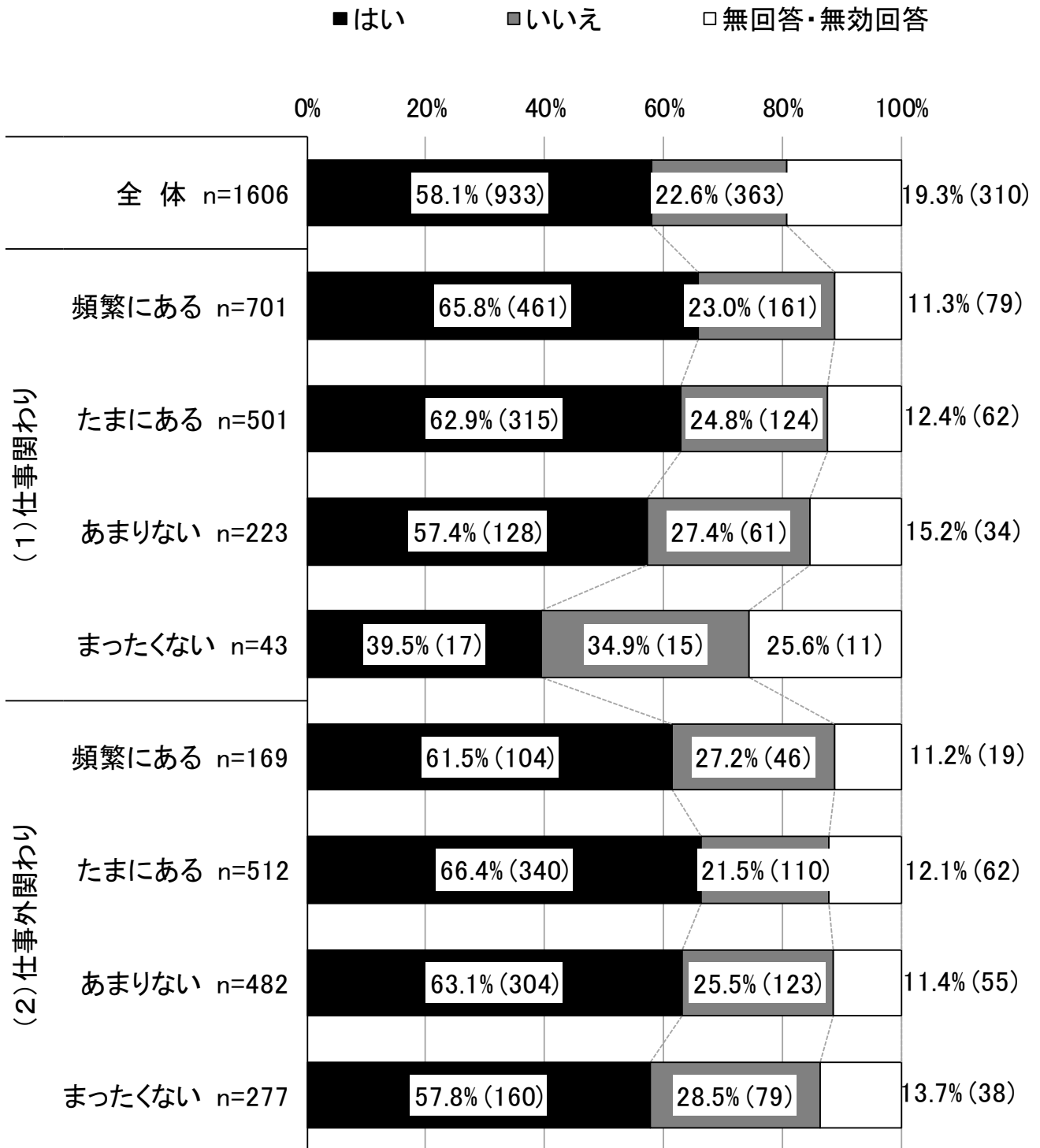
問 19 介護助手の仕事をはじめたことによる影響 単一回答 (3) 生きがいを得られている



図表 196 介護職員との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

問 19 介護助手の仕事をはじめたことによる影響 単一回答

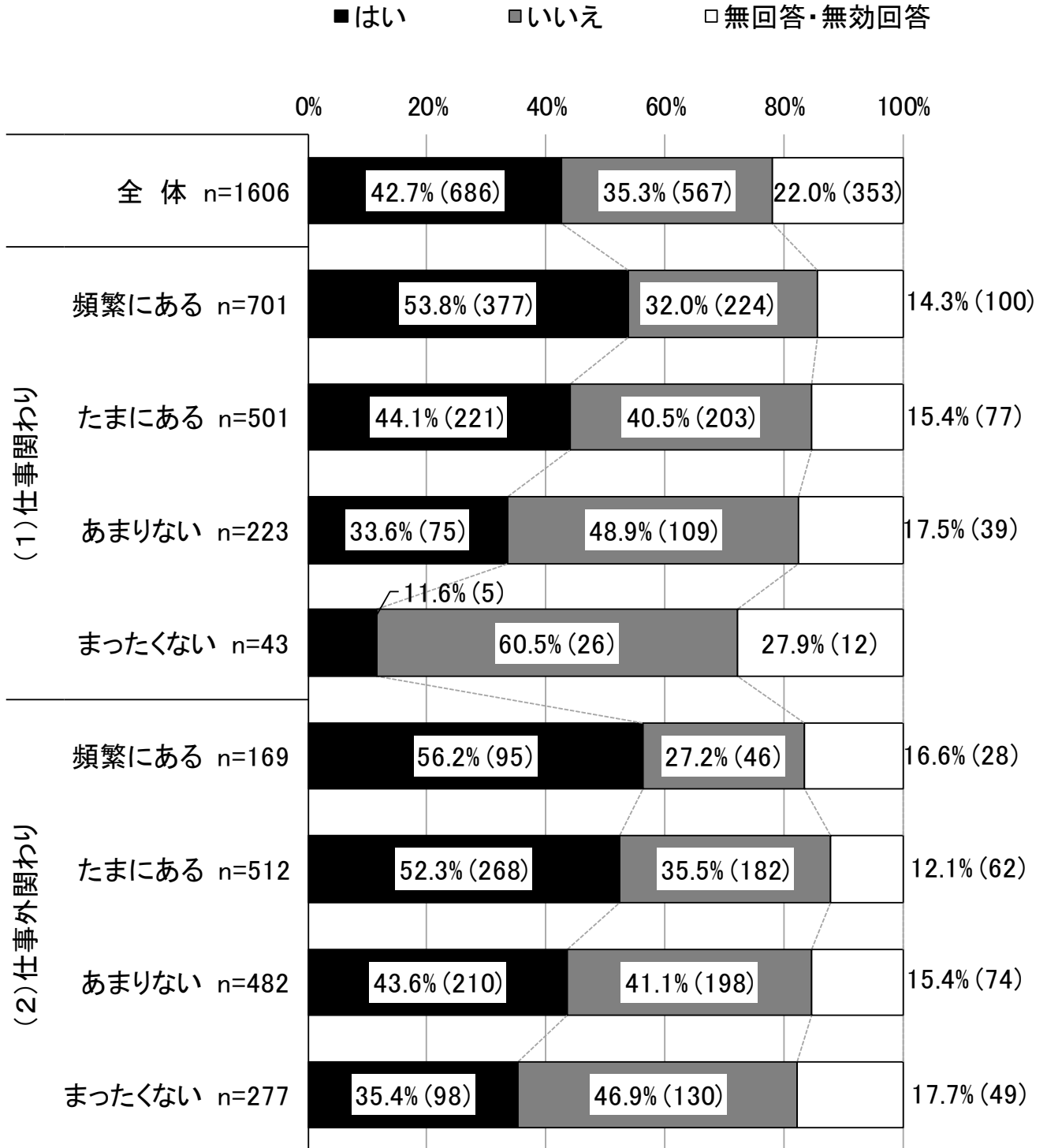
(4) 介護助手を始めた当初期待していた収入を得られている



図表 197 介護職員との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

問 19 介護助手の仕事をはじめたことによる影響 単一回答

(5) 介護に関連した自分の経験を活かすことができている

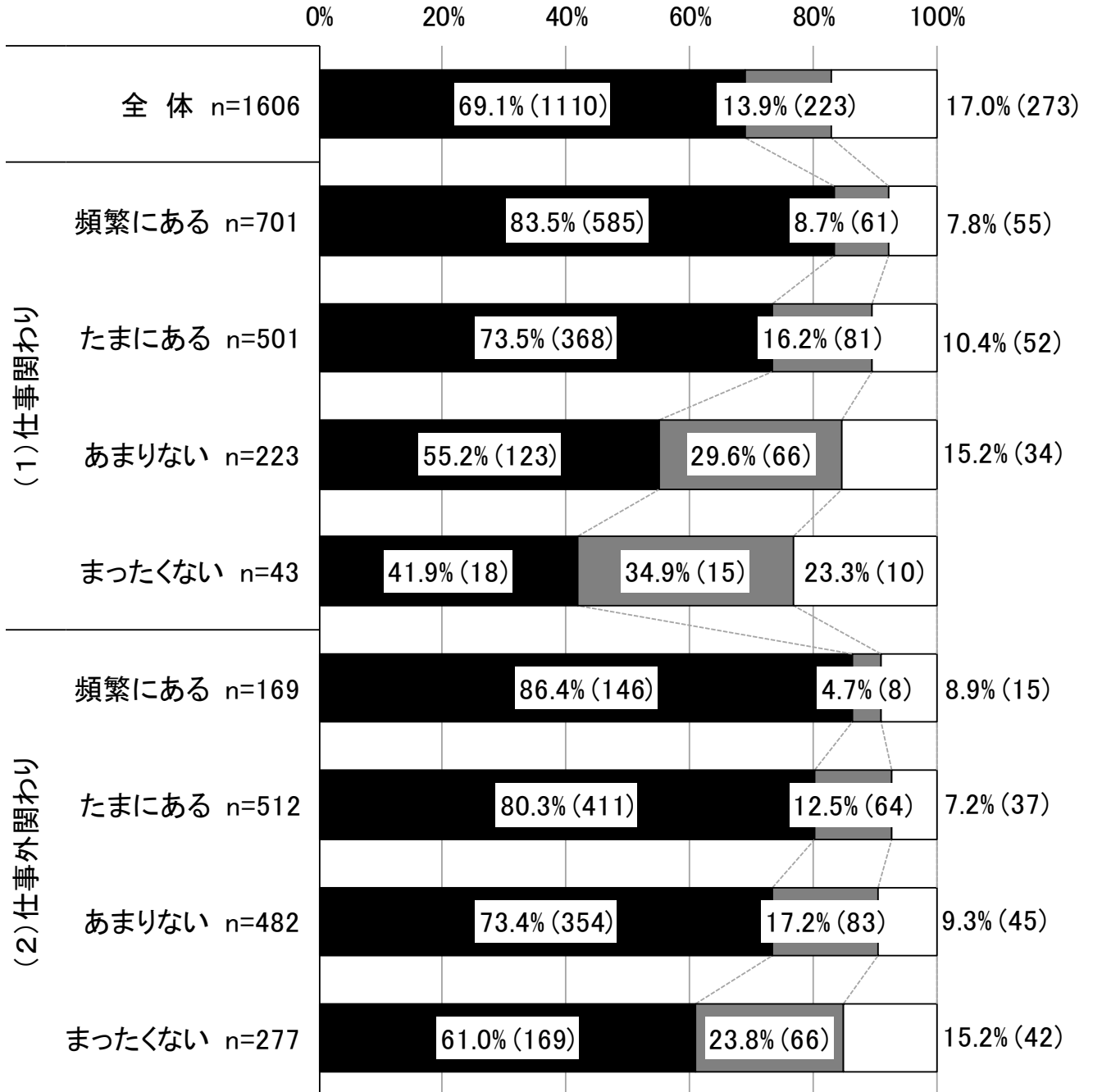


図表 198 介護職員との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

問 19 介護助手の仕事をはじめたことによる影響 単一回答

(6) 介護について学ぶことができている

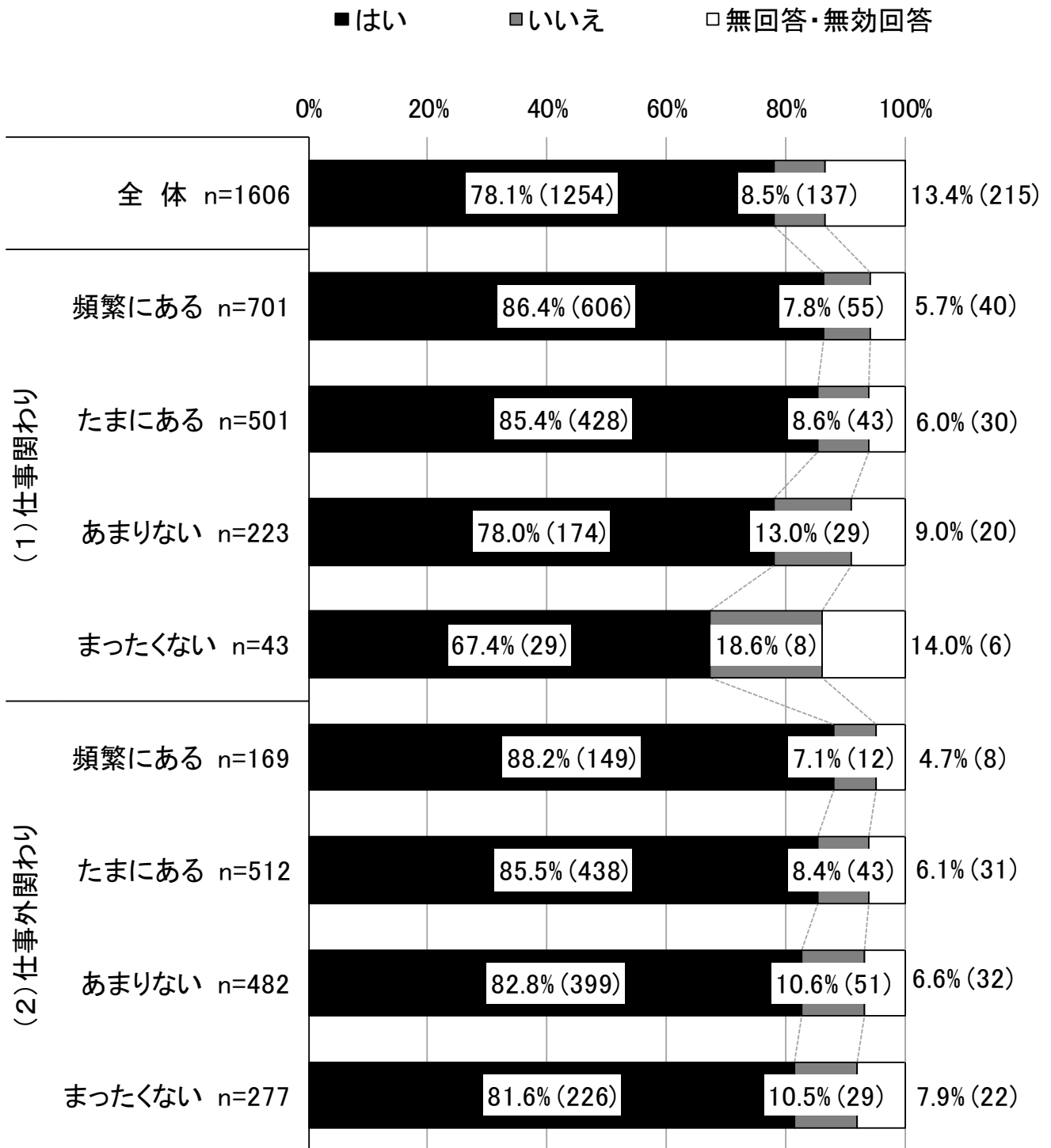
■ はい ■ いいえ □ 無回答・無効回答



図表 199 介護職員との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

問 19 介護助手の仕事をはじめたことによる影響 単一回答

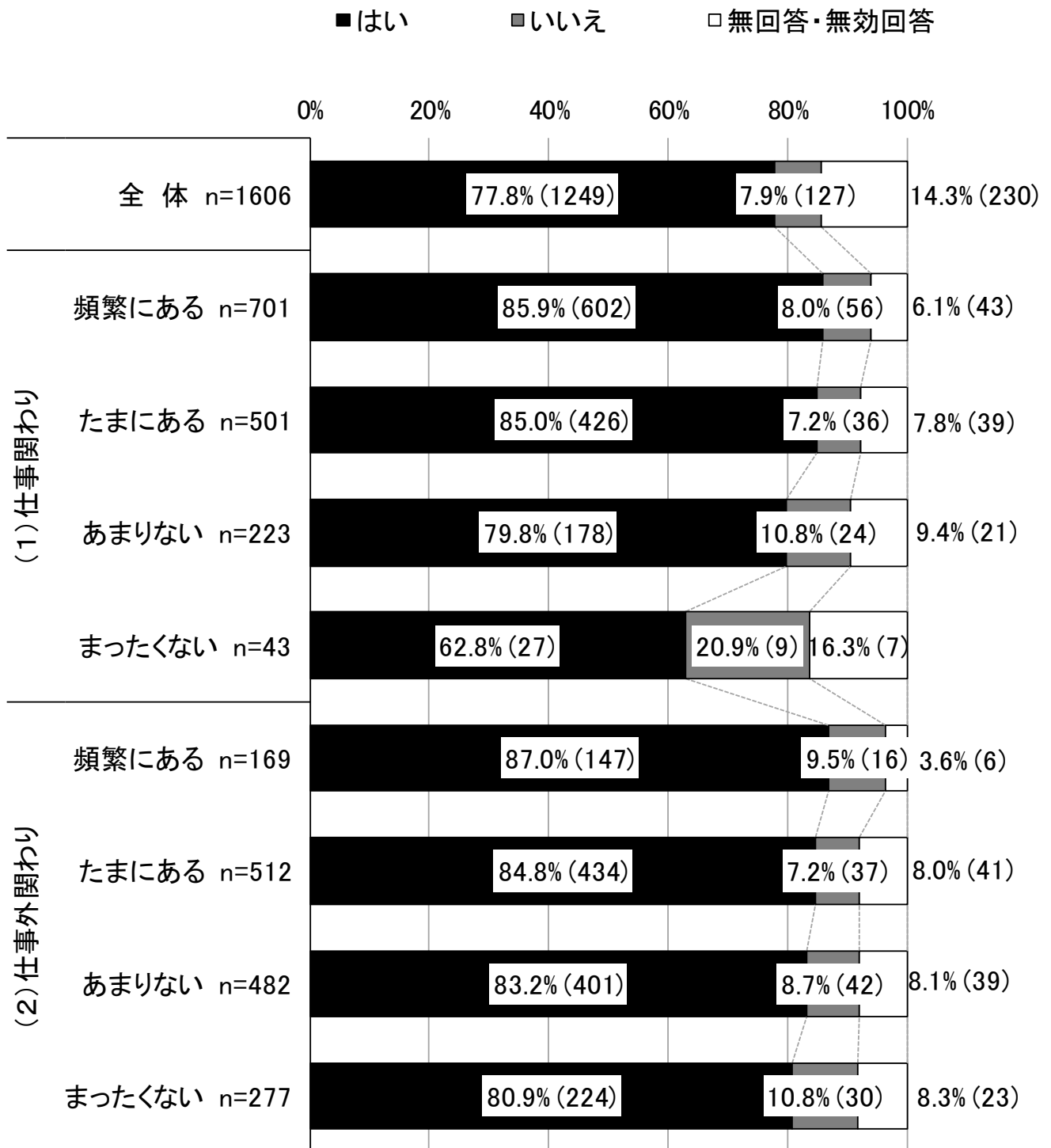
(7) 自分の健康の維持・増進に繋がっている



図表 200 介護職員との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

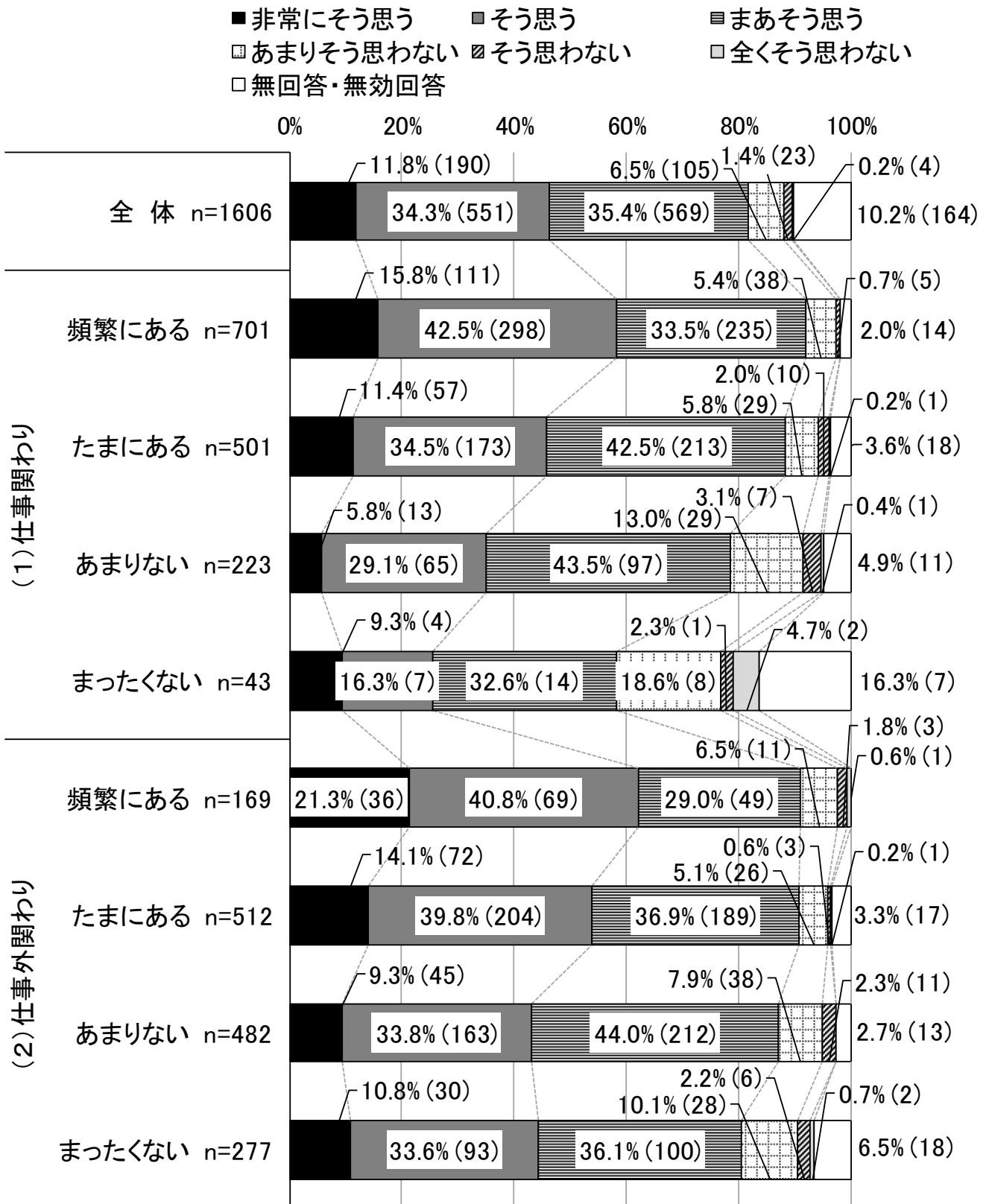
問 19 介護助手の仕事をはじめたことによる影響 単一回答

(8) 時間を有効に使うことができている



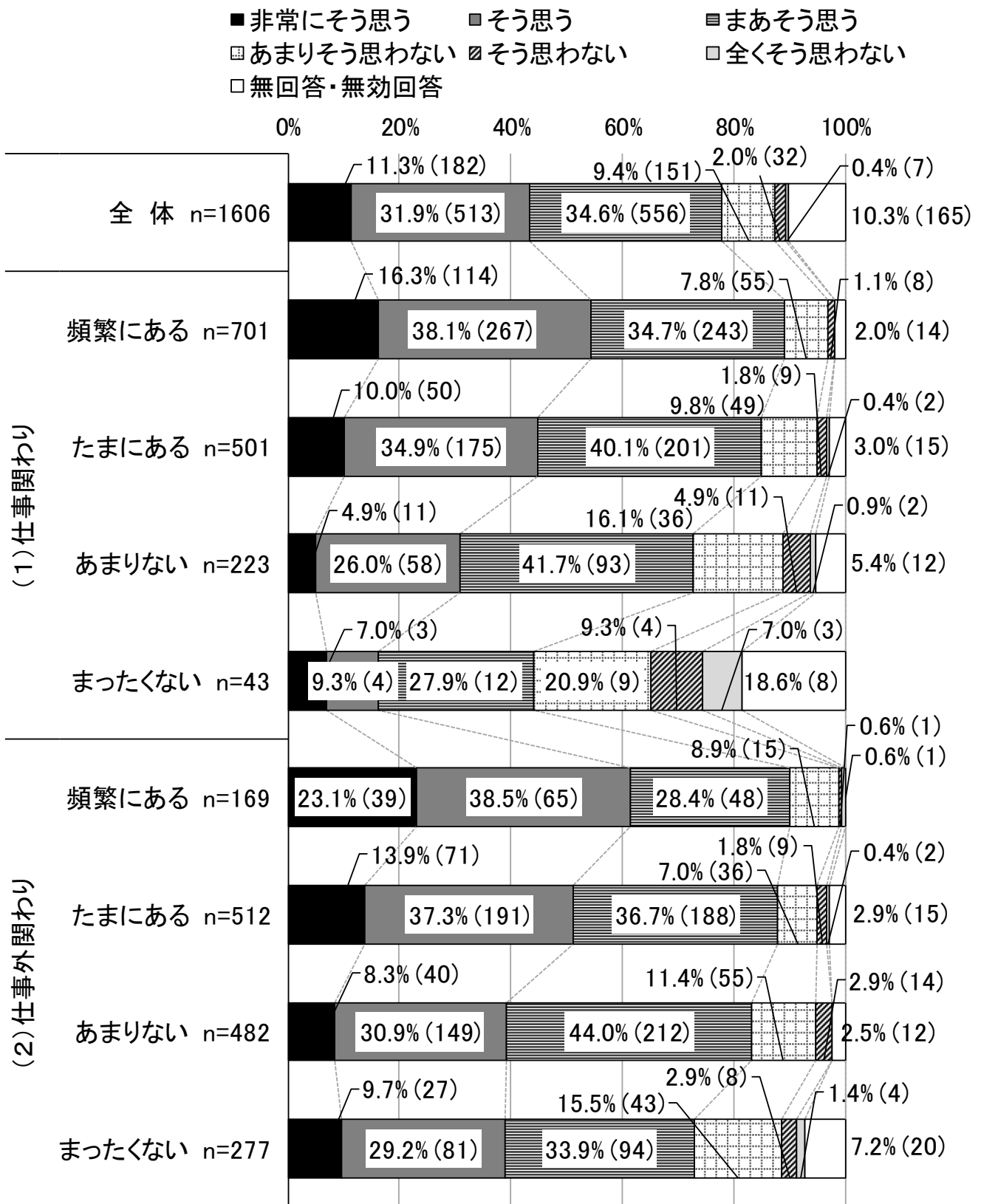
図表 201 介護職員との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

問 22 介護助手の仕事についてどう感じているか 単一回答 (1) 現在の仕事に満足している



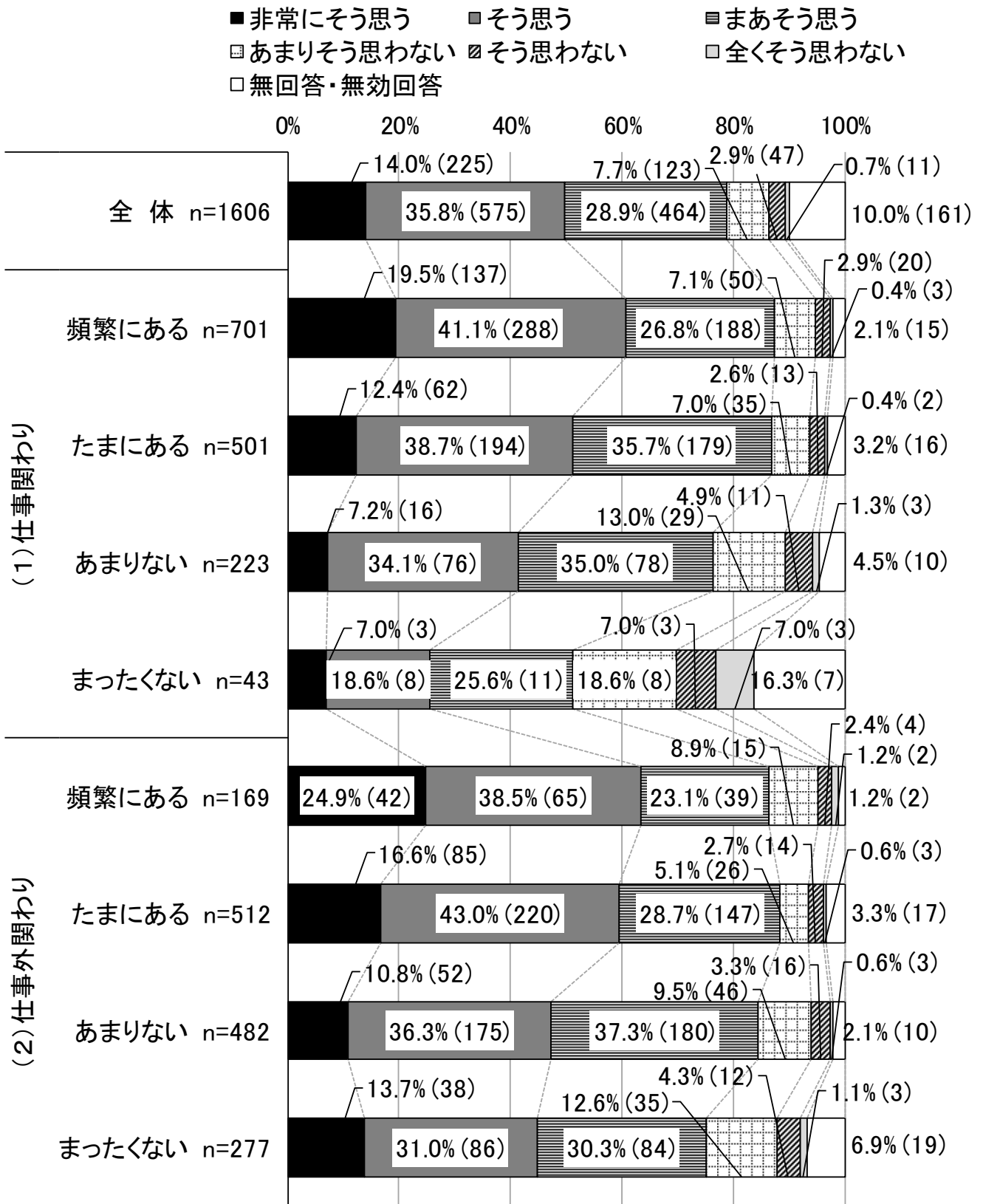
図表 202 介護職員との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

問 22 介護助手の仕事についてどう感じているか 単一回答 (2) 現在の仕事にやりがいを感じる



図表 203 介護職員との仕事上での関わり・仕事以外での関わり別

問 22 介護助手の仕事についてどう感じているか 単一回答 (3) 今後もこの仕事を続けていきたい



4章. 本事業のまとめ

【施設に対する調査結果（回収数：1,261）】

調査に回答のあった1,261施設における高年齢介護助手の雇用状況は、「雇用している」54.5%（687施設）、「過去に雇用」3.2%（40施設）、「今後雇用を検討」11.8%（149施設）、「雇用の検討等はしていない」23.2%（293施設）、「高年齢介護助手を知らない」5.5%（69施設）であった。（図表15）

高年齢介護助手を「雇用している」687施設の高年齢介護助手の2020年9月1日時点の雇用人数は平均3.8人で2017年からの推移を確認した結果、極わずかではあるが増加していた。（図表20）

高年齢介護助手の雇用のための補助金や助成金については、「一度も受けたことはない」が73.8%を占めており、ほとんど活用されていないという結果であった。（図表22）

高年齢介護助手の募集方法は「ハローワーク」が最も多く53.3%、次いで多いのが「職員や既存介護助手等からの紹介」44.4%であった。（図表24）

高年齢介護助手導入の理由は、「介護職員の労働環境改善のため（残業時間の削減・有給休暇の取得率向上等）」と「介護職員と介護助手の役割分担により、介護職員のケアの質を向上させるため」が多く、それぞれ70%を超えていた。（図表26）

高年齢介護助手の導入当初の課題では、「特に課題はなかった」が44.4%で最も多かったが、26.2%の施設は「高年齢介護助手の指導・教育体制整備に関する業務負担が大きかった」と回答していた。（図表27）

また、導入後の課題で最も多かったのは「健康面（体力や体調）で仕事への影響が出やすい」で32.2%であった。（図表28）

高年齢介護助手を継続して雇用するための工夫では「希望に合わせたシフト調整」「体調面での配慮」をしているという施設が多くそれぞれ68.7%、60.4%。（図表30）

「高年齢介護助手」が担当している業務について、今回調査した中で割合が最も高かったのは「居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等」で75.4%、次いで多かったのは「ベッドメイキング」56.3%、「洗濯、洗濯物の回収・配布」52.4%であった。（図表31）

高年齢介護助手による影響について「全体的な業務負担感」「全体的な業務の量」は減少していると思うと回答した割合がそれぞれ78.3%、73.5%と高かった他、「介護の専門性を活かした業務への集中」が高まっているという回答も46.1%を占めた。（図表34）

高年齢介護助手雇用に対する今後の意向について、「現状維持したい」が55.3%、「増やしたい」が39.6%を占めていた。（図表35）

また、高年齢介護助手雇用に対する満足度は「満足している」が32.3%、「やや満足している」が58.1%で、合わせると満足しているという回答が90%を超えた。（図表36）

この他、COVID-19感染拡大による高年齢介護助手雇用への影響では、88.8%の施設が「特に影響はなかった」と回答した。（図表38）

高年齢介護助手を「過去に雇用」していた施設は40施設と非常に少ない点に留意が必要であるが、雇用当時の補助金等の利用・募集方法・導入理由・高年齢介護助手が担当していた業務・高年齢介護助手による影響等について、高年齢介護助手を「雇用している」施設と似た傾向であった。

なお、高年齢介護助手を「過去に雇用」していた施設の高年齢介護助手の雇用を止めた理由は、「前任者退職後の、新規採用が難しかった」、「健康面（体力や体調）で仕事への影響が出やすかった」がそれぞれ30.0%、27.5%であった。（図表47）

高年齢介護助手について「今後雇用を検討」と回答した149施設において、検討している理由は「雇用している施設」の導入理由と同様に「介護職員の労働環境改善のため（残業時間の削減・有給休暇の取

得率向上等)」と「介護職員と介護助手の役割分担により、介護職員のケアの質を向上させるため」と回答した施設が多く、それぞれ 83.9%であった。(図表 52)

また、高年齢介護助手雇用に対する懸念点は、「健康面(体力や体調)で仕事への影響が出やすいかもしれない」が 65.8%と最も多く、次いで「勤務時間や業務内容について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチが生じるかもしれない」が 62.4%であった。(図表 53)

高年齢介護助手について「雇用の検討等はしていない」と回答した 293 施設において、高年齢介護助手の雇用に対する懸念を確認した結果は、「健康面(体力や体調)で仕事への影響が出やすいかもしれない」が 47.1%と最も多く、次いで「勤務時間や業務内容について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチが生じるかもしれない」が 40.6%であった。一方、「不明・特になし」という回答は 13.3%にとどまったことから、何かしら雇用に関して懸念があるという結果であった。(図表 57)

「高年齢介護助手を知らない」と回答した施設は 69 施設と非常に少ない点に留意が必要であるが、本調査を通じて高年齢介護助手への関心をもったかでは、約半数の施設が関心を持ったと回答した。(図表 61)

また、高年齢介護助手の雇用意向についても合わせて半数近くの施設が雇用の意向があるという結果であった。(図表 62)

高年齢介護助手雇用に対する懸念点は、「勤務時間や業務内容について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチが生じるかもしれない」、「健康面(体力や体調)で仕事への影響が出やすいかもしれない」がそれぞれ 56.5%、52.2%で過半数を占めた。(図表 63)

【介護職員に対する調査結果(回収数: 11,374)】

調査に回答のあった 11,374 人のうち 45.6% (5,185 人) は勤務先の施設で高年齢介護助手を雇用していると回答した。(図表 83)

高年齢介護助手を雇用している施設の介護職員(5185 人)について、高年齢介護助手による影響を確認した結果、「全体的な業務負担感」「全体的な業務の量」が減少していると回答したのがそれぞれ 68.8%、61.5%。また、「介護の専門性を活かした業務への集中」が高まっていると思うと回答した票も 36.4%と 30%を超えた。(図表 85)

【高年齢介護助手に対する調査結果(回収数: 1,606)】

介護助手の仕事をはじめたきっかけについては、「家族や知り合いからの口コミ」34.7%、「ハローワーク」26.3%、「介護施設からの情報」15.6%であり、それ以外の回答はいずれも 10%以下であった。(図表 90)

介護助手の仕事をはじめた理由は、多いものから順に「ある程度の収入が欲しいため」53.1%、「健康の維持・増進のため」40.0%、「時間に余裕があるため」33.9%、「社会とのつながりを得るため」33.7%であった。(図表 109)

介護助手の仕事をはじめたことによる影響では、「自分の健康の維持・増進に繋がっている」、「時間を有効に使うことができている」、「社会とのつながりを得られている」という回答がそれぞれ 70%を超えていた。(図表 110)

介護助手の仕事に対して満足しているか、やりがいを感じるか、今後も続けていきたいかの設問については、「非常にそう思う」「そう思う」「まあそう思う」を合わせると、それぞれ約 80%を占めた。(図表 111)

【クロス集計結果】

(施設調査票：高年齢介護助手の人数別クロス集計結果)

- ・高年齢介護助手が多い群程、高年齢介護助手雇用のための補助金／助成金等を利用している割合が高かった。(図表 117)
- ・高年齢介護助手が多い群程、募集方法として該当する割合が高かった(色々な方法で募集していた)。(図表 119)
- ・高年齢介護助手が多い群程、導入当初の課題について該当する割合が高く、「特に課題はなかった」という割合が低かった(何かしらの課題があった)。(図表 122)
- ・高年齢介護助手が多い群程、高年齢介護助手に対して「決まった教育体制はない」という割合が低かった(何かしらの決まった教育体制がある)。(図表 124)
- ・高年齢介護助手が「10人以上」「5人以上10人未満」の群は「5人未満」の群と比べて、高年齢介護助手継続雇用のために何かしらの工夫をしている割合が高かった。(図表 125)
- ・満足度について、「満足している」という割合は高年齢介護助手が「5人以上10人未満」の群が他の群よりやや高かった(「満足している」「やや満足している」を合わせるとどの群も9割超)。(図表 180)

(介護職員票：高年齢介護助手との関わり別クロス集計結果)

- ・高年齢介護助手と仕事上の関わりがある群(「頻繁にある」「たまにある」群)は、関わりがない群(「あまりない」「まったくない」群)よりも、問17「高年齢介護助手による影響」において、良い影響を感じているという割合が高かった。(図表 182～図表 192)

(介護助手票：介護職員との関わり別クロス集計結果)

- ・介護職員と関わりがある群(「頻繁にある」「たまにある」群)は、関わりがない群(「あまりない」「まったくない」群)よりも、問19「介護助手の仕事をはめることで出来るようになったこと」及び問22「仕事についての満足度、やりがい等」において良い影響を感じているという割合が高かった。(図表 193～図表 203)

【調査を通して】

施設調査において、高年齢介護助手による影響では 70%以上の施設が「業務負担感」「業務量」が減少していると思うと回答し、半数近くの施設が「介護の専門性を活かした業務への集中」が高まっていると思うと回答しており、この傾向は施設調査の結果程ではないが、実際に現場で働いている介護職員に対する調査結果でも確認できた。これらの結果から、高年齢介護助手は周辺業務の担い手という点に加え、介護の質の向上に関しても良い影響を与えると考えられる。

また、高年齢介護助手に対する調査では、介護助手の仕事を始めた理由に「収入」の他に「健康の維持・増進」「社会とのつながり」をあげている方が多く、実際に多くの方が介護助手の仕事を始めたことで「健康の維持・増進に繋がっている」「社会とのつながりを得られている」と回答していた。このことから、高年齢介護助手にとって、介護助手の仕事は「労働」の他に、「介護予防」「社会参加」といった意味を持っていると考えられる。

上記を踏まえると、高年齢介護助手の仕組みは、施設・職員・高年齢介護助手いずれにとっても良い効果が期待できる上、介護の質が向上されれば副次的に利用者にとってもより良いサービスが受けられるようになるという複数の面でのメリットが期待し得る仕組みであることが示唆された。

また、本調査は COVID-19 の世界的な流行の中、実施した調査であるため、COVID-19 の感染拡大による高年齢介護助手の雇用に関する影響もあわせて調査した。

その結果、「感染管理体制の見直し・強化」といった勤務体制の見直しをした施設は多かったが、高年齢介護助手の雇用に対しては90%近くの施設が「特に影響はなかった」と回答していた。

このことから高年齢介護助手という仕組みは医療職・介護職と共にあることからこのような状況下でも施設職員の一員として感染予防対策を行うことで「安心して働ける場」であると考えられる。

COVID-19 の感染拡大により社会参加の場が縮小している中、この結果は非常に重要である。

COVID-19 に限らず、今後不測の事態が起きた時に高齢者が孤立しないための仕組みの一つとしても非常に有効であり、その点からも広く普及していくことが望まれる。

しかしながら、高年齢介護助手を雇用している施設は全体の約半数であり、まだまだ広く普及しているとは言えない。

高年齢介護助手の仕組みを導入しやすくするための手段の一つとして、行政等から補助金や助成金の利用等が考えられるが、実際に補助金等を受けたことがある施設は非常に少ないという結果であったことから、補助金制度の拡充や、利用しやすい助成制度等の支援があることが望ましい。

また、高年齢介護助手が仕事を始めたきっかけをみると、「自治体からの情報」「シルバー人材センター」「都道府県福祉人材センター」といった回答が少なく、今後の広がりのためには自治体との協力体制の構築も重要であると考えられる。

なお、高年齢介護助手が仕事を始めたきっかけは「家族や知り合いからの口コミ」が最も多いという結果であったことから、しっかりとした仕組みが出来れば、口コミや紹介等により高年齢介護助手の輪が広がっていくといった、好循環が生まれる可能性も期待出来る。

高年齢介護助手は新しい仕組みであり、取り組んでいる理由について、人材不足解消のためと考える施設や地域貢献活動の一環（社会参加の場の提供・介護予防など）のためと考える施設等、様々であると推測される。将来的なことを考える上では介護助手を導入するにあたって施設が取り組むべきこと等を整理したガイドラインを整備し、しっかりとした仕組みを早い段階で作っていくことが望まれる。

資料 1. 「その他」回答の自由記述

本項では、自由記述欄の回答のうち、主だったものを掲載する。

なお、明らかに同様の記述は一まとめにしている。(掲載順と出現頻度(回答件数)は無関係)

本事業では集計にあたり、明らかに既存の選択肢に読み替え可能な記述は選択肢の回答として読み替えているが、回答者の意思を尊重する意味で、選択肢に完全一致していない記述は「その他」回答のままとしている。そのため、本項には一部、選択肢と類似の自由記述も存在している。

【施設票】

問 1. -(2)施設の基本情報:開設主体

- ・独立行政法人、地方独立行政法人
- ・厚生農業協同組合連合会
- ・健康保険組合
- ・学校法人
- ・公益/一般財団法人、公益/一般社団法人
- ・生活協同組合、医療生活協同組合
- ・日本赤十字社
- ・宗教法人

問 5. -(3)貴施設の代表者(施設長等):役職

- ・社会福祉士

問 13. 高年齢介護助手を導入したきっかけを教えてください。(複数回答)

- ・障がい者雇用
- ・定年後の再雇用
- ・非常勤募集は高齢者の応募が多いため
- ・募集しても若い人が来ない
- ・ハローワークの紹介
- ・ケガや障がいを負った介護職員の継続雇用
- ・法人内の異動
- ・採用したい方がたまたま高齢者だった
- ・人手不足解消のため、周辺業務のみの補助者を採用

問 14. 高年齢介護助手をどのような方法で募集しましたか。(複数回答)

- ・法人内の異動
- ・社会福祉協議会の紹介
- ・障がい者就業支援センターの紹介
- ・養護学校からの紹介
- ・チラシのポスティング
- ・雇用延長、再雇用
- ・シルバー人材センターから派遣されていた人を直接契約した
- ・町広報、町会からの紹介
- ・派遣会社からの紹介
- ・TV コマーシャル

問 16. 高年齢介護助手を導入した理由はなんですか。(複数回答)

- ・再雇用・継続雇用
- ・60 才未満の求職者が見つからないため
- ・経営移譲による受入
- ・障害者雇用
- ・人手不足
- ・労働環境のイメージアップ、PR

問 17. 高年齢介護助手を導入した当初どのような課題がありましたか。(複数回答)

- ・高年齢でない介護助手との人間関係
- ・他のスタッフに業務内容の違いについて理解してもらうことに時間を要した
- ・採用した介護助手が有能すぎて、予定以上の業務量を負担させてしまった
- ・人事考課での等級が一番低く昇格制度もなく、仕事はできるが評価が低い
- ・前職場と当施設での会社ルールの違い

問 18. 高年齢介護助手を雇用してみて、どのような課題が見られますか。(複数回答)

- ・不十分な指導が原因と思われるミスの発生
- ・指導・習得に時間がかかる。個人差があり個別対応が必要
- ・管理されている様で管理されていないため業務見直しが十分できない
- ・健康問題
- ・人間関係
- ・退職時の次の人材
- ・労働事故、転倒によるケガ
- ・複数名を配置した際の能力差の調整
- ・仕事に必要な研修等も受講できるよう準備しなければならない
- ・職場環境に慣れるまで時間がかかる

問 19. 高年齢介護助手に対してどのような教育体制ですか。(複数回答)

- ・e ラーニング
- ・先輩介護助手が OJT を担当
- ・技術や対応手順のマニュアル・テキストを作成、配布
- ・交通安全講習会

問 20. 貴施設では高年齢介護助手を継続して雇用するために何か工夫していますか。(複数回答)

- ・感謝の声掛け
- ・昼食をとりながら、感想・意見の聴取
- ・業務の固定化
- ・給与面の見直し
- ・必要に応じた業務の見直し
- ・施設行事への参加
- ・チェックリストや業務内容の掲示等を確認しながら業務ができる環境作り

問 25. 貴施設では COVID-19(新型コロナウイルス感染症)対策として、高年齢介護助手の勤務体制等の見直しを行ないましたか。(複数回答)

- ・フロア間移動を無くした
- ・本人の意向を確認した上で調整
- ・業務の中に消毒業務を組み込んだ

問 26. 貴施設では、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の感染拡大により、高年齢介護助手の雇用に何らかの影響がありましたか。(複数回答)

- ・新規採用希望者が家族の反対により保留・辞退
- ・ゾーニング対応のため、1名増員した
- ・通勤時間の変更の意志があった(混む時間を避けるため)
- ・施設の意向で勤務を一時休んでいただいた
- ・家族に濃厚接触者疑いがいたため、一定期間休ませた

問 31. 高年齢介護助手を導入したきっかけを教えてください。(複数回答)

- ・職員からの紹介
- ・地元の方の紹介
- ・若い方の採用が困難だった為
- ・法人からのすすめ

問 32. 高年齢介護助手をどのような方法で募集しましたか。(複数回答)

- ・老人会
- ・定年後の再雇用・継続雇用

問 33. 当時、高年齢介護助手を導入した理由はなんですか。(複数回答)

- ・モデル事業
- ・本人の希望
- ・人員補充

問 35. 高年齢介護助手の雇用を止めた理由を教えてください。(複数回答)

- ・介護助手から介護職員に雇用契約を変更
- ・介護職員が充足した
- ・本人の身体面で業務継続が困難となった
- ・高齢により就業困難となり、家族からも止められた
- ・本人より退職の申し出があった
- ・業務全体の見直し
- ・モデル事業には参加したが、法人の規定で60歳以上を雇用できない

問 38. 高年齢介護助手の雇用を検討している理由を教えてください。(複数回答)

- ・定年後の継続雇用策として
- ・シルバー人材センターの代替策として
- ・多様性を深めるため
- ・現在60歳未満の補助員を採用し助かっているため、高年齢も検討したい
- ・介護職の人材不足を補う為
- ・コストカット

問 39. 高年齢介護助手を検討するもしくは雇用することにどのような懸念がありますか。(複数回答)

- ・介護職がやりたくない仕事を押し付ける
- ・責任の範囲、インシデント
- ・労務管理、労災リスク
- ・高年齢介護助手と利用者のコミュニケーション

問 41. 高年齢介護助手を検討するもしくは雇用することにどのような懸念がありますか。(複数回答)

- ・60歳未満の介護補助者を雇用しており、高年齢者の採用は考えていない
- ・介護職が充足している
- ・利用者とのトラブル
- ・高年齢介護助手の転倒リスク等
- ・募集しても応募が来ないのではないかと
- ・60歳以上を雇用する規程を設けていない
- ・常勤・介護福祉士以外の雇用はしない
- ・人員基準にカウントできない

問 45. 高年齢介護助手を検討するもしくは雇用することにどのような懸念がありますか。(複数回答)

(自由記載なし)

【介護職員票】

問 3.あなたが保有している介護系の専門資格について、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

- | | | |
|--------------|------------|-------------------|
| ・認定介護福祉士 | ・医療介護福祉士 | ・福祉住環境コーディネーター |
| ・福祉用具専門相談員 | ・精神保健福祉士 | ・社会福祉主事任用資格 |
| ・アセッサー | ・サービス管理責任者 | ・ユニットリーダー |
| ・喀痰吸引等研修 | ・認知症ケア専門士 | ・認知症リーダー |
| ・認知症介護士 | ・ガイドヘルパー | ・レクリエーションインストラクター |
| ・介護事務、ケアクラーク | ・看護師、准看護師 | ・管理栄養士、栄養士 |
| ・理学療法士 | ・音楽療法士 | ・リスクマネジャー |

問 6.あなたの役職を教えてください。

- | | | | |
|------|-----------|-----------|-----|
| ・部長 | ・介護士長、介護長 | ・業務責任者 | |
| ・所属長 | ・チーフ、班長 | ・主査、主事、主任 | ・補佐 |

【介護助手票】

問 4.どのようなきっかけで介護助手の仕事をはじめましたか。

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| ・チラシ、折り込みチラシ | ・家族が施設を利用者しているため |
| ・知人の紹介 | ・自分から施設に直接コンタクト |
| ・派遣会社を通じて | ・定年後の継続雇用 |
| ・介護職からの転向(定年、ケガ、障がい等により介護助手に転向) | |

問 5.あなたの現在の通勤手段と通勤時間を教えてください。

- ・家族の送迎

問 8.あなたが最後に卒業した学校はどちらですか。

- ・高等専門学校

問 10.これまでに最も長く従事した仕事はどのようなものですか。

- | | |
|---------------|---------------------|
| ・介護 | ・看護、看護助手 |
| ・現在の介護助手が一番長い | ・自衛官、公務員、郵便局、教員、保育士 |
| ・清掃関係、運輸関係 | |

問 18.あなたが、介護助手の仕事をはじめた理由は何ですか。

- | | | |
|------------------------|--------------------------|------------|
| ・家族が介護サービスの世話になったので恩返し | ・ボケ予防、リハビリのため | ・生活リズムを守る為 |
| ・自分の体調にあわせやすい | ・障がい者なので | |
| ・たまたま | ・家から近かった | |
| ・コロナ解雇で求職中だった | ・やりたい仕事だった | |
| ・もっと若ければ本業にしたかった | ・介護の知識・経験が欲しい(家族介護に備えて等) | |

資料2. 調査実施要綱・調査票等

事前調査結果については、P3 に掲載

事前調査

全老健第 2-122 号
2020 年 9 月 24 日

会 員 各 位

公益社団法人全国老人保健施設協会
会 長 東 憲 太 郎
(公 印 省 略)
介護老人保健施設等における業務改善に
関する調査研究事業班
班 長 藤 原 佳 典

介護老人保健施設等における業務改善に関する調査研究事業
事前調査の実施につきまして(協力依頼)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より当協会の事業・運営に格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当会では、令和 2 年度老人保健事業推進費等補助金を受け、標記調査を実施致します。この調査研究事業は、老健施設における介護助手導入の状況を把握するとともに、介護助手の導入効果等を検証し、業務改善に資する方策について検討するものです。

このたび、本調査に先立ち、事前調査を行うことと致しました。会員施設各位にはお手数をおかけ致しますが、別紙の調査票にご記入のうえ、**2020 年 10 月 15 日(木)迄にFAXにてご回答くださいますよう、お願い申し上げます。**

なお、改めて 10～11 月頃に本調査の実施を予定しております。本調査では、全ての会員施設を対象に、施設調査票と介護職員を対象とした調査票を郵送させていただきます。また、この事前調査で 60 歳以上の介護助手を雇用していると回答された施設には、介護助手の方を対象とした調査票にもご協力をお願いいたたく存じます。

会員施設の皆様には、お忙しいところ大変なお手数をおかけ致しますが、調査の趣旨をご理解のうえご協力を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

謹白

本件照会先:

公益社団法人全国老人保健施設協会

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 6 階

電話:03-3432-4165 FAX:03-3432-4177

担当:業務部 業務第一課 青山、宝田、高野、歌田

【この調査における「介護助手」の定義について】

この調査において「介護助手」とは、以下の事項を満たす者とします。施設によっては別の呼称の場合もあるかと存じますが、以下の事項を満たしていれば「介護助手」とご判断下さい。

1. 貴施設と直接の雇用関係にある(有償ボランティアや委託業者の職員は除く)
2. 介護職員との役割分担により、利用者の身体に接することのない周辺業務*のみを担っている

※ 周辺業務とは、例えば、ベッドメイキングや食事の配膳などの他、施設サービスでは清掃、通所サービスでは送迎などの業務も含まれます。

注1: 清掃のみに従事する方は介護助手に含みますが、調理従事者やリハビリ助手は介護職員の補助でないため、介護助手に含めません。

注2: 介護福祉士等の資格を有していても、周辺業務のみを行っている場合には、介護助手に含めません。

事前調査票

※ 貴施設の現況をご記入のうえ、FAX (03-3432-4177 または 03-3432-4172) 宛にご返送ください

介護老人保健施設における業務改善に関する調査研究事業 事前調査票

都道府県:	貴施設名:
電話番号:	回答者名:

以下の問について、該当する番号に○、()内に人数を記入して下さい。

問	貴施設は、2020年9月1日時点で、上記の定義に該当する「介護助手」を導入していますか？	1. <u>導入している</u> →	①60歳以上の介護助手 ()人
	導入している場合、「① 60歳以上の介護助手」「② 59歳以下の介護助手」それぞれの人数もご回答ください。(いない場合には、「0」ゼロとご記入下さい)	2. 導入していない	②59歳以下の介護助手 ()人

※ ①②の年齢は、2020年9月1日現在の年齢を基準としてご回答ください。

<ご協力ありがとうございました>

全国老人保健施設協会 FAX: 03-3432-4177 または FAX: 03-3432-4172 までご返信下さいますようお願い申し上げます。回答締切: 2020年10月15日(木)

問合先: 全国老人保健施設協会 業務部業務第一課 TEL: 03-3432-4165

本調査(事前調査の結果はP3に掲載)

全老健第 2-153 号
令和 2 年 11 月 10 日

会員各位

公益社団法人全国老人保健施設協会
会長 東 憲太郎
(公印省略)

「介護老人保健施設等における業務改善に関する調査研究事業」
調査へのご協力について(お願い)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当協会の事業・運営に格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和 2 年 9 月 24 日付 全老健第 2-122 号による標記事業の事前調査では、多数の皆様にご協力頂き、誠にありがとうございました。事前調査結果を本紙裏面に掲載致しました。調査協力への御礼かたがたご報告申し上げます。

事前調査に引き続き、本調査の準備が整いましたので、調査票一式を同封にてお送り致します。今回の本調査では、施設調査票と介護職員調査票により、介護助手の導入状況や業務の切り分け状況、介護職員の業務負担感等を調査させて頂きます。また、高年齢介護助手導入中の施設には、高年齢介護助手自身が業務についてどのように感じているかを伺う、介護助手調査票にもご回答をお願い致します。

会員施設の皆様には、ご多忙のところ大変なご負担をお掛けすることと存じますが、皆様のご協力を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

謹白

- ・**令和 2 年 12 月 14 日(月)**迄に、同封の返信用封筒またはメールにてご返送くださいますようお願い申し上げます。
- ・メールで提出の場合の提出先: research@roken.or.jp
- ・調査票は、以下の全老健ホームページからもダウンロード可能です。
<http://www.roken.or.jp/member/> (ユーザー名/パスワードは不要です)

本件照会先:

公益社団法人全国老人保健施設協会

TEL. 03-3432-4165

FAX. 03-3432-4177 または 03-3432-4172

メールアドレス: research@roken.or.jp

担当: 業務部 業務第一課 高野、青山、宝田、歌田

令和2年度老人保健健康増進等事業
「介護老人保健施設等における業務改善に関する調査研究事業」
調査実施要綱

1. 事業の目的と主な調査内容

本事業は、介護老人保健施設(以下、老健施設)における介護助手の導入状況や実施業務等の実態を把握するとともに、施設サービス関連業務及び周辺業務の切り分け、その効果等について調査するもので、介護助手の中でも特に60歳以上の介護助手(以下、高年齢介護助手)に着目し、以下の調査を行います。

- ・施設調査:介護助手の導入状況や導入による効果等についての調査
- ・個別調査(介護職員・高年齢介護助手を対象):業務の負担感や職場環境等についての調査

本事業は、老健施設における業務を可視化し、専門職が担うべき工程と単純作業工程を峻別することにより、業務改善に資することが期待できる大変重要な調査となっております。

会員施設各位には大変お手数をおかけ致しますが、本調査研究事業の趣旨をご理解のうえ、調査へのご協力を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

本調査における「介護助手」「高年齢介護助手」の定義について

施設によっては別の呼称の場合もあるかと存じますが、以下の通り定義いたします。

介護助手の定義(以下のいずれも満たす者)

1. 貴施設と直接の雇用関係にある(有償ボランティアや委託業者の職員は除く)
2. 介護職員との役割分担により、利用者の身体に接することのない周辺業務※のみを担っている

高年齢介護助手の定義

介護助手(上述の1・2を満たす者)のうち年齢が60歳以上の者

介護助手に関する調査は 主に高年齢介護助手についてお伺いいたします

※ 周辺業務とは、例えば、ベッドメイキングや食事の配膳などの他、施設サービスでは清掃、通所サービスでは送迎などの業務も含まれます。

注1:清掃のみに従事する方は介護助手に含まれますが、調理従事者やリハビリ助手は介護職員の補助でないため、介護助手に含めません。

注2:介護福祉士等の資格を有していても、周辺業務のみを行っている場合には、介護助手に含めません。

2. 調査対象施設

全国老人保健施設協会(以下、全老健)に加盟されている全会員施設にお送りしています。

3. 今回お送りした調査票類^{※1}とご提出期限

送付書類	部数	備考
送付状	1通	
調査実施要綱(本紙)	1部	
施設票	1部	提出期限： 令和2年12月14日(月)
介護職員票(ピンク色の調査票)	10部	
介護助手票 ^{※2} (緑色の調査票)	5部	
返信用封筒	1部	

※1 調査票等は、全老健ホームページ <http://www.roken.or.jp/member/> からダウンロード可能です。
(ユーザー名/パスワードは不要です。)

※2 介護助手票については、事前調査(2020年9月24日付 全老健第2-122号)にて、60歳以上の介護助手を雇用していないと回答した施設にはお送りしておりません。

4. 調査票および調査対象者について

本調査は、施設調査と個別調査(介護職員調査・介護助手調査)を行います。なお、回答施設や回答者個人が特定できるような情報がそのまま公表されることはございません。

《施設票》

①調査内容:高年齢介護助手の雇用状況や業務の役割分担等についてお伺いする調査票です。

②回答者:施設としての意向をお伺いするものです。設問に応じ、適切に回答できる方が(必要に応じて施設長や多職種で)ご回答ください。

※「介護助手」の導入有無に関わらず、ご回答をお願いします。

《個別調査》

(1)介護職員票

①調査内容:業務の負担感や職場環境等についてお伺いする調査票です。

②調査対象者:現場で介護業務を担っている介護職(主な業務が管理業務の方は除く。入所・通所問わず。)

③対象人数と抽出方法:

調査対象者のうち、同意を得られた方 **10名**。

対象者が10名を超える場合は、無作為抽出された **10名**の方にご回答をお願いします(抽出方法は問いません)。

※「介護助手」の導入有無に関わらず、ご回答をお願いします。

※答えたくない設問や答えにくい設問は空欄のままで構いません。

(2)介護助手票

①調査内容:業務の負担感や従事している業務内容等についてお伺いする調査票です。

②調査対象者:本調査に定める**高年齢介護助手**(本紙1頁目の定義に該当する方。入所・通所問わず。)

※59歳以下の介護助手は対象ではありません

③対象人数と抽出方法:

調査対象者のうち、同意を得られた方 **5名**。

対象者が5名を超える場合は、無作為抽出された **5名**の方にご回答をお願いします(抽出方法は問いません)。

※答えたくない設問や答えにくい設問は空欄のままで構いません。

※事前調査(2020年9月24日付 全老健第2-122号)にて、60歳以上の介護助手を雇用していないと回答した施設にはお送りしておりません。

5. その他

- 本調査により得られた調査結果は、当会が他の調査を実施する上で基礎データとして活用させて頂く可能性があります。その場合であっても、個別の回答が特定できるような情報は一切公表いたしません。
- 調査票等は、全老健ホームページ <http://www.roken.or.jp/member/> からダウンロード可能です。(ユーザー名/パスワードは不要です。)
- 本調査にご協力いただけない場合であっても、いかなる不利益も発生致しません。

【調査票の回答期限と提出方法】

令和2年12月14日(月)迄に、「施設票」・「介護職員票」・「介護助手票」を

まとめて同封の返信用封筒またはメールにてご提出ください

返送先:公益社団法人全国老人保健施設協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 6F

メールで提出の場合の提出先:research@roken.or.jp

(注)提出期限厳守のお願い

上記の各書類の提出につきましては、可能な限り期限を厳守して頂きますよう、ご協力をお願い申し上げます。ただし、締切を過ぎてお送りいただいた調査票についても、今後の基礎データとして可能な限り活用させて頂きたく存じますので、締切に間に合わなかった場合でも調査にご協力下さいますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

6. 本調査に関するお問合せ先

公益社団法人全国老人保健施設協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 6F

TEL. 03-3432-4165 FAX. 03-3432-4177 または 03-3432-4172

メールアドレス: research@roken.or.jp

担当: 業務部 業務第一課 高野、青山、宝田、歌田

令和2年度老人保健事業推進費等補助金事業
「介護老人保健施設等における業務改善に関する調査研究事業」
【施設票】

都道府県		施設名		TEL	
------	--	-----	--	-----	--

「介護助手」「高年齢介護助手」の導入の有無に関わらず、調査にご協力をお願いいたします。

本調査票は、高年齢介護助手の導入等について、施設としての意向をお伺いするものです。
設問に応じ、適切に回答できる方が(必要に応じて施設長や多職種で)ご回答ください。

【この調査における「介護助手」「高年齢介護助手」の定義について】

施設によっては別の呼称の場合もあるかと存じますが、以下の通り定義いたします。

介護助手の定義(以下のいずれも満たす者)

1. 貴施設と直接の雇用関係にある(有償ボランティアや委託業者の職員は除く)
2. 介護職員との役割分担により、利用者の身体に接することのない周辺業務※
のみを担っている

高年齢介護助手の定義

介護助手(上述の1・2を満たす者)のうち年齢が60歳以上の者

本調査では主に高年齢介護助手についてお伺いいたします

※ 周辺業務とは、例えば、ベッドメイキングや食事の配膳などの他、施設サービスでは清掃、通所サービスでは送迎などの業務も含まれます。

注1: 清掃のみに従事する方は介護助手に含みますが、調理従事者やリハビリ助手は介護職員の補助でないため、介護助手に含めません。

注2: 介護福祉士等の資格を有していても、周辺業務のみを行っている場合には、介護助手に含めません。

本調査に関するお問合せ先

公益社団法人全国老人保健施設協会

TEL. 03-3432-4165 FAX. 03-3432-4177

メールアドレス: research@roken.or.jp

担当: 業務部 業務第一課 高野、青山、宝田、歌田

【問 1～問 7 はすべての施設にお伺いします。】

問 1. 2020 年 9 月 1 日時点の貴施設の基本情報についてご記入ください。

(1)開設年(数字を記入)	西暦 ()年	
(2)開設主体(○は1つ)	1. 医療法人 2. 市区町村、広域連合、一部事務組合 3. 社会福祉法人 4. その他()	
(3)入所定員(数字を記入)	()人	
(4)施設構造(○は1つ)	1. ユニット型の施設 2. 従来型の施設	
(5)開設主体/関連法人で 経営している施設の有無 (○は1つずつ)	1. 診療所	1. あり 2. なし
	2. 病院	1. あり 2. なし
	3. 訪問看護ステーション	1. あり 2. なし
	4. 貴施設以外の介護老人保健施設	1. あり 2. なし
	5. 介護老人福祉施設	1. あり 2. なし
	6. 介護医療院	1. あり 2. なし
	7. 認知症対応型共同生活介護事業所	1. あり 2. なし
	8. 小規模多機能型居宅介護事業所	1. あり 2. なし
	9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. あり 2. なし
	10. 有料老人ホーム	1. あり 2. なし
	11. サービス付き高齢者向け住宅	1. あり 2. なし

問 2. 2020 年 9 月 1 日時点の貴施設の施設類型をご記入ください。(○は1つ)

2020 年 9 月 1 日時点の施設類型	1. 超強化型 2. 在宅強化型 3. 加算型 4. 基本型 5. その他型 6. 療養型
-----------------------	--

問 3. 2020 年 9 月の延べ入所者数(短期入所療養介護を除く)*をご記入ください。(数字を記入)

2020 年 9 月の延べ入所者数(人)	人
----------------------	---

※延べ入所者数とは、日々の入所者数を足し上げたものです。例えば、9 月 1 日の入所者が 100 人、9 月 2 日が 98 人、…9 月 30 日が 99 人の場合、100 人+98 人+…+99 人と計算されます。

問 4. 以下の加算の算定実績についてご記入ください。(2020 年 9 月 1 日時点)(○は1つずつ)

(1)介護職員処遇改善加算	1. (Ⅰ) 2. (Ⅱ) 3. (Ⅲ) 4. (Ⅳ) 5. (Ⅴ) 6. 算定していない
(2)介護職員等特定処遇改善加算	1. (Ⅰ) 2. (Ⅱ) 3. 算定していない

問 5. 貴施設の代表者(施設長等)について教えてください。

(1)性別 (○は1つ)	1. 男性 2. 女性	(2)現在の役職の在職年数(数字を記入)	()年
(3)職種 (あてはまるものすべてに○)	1. 医師 2. 歯科医師 3. 事務職 4. 看護職 5. 介護職 6. 支援相談員 7. OT 8. PT 9. ST 10. 栄養士 11. 薬剤師 12. 介護支援専門員 13. その他()		
(4)年齢 (○は1つ)	1. 40歳未満 2. 40歳代 3. 50歳代 4. 60歳代 5. 70歳以上		

問 6. 2020年9月1日時点の貴施設の介護職員*の人数(実人数)について教えてください。(数字を記入)

	実人数
(1)介護職員	人
(2)うち、介護福祉士	人

※常勤・非常勤、入所・通所の区別を問いません。産休・育休は除きます。

問 7. 貴施設では、現在、高年齢介護助手を雇用していますか。

(1つに○をつけ、指定された設問にお進みください)

1. 現在雇用している	➡	問 8～問 26(6～12 ページ)にご回答ください
2. 現在雇用していないが、過去に雇用していた	➡	問 27～問 37(14～18 ページ)にご回答ください
3. 現在雇用していないが、今後雇用を検討している	➡	問 38～問 40(20～23 ページ)にご回答ください
4. この調査で定義するような高年齢介護助手という存在は知っているが、雇用の検討等はしていない	➡	問 41～問 42(26～28 ページ)にご回答ください
5. この調査で定義するような高年齢介護助手という存在を知らない	➡	問 43～問 46(30～32 ページ)にご回答ください

問 8～問 26(6～12 ページ)は、

問 7 で高年齢介護助手を

「1. 現在雇用している」と回答した施設にお伺いします。

【問 8～問 26 は問 7 で高年齢介護助手を「1. 現在雇用している」と回答した施設にお伺いします。】

問 8. 貴施設の 2020 年 9 月 1 日時点の介護助手の人数(実人数)について教えてください。(数字を記入)

	実人数
(1)高年齢介護助手	人
(2)59 歳以下の介護助手	人

問 9. 貴施設が高年齢介護助手を雇用しはじめた時期はいつですか。(数字を記入)

()年()月から

問 10. 貴施設での高年齢介護助手の 2020 年 9 月 1 日時点の賃金(時給換算)*はいくらですか。(数字を記入)

1 時間あたり ()円

※高年齢介護助手により異なる場合は平均値を記入

問 11. 各年の 9 月 1 日時点における介護助手の雇用人数(実人数)を教えてください。(数字を記入)

	2017 年 9 月 1 日	2018 年 9 月 1 日	2019 年 9 月 1 日
(1)高年齢介護助手	人	人	人
(2)59 歳以下の介護助手	人	人	人

問 12. 高年齢介護助手の雇用のために、行政等から補助金や助成金*を受けていますか。(○は1つ)

1. 過去受けていた 2. 現在受けている 3. 一度も受けたことはない

※地域医療介護総合確保基金や都道府県が実施する助成金(介護助手の人件費・募集に要する費用等を対象としたもの)など

問 13. 高年齢介護助手を導入したきっかけを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 都道府県等の補助金や助成金を活用したモデル事業
 2. 全老健の介護助手事業の報告や他施設の取り組み等を知って
 3. 施設独自の取り組み
 4. その他()

問 14. 高年齢介護助手をどのような方法で募集しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. シルバー人材センター
 2. ハローワーク
 3. 都道府県福祉人材センター
 4. 都道府県の老健協会等による一括した求人活動
 5. 施設独自の求人活動
 6. 職員や既存介護助手等からの紹介
 7. その他()

問 15. 経験や能力に応じて、高年齢介護助手の業務内容を分けていますか。(○は1つ)

1. 明確に分けている(介護助手の経験や能力により業務内容を分けている)
2. ある程度分けているが、業務は柔軟に担当してもらっている
3. 経験や能力に応じた業務分けはしていない

問 16. 高年齢介護助手を導入した理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護職員の労働環境改善のため(残業時間の削減・有給休暇の取得率向上等)
2. 介護職員と介護助手の役割分担により、介護職員のケアの質を向上させるため
3. 人材確保により、施設の介護職員の研修受講、スキル向上のための時間を創出するため
4. 介護事故のリスクを減少させるため
5. 職員間の人間関係を更に良くするため
6. コミュニケーションの増加等により、利用者や家族との関係性を更に良くするため
7. 地域に対する介護予防・生きがいづくり等の社会貢献活動の一環として
8. その他()

問 17. 高年齢介護助手を導入した当初どのような課題がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 勤務時間や業務内容について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチがあった
2. 給与面について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチがあった
3. 高年齢介護助手の指導・教育体制整備に関する業務負担が大きかった
4. 高年齢介護助手に担ってもらう仕事の切り分けのための業務負担が大きかった
5. 人材募集に関わる業務負担が大きかった
6. その他()
7. 特に課題はなかった

問 18. 高年齢介護助手を雇用してみて、どのような課題が見られますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人件費の支出に見合う費用対効果が見込めない
2. 介護職員の業務のゆとりに繋がらない
3. 高年齢介護助手とのコミュニケーションが円滑にできない
4. 高年齢介護助手が職場環境になじめない
5. 雇用条件(勤務時間、業務内容、給与など)でのミスマッチ
6. 仕事への意識が薄い
7. 健康面(体力や体調)で仕事への影響が出やすい
8. 家庭の事情等で仕事への影響が出やすい
9. 前任者退職後の、新規採用が難しい
10. 感染症対策について、特別な配慮が必要
11. その他()
12. 不明・特になし

問 19. 高年齢介護助手に対してどのような教育体制ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 基本的に同じ職員による OJT をおこなっている
2. 担当は決めずに様々な職員による OJT をおこなっている
3. 座学による講義形式の教育をおこなっている
4. 施設独自の介護助手向けのテキストで教育をおこなっている
5. 介護職員向けのテキストで教育をおこなっている
6. その他()
7. 決まった教育体制はない

問 20. 貴施設では高年齢介護助手を継続して雇用するために何か工夫していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 定期的な業務の見直し
2. 体調面での配慮
3. 定期的な面談等の心理的サポート
4. 希望に合わせたシフト調整
5. その他()
6. 特に工夫はしていない

問 21. 貴施設で以下(1)～(14)の業務を担当している方について教えてください。

(1)利用者の送迎・送迎補助

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手	2. 59歳以下の介護助手
	3. 介護職員	4. 1～3以外の施設職員
	5. 外部委託している	
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(2)記録補助(体温、排泄、食事摂取等)

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手	2. 59歳以下の介護助手
	3. 介護職員	4. 1～3以外の施設職員
	5. 外部委託している	
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(3)居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手	2. 59歳以下の介護助手
	3. 介護職員	4. 1～3以外の施設職員
	5. 外部委託している	
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(4)起床や就寝時の声掛け・見守り

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手 3. 介護職員 5. 外部委託している	2. 59歳以下の介護助手 4. 1～3以外の施設職員
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(5)ベッドメイキング

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手 3. 介護職員 5. 外部委託している	2. 59歳以下の介護助手 4. 1～3以外の施設職員
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(6)洗濯、洗濯物の回収・配布

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手 3. 介護職員 5. 外部委託している	2. 59歳以下の介護助手 4. 1～3以外の施設職員
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(7)浴室清掃・湯はり

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手 3. 介護職員 5. 外部委託している	2. 59歳以下の介護助手 4. 1～3以外の施設職員
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(8)入浴後のドライヤーがけ・整髪

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手 3. 介護職員 5. 外部委託している	2. 59歳以下の介護助手 4. 1～3以外の施設職員
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(9) 調理補助、料理や飲み物へのとりみ付け

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手 3. 介護職員 5. 外部委託している	2. 59歳以下の介護助手 4. 1～3以外の施設職員
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(10) 食事の配膳・下膳

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手 3. 介護職員 5. 外部委託している	2. 59歳以下の介護助手 4. 1～3以外の施設職員
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(11) 施設内外での移動補助(車いすでの移動補助を含む)

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手 3. 介護職員 5. 外部委託している	2. 59歳以下の介護助手 4. 1～3以外の施設職員
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(12) 利用者の見守り・傾聴(話し相手)

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手 3. 介護職員 5. 外部委託している	2. 59歳以下の介護助手 4. 1～3以外の施設職員
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(13) イベントやアクティビティの補助

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手 3. 介護職員 5. 外部委託している	2. 59歳以下の介護助手 4. 1～3以外の施設職員
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(14) 消毒作業等の感染症対策

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 高年齢介護助手 3. 介護職員 5. 外部委託している	2. 59歳以下の介護助手 4. 1～3以外の施設職員
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③施設の意向として、この業務を高年齢介護助手に担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

問 22. 高年齢介護助手の存在により、介護職員の業務や施設に次のような影響を感じていますか。
(○は1つずつ)

(1) 全体的な業務負担感	1. 減少していると思う 3. 増加していると思う	2. 変わらないと思う
(2) 全体的な業務の量	1. 減少していると思う 3. 増加していると思う	2. 変わらないと思う
(3) 介護の専門性を活かした業務への集中	1. 高まっていると思う 3. 低まっていると思う	2. 変わらないと思う
(4) 普段の業務における気持ちのゆとり	1. 増加していると思う 3. 減少していると思う	2. 変わらないと思う
(5) インシデントやアクシデント、ヒヤリハットの件数	1. 減少していると思う 3. 増加していると思う	2. 変わらないと思う
(6) 介護職員の研修受講・スキル向上のための時間	1. 増加していると思う 3. 減少していると思う	2. 変わらないと思う
(7) 施設の職員間の人間関係	1. 良好になっていると思う 3. 悪化していると思う	2. 変わらないと思う
(8) 利用者や家族とのコミュニケーション	1. 増加していると思う 3. 減少していると思う	2. 変わらないと思う
(9) 利用者や家族からのクレーム	1. 減少していると思う 3. 増加していると思う	2. 変わらないと思う
(10) 利用者や家族からの感謝	1. 増加していると思う 3. 減少していると思う	2. 変わらないと思う
(11) 地域の人や団体と関わる機会	1. 増加していると思う 3. 減少していると思う	2. 変わらないと思う

問 23. 今後、高年齢介護助手の人数を増やしたいと考えていますか。(○は1つ)

1. 増やしたい 2. 現状維持したい 3. 減らしたい 4. 廃止したい
--

問 24. 全般的に、高年齢介護助手を雇用していることに対してどの程度満足していますか。(○は1つ)

1. 満足している 2. やや満足している 3. やや不満である 4. 不満である
--

問 25. 貴施設では COVID-19(新型コロナウイルス感染症)対策として、高年齢介護助手の勤務体制等の見直しを行ないましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 勤務日や出退勤時間(シフト)を調整・見直した
2. 毎朝の体温測定等、感染管理体制を見直し・強化した
3. 感染症対策に関する教育・研修機会を新設、増設した
4. 採用説明会等の実施方法を見直した
5. 新人研修等の実施方法を見直した
6. その他()
7. 見直しは必要なかった

問 26. 貴施設では、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の感染拡大により、高年齢介護助手の雇用に何らかの影響がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 施設の意向で雇用を中断した高年齢介護助手がいた
2. 本人・家族の意向で退職した高年齢介護助手がいた
3. 本人・家族の意向で一定期間休んだ高年齢介護助手がいた
4. 高年齢介護助手の安全確保のため、担当業務の範囲を変更・縮小した
5. その他()
6. 特に影響はなかった

<調査項目は以上です。ご協力頂き、誠にありがとうございました。>

問 27～問 37(14～18 ページ)は、

問 7 で高年齢介護助手を

「2. 現在雇用していないが、過去に雇用していた」

と回答した施設にお伺いします。

【問 27～問 37 は問 7 で高年齢介護助手を「2. 現在雇用していないが、過去に雇用していた」と回答した施設にお伺いします。】

問 27. 貴施設が高年齢介護助手を雇用していた期間はいつですか。(数字を記入)

()年()月から、()年()月まで

問 28. 貴施設で最後に高年齢介護助手を雇用していた年度の高年齢介護助手の賃金(時給換算)*はいくらでしたか。(数字を記入)

1 時間あたり ()円

*高年齢介護助手により異なる場合は平均値を記入

問 29. 各年の 9 月 1 日時点における介護助手の雇用人数(実人数)を教えてください。(数字を記入)

	2017 年 9 月 1 日	2018 年 9 月 1 日	2019 年 9 月 1 日
(1)高年齢介護助手	人	人	人
(2)59 歳以下の介護助手	人	人	人

問 30. 高年齢介護助手を雇用していた間に、行政等から介護助手等の雇用に関する補助金や助成金*を受けただけがありましたか。(○は1つ)

1. 受けていた 2. 受けたことはない

*地域医療介護総合確保基金や都道府県が実施する助成金(介護助手の人件費・募集に要する費用等を対象としたもの)など

問 31. 高年齢介護助手を導入したきっかけを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 都道府県等の補助金や助成金を活用したモデル事業
2. 全老健の介護助手事業の報告や他施設の取り組み等を知って
3. 施設独自の取り組み
4. その他()

問 32. 高年齢介護助手をどのような方法で募集しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. シルバー人材センター
2. ハローワーク
3. 都道府県福祉人材センター
4. 都道府県の老健協会等による一括した求人活動
5. 施設独自の求人活動
6. 職員や既存介護助手等からの紹介
7. その他()

問 33. 当時、高年齢介護助手を導入した理由はなんですか。(あてはまるものにすべてに○)

1. 介護職員の労働環境改善のため(残業時間の削減・有給休暇の取得率向上等)
2. 介護職員と介護助手の役割分担により、介護職員のケアの質を向上させるため
3. 人材確保により、施設の介護職員の研修受講、スキル向上のための時間を創出するため
4. 介護事故のリスクを減少させるため
5. 職員間の人間関係を更に良くするため
6. コミュニケーションの増加等により、利用者や家族との関係性を更に良くするため
7. 地域に対する介護予防・生きがいづくり等の社会貢献活動の一環として
8. その他()

問 34. 「高年齢介護助手を雇用していた当時」、高年齢介護助手が従事していた業務について教えてください。(○は1つずつ)

業務内容	高年齢介護助手が従事していたか
(1) 利用者の送迎・送迎補助	1. していた 2. していなかった
(2) 記録補助(体温、排泄、食事摂取等)	1. していた 2. していなかった
(3) 居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等	1. していた 2. していなかった
(4) 起床や就寝時の声掛け・見守り	1. していた 2. していなかった
(5) ベッドメイキング	1. していた 2. していなかった
(6) 洗濯、洗濯物の回収・配布	1. していた 2. していなかった
(7) 浴室清掃・湯はり	1. していた 2. していなかった
(8) 入浴後のドライヤーがけ・整髪	1. していた 2. していなかった
(9) 調理補助、料理や飲み物へのとろみ付け	1. していた 2. していなかった
(10) 食事の配膳・下膳	1. していた 2. していなかった
(11) 施設内外での移動補助(車いすでの移動補助を含む)	1. していた 2. していなかった
(12) 利用者の見守り・傾聴(話し相手)	1. していた 2. していなかった
(13) イベントやアクティビティの補助	1. していた 2. していなかった
(14) 消毒作業等の感染症対策	1. していた 2. していなかった

問 35. 高年齢介護助手の雇用を止めた理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 人件費の支出に見合う費用対効果が見込めなかった 2. 介護職員の業務のゆとりに繋がらなかった 3. 高年齢介護助手とのコミュニケーションが円滑にできなかった 4. 高年齢介護助手が職場環境になじめなかった 5. 雇用条件(勤務時間、業務内容、給与など)でのミスマッチがあった 6. 仕事への意識が薄かった 7. 健康面(体力や体調)で仕事への影響が出やすかった 8. 家庭の事情等で仕事への影響が出やすかった 9. 前任者退職後の、新規採用が難しかった 10. 感染症対策について、特別な配慮が必要だった 11. その他() 12. 不明・特になし

問 36. 現在の貴施設における以下(1)～(14)の業務について教えてください。また、今後再び高年齢介護助手を雇用した場合、その業務を高年齢介護助手に担当してほしいか教えてください。

(1) 利用者の送迎・送迎補助

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(2) 記録補助(体温、排泄、食事摂取等)

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(3) 居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(4) 起床や就寝時の声掛け・見守り

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(5) ベッドメイキング

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(6) 洗濯、洗濯物の回収・配布

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(7) 浴室清掃・湯はり

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(8) 入浴後のドライヤーがけ・整髪

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(9) 調理補助、料理や飲み物へのとりみ付け

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(10) 食事の配膳・下膳

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(11) 施設内外での移動補助(車いすでの移動補助を含む)

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(12) 利用者の見守り・傾聴(話し相手)

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(13) イベントやアクティビティの補助

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(14) 消毒作業等の感染症対策

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③再び高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

問 37. 高年齢介護助手を雇用していた当時、高年齢介護助手により施設にどのような影響がありましたか。(○は1つずつ)

(1) 全体的な業務負担感	1. 減少していたと思う 3. 増加していたと思う	2. 変わらなかったと思う
(2) 全体的な業務の量	1. 減少していたと思う 3. 増加していたと思う	2. 変わらなかったと思う
(3) 介護の専門性を活かした業務への集中	1. 高まっていたと思う 3. 低まっていたと思う	2. 変わらなかったと思う
(4) 普段の業務における気持ちのゆとり	1. 増加していたと思う 3. 減少していたと思う	2. 変わらなかったと思う
(5) インシデントやアクシデント、ヒヤリハットの件数	1. 減少していたと思う 3. 増加していたと思う	2. 変わらなかったと思う
(6) 介護職員の研修受講・スキル向上のための時間	1. 増加していたと思う 3. 減少していたと思う	2. 変わらなかったと思う
(7) 施設の職員間の人間関係	1. 良好になっていたと思う 3. 悪化していたと思う	2. 変わらなかったと思う
(8) 利用者や家族とのコミュニケーション	1. 増加していたと思う 3. 減少していたと思う	2. 変わらなかったと思う
(9) 利用者や家族からのクレーム	1. 減少していたと思う 3. 増加していたと思う	2. 変わらなかったと思う
(10) 利用者や家族からの感謝	1. 増加していたと思う 3. 減少していたと思う	2. 変わらなかったと思う
(11) 地域の人や団体と関わる機会	1. 増加していたと思う 3. 減少していたと思う	2. 変わらなかったと思う

<調査項目は以上です。ご協力頂き、誠にありがとうございました。>

問 38～問 40(20～23 ページ)は、

問 7 で高年齢介護助手を

「3. 現在雇用していないが、今後雇用を検討している」

と回答した施設にお伺いします。

【問 38～問 40 は、問 7 で高年齢介護助手を「3. 現在雇用していないが、今後雇用を検討している」と回答した施設にお伺いします。】

問 38. 高年齢介護助手の雇用を検討している理由を教えてください。(あてはまるものにすべてに○)

1. 介護職員の労働環境改善のため(残業時間の削減・有給休暇の取得率向上等)
2. 介護職員と介護助手の役割分担により、介護職員のケアの質を向上させるため
3. 人材確保により、施設の介護職員の研修受講、スキル向上のための時間を創出するため
4. 介護事故のリスクを減少させるため
5. 職員間の人間関係を更に良くするため
6. コミュニケーションの増加等により、利用者や家族との関係性を更に良くするため
7. 地域に対する介護予防・生きがいづくり等の社会貢献活動の一環として
8. その他()

問 39. 高年齢介護助手を検討するもしくは雇用することにどのような懸念がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 勤務時間や業務内容について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチが生じるかもしれない
2. 給与面について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチが生じるかもしれない
3. 高年齢介護助手の指導・教育体制整備に関する業務が負担になるかもしれない
4. 高年齢介護助手に担ってもらう仕事の切り分けのための業務が負担になるかもしれない
5. 人材募集に関わる業務が負担になるかもしれない
6. 人件費の支出に見合う費用対効果が見込めないかもしれない
7. 介護職員の業務のゆとりに繋がらないかもしれない
8. 高年齢介護助手とのコミュニケーションが円滑にできないかもしれない
9. 高年齢介護助手が職場環境になじめないかもしれない
10. 仕事への意識が薄いかもしれない
11. 健康面(体力や体調)で仕事への影響が出やすいかもしれない
12. 家庭の事情等で仕事への影響が出やすいかもしれない
13. 感染症対策について、特別な配慮が必要になるかもしれない
14. その他の懸念()
15. 不明・特になし

問 40. 貴施設における以下(1)～(14)の業務について教えてください。また、高年齢介護助手を雇用した場合、その業務を担当してほしいと思うか教えてください。

(1)利用者の送迎・送迎補助

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手	2. 介護職員
	3. 1～2以外の施設職員	4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(2) 記録補助(体温、排泄、食事摂取等)

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(3) 居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(4) 起床や就寝時の声掛け・見守り

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(5) ベッドメイキング

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(6) 洗濯、洗濯物の回収・配布

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(7) 浴室清掃・湯はり

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(8)入浴後のドライヤーがけ・整髪

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(9)調理補助、料理や飲み物へのとりみ付け

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(10)食事の配膳・下膳

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(11)施設内外での移動補助(車いすでの移動補助を含む)

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(12)利用者の見守り・傾聴(話し相手)

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(13)イベントやアクティビティの補助

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 3. 1～2以外の施設職員	2. 介護職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている	2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい	2. 担当してほしくない

(14) 消毒作業等の感染症対策

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

<調査項目は以上です。ご協力頂き、誠にありがとうございました。>

問 41～問 42(26～28 ページ)は、

問 7 で高年齢介護助手を

「4. この調査で定義するような高年齢介護助手という

存在は知っているが、雇用の検討等はしていない」

と回答した施設にお伺いします。

【問 41～問 42 は問 7 で「4. この調査で定義するような高年齢介護助手という存在は知っているが、雇用の検討等はしていない」と回答した施設にお伺いします。】

問 41. 高年齢介護助手を検討するもしくは雇用することにどのような懸念がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 勤務時間や業務内容について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチが生じるかもしれない
2. 給与面について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチが生じるかもしれない
3. 高年齢介護助手の指導・教育体制整備に関する業務が負担になるかもしれない
4. 高年齢介護助手に担ってもらう仕事の切り分けのための業務が負担になるかもしれない
5. 人材募集に関わる業務が負担になるかもしれない
6. 人件費の支出に見合う費用対効果が見込めないかもしれない
7. 介護職員の業務のゆとりに繋がらないかもしれない
8. 高年齢介護助手とのコミュニケーションが円滑にできないかもしれない
9. 高年齢介護助手が職場環境になじめないかもしれない
10. 仕事への意識が薄いかもしれない
11. 健康面(体力や体調)で仕事への影響が出やすいかもしれない
12. 家庭の事情等で仕事への影響が出やすいかもしれない
13. 感染症対策について、特別な配慮が必要になるかもしれない
14. その他の懸念()
15. 不明・特になし

問 42. 貴施設における以下(1)～(14)の業務について教えてください。また、もし高年齢介護助手を雇用した場合、その業務を担当してほしいと思うか教えてください。

(1) 利用者の送迎・送迎補助

① 担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
② 人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③ 高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(2) 記録補助(体温、排泄、食事摂取等)

① 担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
② 人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③ 高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(3)居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(4)起床や就寝時の声掛け・見守り

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(5)ベッドメイキング

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(6)洗濯、洗濯物の回収・配布

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(7)浴室清掃・湯はり

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(8)入浴後のドライヤーがけ・整髪

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(9)調理補助、料理や飲み物へのとりみ付け

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(10)食事の配膳・下膳

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(11)施設内外での移動補助(車いすでの移動補助を含む)

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(12)利用者の見守り・傾聴(話し相手)

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(13)イベントやアクティビティの補助

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(14)消毒作業等の感染症対策

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

<調査項目は以上です。ご協力頂き、誠にありがとうございました。>

問 43～問 46(30～32 ページ)は、

問 7 で高年齢介護助手を

「5. この調査で定義するような高年齢介護助手という

存在を知らない」

と回答した施設にお伺いします。

【問 43～問 46 は問 7 で「5. この調査で定義するような高年齢介護助手という存在を知らない」と回答した施設にお伺いします。】

問 43. 本調査を通じて、高年齢介護助手について関心を持ちましたか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 関心を持った | 2. やや関心を持った |
| 3. あまり関心を持たなかった | 4. 関心を持たなかった |

問 44. 今後、高年齢介護助手を雇用したいと思いませんか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 雇用したいと思う | 2. やや雇用したいと思う |
| 3. あまり雇用したいと思わない | 4. 雇用したいと思わない |

問 45. 高年齢介護助手を検討するもしくは雇用することにどのような懸念がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 勤務時間や業務内容について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチが生じるかもしれない |
| 2. 給与面について、高年齢介護助手の希望と施設の希望にミスマッチが生じるかもしれない |
| 3. 高年齢介護助手の指導・教育体制整備に関する業務が負担になるかもしれない |
| 4. 高年齢介護助手に担ってもらう仕事の切り分けのための業務が負担になるかもしれない |
| 5. 人材募集に関わる業務が負担になるかもしれない |
| 6. 人件費の支出に見合う費用対効果が見込めないかもしれない |
| 7. 介護職員の業務のゆとりに繋がらないかもしれない |
| 8. 高年齢介護助手とのコミュニケーションが円滑にできないかもしれない |
| 9. 高年齢介護助手が職場環境になじめないかもしれない |
| 10. 仕事への意識が薄いかもしれない |
| 11. 健康面(体力や体調)で仕事への影響が出やすいかもしれない |
| 12. 家庭の事情等で仕事への影響が出やすいかもしれない |
| 13. 感染症対策について、特別な配慮が必要になるかもしれない |
| 14. その他の懸念() |
| 15. 不明・特になし |

問 46. 貴施設における以下(1)～(14)の業務について教えてください。また、もし高年齢介護助手を雇用した場合、その業務を担当してほしいと思うか教えてください。

(1) 利用者の送迎・送迎補助

① 担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
② 人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③ 高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(2) 記録補助(体温、排泄、食事摂取等)

① 担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
② 人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③ 高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(3)居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(4)起床や就寝時の声掛け・見守り

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(5)ベッドメイキング

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(6)洗濯、洗濯物の回収・配布

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(7)浴室清掃・湯はり

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(8)入浴後のドライヤーがけ・整髪

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(9)調理補助、料理や飲み物へのとりみ付け

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(10)食事の配膳・下膳

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(11)施設内外での移動補助(車いすでの移動補助を含む)

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(12)利用者の見守り・傾聴(話し相手)

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(13)イベントやアクティビティの補助

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

(14)消毒作業等の感染症対策

①担当しているのは誰ですか(あてはまるものすべてに○)	1. 59歳以下の介護助手 2. 介護職員 3. 1～2以外の施設職員 4. 外部委託している
②人手は足りていますか	1. 足りている 2. 足りていない
③高年齢介護助手を雇用した場合、この業務を担当してほしいですか	1. 担当してほしい 2. 担当してほしくない

<調査項目は以上です。ご協力頂き、誠にありがとうございました。>

「介護老人保健施設等における業務改善に関する調査研究事業」
【介護職員票】

都道府県		施設名		TEL	
------	--	-----	--	-----	--

本調査票は、現場で介護業務を担っている介護職の方(主な業務が管理業務ではない方)がご回答ください。従事している業務が入所か通所かは問いません。

※答えたくない設問や答えにくい設問は空欄のままで構いません。

問 1. あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問 2. あなたの年齢を教えてください。(2020年9月1日現在を基準としてご回答ください)(○は1つ)

1. 30歳未満	2. 30歳代	3. 40歳代
4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳以上

問 3. あなたが保有している介護系の専門資格について、あてはまるものをすべて選んでください。

1. 介護福祉士	2. 実務者研修(旧ヘルパー1級)
3. 介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)	4. ケアマネジャー
5. 社会福祉士	6. 介護予防運動指導員
7. その他の資格()	8. いずれの資格も保有していない

問 4. あなたの先月の1週間の平均就業時間(残業時間を含む)はどの程度ですか。(○は1つ)

1. 週に30時間未満	2. 週に30～40時間未満	3. 週に40～50時間未満
4. 週に50～60時間未満	5. 週に60～70時間未満	6. 週に70時間以上

問 5. あなたの雇用形態を教えてください。(○は1つ)

1. 常勤	2. 非常勤
-------	--------

問 6. あなたの役職を教えてください。(○は1つ)

1. 課長・科長・師長	2. 係長	3. 主任・リーダー
4. その他()	5. 役職なし	

問 7. あなたの介護職としての通算の経験年数は何年ですか。(○は1つ)

1. 1年未満	2. 1～3年未満	3. 3～5年未満
4. 5～10年未満	5. 10～20年未満	6. 20年以上

問 8. あなたの現施設での勤続年数は何年ですか。(○は1つ)

1. 1年未満	2. 1～3年未満	3. 3～5年未満
4. 5～10年未満	5. 10～20年未満	6. 20年以上

問 9. あなたは普段、ご自分で健康だと思いますか。(○は1つ)

1. 健康である	2. まあ健康である	3. あまり健康でない	4. 健康でない
----------	------------	-------------	----------

問 10. あなたは、この1ヶ月間で以下のようなことがありましたか。(○は1つずつ)

	はい	いいえ
(1) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがよくあった	1	2
(2) どうも物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった	1	2

問 11. あなたの仕事や職場環境について、最もあてはまるものを選んでください。(○は1つずつ)

	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
(1) 非常にたくさんの仕事をしなければならない	1	2	3	4
(2) 時間内に仕事が処理しきれない	1	2	3	4
(3) 一生懸命働かなければならない	1	2	3	4
(4) かなり注意を集中する必要がある	1	2	3	4
(5) 高度の知識や技術が必要な難しい仕事だ	1	2	3	4
(6) 勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	1	2	3	4
(7) からだを大変よく使う仕事だ	1	2	3	4
(8) 自分のペースで仕事ができる	1	2	3	4
(9) 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる	1	2	3	4
(10) 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	1	2	3	4
(11) 私たちの職場では、ともに働こうという姿勢がある	1	2	3	4
(12) 私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	1	2	3	4
(13) 私たちの職場では、仕事に関連した情報の共有ができています	1	2	3	4

問 12. 以下の(1)～(4)のような人はあなたの周囲にいますか。

(1) 落ち込んでいるときに慰めたりしてくれる人(あてはまるものすべてに○)

1. 職場の上司	2. 職場の同僚	3. 家族
4. 職場以外の友人	5. その他	6. そのような人はいない

(2) 業務についての的確なアドバイスをくれる人(あてはまるものすべてに○)

1. 職場の上司	2. 職場の同僚	3. 家族
4. 職場以外の友人	5. その他	6. そのような人はいない

(3) 自分の働きを評価し、認めてくれる人(あてはまるものすべてに○)

1. 職場の上司	2. 職場の同僚	3. 家族
4. 職場以外の友人	5. その他	6. そのような人はいない

(4)仕事の負担が大きい時に手を貸してくれる人(あてはまるものすべてに○)

1. 職場の上司	2. 職場の同僚	3. 家族
4. 職場以外の友人	5. その他	6. そのような人はいない

問 13. あなたは、介護職の仕事に対して次のような気持ちになることがありますか。(○は1つずつ)

	いつも ある	しばしば ある	時々 ある	まれ にある	いえ え
(1) こんな仕事、もう辞めたいと思うことがある	1	2	3	4	5
(2) 一日の仕事が終わると、やっと終わったと感じることがある	1	2	3	4	5
(3) 出勤前、職場に出るのが嫌になって家に居たいと思うことがある	1	2	3	4	5
(4) 仕事のために心にゆとりがなくなったと感じることがある	1	2	3	4	5
(5) 体も気持ちも疲れ果てたと思うことがある	1	2	3	4	5

問 14. あなたは、介護職の仕事について次のようなことをどの程度感じていますか。(○は1つずつ)

	非常 にそう 思う	そう 思う	まあ そう 思う	あま りそう 思わ ない	そう 思わ ない	全 くそ う思 わ ない
(1) 現在の仕事に満足している	1	2	3	4	5	6
(2) 現在の仕事にやりがいを感じる	1	2	3	4	5	6
(3) 今後もこの仕事を続けていきたい	1	2	3	4	5	6

問 15. 勤務先の施設では、高年齢介護助手(下記参照)を雇用していますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|----------------------------|
| 1. 雇用している | ⇒引き続き、問 16～問 18 にもご回答ください。 |
| 2. 雇用していない | ⇒質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 |

高年齢介護助手を雇用していない場合、調査は以上です。

**※勤務先の施設が高年齢介護助手を雇用している場合は、
次頁(問 16～問 18)にもご回答ください。**

【この調査における「高年齢介護助手」の定義について】

高年齢介護助手の定義

1. 貴施設と直接の雇用関係にある(有償ボランティアや委託業者の職員は除く)
2. 介護職員との役割分担により、利用者の身体に接することのない周辺業務※
のみを担っている
3. 年齢が 60 歳以上

本調査票では高年齢介護助手との関わり・影響等についてお伺いいたします

※ 周辺業務とは、例えば、ベッドメイキングや食事の配膳などの他、施設サービスでは清掃、通所サービスでは送迎などの業務も含まれます。

注1: 清掃のみに従事する方は介護助手に含みますが、調理従事者やリハビリ助手は介護職員の補助でないため、介護助手に含めません。

注2: 介護福祉士等の資格を有していても、周辺業務のみを行っている場合には、介護助手に含めます。

※問 16～問 18 は、勤務先の施設が高年齢介護助手を雇用している場合のみご回答ください

問 16. あなたは、日常的にどの程度、高年齢介護助手との関わりがありますか。(○は1つずつ)

	頻繁にある	たまにある	あまりない	まったくない
(1) 仕事上での関わり	1	2	3	4
(2) 仕事以外での関わり(例:休憩時間等での会話)	1	2	3	4

問 17. 高年齢介護助手の存在により、あなたの業務や施設にどのような影響を感じていますか。(○は1つずつ)

(1) 全体的な業務負担感	1. 減少していると思う 3. 増加していると思う	2. 変わらないと思う
(2) 全体的な業務の量	1. 減少していると思う 3. 増加していると思う	2. 変わらないと思う
(3) 介護の専門性を活かした業務への集中	1. 高まっていると思う 3. 低まっていると思う	2. 変わらないと思う
(4) 普段の業務における気持ちのゆとり	1. 増加していると思う 3. 減少していると思う	2. 変わらないと思う
(5) インシデントやアクシデント、ヒヤリハットの件数	1. 減少していると思う 3. 増加していると思う	2. 変わらないと思う
(6) 介護職員の研修受講・スキル向上のための時間	1. 増加していると思う 3. 減少していると思う	2. 変わらないと思う
(7) 施設の職員間の人間関係	1. 良好になっていると思う 3. 悪化していると思う	2. 変わらないと思う
(8) 利用者や家族とのコミュニケーション	1. 増加していると思う 3. 減少していると思う	2. 変わらないと思う
(9) 利用者や家族からのクレーム	1. 減少していると思う 3. 増加していると思う	2. 変わらないと思う
(10) 利用者や家族からの感謝	1. 増加していると思う 3. 減少していると思う	2. 変わらないと思う
(11) 地域の人や団体と関わる機会	1. 増加していると思う 3. 減少していると思う	2. 変わらないと思う

問 18. 一般的にあなたはどの程度、高年齢介護助手を信頼していますか。(○は1つ)

1. 信頼している	2. やや信頼している
3. あまり信頼していない	4. 信頼していない

<調査は以上です。ご協力ありがとうございました。>

「介護老人保健施設等における業務改善に関する調査研究事業」
【介護助手票】

都道府県		施設名		TEL	
------	--	-----	--	-----	--

※答えたくない設問や答えにくい設問は空欄のまま構いません。

問1. あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2. あなたは、何歳ですか。(2020年9月1日現在を基準としてご回答ください)(数字を記入)

()歳

問3. あなたは、介護・医療・保健・福祉に関連する資格を何か保有していますか。(○は1つ)

1. 保有している	2. 保有していない
-----------	------------

問4. どのようなきっかけで介護助手の仕事をはじめましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自治体からの情報(広報誌など)	2. 家族や知り合いからの口コミ
3. 介護施設からの情報	4. メディアの情報(TV、新聞、雑誌、Web)
5. シルバー人材センター	6. ハローワーク
7. 都道府県福祉人材センター	8. 都道府県の老健協会等による一括した人材募集
9. その他()	

問5. あなたの現在の通勤手段と通勤時間を教えてください。(あてはまるものすべてに○/数字を記入)

通勤手段	1. 徒歩のみ	2. 自転車・バイク
	3. バス	4. 電車
	5. 自家用車	6. その他()
通勤時間	片道()分程度	

問6. あなたが介護助手として働いている期間はどのくらいですか。(数字を記入)

(2020年9月1日時点)

()年 ()ヶ月

問7. 直近1か月間のあなたの平均的な働き方について教えてください。(数字を記入/○は1つ)

勤務日数	週に()日	1回あたりの勤務時間	約()時間
勤務パターン	1. 勤務する曜日や時間帯は、 <u>だいたい</u> 固定的である		
	2. 勤務する曜日や時間帯は、 <u>流動的</u> で日によって変わることが多い		

問 8. あなたが最後に卒業した学校はどちらですか。(○は1つ)

1. 中学校	2. 高等学校
3. 短期大学	4. 専門学校
5. 大学・大学院	6. その他()

問 9. これまで介護・医療・保健・福祉に関連する仕事に携わった経験はありますか。(○は1つ)。

1. ある	2. ない
-------	-------

問 10. これまでに最も長く従事した仕事はどのようなものですか。(○は1つ)

1. 専門職・技術的な仕事	2. 経営・管理的な仕事
3. 事務の仕事	4. 販売の仕事
5. 農林漁業の仕事	6. 技能・生産工程の仕事
7. サービスの仕事	8. その他()
9. これまで働いたことはない(主夫・主婦を含む)	

問 11. あなたは普段、ご自分で健康だと思いますか。(○は1つ)

1. 健康である	2. まあ健康である	3. あまり健康でない	4. 健康でない
----------	------------	-------------	----------

問 12. あなたは、この1ヶ月間で以下のようなことがありましたか。(○は1つずつ)

	はい	いいえ
(1) 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがよくあった。	1	2
(2) どうも物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった。	1	2

問 13. あなたは最近の生活に満足していますか。(○は1つ)

1. 満足している	2. ある程度満足している	3. あまり満足していない	4. 満足していない
-----------	---------------	---------------	------------

問 14. あなたの仕事や職場環境について、最もあてはまるものを選んでください。(○は1つずつ)

	そ う だ	ま あ そ う だ	や や ち が う	ち が う
(1) 非常にたくさんの仕事をしなければならない	1	2	3	4
(2) 時間内に仕事が処理しきれない	1	2	3	4
(3) 一生懸命働かなければならない	1	2	3	4
(4) かなり注意を集中する必要がある	1	2	3	4
(5) 高度の知識や技術が必要な難しい仕事だ	1	2	3	4
(6) 勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない	1	2	3	4
(7) からだを大変よく使う仕事だ	1	2	3	4
(8) 自分のペースで仕事ができる	1	2	3	4
(9) 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる	1	2	3	4
(10) 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	1	2	3	4
(11) 私たちの職場では、ともに働こうという姿勢がある	1	2	3	4
(12) 私たちの職場では、お互いに理解し認め合っている	1	2	3	4
(13) 私たちの職場では、仕事に関連した情報の共有ができています	1	2	3	4

問 15. 以下の(1)～(4)のような人はあなたの周囲にいますか。

(1) 落ち込んでいるときに慰めたりしてくれる人(あてはまるものすべてに○)

1. 職場の上司	2. 職場の同僚	3. 家族
4. 職場以外の友人	5. その他	6. そのような人はいない

(2) 業務についての的確なアドバイスをくれる人(あてはまるものすべてに○)

1. 職場の上司	2. 職場の同僚	3. 家族
4. 職場以外の友人	5. その他	6. そのような人はいない

(3) 自分の働きを評価し、認めてくれる人(あてはまるものすべてに○)

1. 職場の上司	2. 職場の同僚	3. 家族
4. 職場以外の友人	5. その他	6. そのような人はいない

(4) 仕事の負担が大きい時に手を貸してくれる人(あてはまるものすべてに○)

1. 職場の上司	2. 職場の同僚	3. 家族
4. 職場以外の友人	5. その他	6. そのような人はいない

問 16. あなたは、介護助手の仕事に対して次のような気持ちになることがありますか。(○は1つずつ)

	いつもある	しばしばある	時々ある	まれにある	いいえ
(1) こんな仕事、もう辞めたいと思うことがある	1	2	3	4	5
(2) 一日の仕事が終わると、やっと終わったと感じることがある	1	2	3	4	5
(3) 出勤前、職場に出るのが嫌になって家に居たいと思うことがある	1	2	3	4	5
(4) 仕事のために心にゆとりがなくなったと感じることがある	1	2	3	4	5
(5) 体も気持ちも疲れ果てたと思うことがある	1	2	3	4	5

問 17. あなたは、介護助手として次のような業務に従事していますか。(○は1つずつ)

	従事している	従事していない
(1) 利用者の送迎・送迎補助	1	2
(2) 記録補助(体温、排泄、食事摂取等)	1	2
(3) 居室や施設の清掃、備品の準備・片付け・補充作業等	1	2
(4) 起床や就寝時の声掛け・見守り	1	2
(5) ベッドメイキング	1	2
(6) 洗濯、洗濯物の回収・配布	1	2
(7) 浴室清掃・湯はり	1	2
(8) 入浴後のドライヤーがけ・整髪	1	2
(9) 調理補助、料理や飲み物へのとろみ付け	1	2
(10) 食事の配膳・下膳	1	2
(11) 施設内外での移動補助(車いすでの移動補助を含む)	1	2
(12) 利用者の見守り・傾聴(話し相手)	1	2
(13) イベントやアクティビティの補助	1	2
(14) 消毒作業等の感染症対策	1	2

問 18. あなたが、介護助手の仕事をはじめた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 社会に貢献するため	2. 社会とのつながりを得るため
3. 生きがいを得るため	4. ある程度の収入が欲しいため
5. 介護に関連した自分の経験を活かすため	6. 介護について学びたいため
7. 健康の維持・増進のため	8. 時間に余裕があるため
9. 家族や知人などに勧められたため	10. その他()

問 19. 介護助手の仕事をはじめること、次のようなことが出来るようになりましたか。(○は1つずつ)

	はい	いいえ
(1) 社会貢献することができている	1	2
(2) 社会とのつながりを得られている	1	2
(3) 生きがいを得られている	1	2
(4) 介護助手を始めた当初期待していた収入を得られている	1	2
(5) 介護に関連した自分の経験を活かすことができている	1	2
(6) 介護について学ぶことができている	1	2
(7) 自分の健康の維持・増進に繋がっている	1	2
(8) 時間を有効に使うことができている	1	2

問 20. あなたは、日常的にどの程度、介護職員との関わりがありますか。(○は1つずつ)

	頻繁にある	たまにある	あまりない	まったくない
(1) 仕事上での関わり	1	2	3	4
(2) 仕事以外での関わり(例:休憩時間等での会話)	1	2	3	4

問 21. 全般的に、あなたは介護職員をどの程度信頼していますか。(○は1つ)

1. 信頼している	2. やや信頼している
3. あまり信頼していない	4. 信頼していない

問 22. あなたは、介護助手の仕事について次のようなことをどの程度感じていますか。(○は1つずつ)

	非常にそう思う	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
(1) 現在の仕事に満足している	1	2	3	4	5	6
(2) 現在の仕事にやりがいを感じる	1	2	3	4	5	6
(3) 今後もこの仕事を続けていきたい	1	2	3	4	5	6

<調査は以上です。ご協力ありがとうございました。>



公益社団法人全国老人保健施設協会

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 6階

TEL.03-3432-4165 FAX.03-3432-4172